

基町プロジェクト 2014.4-2017.3

Motomachi Project April 2014—March 2017



プロジェクトの実施体制及び関連する計画・研究費・事業等

2014（平成 26）年度

- ・平成 26 年度広島市中区役所受託研究費
「大学と行政の協働による文化芸術創造活動拠点設置・運営を通じた、基町住宅地区の持続的活性化に関する研究」（研究代表・前川義春芸術学部長）
- ・平成 26 年度広島市立大学指定研究費（学長指定テーマ）
「文化芸術創造活動拠点を通じた広島都心部（基町地区）の活性化に関する研究」（研究代表・中村圭芸術学部講師）
- ・基町住宅地区活性化計画（広島市）

2015（平成 27）年度

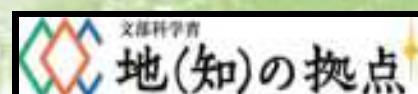
- ・平成 27 年度広島市中区役所受託研究費
「大学と行政の協働による文化芸術創造活動拠点設置・運営を通じた、基町住宅地区の持続的活性化に関する研究」（研究代表・南昌伸芸術学部長）
 - ・平成 27 年度広島市立大学指定研究費（学長指定テーマ）
「文化芸術創造活動拠点を通じた広島都心部（基町地区）の活性化に関する研究」（研究代表・中村圭芸術学部講師）
 - ・[平成 27 年度「地（知）」の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）]
広島市立大学「観光振興による『海の国際文化生活圏』創生に向けた人材育成事業」
 - ・広島市被爆 70 周年記念事業まちづくり先導事業
(デルタ市街地でのまちづくりの展開) (6) 平和都市を象徴する都市環境づくり
 - ・基町住宅地区活性化計画（広島市）
 - ・「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略（広島市）
- 《基本目標 1》中四国地方のエンジンに ふさわしい都市機能の充実強化>【施策 2】“循環が活気をもたらすまち”の構築>主な事業>（デルタ市街地）

2016（平成 28）年度

- ・平成 28 年度広島市中区役所受託研究費
「大学と行政の協働による文化芸術創造活動拠点設置・運営を通じた、基町住宅地区の持続的活性化に関する研究」（研究代表・南昌伸芸術学部長）
 - ・平成 28 年度広島市立大学指定研究費（学長指定テーマ）
「文化芸術創造活動拠点を通じた広島都心部（基町地区）の活性化に関する研究」（研究代表・中村圭芸術学部講師）
 - ・平成 28 年度広島市立大学 COC+ 研究費「COC+ 事業における先導的アートプロジェクトの実施と人材育成のための基盤研究」（研究代表・三上賢治特任教員）
 - ・[平成 28 年度「地（知）」の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）]
広島市立大学「観光振興による『海の国際文化生活圏』創生に向けた人材育成事業」
 - ・基町住宅地区活性化計画（広島市）
 - ・「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略（広島市）
- 《基本目標 1》中四国地方のエンジンに ふさわしい都市機能の充実強化>【施策 2】“循環が活気をもたらすまち”の構築>主な事業>（デルタ市街地）

2017（平成 29）年度

- ・平成 29 年度広島市中区役所受託研究費
「大学と行政の協働による文化芸術創造活動拠点設置・運営を通じた、基町住宅地区の持続的活性化に関する研究」（研究代表・南昌伸芸術学部長）
 - ・平成 29 年度広島市立大学指定研究費（学長指定テーマ）
「創造的文化芸術活動を通じた基町地域活性化の実践的研究」（研究代表・中村圭芸術学部講師）
 - ・平成 29 年度広島市立大学 COC+ 研究費
「COC+ 事業における先導的アートプロジェクトの実施と人材育成のための基盤研究」（研究代表・三上賢治特任教員）
 - ・平成 29 年度広島市立大学社会連携プロジェクト研究費
「基町プロジェクトと連動する「地域課題演習」及び「地域実践演習」メニューの開発と、その教育環境のための包括的整備」（研究代表・中村圭芸術学部講師）
 - ・[平成 29 年度「地（知）」の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）]
広島市立大学「観光振興による『海の国際文化生活圏』創生に向けた人材育成事業」
 - ・平成 29 年度広島市立大学研究成果公表経費
「創造的文化芸術活動を通じた基町地域活性化の実践的研究」（研究代表・中村圭芸術学部講師）
 - ・基町住宅地区活性化計画（広島市）
 - ・「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略（広島市）
- 《基本目標 1》中四国地方のエンジンに ふさわしい都市機能の充実強化>【施策 2】“循環が活気をもたらすまち”の構築>主な事業>（デルタ市街地）





基町プロジェクト 2014.4-2017.3

Motomachi Project April 2014—March 2017

1945年8月8日米軍撮影（国土地理院）部分、色調補正

目次

1 基町の概要

Outline of Motomachi

広島城下の発展	10
軍都広島	11
原子爆弾投下と基町	12
広島復興と基町	13
基町地区再開発事業	14
基町の現在	16

2 基町プロジェクトの概要

Outline of the Project

私たちについて	20
地域の課題と特徴	21
基町の賑わいをつくる	22
学び、創造、交流	23
被爆 100 周年を見据えて	24

3 活動記録

Documents of programs

平成 26 年度モデル事業	
活動拠点「M98」の設営	28
活動拠点「M98」開所式	32
「もとまちカフェ」をつくる	34
M トーク	36
基町マップ制作参加	42
会／議／体	43
ガタロさんライブペイント	44
MAYA MAXX さんライブペイント	45
関東視察／関東視察報告会	46
未来の基町模型作り「もとまち 2.0」	50
「京都芸術センター」訪問	67
平成 26 年度地域交流プログラム、地域行事への参画	
もとまち映画上映会『ミリキタニの猫』	68

ワークショップ「もとまちレインボーロードをつくろう！」	69
基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会、基町地区敬老会、基町地区町民体育祭	72
基町プロジェクト意見交換会 1, 2, 3	74
平成 27 年度<学びの場>事業	
広島市立基町小学校ピンホールカメラ授業	78
もとまちカフェ	88
基町ショッピングセンター探索マップ	101
基町をかざろう！クリスマスデコレーション	104
広島県営基町住宅記録撮影	112
平成 27 年度<創造の場>事業	
基町住宅地区の公共デザインを考えるプロジェクト	126
浅野堅一「デルタのまほら」写真展	130
「もし基町にアトリエができたら？」展	136
平成 27 年度<交流の場>事業	
基町、昔の写真展	142
広島市立基町小学校卒業制作	168
地域行事への参加	174
スペシャル M トーク 年末報告会	182
年末報告会・意見交換会	184
広島市立基町高校での基町プロジェクト説明会	186
平成 28 年度<学びの場>事業	
もとまちカフェ vol.2	188
M トーク vol.14	206
広島市立基町小学校被爆樹模型づくり	208
県営基町住宅デジタルアーカイブの作成	212
デジタルアーカイブレクチャー	214
シンポジウム「広島基町高層アパートと大高正人」	216
ファニー・ハーラン「Aussicht- 望」写真展	224
創造・交流拠点づくり M98 <make>	232
創造・交流拠点づくり M98 <eat>	234
パノラマ・モトマチ vol.1	236
パノラマ・モトマチ vol.2	240
パノラマ・モトマチ vol.3	244
平成 28 年度<創造の場>事業	
基町・中島町未来模型 ver.1	248
基町、昔の写真展 II	250

グローカルキッチンプロジェクト	266
広島市立中央図書館・広島市立大学連携事業企画展「基町プロジェクト～若者が挑む広島のまちの賑わいづくり～」	274
レクチャー＆ワークショップ「地域デザイン×ビジネス～まちの賑わいづくりを考える～」	286
視察対応	298
地域行事への参加	300
平成 28 年度<交流の場>事業	
年末報告会・意見交換会	306
もとまち TIMES	308
広報	
ウェブサイト、Facebook	319

4 活動拠点・スペース

Base	
M98	322
M98<make>	323
M98<eat>	324
M98<join>	325
モトマチ・アートウィンドウ	326
中央商店会イベントスペース	327

5 活動評価

Appraisal of programs

基町住宅地区活性化計画に照らした基町プロジェクトの取組状況、及び、自己評価	330
スタッフの視点	
長野佳嗣	340
河本真一	341
新澤望	342
増田純	343

6 資料編

Appendix

基町プロジェクト基本コンセプト ————— 346

基町住宅地区活性化計画 ————— 362

[凡例] 所属・職名・固有名詞等は当時のもの。人名は敬称を略した。





1 基町の概要

Outline of Motomachi

1589年、毛利輝元は太田川河口の五箇を広島と名付け、広島城築城を開始。1591年に入城する。1600年、福島正則が毛利輝元に代わって安芸国領主となり、城下町の整備、西国街道などの陸路及び海路の整備を行う。江戸時代には、浅野氏が同国領主となり、商工業を発展させ、広島城下は瀬戸内海最大都市として賑わった。特に中島界隈（現在の広島平和記念公園）は、陸路と海路が交わる場所として商業的中心地を形成した。このように、広島は水によって栄えた都市と言えるだろう。

In 1589, Terumoto Mori named Goka village on the Ota river estuary Hiroshima and commenced its fortification with Hiroshima castle. He took up residence in the castle in 1591. In 1600, Masanori Fukushima replaced Terumoto Mori as the lord of Aki province and improved the castle town and the roads and sea routes of this western section of Japan. In the Edo era, Nagaakira Asano, the first of the clan dynasty, became the lord and further developed commerce, consequently Hiroshima castle town flourished as the largest city of the Seto Inland Sea. Especially, Nakajima neighborhood (the present Hiroshima Peace Memorial Park) became a central commercial area where land and sea routes intersected. In this way, Hiroshima can be said to have flourished due to the presence of water.

広島城下の発展

Development of Hiroshima castle town



寛永年間広島城下図（広島城提供）[部分] を元に作図

1871年、広島県が成立し、広島城内に県庁が設置される。同年、本丸へ鎮西鎮台第一分営の設置を端緒に、旧城内は軍用地へと変貌していく。1886年、広島鎮台は第五師団に改称。1887年4月、旧城域内の、基町ほか13カ町（旧南町）、4カ町（旧北町）、4カ町（旧西町）、これらすべてを合わせ基町となる。1894年、日清戦争開戦時には、明治天皇と共に大本営が広島城内に移る。その背景には、1889年の宇品港開港、1894年の山陽鉄道の広島までの開通、同年の軍用鉄道宇品線の開通があった。広島は軍都としての性格を強め、当時の基町はその中枢であった。

In 1871, Hiroshima prefecture was established, and the prefectoral office was founded inside Hiroshima castle. In the same year, Japanese military were stationed in the inner citadel of the castle and use of the castle gradually changed for it to become a military base. In 1886, the Hiroshima army was renamed the Fifth Division. In April 1887, 13 towns (previously known as Minami Hiroshima), four towns (previously known as Kita Hiroshima) and four towns (previously known as Nishi Hiroshima) all inside the castle jurisdiction, were merged to become the current Motomachi. In 1894, when the Sino-Japanese war broke out, the Imperial Headquarters moved into Hiroshima castle along with the Meiji emperor. The backdrop to this was the opening of Ujina ferry port in 1889 followed by connection of the Sanyo Railway to Hiroshima and construction of the Ujina streetcar line for the military in 1894. Hiroshima established its status as a military-base city with Motomachi as its backbone in that era.

軍都広島

Hiroshima, a military-base city



絵葉書 広島衛戍病院全景（広島市公文書館蔵）を色調補正

鶲卵紙名刺判写真 広島大本営
(広島城提供) を色調補正

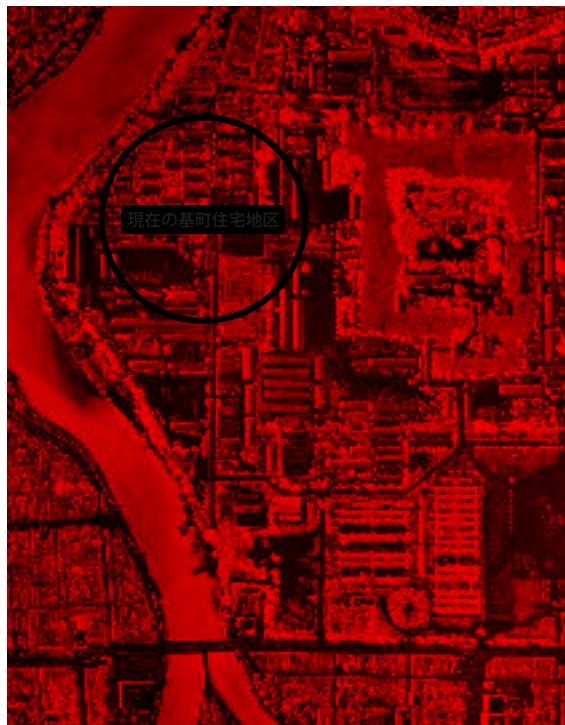


1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分、アメリカ軍は、史上初となる都市を目標とした一発の原子爆弾投下による核攻撃を実施し、広島市の中心部は壊滅状態となった。広島市は、その被害特質を「大量破壊、大量殺戮が瞬時に、かつ無差別に引き起こされたこと、放射線による障害がその後も長期間にわたり人々を苦しめたこと」と述べている。爆心地（現島内科医院・広島市中区大手町1-5-25）から2kmの円内が全壊・全焼地域とされるが、基町一帯もこれに含まれる。

In 1945 (Showa era 20) on August 6th at 08:15 local time, the American military executed the first ever nuclear attack by detonating an atomic bomb above the city, and central Hiroshima was completely destroyed. Hiroshima city describes what happened as: "Mass destruction and mass slaughter was caused indiscriminately in an instant. Furthermore, radiation injuries continued to torture survivors for a long time after the devastation." The area within a 2 km diameter of the hypocenter (formerly Shima Hospital Department of Internal Medicine, currently Shima Medical Clinic, 1-5-25 Otemachi Naka-ku Hiroshima-city) is regarded to have been completely razed to the ground and burned including Motomachi.

原子爆弾投下と基町

The atomic bombing and Motomachi



1945年7月25日米軍撮影（国土地理院）[部分]を色調補正



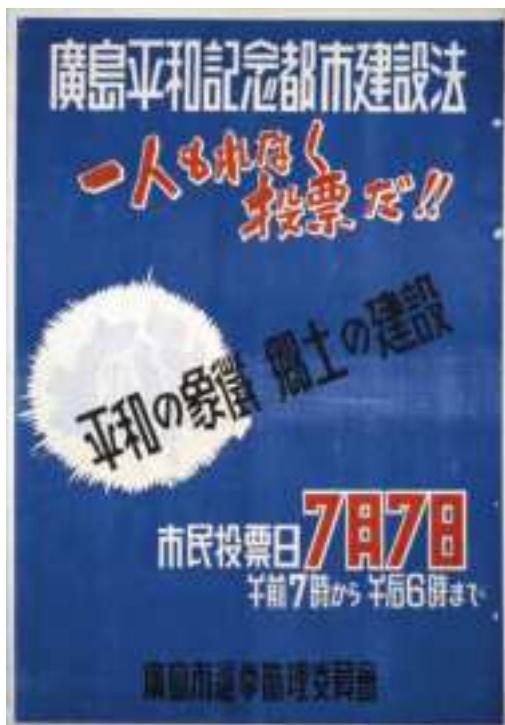
1945年8月8日米軍撮影（国土地理院）[部分]を色調補正

1946年、広島市は復興局を創設。当初、資金難により遅々として進まなかった復興事業は、1949年8月6日に公布された「広島平和記念都市建設法」により進展していく。被爆前の広島市の人口は約25万人であったが、被爆のあった1945年末までの死者は約14万人と言われている。しかし、1947年にはその人口も約24万人まで増加し、住居不足は深刻化していく。1946年、広島市は、公園用地としていた旧軍用地の基町に応急住宅を建設するが、その数は十分ではなかった。隣接する太田川河川敷沿いの不法住宅の集積には、こうした時代背景があった。

In 1946, Hiroshima city established a reconstruction bureau. However, the reconstruction program was not implemented immediately due to lack of funds, but proceeded after the 'Hiroshima Peace Memorial City Construction Law' was enacted on the 6th of August, 1949. The population of Hiroshima city was approximately 250,000 before the atomic bombing, but the total number of casualties by the end of 1945 was said to be about 140,000. However, by 1947 the population had recovered to 240,000 and the shortage of dwellings became a serious problem. Although, in 1946, Hiroshima city constructed emergency housing in Motomachi on the former military site, the number of homes was insufficient to meet the increasing demand. This situation led to the accumulation of illegal makeshift homes along the banks of the Ota river.

広島復興と基町

Reconstruction of Hiroshima and Motomachi



「広島平和都市建設法」選挙啓発ポスター（広島市公文書館提供）

1968年に始まった基町住宅地区再開発事業は、市内中心部を流れる六つの河川のうちの一つ、太田川沿いに、高層住宅に加えて公共施設等を一体的に整備した事業で、広島市と広島県を中心として都市開発的觀点から実施された。工期は約10年間、費用は約260億円がかけられ、市内の戦災復興事業の総まとめ的な意味を持つと同時に、「発展する広島の将来を志向する新しい街づくり」が目指された。マスター・プランは、大高建築設計事務所による。基町団地内に計画された住棟以外の施設は、屋上を人工地盤とするショッピングセンターや中央集会所、保育所・幼稚園・小学校の教育施設、診療所や公衆浴場を含む分散店舗など

から構成される。基町団地基本計画によると、基町団地においては、約8.1ヘクタールの敷地に2,964戸を建設する計画であり、高密度な高層住宅が計画されたと言える。高層アパートには、「く」の字型の住棟配置によって日照問題やプライバシーの問題を解決しようとすることや、屋上空間を公共空間として解放すること、1階部分のピロティなど、様々な特徴が見られる。住棟構造は、高さ方向には2フロアを1単位、横方向には隣り合う二つ住居空間を1単位としており、後年住居空間の変更が容易に行えるようになっている。2018年現在、実際に一部住居において3戸を2戸に結合するなどの改修工事が行われている。

基町地区再開発事業

Motomachi district redevelopment program



Motomachi district redevelopment program was established in 1968 to maintain public institutions and high-rise apartment buildings, mainly in Hiroshima city and Hiroshima prefecture, and commenced construction of apartment complexes along the Ota river, which is one of the 6 rivers that flow through central Hiroshima. The construction period and the budget were planned as a decade and 260 billion yen, respectively. The program aim was to 'create a new town suitable for the future development of Hiroshima' in addition to general reconstruction of devastated Hiroshima city. The basic plan was produced by Otaka Architectural Design Office.

Facilities, in addition to homes, within the Motomachi apartment complex included stores, a shopping center with a rooftop of artificial ground, a central meeting place, a nursery school, a kindergarten, an elementary school, a clinic and a public bath. According to the Motomachi district master plan,

2,964 residences were planned to be constructed in an area of about 8.1 hectares, which can be said to be comparatively high density high-rise apartment housing in those days.

The high-rise apartment buildings had various features such as a dogleg formation to avoid sunshine and privacy problems, open rooftops as public spaces, and pilotis columns at the first floor for a sense of airy lightness giving the buildings a pleasant atmosphere rather than resembling heavy blocks.

Moreover, the building architecture was designed so that the residential units could be rearranged in later years. The steel beams in the high-rise apartment buildings can be imagined as a series of rectangular boxes, each containing two floors with two apartments each. The contents of these boxes can be rearranged to alter the size, shape, and number of apartments in each box. In fact, expansion and renovation of these residences is currently undergoing at the time of writing in 2018.



基町地区再開発事業から 40 年が経ったこともあり、基町住宅地区では、建物の老朽化や、少子高齢化などに伴う地域コミュニティの活力低下、空き店舗の増加に伴う商店街の衰退など、多くの問題が顕在化している。こうしたことの背景に、基町住宅地区活性化検討会、コミュニティ及び商店街活性化検討部会が開かれ、住宅のみならず商業や福祉など幅広い観点から検討が行われた。その結果、2013 年に、広島市が基町住宅地区活性化計画を取りまとめるに至った。

基町は、広島開基の地であり、またその後も歴史的・

地理的特徴が色濃く重なる都市広島の象徴的なエリアの一つである。こうしたことから、基町住宅地区活性化計画は、地域の活性化計画であるのみならず、都市広島の象徴的なエリアを今後どのように更新し活性化していくかを示す計画だといえる。都市広島を象徴するエリアとしては、広く一般に認知されている広島平和記念公園がある。二つのエリアは、隣接しているにも関わらず、その認知度に差がある。

基町の現在

Current Motomachi (features, tasks, revitalization plan)

大田川から望む基町高層アパート



When 40 years had passed since the Motomachi district redevelopment program was conceived, there were many problems including age-related dilapidation of buildings, deterioration of local communities due to the declining birthrate and aging population, and increasing numbers of vacant shops and stores. To address those problems, a meeting of the Committee for Revitalization of Motomachi Residential District and workshops on community and shopping center revitalization were held with consideration to housing, commerce and public welfare. And in 2013, it was decided that Hiroshima

city would coordinate the Revitalization Plan of Motomachi Residential District. Motomachi is fundamental to Hiroshima. Having iconic historical and geographical features, it is symbolic of Hiroshima city. Therefore, the plan to revitalize Motomachi residential district can be said to be a plan not only for community revitalization but to update and revitalize the symbolic area of Hiroshima city. Hiroshima Peace Memorial Park is widely recognized as an area symbolizing Hiroshima. Although this park and Motomachi are located next to each other, the latter seems to be less recognized.



基町ショッピングセンター



基町ショッピングセンター屋上（人工地盤）



2 基町プロジェクトの概要

Outline of the Project



私たちについて

基町プロジェクトは、広島市立大学が、広島市中区役所とともに基町住宅地区の魅力づくり・活性化を目指しています

基町プロジェクトは、2013年（平成25年）5月、広島市立大学芸術学部の教員が、広島市中区役所職員の案内で基町住宅地区を訪れたことに始まります。2013年7月に発表された「基町住宅地区活性化計画」の中に、基町をアートで魅力的な地域にするメニュー「基町アートロード、アートによる魅力づくり」が掲げられたことから、2014年度（平成26年度）より、芸術学部を有する広島市立大学が、このメニューの担い手として、活性化計画に協働することになりました。

私たちが考えたのは、基町に「若者が創作活動をする場所をつくること」で、基町を活性化することでした。早期に旗艦拠点M98が現地に整備され、2名のプロジェクト専任スタッフと大学教員によるプロジェクトが開始したことは、地域の方々を始めとする多くの関係者が、アートやデザインに地域活性化の可能性を見出だそうとしたからだと言えるでしょう。2018年（平成30年）3月で、プロジェクト開始から五年目を迎ますが、徐々にプロジェクトで実施するメニューは増え、近年では、様々な学生が参加するようになりました。

地域の課題と特徴

少子高齢化が進む地域と広島を象徴する地域という 2つの面をもつ基町

基町住宅地区の生活環境における課題は、少子高齢化が進んでいることに集約されます。地区全体が市営住宅であることから、高齢者の一人暮らし世帯が多くなる傾向があり、少子高齢化を構造的に助長していることは否めません。一方で、自治会活動の活発さや、自治会への加入率は他地域と比較して非常に高く、こうしたことは、基町住宅地区の人と人のつながりの強さを端的に表しています。しかし、自治会活動も担い手の高齢化により、昨今様々な課題を抱えるようになっています。居住者間の課題としては、外国人などとの交流の難しさがあげられます。言語的なコミュニケーションの問題もあれば、文化的な背景に起因する問題もあります。なお、現在外国人の入居率は 17.5%（平成 22 年度国勢調査、含県営住宅）で、広島市立基町小学校に通う外国をルーツとする児童数は、全校児童数の約 4 割に上ります。

地域の特徴としては、基町高層アパートそのものや、内部に設けられた多種多様な共有空間、地区内外の広島城を始めとする歴史的地域資源、中央公園や太田川の基町護岸など自然環境、文教施設群の集積が挙げられます。原爆ドームから太田川沿いに歩いて 15 分という立地にこれらの環境が隣接しあっており、広島を象徴する地域の一つと言えます。

基町の賑わいをつくる

創造的な文化芸術活動と地域交流を通じて、
広島開基のまち「基町」に、新しい賑わいの場を創出する

2013年7月、地域住民・行政・学識経験者などによって構成される基町住宅地区活性化検討会等での検討を経て、基町住宅地区活性化計画が策定されました。活性化計画では、その基本理念を「ひろしま真ん中 つながって生きる『ふるさと基町』～愛着と誇りあるまちづくり～」とし、また、「安心と笑顔の基町、出会いと交流の基町、にぎわいの基町」の三つの将来像が掲げられています。基町プロジェクトでは、その中でも「にぎわいの基町」におけるくにぎわい再生（商店街等）>のメニュー「基町アートロード、アートによる魅力づくり」に携わる取組として2014年よりスタートしました。

プロジェクトは初年度(2014年4月から2015年3月まで)に、様々な実験的なプログラムを行い、2015年3月には「創造的な文化芸術活動で基町住宅地区の魅力づくり・活性化を目指す基町プロジェクト 施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト」を策定しました。プロジェクトの中心的担い手は、広島市立大学芸術学部の教員と学生となるため、プロジェクトの基本コンセプトでは、創造的な文化芸術活動に取り組むことを重視しています。これは、学生や社会に出て間もない若者に、地域の歴史や課題に触れる機会をつくり、地域交流を通じて、新しい表現に挑戦する場を提供することで、大学の特性を生かした「基町のにぎわい」創出に取り組むことを示しています。プロジェクトを通じて、基町を舞台に実験的な芸術活動を行う若者を徐々に増やしていき、将来的には、彼らが経済活動の場や生活の場として基町を選ぶようになることを目指します。

学び、創造、交流

創造的な文化芸術活動で基町住宅地区の魅力づくり・活性化を目指すための具体的な方法として、「三つの場」をつくっています

学びの場 基町住宅地区内には小学校が併設されており、すぐそばには広島市立基町高等学校があります。これらの学校と広島市立大学をはじめとする広島の各大学が協働して若者の学びの機会をつくります。また、地域住民が主体的にまちづくりに参画できる機会の提供や、専門家によるレクチャーなどを開催し、地域の人材育成に取り組みます。

創造の場 若いクリエイターの創造的な活動を支援する環境を提供し、その成果を地域に還元します。商店街の空き店舗を活用し、創作や展示などが行えるスペースを設置します。それらを活用し国内外から若いクリエイターを呼び、短期滞在制作の機会を提供するほか、老朽化した建物のリノベーションやデザインの請負などを通じて、若いクリエイターの雇用の機会の創出を目指します。

交流の場 基町住宅地区住民と地区外から訪れる人々の交流の機会や場所をつくります。基町住宅地区は、戦後復興を考える上で極めて重要な場です。また、同地区には多くの外国籍の方が暮らしており、多様な文化が交差する地区でもあります。こうした地区の特徴を活用し、特色ある交流の場を創出します。

被爆 100 周年を見据えて

広島市が被爆 100 周年を迎える 2045 年までに、
新たな基町住宅地区像が完成するよう計画しました

短期 広島市のまちづくり先導事業として、地域再生計画「基町住宅地区再生計画」との連動も念頭に活動。基町住宅地区が戦後復興を考える重要な地区であることを、イベントや広報活動を通してアピールします。近隣の学校や大学、地域の人との繋がりの構築や活動場所の整備など、今後の活動を見据えた素地づくりや、地域住民の人材育成を行います。

中期 2020 年東京五輪開催に際し、国内外に新しい基町住宅地区をアピールするテーマでイベントや活動を行います。修学旅行生や、クリエイターの滞在制作などで地区内の交流を活発化します。地域住民が主役となる事業展開を進めます。

長期 広島市被爆 100 周年（2045 年）までに、広島市が掲げる「国際平和文化都市」を感じられる場として基町住宅地区を位置づけます。復興の歴史を継承し続ける仕組みづくりや、施設の整備を行います。かつて基町プロジェクトに関わった子どもたちや、若手クリエイターが国内外で活躍、基町が若者の集うまちとなり、まちの活性化につながることを目指します。商店街を中心に若者が仕事として創造的な活動を行い、収益を得ることの出来る場をつくります。

沿革

2011（平成23）年度 基町住宅地区の活性化について検討が始まる

2013（平成25）年度 基町住宅地区活性化計画策定

広島市立大学芸術学部教員基町視察

プロジェクトの具体的検討が始まる

2014（平成26）年度 プロジェクト開始

活動拠点 M98 開設

広島市まちづくり先導事業の1つになる

2015（平成27）年度 プロジェクト基本コンセプト策定

モトマチ・アートウィンドウ利用開始

2016（平成28）年度 活動拠点 M98<make> 開設

活動拠点 M98<eat> 開設

基町中央商店会イベントスペース利用開始

2017（平成29）年度 活動拠点 M98<join> 開設





3 活動記録

Documents of programs

活動拠点「M98」の設営

Making project room "M98"



基町プロジェクトの活動拠点「M98」は、基町ショッピングセンターから少し外れた場所にある、人通りもまばらな、長年続いている商店や事務所が並ぶ市営アパート 17 号棟の一角にあります。施工前の空き店舗空間内部は、床のコンクリートの凹凸やひび割れがひ

どく、配管もむき出しの状態でした。私たちが活動拠点をデザインするにあたり考えたのは、周りに並ぶ商店や事務所とは異なる印象のものにすることと、地域に開かれた場をつくりたいということでした。また、作品の制作、展示、ミーティングスペース、憩いの場



改装前の空き店舗

などができる空間にしたいという思いもありました。そのため、全体的には白を基調とし、床は無垢のフローリングにすることで、床に直接座ったり、創作活動ができたりする汎用性の高い空間をデザインしました。さらに M98 の入口を全面ガラス製のスライドドアに

し、外から中の様子がよく見えるようにしました。このことにより、地域の人が気軽に出入りしやすい雰囲気をつくりました。





実施期間：2014年1月～5月

参加者：広島市立大学学生（2名）

3月3日 工事開始

4月12日 壁の塗装・床のワックスがけ

5月5日 完成

活動拠点「M98」開所式

The opening ceremony for project room “M98”



基町プロジェクト活動拠点「M98」の開所式を行いました。式典には基町プロジェクトの代表者として、広島市中区区長、広島市立大学芸術学部部長らが、地域住民の代表者として基町地区社会福祉協議会会长、基町地区連合自治会会长らが出席しました。地区内外の一般参加者も集う中、区長らの挨拶の後テープカットが行われ M98 がオープンしました。

M98 の室内には、開所式のために用意されたプロジェクトの説明ボードや施工記録の写真、基町住宅地区の過去と現在の写真などが展示されており、来場者の方々は熱心にご覧になっていました。開所式の様子を取材するためにマスコミ関係の方も多くいらっしゃり、地区外からも基町プロジェクトに対する関心と期待が高いことがうかがえました。

開所式終了後には、基町高層アパートの屋上見学会を実施しました。普段は一部の地域住民しか立ち入れない場所とあって、約 30 名の参加がありました。多くの方が驚いていたのは、この屋上が単なるフリースペースとしてあるのではなく、建築空間として設計された場であるということでした。例えば狭い空間がしばらく続くと、その後には一気に大きく広がるスペースが現れたり、こどもでも景色が楽しめるように壁には窓が転々と開けられていたりします。また現在でも地域住民により花壇が手入れされており、屋上がこの街の一部になっていることにも関心が寄せられました。参加者の方からは、様々な屋上の活用方法が提案されるなど、見学会を超えて今後の基町プロジェクトについての意見交換会の場になりました。



開催日：2014年5月10日（土）

会場：M98

参加者：広島市立大学：芸術学部部長、副学長、事務局局長ほか
広島市中区役所：区長、副区長、地域起こし推進課課

長、地域起こし推進課職員（4名）ほか

関係団体：基町地区社会福祉協議会会長、基町地区連合自治会会长ほか

参加人数：約50名

「もとまちカフェ」をつくる

Making "Motomachi Cafe"



もとまちカフェは広島修道大学のひろみらプロジェクトと、基町プロジェクトが連携して取り組むもので、両校の学生を中心に企画運営を行います。ひろみらプロジェクトとは、2013年度より、文科省の地（知）の拠点整備事業として広島修道大学が展開する「イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト（ひろみらプロジェクト）」のことです。“地域イノベーション人材”を輩出し、地域の活性化につながる持続的な仕組みを創っていくことを目指す取組です。広島市立大学と広島修道大学は大変近い場所に立地しており、また、ひろみらプロジェクトと基町プロジェクトの活動の方向性が共通していることから、基町住宅地区を舞台に、連携した取組を行うことになりました。

この取組に興味を持った広島市立大学の学生が、2014年10月に広島修道大学のひろみらプロジェクトの学生に向けて参加者を集めるためのプレゼンテーションを行いました。基町住宅地区の歴史や街の魅力などを写真を織り交ぜながらの説明に、皆さん熱心に耳を傾けていました。その後質疑応答なども含めたざっくばらんな意見交換を行い、最終的に広島修道大学から約10名の学生の参加が決まりました。その後、基町住宅地区の観察や週に一度の定期的なミーティングを重ねていきました。はじめの頃には、ひろみらプロジェクトの学生の提案により「ワールドカフェ」と呼ばれる手法を用いたミーティングが行われました。これは、大きな紙を参加者で囲み、話し合いのテーマに関するキーワードや意見を、思い思いに



書き込み、可視化することで、互いの意見の繋がりを見い出し、全体の意見としてまとめあげていくものです。広島市立大学の学生は初めての経験だったため戸惑いも見られましたが、回を重ねるごとに慣れていった様子でした。このようなミーティングを繰り返すうちに、カフェを開くことで、基町住宅地区の人々が分け隔てなく集える場づくりを行いたいという意見にまとまり「もとまちカフェ」が本格的に始動しました。結果としてこの取組は2015年8月に実施した第一回もとまちカフェを皮切りに、基町プロジェクトの学生主体の取組として継続、発展していくこととなりました。

実施期間：2014年10月～

参加者：広島市立大学学生・教員、広島修道大学学生・教員

M トーク

M talk

M トークは、地域住民や専門家を招いて、基町住宅地区や基町プロジェクトについて参加者と話し合ったり、レクチャーを行うプログラムです。不定期で開催しており、参加者はプロジェクトスタッフのみの場合から、数十人の場合まで様々です。M トークを通じ

て、参加者の基町住宅地区や基町プロジェクトに関する知識向上を図り、基町住宅地区活性化のための人材育成を目指しています。回を重ねるごとにプロジェクトスタッフと地域住民ら参加者との繋がりも広がっていき、相互理解を深める場としても機能しています。



M トーク vol.1

M トーク vol.1

開催日：2014 年 4 月 19 日（土）

開催場所：M98

ゲスト：基町地区社会福祉協議会会長 德弘親利、基町地区連合自治会会长 濑戸口寿一

参加人数：6 名

徳弘親利会長と瀬戸口寿一会長から、基町住宅地区的歴史や行事、2013 年に NHK 広島放送局が制作したドキュメンタリードラマ「基町アパート」についての撮影エピソードなどを伺いました。お二人は基町住宅地区をより良くするために地域住民と行政との橋渡し役として熱心に活動されています。



M トーク vol.2

M トーク vol.2

開催日：2014 年 4 月 26 日（土）

開催場所：広島市立基町小学校

ゲスト：広島市立基町小学校校長 二宮孝司

参加人数：5 名

二宮孝司校長から、教育の視点で基町住宅地に関するお話を伺いました。基町小学校には様々な国籍のこどもが通っているため、多文化共生を目指し言葉の壁が学習の妨げにならないように工夫されています。



M トーク vol.3

M トーク vol.3

開催日：2014年5月17日（土）

開催場所：M98

ゲスト：広島大学学生

参加人数：5名

NHK ドラマ「基町アパート」で使用された基町アパートの建築模型を制作した広島大学の学生から、建築や都市計画の観点から様々な話を伺いました。



M トーク vol.4

M トーク vol.5

開催日：2014年5月23日（金）

開催場所：M98

ゲスト：岡本芳枝

参加人数：3名

長年広島で現代美術のキュレーションをされている岡本芳枝氏をお招きし、アートの視点から見た広島や基町住宅地区の話を伺いました。

M トーク vol.4

開催日：2014年5月22日（木）

開催場所：M98

ゲスト：アーキウォーク広島代表 高田真、副代表 高田由美

参加人数：8名

高田真代表と高田由美副代表をお招きし、基町プロジェクトの活動の参考になりそうな様々な事例を教えていただきました。アーキウォーク広島は、広島市内をフィールドに建築公開イベントやガイドブックの発行などの活動によって、まちの活性化を目指している市民組織であり、その活動の一環として基町高層アパートの建築見学会も開いています。

M トーク vol.6

開催日：2014年5月29日（木）

開催場所：M98

ゲスト：作家 佐々木俊輔

参加人数：3名

佐々木俊輔氏から基町プロジェクトの取材を受けました。佐々木氏はご自身の仕事として、基町をテーマとした書籍を執筆されており、プロジェクトスタッフの知らない、地域住民の方々の生の声を聞かせていただきました。



M トーク vol.6



M トーク vol.8

M トーク vol.7

開催日：2014年6月19日（木）

開催場所：広島大学

ゲスト：広島大学大学院工学研究科建築学専攻建築計画学講座教授 平野吉信

参加人数：3名

平野吉信教授から基町住宅地区のお話を伺いました。平野先生の研究室では、安全・便利・快適な建築物や都市環境を作るための企画・設計・マネジメントの方法を開発、提案を行っており、「基町住宅地区活性化計画」の作成メンバーの一人でもありました。そのため、基町住宅地区が抱える問題について建築的観点から、計画についての詳しい説明を聞くことができました。

M トーク vol.8

開催日：2014年6月21日（土）

開催場所：基町地区内喫茶店

ゲスト：中消防署基町出張所所長 池田秋治

参加人数：3名

池田秋治所長から基町住宅地区の話を伺いました。池田所長は勤務地である基町住宅地区を非常に愛しておられ、地域住民の方に歌って欲しいと自分で作曲した歌をつくれるなど、精力的に活動されていらっしゃいます。基町プロジェクトはアートやデザインを活用することで基町住宅地区の活性化を目指す取組ですが、音楽も世代や文化の違いを越えていけるものとして大きな可能性を感じました。



M トーク vol.9



M トーク vol.9

開催日：2014年8月3日（日）

開催場所：基町中央集会所

ゲスト：NHK 広島放送局 大橋守、女優 生越千晴

参加者：地域住民、一般市民、広島市立大学学生・教員、
中区役所職員ほか

参加人数：約30名

2013年にNHK広島放送局が制作したドキュメンタリードラマ「基町アパート」の上映会を基町中央集会所で行いました。中国語字幕つきの映像を上映したこともあり、ドラマに出演されている残留孤児の方も来場されました。

上映後には、ドラマを制作した大橋守氏と、大橋氏が2014年夏に制作されたドラマ「かたりべさん」で主

演を務めた生越千晴氏によるトークイベントを行いました。大橋氏からは「基町や広島が抱える問題は全国的に共通するものであり、それをドラマを通して伝えたい」という言葉があり、生越氏は「アートやデザイン、音楽などを通して過去の出来事を若い世代が伝えていく方法を考えていくことが重要。」と語られ、真面目な話から笑い話までありの、楽しいひとときを参加者の方と過ごすことができました。



M トーク vol.10

M トーク vol.10

開催日：2014年8月5日（火）

開催場所：M98

ゲスト：広島修道大学講師 木原一郎、美術家 福田恵

参加人数：4名

広島修道大学で地域コミュニケーションを研究されている木原一郎先生と、ドイツで現代美術作家として活躍されている福田恵氏をお招きしました。木原先生からは、「ひろみらプロジェクト」と「北九州まなびとESDステーション」を紹介していただきました。「ひろみらプロジェクト」は木原先生も関わっておられる取組で、広島の未来を創造することを目的として様々なプログラムがあり非常に充実しています。また、「北九州まなびとESDステーション」は北九州の全10大

学と地域社会が連携し、まちなかでさまざまな講座を開催したり、大学生がまちの人と共に地域の課題を解決するなかで、実践を通してまちづくりを考える場となっているそうです。

福田氏からはドイツでの作家活動の経験から、広島にアーティストインレジデンスを作るべきだと意見がありました。基町住宅地区は市内にも近く歴史ある街なので、短期的に住居や制作スペースなどが提供できれば、国内外から希望者は多く集まるのではないかと提案がありました。



M トーク vol.11

M トーク vol.11

開催日：2014年8月12日（火）

開催場所：M98

ゲスト：アーキウォーク広島代表 高田真

参加人数：約30名

高田真代表をお招きし、建築や都市の視点から基町住宅地区に関するレクチャーを行っていただきました。前半はスライドを使ったレクチャー、後半は基町住宅地区を実際に巡る見学会でした。レクチャーでは、西洋と日本の建築の歴史と特徴の解説や、モダニズム建築のパイオニアであるル・コルビュジエについて説明がありました。コルビュジエが提唱した近代建築5原則である1.ピロティ 2.屋上庭園 3.自由な平面 4.自由な立面 5.水面連続窓の中で、基町高層アパートを

設計した大高正人は、1と2に関してかなりの情熱をもって取組んでいたそうです。大高正人が、基町住宅地区で、人々が暮らすコミュニティーをつくることを目指していたことがわかるエピソードです。

後半の基町住宅地区的見学では、集会所、屋上庭園、基町小学校をまわりました。屋上と基町小学校は独特的迷路のような構造が似ており、大高正人が一貫性を持ってデザインしていたと感じました。

基町マップ制作参加

Join in making Motomachi map



広島大学建築プログラムの学生と地域住民が主体となり、広島市役所職員の協力のもと、基町高層アパートの屋上の魅力や今後の活用方法案を紹介する基町マップを制作しました。プロジェクトスタッフも参加し、主にデザイン面で協力をしました。制作にあたり実施されたフィールドワークや、月に一度の定例会に参加するなかで、基町住宅地区の建築的な魅力や特殊性について深く理解する機会となりました。約 1 年をかけて完成した基町マップは、基町住宅地区をはじめ、広島市各所で配布されました。



実施期間：2014 年 5 月～ 2015 年 3 月

開催場所：基町住宅地区

参加者：広島大学学生（5 名）、地域住民（5 名）、
広島市役所職員（3 名）

会／議／体

Kai / Gi / Tai



劇作家の岸井大輔氏を講師にお招きし、岸井氏が各地で行ってきた「会／議／体」を実施しました。「会／議／体」とは、参加者それぞれが抱える悩みや問題に対して他の参加者が解決案を提示し、それらを組み合わせることで問題解決を図る体験型の演劇です。

今回の「会／議／体」では、問題に対しての解決案が、普通では考えられないとんでもない方向にいった

りして、問題を提示した本人だけでなく、解決案を出した人もまさかと驚くような劇的なものがあり、とても盛り上りました。「会／議／体」は、参加者全員が主体性を持って発言をする状況がつくりだされることで、実効性をもった会議ができるということが体験できました。

開催日：2014年7月26日（土）

開催場所：M98

参加者：地域住民、一般市民、広島市立大学学生、広島市立大学教員ほか

参加人数：14名

ガタロさんライブペイント

Live painting by Gataro



開催日：2014 年 8 月 1 日（金）

開催場所：基町ショッピングセンター中央広場

参加者：地域住民、一般市民、広島市立大学学生ほか

参加人数：約 20 名

基町ショッピングセンターの清掃員として働きながら、画家としても活躍されるガタロさんのライブペイントを実施しました。題材として、2014 年 8 月 4 日に実施したドキュメンタリードラマ「基町アパート」の上映会とトークイベントの告知看板を描いてもらいました。普段は気さくで物腰の柔らかいガタロさんですが、絵を描き始めた途端、目つきや口調が強くなり、自身の制作に対する姿勢を熱く語ってくださいました。その中でも強調されたのは「アートとは生きることそのもの」というメッセージでした。参加者は普段見る機会の少ない作品制作の現場に立ち会うことで、今後、基町プロジェクトが実施する創作活動を軸にした取組のイメージが共有できる機会となりました。

MAYA MAXX さんライブペイント

Live painting by MAYA MAXX



全国的に活躍している画家 MAYA MAXX さんは、2006 年より毎年 8 月 6 日にあわせて広島市内各所でライブペイントを実施しています。これまで主にこどもたちが集う場を会場に選んでいましたが、より広い層にメッセージを届けたいとの思いから、2014 年は基町住宅地区を舞台に選ばれました。このライブペイントにおいて、基町プロジェクトは協力という立場で地域住民との調整や会場準備などのサポートを行いました。当日は幅 10 メートルのキャンバスが用意され、多くの参加者が見守る中、約 1 時間 30 分で作品が完成しました。

開催日：2014 年 8 月 6 日（水）

開催場所：基町ショッピングセンター入口

参加者：地域住民、一般市民ほか

参加人数：約 70 名

主催：NPO 法人アートプラットホーム G

関東視察／関東視察報告会

An inspection tour in Kanto / Report of an inspection tour in Kanto

基町プロジェクトの進め方を考える参考として、アート等による地域連携活動の先進事例を視察し、関係者らと意見交換を行いました。



アーツ千代田 3331

旧練成中学校を利用して誕生したアートセンターです。館内はフロアごとにカフェ（1階）アートギャラリー（2階）、オフィス（3階）などが入居しています。東京だけでなく、日本各地や東アジアをはじめとする「新しいアートの拠点」を目指す一方、区民の方々をはじめ人々の憩いの場にもなっています。



BUKATSUDO

横浜市が推進する文化芸術創造都市施策を具体化する取組の一つです。みなとみらいのオフィスワーカーや居住者、来街者等の市民が肩書きをはずして集い、日常を豊かにする趣味の活動や、街を豊かに変える活動（＝部活）を行う場となります。一人一人が興味のあることを行うことが、まち全体の活性化に繋がるという発想に刺激を受けました。

関東視察

視察日：2014年8月25日（月）～27日（水）

視察事例：取手井野団地（茨城県取手市）、芝の家（東京都港区）、アーツ千代田3331（東京都千代田区）、HAGISO（東京都台東区）、NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター（神奈川県横浜市）、BUKATSUDO（神奈川県横浜市）

視察者：プロジェクトスタッフ（2名）



HAGISO

2004年より東京芸術大学の学生によってシェアハウス及びアトリエとして使われてきた築50年の木造アパート「萩荘」をリノベーションし、地域文化に貢献する施設として再利用しています。行政が関わることなくその場所に愛着を持った人たちが自主的に活動を行っているそうです。基町住宅地の空き店舗でもこのような取組が生まれる土壤づくりが必要と感じました。



取手井野団地

市民と取手市、東京藝術大学が共同で行っている「取手アートプロジェクト（=TAP）」の取組の一つ。取手井野団地（2000戸）では、空き部屋の一室をホテル化し、地域住民がホテルマンとして、外から宿泊客を迎える取組が年に数回行われています。宿泊客として井野団地の魅力に気づいた人がその後実際に移り住んでくるという事例もあるそうです。



NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンター

かつては売春宿等の違法な小規模店舗が立ち並ぶ街でしたが、平成 15 年以降、新しい街の参加者となるアーティスト、ショップ経営者の誘致と、地域の方々、警察、行政、企業、大学等と連携しながら、「黄金町バザー

ル」の開催と、日常的なまちづくり活動を総合的に推進しています。視察時も「黄金町バザール」に大勢の来場者があり、目覚ましい成果を上げていました。



芝の家

慶應義塾大学と港区芝地区総合支所が協働で運営する、芝地区地域事業「芝の地域力再発見事業」の拠点です。現代社会で見失いがちな、暮らしのあたたかさを育んでいくため、子ども、大人、お年寄りと共にまちを

考えつくることのできる場を提供しています。訪問時にも学校帰りの小学生達が遊びに来ており、ここに来ると色々な人と会えるのが楽しいと話していました。



関東視察報告会

プロジェクトスタッフ 2 名が視察した、関東視察旅行の報告会を、基町中央集会所で行いました。視察した取り組み事例を「集まる」「つながる」「発信する」の三つに分類し、①基町プロジェクトの紹介、②関東視察報告、③今後の取り組みについて紹介しました。報告後、参加者からの質問等に応じ、意見交換も行い、アートやデザインによるまちづくりのイメージを参加者と共有することができました。

開催日：2014 年 9 月 13 日（土）

開催場所：基町中央集会所

参加者：地域住民、一般市民、広島市立大学教職員、広島市立大学学生、中区役所職員

参加人数：約 20 名

未来の基町模型作り「もとまち 2.0」

Making models of the future Motomachi "Motomachi 2.0"



基町住宅地区がより良くなるためのアイディアを考え、模型化するプログラムを実施しました。このプログラムには、主に基町プロジェクトの活動をサポートしてくれる学生グループ「もとまち隊」が参加してくれました。約 2 週間の制作期間を経て、基町住宅地区が子供からお年寄りまで住みやすく、一般市民も訪れやすい場所へと生まれ変わる、様々なアイディアの模型が 17 個が完成しました。完成した模型は広島市中央公民館、広島市中区役所、新地ギャラリーにて展示しました。

開催日：2014 年 9 月 2 日（火）～ 16 日（火）

開催場所：M98

参加者：広島市立大学学生

参加人数：約 20 名



1. 各階に共有空間をつくる案

基町高層アパートの各フロアに住民の共有エリアを一定の間隔で作る案です。それぞれのフロアの人が集いコミュニケーションが図れる場をつくります。ガラス張りで外からも見えるようになっています。

(茶色い縦のストライプは基町アパートの外壁の色を再現したものです。)



2. アパート屋上利用整理案

現在、基町高層アパート屋上は地域住民の方が花などを育てていますが、個人個人がそれぞれの場所で栽培しているため、あまり交流の場とはなっていません。この案では花ゾーン（ピンク）、野菜ゾーン（みどり）を交互に配置し、真ん中に日陰のスペース（黄色）を設置することで、様々な屋上利用者が自然に集える場を提案します。



3. アパート屋上ウッドデッキ案

基町高層アパート屋上は落下防止のため 1.5m 程度の高いコンクリートの壁に囲われています。そのため背の高い人でないと下に広がる景色を楽しみながら歩くことが出来ません。この案は通路の真ん中に階段上のウッドデッキを設置することで、座っていても屋上からの眺めが楽しめるというものです。このデッキは左右の壁に接してないため、落下の心配もありません。



4. バルコニーの底面彩色案

基町住宅地区の西側に位置する太田川沿いは、朝夕の散歩やランニングを楽しむ人で賑わっています。川沿いから見える基町高層アパートのバルコニー底面に色を塗る案です。そうすることで遠くから見ると従来通りの白い壁ですが、近づいて見上げると底面の色が見えるようになります。人と建物との距離が変化するにつれ、その見え方が変わる案です。



5. ピロティーの半地下駐車場案

基町高層アパートはモダニズム建築の特徴であるピロティーがつくられていますが、現在は駐車場となっていますためピロティーの特徴的効果である開放的な抜けの空間が損なわれています。そこでピロティー部分の地面を1m程度掘り下げ半地下構造とし、そこを駐車スペースとする案です。



6. 立体駐車場案

基町高層アパートのピロティーは、現在駐車場として使われているため、開放的な空間となっていません。この案では住宅のコア別に立体駐車場を設け、そこに車を止めることにより、視界を遮るものが無い開放的なピロティーをつくることを可能にしています。駐車場階と住宅階が一体化しているため、駐車してすぐ自宅に帰ることも可能です。



7. 人工地盤を丘にする案

基町ショッピングセンター屋上的人工地盤は公園として設計されていますが、登るための階段やスロープの場所がわかりづらく、基町住宅地区をよく知らない人にとっては利用が難しくなっています。この案は、既存の人工地盤(黄緑)にあらたに広範囲に芝の段差(緑)を加えることで利用の便を良くし、気軽に立ち入れる場所を目指します。



8. 人工地盤除去案

この案は、商店街の上にある人工地盤部分を取り外し、代わりに薄い白い屋根を高い位置に取り付ける案です。こうすることで光と風の通りが良くなり、開放的な憩いのスペースとなります。各店舗の屋根はなくなり、少し離れた上空に共通の大きな屋根がかかることになります。



9. シャッター黒板化案

この案は、基町ショッピングセンターの壁やシャッターに黒板用の塗料を塗り、子供や商店街を訪れた人が街に絵を描くことが出来るようにする案です。黒板用の塗料も最近では深緑色だけでなく様々な色が販売されているので、パステル調の黒板をつくることも可能です。壁の様子が日々変化する面白さがあります。



10. 人工地盤に多目的ポール設置案

基町ショッピングセンター屋上的人工地盤に、数メートル間隔で旗を掲揚するポールのようなものを設置し、それと布を組み合わせることで、目的に応じて様々な場を変化させることができるようになります。使用しないポールは釣り竿のように折りたたみ、地面にしまっておくことができる仕組みで、未使用時には邪魔になりません。



11. 学生 300 人による農園案

この案は、基町高層アパートに学生が 300 人程度居住できるようになった時を想定しています。人工地盤で野菜と花を育てられる農園スペースをつくり、そこで地域住民が育てた野菜を、学生が収穫しショッピングセンターの既存の店舗で販売する案です。また学生が、農園スペースで育てた花を販売したり、野菜を使ったカフェを運営することも想定しています。



12. ショッピングセンター減築案

基町ショッピングセンターは現在 4 つの扇型で構成されていますが、そのうち 2 つを除去し、その跡地を芝生化する案です。川辺と中央公園からのアクセスと見通しを良くし、商店の入口がアーケードに隠れないためショッピングセンター全体が明るくなり、出入りしやすくなります。



13. 基町と横川をつなぐ橋をつくる案

太田川の中央に中州のような島をつくり、そこを経由するかたちで基町住宅地区から横川方面を結ぶ歩行者や自転車専用の歩道橋をつくる案です。島には、カフェや芝生の憩いの場所を設け、更に遊覧船が停まるようにして、広島市民に限らず観光客も訪れるスポットをつくり出すことを目指します。



14. 県営住宅跡地ボートパーク案

県営住宅跡地に残る道路部分を掘りさげ、そこに太田川の水を引き込み、ボートやカヤックなどが陸にアクセスしやすい流れをつくる案です。それぞれの島には倉庫が設置されています。広島市内の高校、大学の部活動での活用や、夏場にはレジャー施設としてもにぎわう場になります。



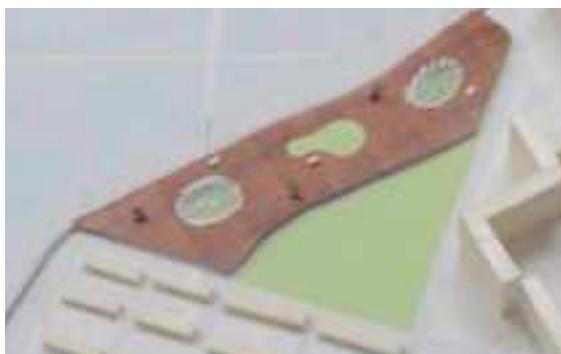
15. 県営住宅跡地スポーツパーク案

県営住宅跡地に、子どもの遊び場やグランドゴルフ場、フットサル場、テニス場、陸上トラック、芝広場をエリア別に配置した複合スポーツ施設をつくる案です。子どもから大人、高齢者までの幅広い利用者が期待できます。中央公園との差別化として、ある程度の設備がないと行えないスポーツを選定しました。



16. 県営住宅跡地観光農園案

県営住宅跡地に畑エリア（緑）と、調理や飲食が出来る交流のエリア（黄色）を設ける案です。つくった野菜は、交流の場を利用する人たちがお金を払って自分たちで収穫し、それをバーベキューなどで調理して食べることが可能です。地域住民と、一般市民との交流が野菜を通して生まれる場です。



17. 川沿いのウッドデッキ案

県営住宅跡地の土手沿いに広々としたウッドデッキを設け、その下の空きスペースは市街地を訪れる人や川辺のランナーが車を止められる駐車場に利用する案です。ウッドデッキにはアスレチックネット、カフェ、ベンチなどが併設され、様々な目的人が集う場となります。









「もとまち 2.0」展示 1

開催日：2014 年 10 月 18 日（土）～11 月 2 日（日）

開催場所：広島市中央公民館 3 階ロビー

観覧者：主に地域住民



広島市中央公民館 3 階ロビーに、「もとまち 2.0」で完成した模型を全 17 点展示しました。広島市中央公民館は基町住宅地区のそばに立地しているため、多くの地域住民が日々利用している場所です。展示場所はエレベーターの出入り口付近の利用者の多い場所を使用したため、多くの地域住民に見ていただくことができました。お年寄りと小学生が一緒に模型を覗き込み会話をしている場面もあり、世代を超えて楽しんでい

ただける展示となりました。同時に実施したアンケートでは、川辺の活用を目指した案に多くの票が集まっており、県営住宅跡地の利用問題に対する関心の高さがうかがえました。



「もとまち 2.0」展示 2

開催日：2014 年 11 月 14 日（金）～ 11 月 25 日（火）

開催場所：広島市中区役所 1 階ロビー

観覧者：主に広島市中区民

「もとまち 2.0」模型展示の第 2 弾として、広島市中区役所 1 階ロビーに 17 点の模型を展示しました。1 階ロビーということもあり、手続きを待つ多くの来所者に見ていただくことができ、さらに市役所職員の方に基町プロジェクトを知ってもらうきっかけにもなりました。模型を通して基町高層アパートを中心としたまちづくりの魅力を知ることができたとの声もあり、基町住宅地区を散策してみたいという方もいらっしゃいました。

いました。同時に実施したアンケートでは、川辺やショッピングセンター屋上の活用を目指した案に多くの票が集まっており、基町住宅地区が一般市民にも開放された公共の場としての機能強化を求められていることが見てきました。



「もとまち 2.0」展示 3

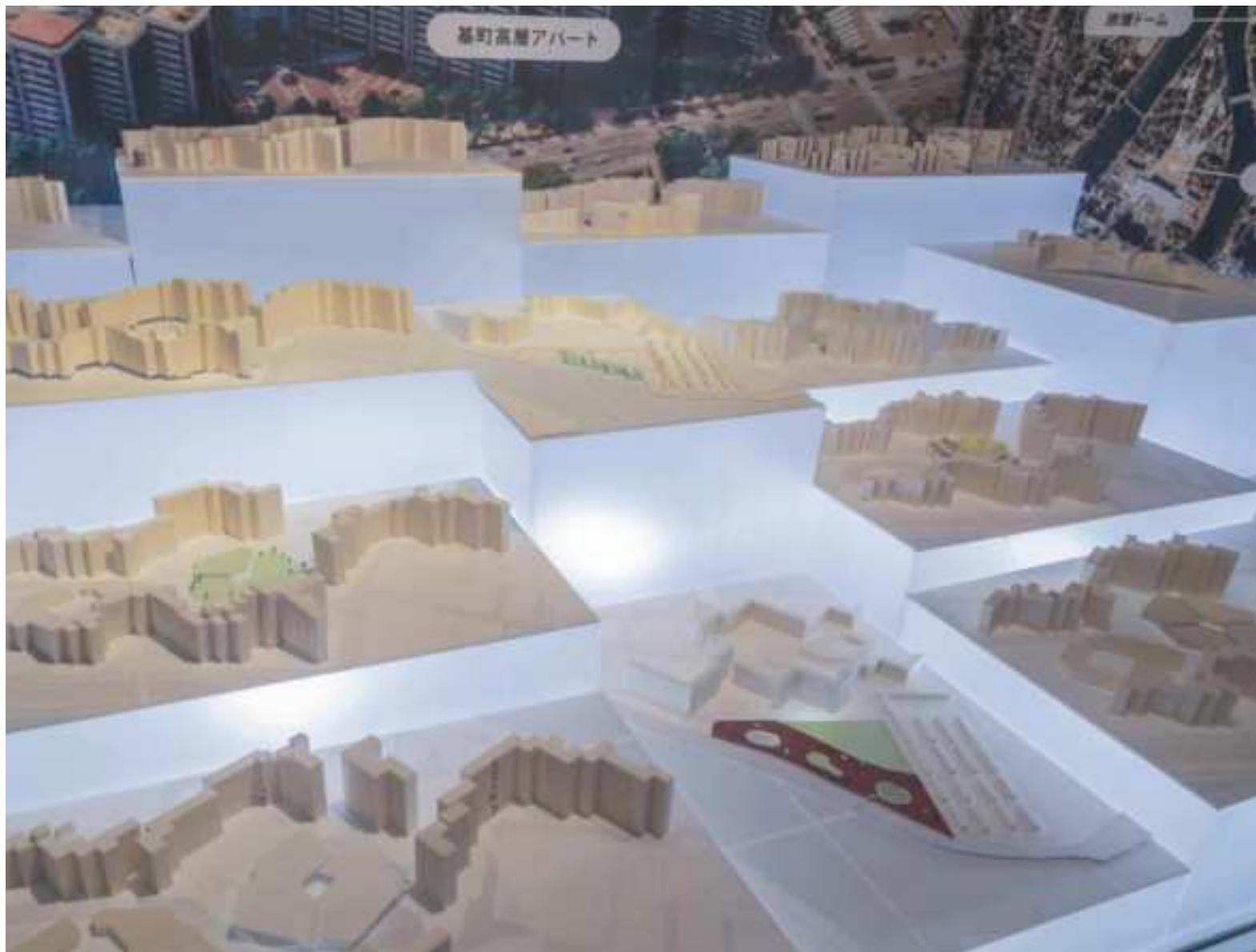
開催日：2014年12月14日（日）～2015年1月30日（金）

開催場所：新地ギャラリー 1,2,3（中区堀川町内に3カ所点在）

観覧者：主に広島市民

広島市中央公民館、広島市中区役所での展示に続き、第三弾として広島市流川にある新地ギャラリーにて模型17点を展示しました。新地ギャラリーはもともと店舗のショッピングウィンドウだった場所を活用したギャラリーで、全3カ所で構成されています。ショーウィンドウのため24時間、通りすがりの方が気軽に覗くことができます。流川は飲食店街で夜に賑わいを見せる場所のため、メイン会場のギャラリー1では、

模型を光らせて展示を行いました。またギャラリー2ではM98を再現した展示を、ギャラリー3ではこれまでの活動を紹介する写真を展示しました。仕事終わりのサラリーマンが多く立ち寄ってくださり、基町ショッピングセンターの空き店舗にスタートアップの会社のオフィスが入るなど、経済活動の場所としての活用も良いのではないかといった意見もありました。



新地ギャラリー2





M98
START!

もとまち 2.0」展示①②来場者シールアンケート

良いと思った案に世代別にシールを貼っていただきました。



10代



20・30代



40・50代



60代以上



1. 各階に共有空間を作る案



2. アパート屋上利用整理案



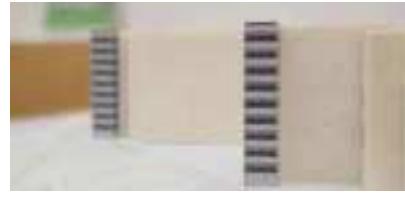
3. アパート屋上ウッドデッキ案



4. バルコニーの底面彩色案



5. ピロティーの半地下駐車場案



6. 立体駐車場案



7. 人工地盤を丘にする案



8. 人工地盤除去案





9. シャッター黒板化案



10. 人工地盤に多目的ポール設置案



11. 学生 300 人による農園案



12. ショッピングセンター減築案



13. 基町と横川をつなぐ橋をつくる案



14. 県営住宅跡地ボートパーク案



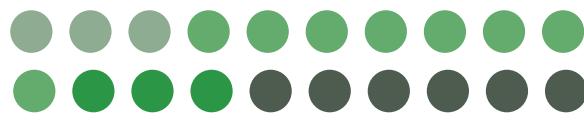
15. 県営住宅跡地スポーツパーク案



16. 県営住宅跡地観光農園案



17. 川沿いのウッドデッキ案





「京都芸術センター」訪問 Kyoto Art Center visit



「京都芸術センター」は廃校となった小学校を活用した、文化芸術活動を行うスペースです。この観察では公開ディスカッション「アーティスト・イン・レジデンスの実践と評価」に参加しました。ResArtis という世界最大の AIR(アーティスト・イン・レジデンス)ネットワーク団体の会長を務めるトーカー＝マリオ・カロさんは、「日本ではまだ AIR のネットワークが構築できていないが、ネットワーク化することで、アーティストが希望に沿った AIR のプログラムの情報を探しやすくなったり、規模が小さくても多くの人の目に止まるような利点がある。同時に AIR を主催する側の情報共有や交換の場にもなる。」と話されていました。



観察日：2015年1月31日（土）
観察場所：京都芸術センター（京都府京都市中京区）
観察者：プロジェクトスタッフ（1名）

もとまち映画上映会『ミリキタニの猫』

Motomachi screening party "THE CATS OF MIRIKITANI"



夏休みにこどもからお年寄りまで集えるイベントとして、「もとまち映画上映会」を開催しました。上映したのは、ニューヨークで路上生活をしながら絵を描いているジミー・ミリキタニさんのドキュメンタリー映画「ミリキタニの猫」です。映画はアメリカ同時多発テロ（9.11）が発生した直後の様子から始まりますが、中盤に進むにつれミリキタニさんが太平洋戦争を経験した日系アメリカ人であること、さらには広島出身で

あるなどの半生が明らかになり、来場者も引き込まれていった様子でした。上映終了後、ご年配の来場者の方から、ミリキタニさんの物語を通して、太平洋戦争を日本とアメリカ双方の視点で考えるきっかけになったとの感想がありました。基町住宅地区が目指す多文化共生を実現することにも繋がっていく上映会となりました。

開催日：2014 年 8 月 24 日（日）

開催場所：基町中央集会所

参加者：地域住民、広島市立大学学生、広島市立大学教職員、広島市中区役所職員ほか

参加人数：約 40 名

ワークショップ「もとまちレインボーロードをつくろう！」 Workshop “Let's make a Rainbow Road!”



開催日：2014 年 8 月 23 日（土）

開催場所：広島市立基町小学校体育館

参加者：広島市立基町小学校児童、地域住民、広島市立大学学生、広島市立大学教職員、広島市中区役所職員ほか

参加人数：約 110 名

かつては基町住宅地区の賑わいの中心地として栄えた基町ショッピングセンターですが、現在は人通りもまばらで閑散としています。基町プロジェクトの目標の一つである商店街のにぎわいの創出を実現するにあたり、まずは地域住民が基町ショッピングセンターに愛着を持ち、身近な場所になるようにこのワークショップを実施しました。その内容は、基町ショッピングセンターの天窓をステンドグラス調にすることで、色とりどりの光溢れる通りをつくろうというものです。十字に交わる基町ショッピングセンターの通路中央から外に向けて、虹色のグラデーションになることを目指しました。基町小学校の協力のもと、基町住宅地区に住むこども達やその保護者の方、小学校の先生方などが多く参加してくださいました。当日は基町小学校の体育館で、幅 1m、高さ 2m の透明なフィルムにカラーセロハンを好きな形に切ったり組み合わせたりして、思い思いの図柄を表現していきました。それぞれがつくったシートが最終的に虹のグラデーションの一部になるようにするために、赤、黄、緑、青の四つのチームに分かれて制作を行いました。表現のテーマや手法については自由としたため、色の構成を意識した抽象的なものから夏休みの思い出や将来の夢など具体的なイメージを表現したものまで、多種多様な作品が完成しました。ワークショップ終了後、完成したフィルムは、大学生が虹色のグラデーションに見えるよう確認しながら、一点一点天窓に貼り付けていきました。作品は約 1 ヶ月間設置され、ショッピングセンターを訪れる方々に楽しんでいただきました。参加したこども達が、自分の作品を探し回ったり、保護者の方が写真を撮る姿も見られました。非日常的な要素が加わったことで、見慣れた基町ショッピングセンターを新鮮な目で見つめ直すきっかけづくりになりました。





基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会、 基町地区敬老会、基町地区町民体育祭

Motomachi peace memorial ceremony,
Motomachi meeting to show respect for the aged, Motomachi sports day



基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会

開催日：2014 年 8 月 10 日（日）

開催場所：広島市立基町小学校体育館

参加者：地域住民ほか

参加人数：約 60 名

毎年 8 月 6 日の前後に執り行われています。本来であれば慰靈祭の後、盆踊り大会が行われますが、2014 年は台風の影響で中止となりました。慰靈祭では地域の各会長らが挨拶をした後、プロジェクトスタッフを含む参加者全員で献花をしました。プロジェクトスタッフは写真撮影も担当しました。

基町地区では、8 月に「基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会」、9 月に「基町地区敬老会」、10 月に「基町地区町民体育祭」を行っており、これらの行事を総称して「基町地区三大行事」と呼んでいます。三大行

事は、基町住宅地区に暮らす地域住民が多数参加し、行事を通して地域住民同士が絆を深め、暮らしやすい基町住宅地区をつくることを目指し実施されています。毎年、基町プロジェクトでは、地域行事に主にプ



基町地区敬老会

開催日：2014年9月15日（月）

開催場所：広島市立基町小学校体育館

参加者：地域住民、中区役所副区長ほか

参加人数：約400名

毎年、敬老の日に合わせて開催されています。中区役所副区長をはじめ列席者らの挨拶の後、日本舞踊やのど自慢大会、基町小学校の児童による基町ソーランやバイオリン演奏などが行われ、大変盛り上りました。プロジェクトスタッフは写真撮影を担当しました。



基町地区町民体育祭

開催日：2014年10月19日（日）

開催場所：広島市立基町小学校運動場

参加者：地域住民、中区役所区長など

参加人数：約1,000名

毎年、10月中旬に基町小学校運動場で開催されています。当日は天候にも恵まれ、多数の参加者が集まりました。各種目は高齢者でも楽しめるものが多く、工夫がみられました。プロジェクトスタッフは種目への参加と写真撮影を担当し、多くの地域住民と交流しました。

プロジェクトスタッフ2名が参加しています。行事当日のみならず、事前の打ち合わせ、準備、片付けなどにも参加することで、地域住民から信頼を得ることに繋がっています。当日は、行事への参加の傍ら一眼レフ

カメラで記録写真の撮影を行い、後日、基町地区社会福祉協議会を通じて希望者へ配布が行われました。これは広島市立大学芸術学部の専門性を活かした取組として、地域住民から大変好評です。

基町プロジェクト意見交換会 1, 2, 3

Information exchange sessions of Motomachi Project, No.1,2,3



基町プロジェクト意見交換会 1

開催日：2014年11月17日（月）

開催場所：M98

参加者：地域住民、広島市立大学教職員、広島修道大学教職員、広島市中区役所職員ほか

参加人数：約10名

平成27年度以降の基町プロジェクトの実施計画を策定するにあたり、地域住民とプロジェクト関係者で意見交換を行う場を設けました。第一回のテーマは、「今 の基町について感じている事」、「基町プロジェクトと M98について」とし、自由に意見を出し合いました。

「今の基町について感じていること」

- 外からは憩いの場がみえない。立体的に実はある。
- 高層過密？
- 公営住宅の入居基準では若年は入居できない。若者がいない。
- 担い手の不足、使命感。
- 若者が来る仕掛けがない。若手＝担い手。
- 外の人に来て欲しい！
- 立地がいい。でも活かされていない。
- 不思議な魅力を感じる。
- 地域の取組、あいさつ運動＋地域行事。人間関係をつくろう。
- 回想録。（どうして学校や病院 etc ができたか）
- 残していく使命感。
- 団結力は強い。
- 中央公園。地域の憩いの場。
- 重要な場。広島で一番！
- 居心地はよい。でも分断されている。
- どんどんアイデア、課題が発展するまち。
- 居住者同士の面識がなさそう。
- 閉鎖的なイメージ。
- 屋上を解放したら良い。
- 完成した時は、屋上の利用者がいた。
- 基町小学校をインターナショナルスクール化。
- 地域もバックアップ。

○ 色んな大学との連携。

- M98 → 交流の場の提供（空き店舗）

「基町プロジェクトと M98について」

- 地域行事への参加。
- 地域でバックアップ。
- 他分野、大学間交流の期待。
- アンケートの実施。
- M98 の設置は大成功。
- 地域活動に参加する若者。
- 若い人の行動が見える。
- 名前は知られている。
- 取り組みを進めて住民との距離をちぢめる。
- 基プロジェクトのアピール不足。
- 基プロジェクトの内容が伝わらない。
- お年寄り向けの広報。
- 中間報告が必要。自治会で報告。
- M98 に入りにくい。
- イベントに加えて長期的な仕組みづくり。若者が集まる。
- 若者とのつながり。
- イベントだけだと続かない。→拠点が重要。
- 授業にどのように反映しているのか。
- 試行錯誤。ゆっくりやっていく。



基町プロジェクト意見交換会 2

開催日：2014年11月28日（金）

開催場所：M98

参加者：地域住民、広島市立大学教職員、広島市中区役所職員ほか

参加人数：約10名

第二回のテーマは、「これから基町プロジェクトで行うこと」とし、プロジェクトスタッフが提示した平成27年度以降の取組の素案を元に、意見交換を行いました。参加者からは、「他大学との連携を密にする」、「活動を広くアピールする」ことが必要との意見が出ました。

「短期的に実現可能性のある案・意見」

- 神楽で集客。
- 平和学インター（市大）基町を歩こう！
- 情報の集積。
- 意見の関わり合い不足。
- マップの共同制作。
- マップ情報のまとめ作業。
- 立体的マップ。
- 屋上解放反対。事故制限。
- ショッピングセンター屋上庭園を菜園にする。
- 商店のつながり強化で互いのチラシを出す。
- 商店をホットペーパーなどにのせる。

「長期的視点にたった案・意見」

- 若い夫婦→基盤。
- 公共住宅法がネック。
- 東京オリンピックの利用。
- 若い人が基町の地域性を把握する。
- 他大学との意見まとめ。
- 学生参加者→地域参加。
- 子供を引き込む（親、PTA）。
- 若い人を呼び込む工夫。



基町プロジェクト意見交換会 3

開催日：2014年12月10日（水）

開催場所：M98

参加者：地域住民、広島市立大学教職員、広島市中区役所職員ほか

参加人数：約10名

第三回のテーマは、第二回から引き続き「これから基町プロジェクトで行うこと」としました。前回意見が出た「他大学との連携を密にする」ことや、「被爆70周年に合わせた取組」について意見交換を行いました。参加者からは「人々が交流できる場が必要」などの意見が出ました。

「意見」

- 地域行事とかねあい。
- 若い夫婦→基盤。
- 基町応援団。
- 東京オリンピックの活用。
- 美化。
- 情報の集積。
- いろいろな大学との連携。
- M98設立は大成功。
- 若者とのつながり。
- 若者が来る仕掛けがない。
- 立地がいい。でも活かされていない。
- 地域の団結力は強い。
- 取組を進めて住民との距離を縮める。
- 中央公園は地域の憩いの場。
- 若い人が基町の地域性を把握する。。
- 地域もバックアップ。

広島市立基町小学校ピンホールカメラ授業

Pinhole Camera lesson at Hiroshima City Motomachi elementary school



広島市立基町小学校 6 年生向けに小学校の正規授業の一環として、ピンホールカメラの授業を実施しました。ピンホールカメラは空き箱を利用して手軽に制作することができるため、生徒は広島市立大学の学生のサポートを受けながら、前半の 90 分でカメラ制作、後半 90 分で撮影、現像までを行いました。

撮影は前半、後半に分けて行いました。前半は生徒全員で基町住宅地区内にある被爆クスノキを撮影し、後半は「自分の好きな基町」というテーマのもと、生徒それぞれが、基町高層アパートからの風景や、いつも遊んでいる公園などを撮影しました。

参加した生徒からは、「ピンホールカメラの制作から撮影、現像までを経験できて面白かった。」、「完成した写真が普段見ている景色と違って見えた。」などの

感想が聞かれました。

完成した写真は、8 月 1 日（土）～8 月 14 日（金）に基町中央商店会で開催した「基町、昔の写真展」の関連企画として、基町ショッピングセンターのショーウィンドウに展示し、基町住宅地区内外の方にご覧いただきました。



基町小学校 ピンホールカメラ授業

実施日：2015年6月15日（月）

実施場所：広島市立基町小学校、基町住宅地区各所

参加者：基町小学校：6年生（16名）、教諭（2名）

スタッフ：プロジェクトスタッフ（2名）、広島市立

大学学生（4名）

ピンホールカメラ写真展

会期：2015年8月1日（土）～8月14日（金）

会場：基町ショッピングセンター・ショーウインドウ









住野敬太



森陸斗



松永ななみ

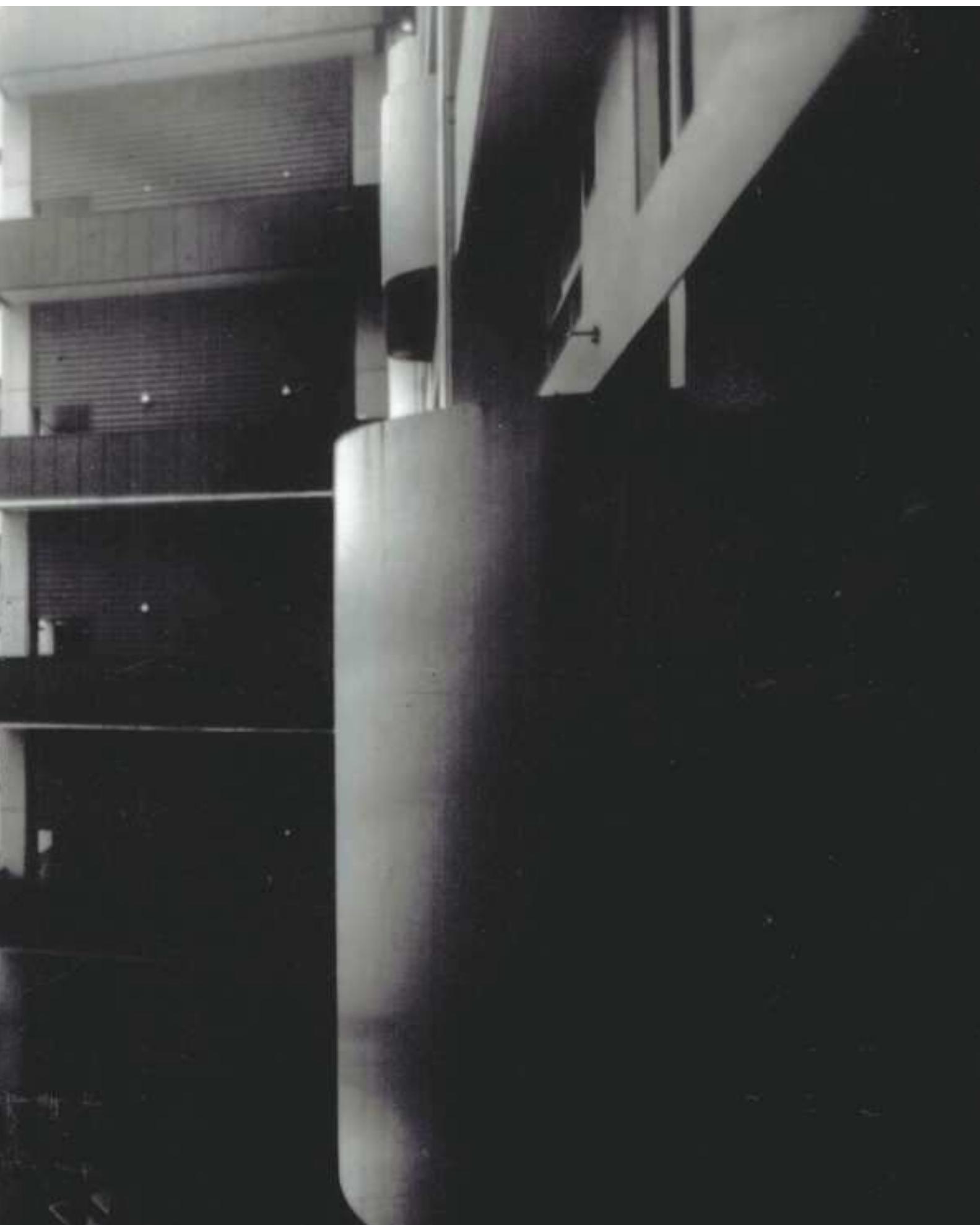


竹本宏志



齊藤友紀





守本一期

もとまちカフェ

Motomachi cafe



「もとまちカフェ」は、基町住宅地区に外から若者を呼び込み、基町に住む方との交流を促進する目的で、広島市立大学と広島修道大学が連携し両大学の学生を中心となり活動しています。

はじめに広島市立大学の学生が、基町住宅地区やこれまでのもとまちカフェ、他地域での類似の取組について広島修道大学の学生に向けて説明会を行い新しいメンバーを募りました。両大学合わせて 10 名の参加者が集まり、毎週会議を行いながらイベントに向けて準備を進めていきました。会議では 8 月のイベントに向けて、地域住民と外部の人をどう繋げていくのが良いか、様々なアイデアを出し合いました。もとまちカフェのロゴやチラシの作成、会場レイアウトのデザインなどは主に広島市立大学の学生が考え、カフェイベ

ント時の提供物の選定や保健所への問い合わせなどは、広島修道大学の学生が行い、それぞれの専門性を活かして取り組みました。最終的に会場は基町ショッピングセンター屋上の緑地帯に決まりました。屋上は 4 面に分かれており、高層アパートの各部屋から良く見えることから、屋上に放射線状に白いテープを貼ることで大きな屋根をつくり、その下で来場者へフルーツをトッピングしたオリジナルかき氷と各種ジュースを無料で来場者へ提供しました。2 日間の会期中に約 500 人が訪れ、基町に賑わいが創出されました。



地域の方と会話する学生スタッフ



カフェカウンターの様子

実施期間：2015年8月5日（水）、6日（木） 12:00-18:00

実施場所：基町ショッピングセンター屋上一帯

参加者：スタッフ：広島市立大学学生（5名）、広島修道大学学生（10名）

来場者数：約500名





もとまちカフェの会場と人工地盤のインсталレーション



企画会議



マークとドリンクのバランスを検討中



飾り付けのオーナメントを制作



ワールドカフェという手法で話し合い

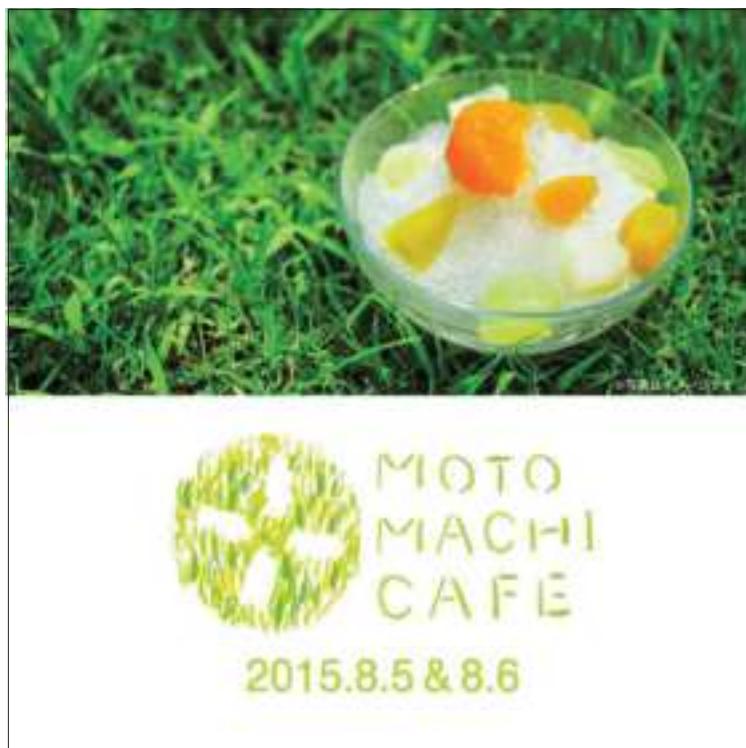


企画会議の様子









「もとまちカフェ」フライヤー

かき氷の写真をメインビジュアルにデザインし、7,000部を印刷。広島県内の大学などに配布。別バージョンのデザインで、3,000部を地域に配布しました。



「もとまちカフェ」ドキュメンタリー映像

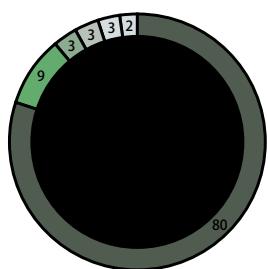
もとまちカフェの準備から当日までの様子が収められたドキュメンタリー作品が、広島市立基町高校の生徒によって製作されました。

製作：広島市立基町高校放送部

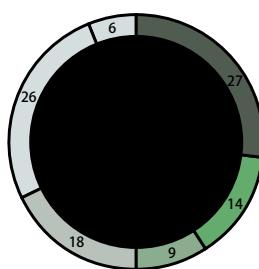
来場者数アンケートの内訳

約 500 名中、241 名から回答を得た。

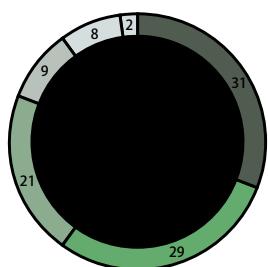
1. 基町在住の男性



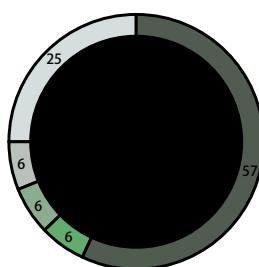
2. 基町在住でない男性



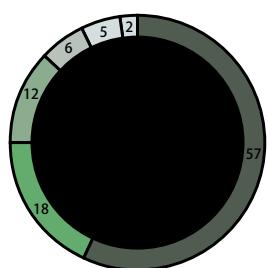
1. 基町在住の女性



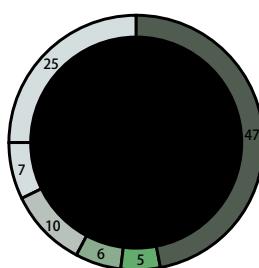
2. 基町在住でない女性



1. 基町在住の方（男女合計）



2. 基町在住でない方（男女合計）



基町ショッピングセンター探索マップ

Motomachi Shopping Center Search Map



8月5日、6日のもとまちカフェイベントで来場者へ配布する基町ショッピングセンター探索マップを、広島市立大学と広島修道大学の学生が制作しました。マップには、ショッピングセンターの地図と商店の情報を掲載し、主にデザインは広島市立大学の学生が行い、ショッピングセンターにある約50軒の店舗への取材は広島修道大学の学生が手分けして行いました。営業時間がお店ごとに異なっているため、情報を集めるのは大変な作業でした。お店の情報だけではなく、基町住宅地区の歴史や基町プロジェクト、もとまちカフェプロジェクトについての活動情報も掲載しました。このパンフレットをきっかけに、お店の方にイベント当日限定の割引きクーポンを発行してもらい、もとまちカフェイベントに参加した後に、地図を片手

にショッピングセンターを歩き回る人の姿もありました。地域住民からは、基町ショッピングセンターだけではなく、他の商店街のマップも作って欲しいという要望もありました。

実施期間：【制作期間】2015年6月1日～8月4日

【発行】2015年8月5日

参加者：広島市立大学学生(4名)、広島修道大学学生(3名)ほか





基町をかざろう！クリスマスデコレーション

Let's Decorate Motomachi! Christmas Decoration.



「もとまちカフェ」の冬のイベントとして、基町ショッピングセンター入口のショーウィンドウをクリスマス仕様に飾り付けるイベント「基町をかざろう！クリスマスデコレーション」を実施しました。このイベントは夏に「もとまちカフェ」を行った広島市立大学と広島修道大学の学生が主体となり企画しました。イベントまでには、オーナメントのデザインやディスプレイのレイアウトを考え、オリジナルデザインのトナカイやサンタの飾りを作成しました。イベント当日は、基

町中央集会所にて、こども達は段ボールのツリーに動物などの形に模ったシールを貼り、大人の方は紙を材料とした立体的な雪の結晶の制作を大学生と一緒に行いました。制作が終わった後、大人の方には 4～5 人のグループに分かれいただき、ワークショップへの感想や基町プロジェクトへの意見や地域での課題などの聞き取りも行いました。作業終了後、完成したツリーと雪の結晶をショーウィンドウ内に設置し、華やかな展示が完成しました。



実施期間：【制作】2015年12月6日（日）

【展示】2015年12月6日（日）～12月25日（金）

実施場所：【制作】基町中央集会所

【展示】基町ショッピングセンター・ショーウインドウ

参加者：広島市立基町小学校児童（8名）、地域住民（17名）

広島市立大学学生（7名）、広島修道大学学生（4名）ほか



Merry
Christmas









ワークショップ風景

アンケート

- 地域住民からの基町住宅地区活性化のための意見と要望。
- 基町アパートの活性化のために、若い人達の入居が増えるとい
いな！
- 笑い声が聞こえる住宅がほしい。
- トイレを洋式にしてほしい。
- 若い人に入ってほしい（入居してほしい）。
- 月に1回（3時間くらい）集まって手仕事を教えてもらう会が
あるといい。
- 初めてこのようなイベントに参加して楽しかったです。
- カフェがあっても全然わかりません。

- 基町アパートには若い人が少ない（若い人が入居しやすくなる
方法は？）。
- イベントの案内を各戸へしてほしい。
- 一步を踏み出すことが活性化につながる。



広島県営基町住宅記録撮影

Hiroshima Prefecture Prefectural Motomachi residential record shooting



実施日：2016年3月22日（火）

実施場所：県営基町住宅 12号棟

参加者：大成ナグバス株式会社担当者、広島県職員ほか

特別協力：大成ナグバス株式会社



取り壊しの様子（2017年撮影）

広島県営基町住宅は2016年当時取り壊しが進んでおり、その中には通称スターハウスと呼ばれる星形をした珍しい形のアパートも含まれていました。戦後のアパート需要が高まった際に、全国的に同型のアパートが建てられましたが、現在ではそのほとんどが取り壊されています。広島の復興の歴史や建築史において資料的価値が高いため、高画素デジタルカメラとドローンを用いて建物の外観、内観を画像と映像で記録撮影を行いました。ドローン撮影は、大成ナグバス株式会社に特別協力いただきました。

通常のデジタルカメラよりも高精細な写真が撮影できる中判デジタルカメラを用いて、スターハウスの外観と内観を撮影しました。写真からその場にいる臨場感を感じられるように、カメラは人の目の高さと同じくらいの位置を基準に撮影を行いました。また、隅々まで詳細に記録できるよう撮影範囲全てにピントを合わせています。加えて今回の撮影では室内の360度パノラマVR撮影も行いました。パノラマVRはバーチャルリアリティーの技術として近年普及が進んでいるもので、パソコンやスマートフォンの画面上でユーザーが任意の場所を見ることができます。観光名所や歴史的文化財などの紹介などにデジタルアーカイブとして使用されることも増えています。今回は部屋の

中心を視点に少しづつ角度の異なる複数の画像の撮影を行い、撮影後、コンピューター上でこれらの画像を一枚に合成しデータを作成しました。中盤デジタルカメラでの外観と内観の撮影に加えて、ドローンを使ってスターハウスの外観を動画で記録していました。撮影では、大成ナグバス株式会社の専門スタッフによりドローンの操縦が行われました。事前に広島市立大学のキャンパスにて実際の撮影を想定したテストを実施し、入念な打ち合わせを経て撮影に臨みました。スターハウスの独特的な形状が記録できるように、様々な角度から撮影を行なったほか、真上からの撮影などドローンでなければ見ることのできない視点も意識しながらの撮影となりました。撮影終了後、映像を編集しYouTube上で公開をしました。普段からスターハウスを見慣れているプロジェクトスタッフらも鮮明に記録された映像を通して、建物の構造や細かい作り込みなどを知ることができました。





写真 橋本健佑





写真 橋本健佑



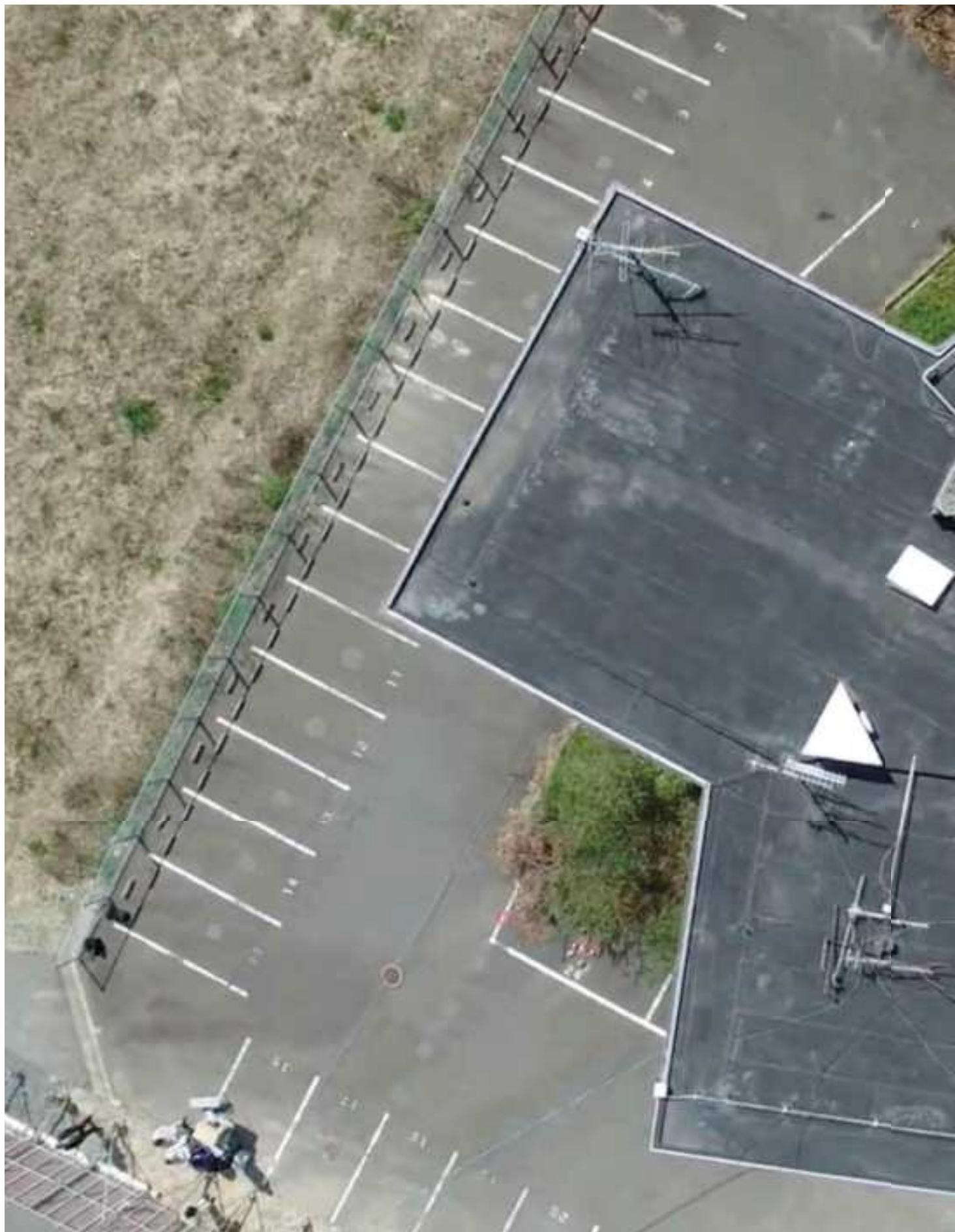


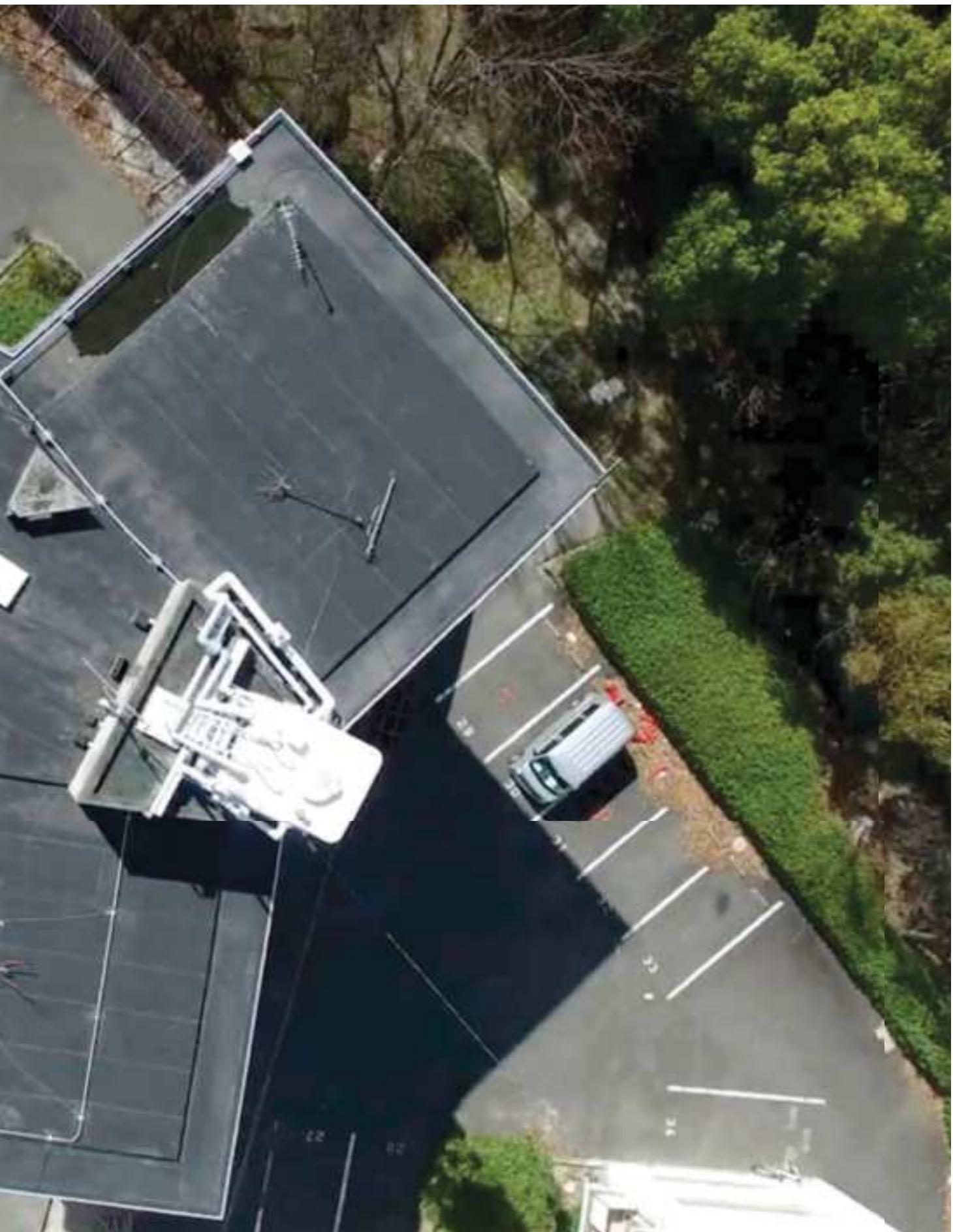
写真 橋本健佑





写真 橋本健佑





スターハウスの上空から撮影



スターハウス上層階及び屋上



太田川と横川方面を望む



手前から、広島県営基町アパート、広島市営基町アパートを望む



スターハウスと背後の広島市営基町高層アパート

基町住宅地区の公共デザインを考えるプロジェクト

Project to think about Public Design of Motomachi Residential Area



広島市立大学芸術学部の学生たちと共に、基町住宅地区の公共デザインをより良くするプランを考えました。公共スペースの現地調査から始め、隔週でミーティングを重ねながら、基町高層アパートの屋上や人工地盤を活用したイベント案、公衆トイレのリデザインを考えました。また、年末報告会ではプランの発表と意見交換を行いました。さらに、3月1日から開催した「もし基町にアトリエができたら？」展で、プランと報告会であがった意見を展示・公開しました。

実施期間：2015年10月21日（水）～2016年1月9日（土）

実施場所：M98

参加者：広島市立大学学生（2名）、広島市立大学交換留学生（1名）ほか

プラン1：屋上のヨガ

提案者：ファニー・ハーラン

ヨーロッパで屋上はよく公共空間として使われます。ソラックスするためにせわしない町から逃れる良い方法です。ヨガは世界的に、身体と精神の健康法として知られています。基町アパートの屋上はヨガをする最高な場所です。週に一度ヨガと出会う最高の時間となるでしょう。



ヨーロッパでは建物の屋上は公共空間として活用されることが多いので、基町高層アパートの屋上でもソラックスしながら、精神と肉体の健康のためにヨガをする提案です。

コメント

- 屋上でヨガ気持ちいい。
- 中央公園で中国人が太極拳をしている。
- 健康体操、気功。
- ヨガ出来る人が住んでいる、習ったことがある。
- 国籍年齢関係なく楽しめる。

プラン2：基町高層アパート屋上のライブイベント

提案者：ファニー・ハーラン

基町アパートの屋上はコンクリートをする場所として最適な空間です。基町アパートの屋上でのコンクリートは、公共の場所で演奏することを求める若いミュージシャンにチャンスを与える良い機会となるでしょう。また夜には飲み物や軽食を提供し、街の明かりによって特別なコンサートとしても良い場所となるでしょう。



若いミュージシャンが屋上で音楽を演奏し、それを飲み物を飲んだり軽食をとりながら楽しむイベントの提案です。

コメント

- 静かな曲がよい。
- 弾き語りやアコースティックなのもいっけど、やっぱりロックもほしいね！出演者はオーディションが必須です。
- 昼間ならいいかも。

プラン3：基町ショッピングセンター屋上でマルシェ

提案者：住岡梓

ショッピングセンター屋上の芝生の公園とショッピングセンター中央広場、この2つの広場をつなぐイベントとしてマルシェを考えました。



現在、屋上の公園と中央広場はアクセスが分断されているため、緑が豊かな公園は孤立しまり活用されていません。基町ショッピングセンターの中央広場は、人の往来が多いので緑化された屋上の公園と、中央広場の導線を繋ぎ、子どもから大人まで楽しめるイベントを想定したプランの提案です。

コメント

- もとまち自遊ひろばとのコラボ。
- きれい！
- もとまちカフェまでは草がのびていた。
- ネーミング募集！屋上…
- エアコンの室外機があつて危ない。
- ポスターをはってお知らせ。
- 秘密基地。坂道のところで遊ぶ。
- 現在は活用されていなくて、もったいない。

プラン4：公共スペースで四季を楽しむ花畠

提案者：班迪

花畠には日々草を使います。一年草として知られる日々草は、観賞用に直立するように改良されています。花は直径3~4cmで、白やピンク、赤、赤紫などがあります。花が終わって種が地面に落ち、次の年にには前の年よりもたくさんの綺麗な花が咲きます。



基町アパートの屋上は、住民がガーデニングを楽しめるよう庭園となっているが、場所によっては未活用の場所もあります。そういった使われていない庭園に、年中楽しめる花を植え、景観を楽しむ提案です。

コメント

- 人工地盤を花畠にしたら上から皆がみえる。
- 屋上はむずかしい。一般の人は入れない。
- ミツバチ、はちみつ。
- 電気畑（ソーラーパネルの設置？）。
- 屋上は個々で水道を支払ってやっている。

プラン5：公衆トイレのリノベーション

提案者：新澤望

中央商店会にある公衆トイレは、男女共有でちょっと使いづらく、薄暗くて怖い。もっと使い易くするため、身障者用トイレにして個室化する。そして、壁にアートが飾れるスペースを設けて明るい雰囲気をつくる。



M98には備え付けのトイレが無いため、基町中央商店会の利用者が使う公衆トイレを使っています。トイレは男女共有で使い勝手が悪く古いで、それを新しくリノベーションする提案です。ただ綺麗にするだけではなく、身障者も使えるようにすることや、トイレ内にアート作品を展示するなど具体的なプランが盛り込まれました。

コメント

- トイレの利用者は店舗利用者に限定。住民利用は少ない。
- トイレに入ったら、透明のガラス（ドア）が摺りガラスのドアに変化するとか。
- 観光視点でならもっとおもしろいアイデアを考えた方がいい。
- 一箇所でやる、あるいはプラスアルファを考える。
- トイレがきれいになれば人も来る。
- 無料にした方がいい。

スペシャルMトーク：年末報告会

実施日：2015年12月20日（日）

実施場所：M98

参加者数：約25名

参加者：地域住民、一般、広島市立大学教職員、広島市立大学大学生、中区役所職員ほか

12月20日の年末報告会で、各プランの中間発表を行い、参加者との意見交換を行いました。高層アパートの屋上を活用したヨガや音楽イベントのプランには、国籍や年齢に関係なく楽しめるという意見がありました。また、高層アパートの屋上庭園を花畠にするプランには、屋上は人の出入りが自由にできないため、自由に入り出しができる人工地盤の方が、住民もベランダから見ることもできるため良いのではないかと提案がありました。

プラン展示

会期：2016年3月1日（火）～3月21日（月・祝）

会場：基町中央商店会

中間発表会で出た意見をプランに反映させ、「もし基町にアトリエができたら？」展で展示しました。基町高層アパートでのライブイベントプランに対して、来場者からロックも欲しいといった意見がありました。

浅野堅一「デルタのまほら」写真展

Kenichi Asano “Mahora of Delta”



広島で生まれ育った写真家、浅野堅一によって撮影された基町の写真を、基町住宅地区内外の方々にご覧いただくために、「デルタのまほら」写真展を企画しました。浅野氏は、広島市立大学在学中より写真作品の制作を開始し、近年は、戦後復興の歴史や多様な人々が交差する基町に魅力を感じ、多くの写真を撮影しています。今回はその中から 7 点を選び展示しました。



浅野堅一 Kenichi Asano

会期：2016 年 2 月 4 日（木）～2 月 29 日（月）

会場：基町ショッピングセンターショーウィンドウ

1979 年広島生まれ。2004 年広島市立大学国際学部国際学科卒業。DELTA PHOTOGRAPHY 代表。Gallery Node 共同運営。広島を拠点に活動している。



1



2

1

《中央集会所付近》
半光沢インクジェットペーパー⁺
2013
728 × 1030 mm

2

《16号館の階段》
半光沢インクジェットペーパー⁺
2012
728 × 1030 mm



3

《デルタのまほら》

半光沢インクジェットペーパー

2012

728 × 1030 mm





4



5

4
《被爆樹と白いシャツの男性》
半光沢インクジェットペーパー⁺
2014
728 × 1030 mm

5
《空鞘橋からの眺め》
半光沢インクジェットペーパー⁺
2014
728 × 1030 mm



6



7

6

《ショッピングセンター中央》

半光沢インクジェットペーパー

2014

728 × 1030 mm

7

《高層アパート屋上から眺め》

半光沢インクジェットペーパー

2014

728 × 1030 mm

「もし基町にアトリエができたら？」展

If you could have an atelier at Motomachi?



フライヤー



基町住宅地区内に創造的な活動スペースをつくることを想定して、基町中央商店会の空き店舗に「仮設アトリエ」を設置し、実験的に運用しました。

今回の取組は、今後具体的に創造的な活動スペース設置を検討するにあたり、基町住宅地区内外の方からご意見をいただいたり、理解を得ることを目的に実施しました。

仮設アトリエには、移動可能な仮設壁とテーブル、椅子を配置し、展示物を自由に見ていただける空間を作りました。仮設壁には「基町住宅地区的公共デザインを考えるプロジェクト」、「もとまちカフェプロジェクト」など基町プロジェクトの取組を紹介しました。

「基町住宅地区的公共デザインを考えるプロジェクト」では、参加した大学生3名と基町プロジェクトスタッフ

が考案した「屋上でのヨガプラン」や「ショッピングセンターの屋上の公園でマルシェをするプラン」、「公衆トイレのリノベーションプラン」などを展示し、そのプランに対するコメントを、付箋を使って来場者に残してもらいました。

これまでの基町プロジェクトの取組紹介では、空き店舗の活用例として、中央商店会内で行った「基町、昔の写真展」や、基町ショッピングセンターにある大型のショーウィンドウを使った「ピンホールカメラ写真展」、「基町をかざろう！クリスマスデコレーション」などを展示しました。また、「もとまちカフェプロジェクト」による屋台カフェや、基町を紹介するマップの公開制作も期間中に行い、アトリエの機能も実験運用しました。

会期：2016年3月1日（火）～3月21日（月）

会場：基町中央商店会







M トーク「もし基町にアトリエができたら？」

実施日：2016年3月6日（日）

実施場所：展示会場（基町中央商店会）

参加者数：一般 13名

これまでの基町プロジェクトの活動や、他地域での類似プロジェクトを紹介し、その後に参加者と基町にアトリエを作ることについてどう思うか、意見交換を行いました。「若い人がどんどん勇気を持ってやって欲しい」「子どもも一緒に制作できるアトリエにして欲しい」といった意見がでました。

ワークショップ「基町紹介マップを考えよう！」

実施日：2016年3月12日（土）

実施場所：展示会場（基町中央商店会）

参加者数：一般 3名

基町を紹介するマップを制作するにあたり、どんな情報を掲載するのがよいか、どこで配布するのがよいかなど、参加者と一緒に考えるワークショップを実施しました。参加者からは、ドラマ「基町アパート」（NHK広島放送局制作）のロケ地巡りができるマップや、お好み焼き店を巡れるマップなど、カテゴリー別のマップを制作する案や、紙だけでなく立て看板やスマートアンドリなど利用者に合わせたデザインを考える案など、たくさんの意見が出ました。

ワークショップ「もとまち屋台カフェの名前を考えよう！」

実施日：2016年3月19日（土）

実施場所：基町中央商店会

参加者数：一般 9名、大学生 5名

公開制作を行なっていた屋台型カフェを使いながら、参加者とともに、屋台の名称やテーマカラーについて話しあい、カフェの名称は「こくばんカフェ（通称こくカフェ）」、テーマカラーは「黄緑、ピンク、白」に決定しました。

ワークショップ「基町紹介マップを考えよう！」参加者の声

1. 誰に配るマップか？

- お店に来る人。
- 建物に興味のある人。
- 基町に外から来る人。
- 土手をウォーキングランニングしている人。
- 土手から入れるようなマップ。
- 海外の方（広島城や原爆資料館で配布）。

2. どんな情報が載るのが良いか？

- カテゴリ別のお店情報。
- ロケ地マップ。
- お好み焼き店マップ。
- 食（基町の名店、ミシュラン）。
- 安心して来られるような地図。

3. どこで配布するのか？

- 全国。
- 平和記念資料館。
- 広島城。
- 原爆資料館。
- 基町地域の人。
- レストハウス、ゲストハウス。
- 本通り夢プラザ。
- 観光案内所、観光客が立ち寄る所。
- 公民館。
- 学校（小学校、高等学校、子どもから保護者へ）。
- 旧日本銀行。
- シャレオのインフォメーション。
- 広島駅の地下のインフォメーション。
- 袋町小学校記念資料館。
- 中央図書館。

4. その他（どんなデザインが良いか？ほか）

- 基町のイメージはそぞうとかクレド。
- 基町に入るツアーがあれば来る。
- 基町にきっかけがないと来ない。
- 来る理由。資料館や屋上が見れるイベント。
- ポケットサイズ。
- 立て看板型の大きな地図。

基町、昔の写真展

“Motomachi Old Photos”



この写真展は、基町の昔の様子が垣間見られる家族写真や学校行事などの記念写真、地域のお祭や何気ない日常風景の写真などで構成されます。来場者が昔の写真を見ながら基町の歴史を振り返り、未来の展望を考えることを目的としています。地域の方を中心に一般の方から約 1,000 枚の写真を提供いただき、その中から 70 点を展示しました。写真提供時には、写真と地図を見比べながら撮影した場所や当時の様子などを伺い、展示へ反映させました。

展示写真は A3 サイズほどに拡大し、撮影時期や一言コメントを載せたキャプションと共に展示しました。さらに三つの年代別の地図を会場に用意し、撮影場所が分かるものには旗を立てて紹介しました。

来場者からは、「写真の皆さんのが楽しそうな笑顔を見

て、こちらもなつかしい気持ちになりました。」、「高層アパートが建つ前の戦後の様子をもっと知りたい。以前からずっと住んでいたから。」、「ぜひ継続して写真展を開催してほしい。」などの意見があり、大変好評でした。展示初日には写真提供者や地域の方をお招きし、写真を見ながら当時の様子を伺う「基町、歴史トーク」を行い、さらに交流を深めました。また、会期中 8 月 5 日には撮影された場所を巡るツアーアイベントを行い、参加者は昔と今の街の変化を感じました。

会期：2015 年 8 月 1 日（土）～ 8 月 14 日（金）

会場：基町中央商店会

ディレクター：鹿田義彦

来場者数：約 300 名



「基町、昔の写真展」ディレクター
鹿田義彦 Yoshihiko Shikada

1983年広島生まれ。2012年広島市立大学大学院博士課程修了。2008年ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学（ドイツ）交換留学。広島にて制作活動をつづけている。

ディレクター・コメント

「基町、昔の写真展」を企画するにあたって、正直なところ初めは一体どうなることやらと不安でした。しかし、いざ提供いただいた写真と向き合い始めると、あまりに豊かな記録の力に、自身の心配は吹き飛びました。すでにそこにある時間、大切におさめられた記憶を開封すればよいのだと、写真のほうから語りかけられたような気がしたのです。結果、千枚以上にわたる思い出の数々との対話は、とても貴重な体験となりました。一枚一枚にお借りした家族のまたとない時がつまつており、展示する写真を選ぶのにはかなり悩みました。展示をきっかけに、ご自宅のアルバムを改めて見てみたり懐かしんだりする、新しい集いの機会が作れたならば嬉しく思います。



























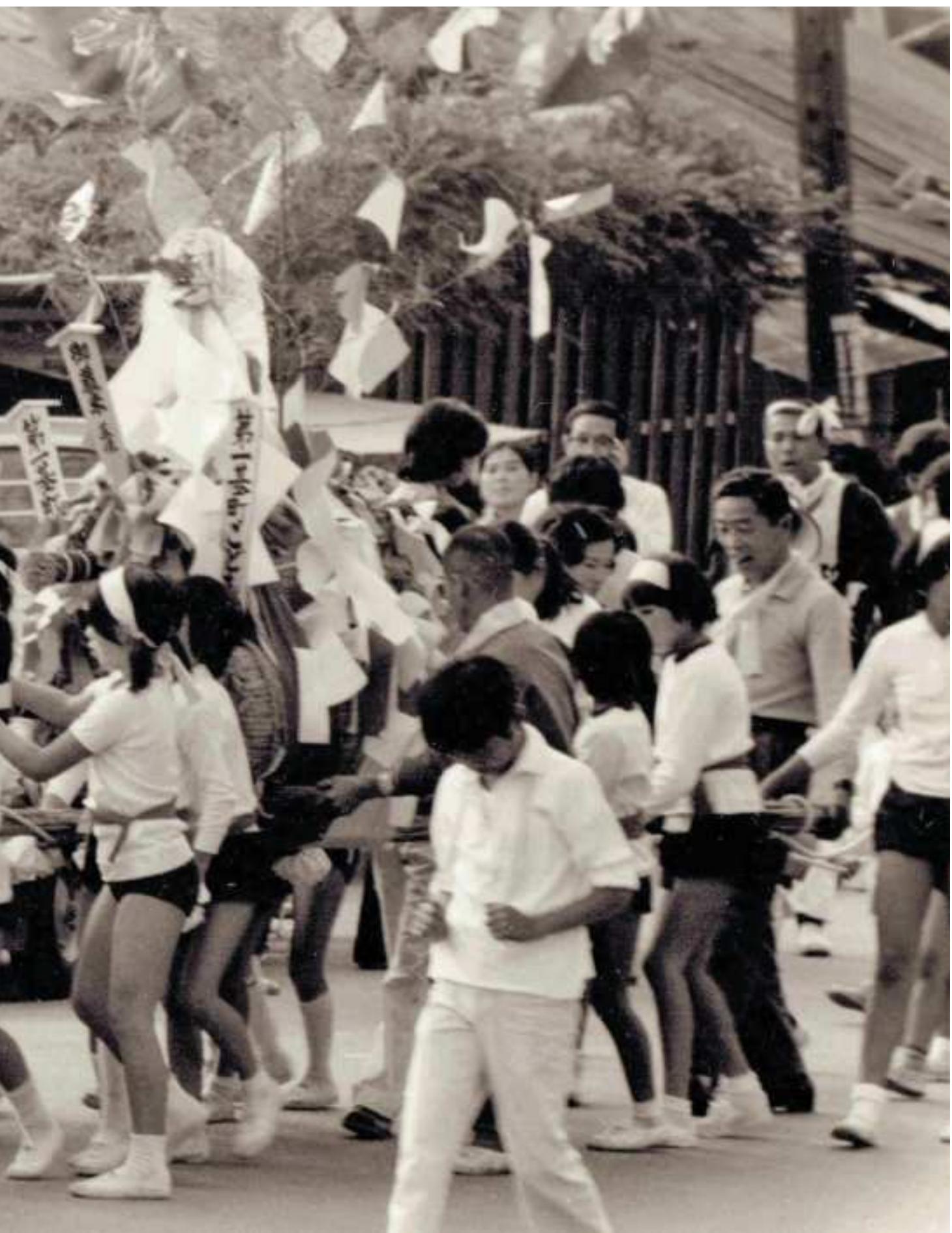














基町歴史トーク

実施日：2015年8月1日（土）

会場：基町中央商店会

参加者数：一般市民 30名

年代別に制作された3種類の地図を見ながら、写真提供者から、写真が撮影された当時の話や、移り変わってきた街の様子について話を伺いました。かつて基町に住んでいた来場者同士が写真展を通じて出会い、記憶をたどりながら、かつての基町の思い出話に盛り上がりしている様子も見られました。



もとまちを撮ろう—昔の写真から振り返る基町の過去と未来

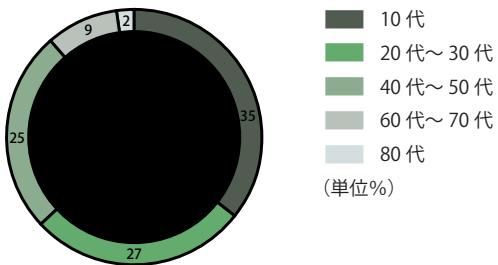
実施日：2015年8月1日（土）

会場：基町中央商店会

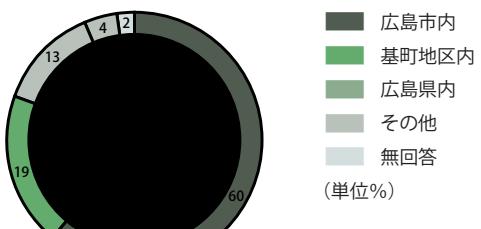
参加者数：一般市民 11名

展示写真の中から、撮影された場所がわかる写真を8箇所選び、そこを巡るツアーアイベントを実施しました。参加者は実際に写真が撮られた場所を周りながら、同じ構図で写真を撮り当時の様子と現在とを比べました。参加者のほとんどが、この写真展がきっかけで基町に訪れた人たちでした。

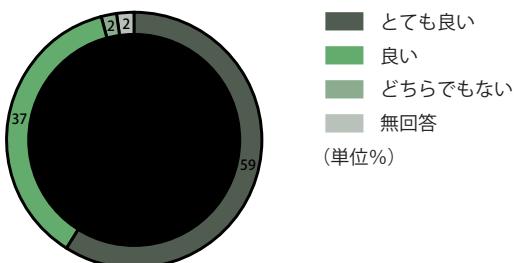
1. 年齢を教えてください



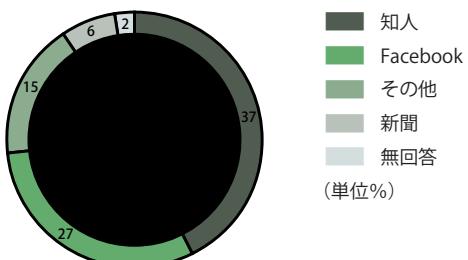
2. お住いの地域について教えてください



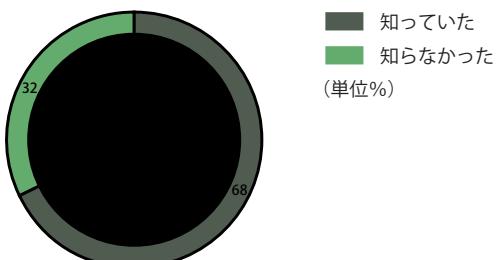
3. 今回の展示についてご感想を教えてください



4. 今回の展示をどこで知られたか教えてください



5. 写真展を見る以前から、「基町プロジェクト」のことを知っていたか教えてください



6. 基町プロジェクトに今後期待することや、写真展への感想を教えてください。

- 期待しています。がんばってください。若い人が必要です。若者がんばれ!! (60～70代・基町地区内)
- 新しい人たちのための新しいコミュニティー作りもやつたらどうでしょう。(40～50代・市内)
- 子供時代～結婚するまで基町に住んでいました。とてもなつかしいです。(60～70代・県内)
- 基町で527年に生まれ育ったのですが、昔はカメラも普及していない時代で当時の町の風景が記憶にしかない中でいい機会を作っていただきありがとうございました。(60～70代・市内)
- 各種イベントの開催。(40～50代・市内)
- 写真展：子ども達が多い時を思い出しました。(60～70代・市内)
- 写真の皆さんのが楽しそうな笑顔を見て、こちらも懐かし気持になりました。(40～50代・市内)
- 基町は広島の“もとい”なので、是非再び元気なまちになってほしいです。がんばってください。(40～50代・市内)
- 大切なものがたくさんあった。みんなが元気になるまちになつたらいいな。(20～30代・県内)
- わたしの知っている時代の基町に出会えました。また写真展やってください。(60～70代・県内)
- 昔の建物での展示が素敵でした。写真の場所にハタがあるのが、地元の人は懐かしいと思った。ピンホールカメラ展の展示はカメラの展示もしてあってよかったです。イベントから月2回とか開

催の活動につなげてほしい。(20～30代・市内)

○とてもなつかしく、昔を思い出しました。(60～70代・基町地区内)

○基町をこれからも元気になるよう楽しいイベントを企画して下さい。小学校もよろしくお願いします。ありがとうございました。(40～50代・市内)

○自分の地元でもやってもらいたい展示でした。15日以降も設置してもらいたい。(20～30代・市内)

○知らなかった場所とか懐かしい場所とか気持ちがなつかしくやわらぎました。ありがとうございます!!(60～70代・基町地区内)

○40年前に基町幼稚園に通い卒園しました。古い街をご存知の方と一緒に写真をなつかしく見ました。地図がもう少しきりしていればええのに……と言っておられました。(40～50代・市内)

○今後も活動を頑張ってほしい。たまたま他の町内からの見学ですが自分も50年前に基町に住んでいました。(40～50代・市内)

○一時の「こわい町」のイメージが少しずつ変わっているように思います。がんばってください。(40～50代・市内)

○基町プロジェクトの目指している将来像があれば説明パネル等も展示してほしい。

○取り組み自体とても先鋭的でいいなと思いましたが、「見せ方」にさらにボップさを足すと、より一見客が立ち寄ってくれそうな気がしました。こういった市民活動がより一般の方に手をとってもらえそうな「アクセスのしやすさ」については我々も課題の一つです。(20～30代・市内)

○基町に住んでいる人、古きを知っている人など「人」をもっと登場させてほしい。写真と同時に語らせる場など……(40～50代・市内)

○高層アパートが建つ前の戦後の様子をもっと知りたい。以前からずっと住んでいたから。(60～70代・市内)

○広島が幼い頃の故郷ではないがとてもなつかしさを覚える。伝えていく景色だと思います。(60～70代・市内)

○もとまちTIMESを初めてここで目にしたので、もっと広まつたら素敵だなあと思います。(20～30代・市内)

○当時の生活の様子がどんなものだったか少しだけわかった気がします。子ども達の表情がステキでした。(20～30代・市内)

○どんどん若さで活性化していって下さい。被爆者の方が元気なうちにドンドン交流を。写真は貴重ですね。またゆっくり見にきたいです。(60～70代・基町地区内)

○昭和28年の図の中に家の名があり帰りにそこを行ってみまし

た。(62歳)

○アーカイブしてもらえるとうれしいです。ありがとうございました。とても立派な展示で驚きました。(40～50代・市内)

○昔の基町の様子がわかったよかったです。(10代以下・基町地区内)

○昔の家や基町アパートが作る様子がわかりました。(10代以下・基町地区内)

○昔を思い出しながらもよかったです。(80代以上・基町地区内)

○活気のある基町に戻ってほしいです。(40～50代・市内)

○とてもよかったです。次回もぜひやってほしい。(40～50代・県内)

○写真のアーカイブ化をお願いします。とてもいい写真展でした。(40～50代・市内)

○広島大学etcの県内の建築学生に向けてポスターetcを配布した方が若い人(学生)に来てもらいやすかったと思います。展示はすごく時代を感じられてよかったです。(10代以下・県内)

○建築を勉強している者ですが、昔の基町の姿が見れてよかったです。昔の基町は子どもも多く、当時では最先端をいく場所だったことが見てとれた。かつてのような活気のある場所となることを願っています。(20～30代・県内)

○より多くの人にこのプロジェクトが広まればいいなと思います。このような写真展が行われることを期待しています。(20～30代・市内)

○(ここの場合)会場をそこの郵便局の女性職員に尋ねたが知らなかつたため30分以上ロスした。8月6日17時47分(60～70代・市内)

○ふだん入れない所に入りたい。宜しくお願いします！(20代～30代・市内)

○改めて広島市の街の歴史を振り返ってみると、たくさん感情を呼びし、学びにもなると思った。場所と展示の関係もよかったです。(20代～30代・市内)

○これからは基町の歴史を知ってほしいです。今の若い世界にも基町の歴史を知つてもらうようにがんばってください。(20～30代・市内)

○広島市民、観光客にとっての新しい魅力スポットであり住んでいる人にとっての居住環境の向上を目指す一石二鳥を狙つてほしい。アートであつと驚かせてほしい。(40～50代・市内)

○基町を出ていった(結婚)娘が写っています。帰つて来た時に見せてやりたいのですが……(60～70代・基町地区内)

広島市立基町小学校卒業制作

Graduation work of Hiroshima City Motomachi elementary school



ピンホールカメラワークショップ実施以降、広島市立基町小学校との関係性が深まっており、卒業制作についてどのような内容が良いか基町プロジェクトに相談がありました。

戦後 70 年という節目に当たる卒業生にふさわしい作品とするため、広島市立基町小学校と基町プロジェクトが協議し、児童の平和のメッセージを壁画にして残すことにしました。デザインは生徒らが考えた原案をもとに、グラフィックは鶴と青いストライプにして、「PEACE 平和」の文字と組み合わせ、広島市立基町小学校で平和の象徴として今も大切に育てられているカンナの花を、16 名の生徒（平成 27 年度卒業生）が一つひとつ描きました。背景の青いストライプは青空を意図し、戦後 70 周年にちなんで 7 本が描かれました。

壁画は平和の軸線上に位置する小学校西校舎の壁面 2 力所と床に描きました。グラフィックが奥の壁、床面、手前の壁の 3 面にわたって描かれているため、平和の軸線上に立ち、真っ正面から見るとくっきりとした像が浮かび上がる仕組みとなっています。

実施期間：2016 年 2 月 21 日（日）～3 月 17 日（木）

実施場所：広島市立基町小学校

参加者：広島市立基町小学校：6 年生生徒（16 名）、教諭（1 名）、保護者（10 名）、広島市立大学学生（4 名）ほか



1. 生徒が考えた原案を元に、図案を作成

平和の象徴である鶴と青空をイメージした青いストライプ、広島市立基町小学校が平和の象徴として大切にしているカンナの花をデザインに取り入れました。



2. 図案を壁に写す

図案をパソコンに取り込み、プロジェクターを使って壁に投影させ、紐やマスキングテープを使って壁に図案を描きました。絵は、平和の軸線上の一点に立つとくっきり浮かび上がる仕組みとなっているため、何度も微調整を繰り返しながら形作っていきました。作業には、広島市立大学芸術学部の学生に手伝ってもらい約 6 時間かかりました。



3. 一回目の塗装

一回目の塗装を生徒 16 名と保護者 10 名と一緒に行いました。班ごとに塗る個所を分かれ手際よく塗りました。



4. 文字を描く

一回目の塗装が乾いてから、鶴のアウトラインと鶴の上に来る「PEACE 平和」の文字のアウトラインをマスキングテープで書いていきました。

5. 二回目の塗装

広島市立大学芸術学部の学生も参加して生徒と一緒に二度目の塗装を行いました。2時間目と6時間目の2時間に分けて、はじめに鶴のアウトラインと「PEACE 平和」の文字をペンキで塗りました。6時間目には生徒一人ひとりがカンナの花を色とりどりの絵の具を使って描きました。



小学生の感想

- 校舎が明るくなった。後輩たちには平和が大切だという思いをつないでいってほしい。(2016年3月19日、朝日新聞朝刊、29面)
- 思い出いっぱいの校舎。壁画も大切にしてほしい。(2016年3月12日、中国新聞朝刊、30面)



スタッフの感想

- 当初ここまで大きなプロジェクトになるとは予想していませんでした。小学校からの要望を聞き取りながらテーマやコンセプトを練り、作品を完成させるために約1ヶ月かかりました。塗り始める前の下準備が大変で、大学生が手伝ってくれたおかげでなんとか形になりました。がんばったかいもあり2社の新聞に掲載されました。壁画は今も小学校に残っており、在校生や地域の方に親しまれ、基町プロジェクトとしても大きな実績となりました。



6. 完成

卒業式前日に全てのマスキングテープを剥がし、カンナの花に黄色いめしべの部分を描き、完成しました。卒業式では、卒業生みんなで壁画の前に集まって集合写真を撮影しました。





地域行事への参加

Participation in local events



基町プロジェクトが主体となって実施する取組と平行して、基町住宅地区で行われる地域行事へも積極的に参加しました。その結果として地域住民から地域の一員として認められ、大きな信頼を得ることに繋がりました。当日は行事への参加の傍ら一眼レフカメラで記録写真を撮影し、後日、基町地区社会福祉協議会や基町小学校などにデータを配布しました。これは市立大学芸術学部の専門性を活かした取組として、地域住民から大変好評で、プロジェクトの周知と理解にも大きく役立っています。

広島市立基町小学校運動会

開催日：2015年5月31日（日）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

広島市立基町小学校で運動会が開催され、写真撮影に伺いました。玉入れや対抗リレー、ソーラン節が披露され、地域の方も沢山応援に駆けつけており、大盛り上がりました。



グラウンドゴルフ大会

開催日：2015年6月7日（日）

開催場所：広島市立基町小学校、中央公園

役割：写真撮影

グラウンドゴルフの大会が開催され、地区住民が中心に70名以上の方が参加されました。日頃の練習の成果が発揮され、ホールインワンを出す方もいました。基町プロジェクトスタッフも少しチャレンジしました。



広島市立基町小学校被爆70年記念式典

開催日：2015年6月28日（日）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：1、2年生への絵画指導

バイオリン隊の演奏や卒業生からのメッセージ、そして6年生の平和への決意がピンホールカメラで撮影した作品と共に発表されました。また、プロジェクトスタッフは1、2年生の授業参観にも参加しました。



第七回ほのぼのカップ将棋大会

開催日：2015年7月4日（土）

開催場所：ほのぼの基町、ほのぼの文庫

役割：写真撮影

将棋大会が行われ、小学生の部と大人の部に分かれ、熱戦が繰り広げられました。基町プロジェクトスタッフも撮影係として参加し、対戦の様子を撮影してまわりました。



基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会

開催日：2015年8月9日（日）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

基町住宅地区の三大行事の一つである、基町地区死没者慰靈祭・盆踊り大会が開催されました。原爆で亡くなられた方へ哀悼の意を表すると共に、小学校の生徒から平和のメッセージが届けられました。







基町地区敬老会

開催日：2015年9月21日（月）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

基町住宅地区の三大行事の一つである、基町地区敬老会が開催されました。90歳を超えた方への表彰や、地域の方による余興など盛りだくさんの内容で、基町住宅地区の繋がりの強さを感じました。



砂持加勢まつり

開催日：2015年10月4日（日）

開催場所：基町環境護岸周辺

役割：見学

八回目の開催となる「砂持加勢まつり」が行われました。現代の町衆が1862年の「砂持加勢」を再現し、広島の文化の継承と発展に寄与することを願って行う、水の都広島らしいお祭りです。



基町地区町民体育祭

開催日：2015年10月18日（日）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

基町住宅地区の三大行事の一つである、町民体育祭が開催されました。玉入れや障害物競争、年齢別リレーなどたくさんの競技が行なわれ、毎年大人から子どもまでたくさんの方が参加しています。



もとまち花クラブ

開催日：2015年11月20日（金）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：活動参加

「もとまち花くらぶ」が行われ、プロジェクトスタッフも参加しました。一年に四回花に関するイベントが行われており、今回は、ホウキグサを使い年末の大掃除に活躍するオリジナルの箒を制作しました。



県立広島大学イベント

開催日：2015年11月23日（月・祝）

開催場所：M98 隣

役割：見学

M98 隣に県立広島大学の活動拠点がオープンしました。当日は、小学生とのダンボールを使ったオリジナルハウスづくりのワークショップや、地域の方を対象にした合唱が披露されました。



ほのぼの基町 ボランティア交流会

開催日：2015年12月12日（土）

開催場所：基町中央集会所

役割：招待参加

ほのぼの基町でボランティアをしている方への感謝を伝えるために、ボランティア交流会が行われました。手品の披露や簡単な健康体操の紹介、グループ対抗でのミニグランドゴルフなどが行われました。



広島市立基町小学校 国際理解の日

開催日：2016年1月28日（木）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：招待参加

広島市立基町小学校には様々な国にルーツをもつ生徒が、全校生徒の半数以上を占めています。各国の特色や文化の理解を深めるため、食べ物やものづくり体験を通じた学習が行われました。



基町親善グラウンドゴルフ大会

開催日：2016年2月13日（土）

開催場所：広島市立基町小学校、中央公園

役割：写真撮影

基町親善グラウンドゴルフ大会が開催され、地区の方々が約130名参加されました。雨天で1週間延期となりましたが、翌週は天気にも恵まれ青空の下多くの方がグラウンドゴルフを楽しめました。



基町地区関係機関見守り連携会議

開催日：2016年2月27日（土）

開催場所：基町中央集会所

役割：招待参加

単身世帯も多い基町住宅地区では、基町地区社会福祉協議会や基町地域包括支援センターを始め、広島市や警察署、消防署などが密に連携を取りながら、日頃から見守り活動に力を入れて取り組まれています。



広島市立基町小学校卒業式

開催日：2016年3月18日（金）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：招待参加

この年の卒業生とプロジェクトは、ピンホールカメラ授業や、卒業制作などで関わりが深く、卒業証書を受け取る姿に感動しました。完成した卒業制作の壁面の前で集合写真を撮影しました。



基町地域包括支援センター 金曜日の会

開催日：2016年3月25日（金）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：もとまちカフェ参加

1年間を振り返るお話会が行われ 25名の地域の方々が参加しました。参加者の方へ、もとまち屋台カフェの宣伝を行い、今期に制作した「こくばんカフェ」をしっかりと覚えていただけるように紹介しました。



スペシャル M トーク 年末報告会

Special M talk: Year-end report



基町地区内外の方に向けて平成 27 年に基町プロジェクトを行った取組内容を報告しました。はじめに「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を紹介した後、「もとまちカフェ」

「基町、昔の写真展」の報告を行いました。その後、進行中である「基町住宅地区の公共デザインを考えるプロジェクト」のプランアイディアを披露し、参加者と活発な意見交換が実現しました。



開催日：2015年12月20日（日）

開催場所：M98

参加者：地域住民、一般市民、広島市立大学教職員、広島市立大学大学生、中区役所職員ほか

参加人数：約25名

年末報告会・意見交換会

Year-end report, Opinion exchange meeting



基町プロジェクトスタッフと広島市立大学教員から、
基町地区社会福祉協議会や基町地区連合自治会、広島
市立基町小学校など地域の代表者に向けて、平成 27
年の取組である「もちまちカフェ」や「基町、昔の写

真展」などを報告し、来年度の取組に向けて意見交換
をしました。小学校と交流した取組が評価されたほか、
他大学との連携などは今後も積極的に進めて欲しいと
いう意見がありました。



社会福祉協議会会長からのプロジェクトに対する期待

- いろんな取組を行っているところであるが、若年世帯の入居については若い人達が自治会行事に参加するようになれば、自治会も活気づくと思います。
- 学生等の地域への取組については、広島市立大学の地域を巻き込んだ芸術面からのイベントの開催が増えていけば地域も活性化すると思われる。
- 県立大学による福祉面からの見守り活動も大きくなっていくと 思います。これらにより地域が生き生きしていくことを期待します。

開催日：2015年12月18日（金）

開催場所：M98

参加者：広島市立大学教員、中区役所職員、プロジェクトスタッフ、基町地区社会福祉協議会会長、基町地区連合自治会会长、広島市立基町小学校職員、中区社会福祉協議会事務局長

広島市立基町高校での基町プロジェクト説明会

Motomachi Project Presentation Meeting at Hirishima City Motomachi High School



広島市立基町高校卒業生のもとまちカフェ学生メンバーが、母校の美術部生徒約 90 名を対象に、基町プロジェクトともとまちカフェの説明会を行いました。約 1 時間に及ぶ説明会では、基町プロジェクトの目的やこれまでに行ってきた様々な活動の紹介を行い、

もとまちカフェへの参加も呼びかけました。高校生からは、説明を行ったもとまちカフェ学生メンバーが基町プロジェクトに参加することになったきっかけや、今後のプロジェクトの計画について質問がありました。説明会の後にも質問が相次ぎました。



実施日：2016年3月11日（金）

会場：広島市立基町高校

参加者：広島市立基町高校生徒（約90名）、広島市立大学学生（3名）

もとまちカフェ vol.2

Motomachi Cafe vol.2





シンポジウム「広島基町高層アパートと大高正人」の開催にあわせて、基町ショッピングセンターの中央広場で「もとまちカフェ vol.2」を実施し、186名が来場しました。午前中は屋上見学会の参加者が待ち時間に利用され、また、お昼頃には地域住民やシンポジウムに訪れた人が立ち寄られ賑わいました。イベントでは、学生考案のオリジナルお菓子「もとまちサブレ」やシフォンケーキ、ハーブ緑茶を無料で来場者に提供しました。学生たちは、オリジナルサブレのモチーフとなった基町ショッピングセンターの人工地盤の特徴について、来場者へ説明しました。学生たちは、このイベントに合わせて、移動屋台と折りたたみ式テーブルのほか、シルクスクリーンでロゴがプリントされたエプロンなどを制作しました。大きなテーブルを囲んで、地域住民と外から来た一般市民の交流が深められ、もとまちカフェが目指す「基町の内と外を繋ぐ」取組が実現した企画となりました。

実施日：2016年11月12日（土）10:00～14:00

実施場所：基町ショッピングセンター中央広場

スタッフ：広島市立大学学生(11名)、広島修道大学学生(4名)

来場者数：186名

もとまちカフェ

広島市立大学と広島修道大学の有志の学生が、それぞれの専門性を活かし、基町住宅地区と地区外の人的交流を生み出し「基町の内と外を繋ぐ」ことを目指す取組。週に一回定例会を行い、毎月第三土曜日に基町でイベントや地元への取材、制作などを行いました。また、平成27年度から県立広島大学ボランティア部の学生との連携もありました。（参考 p.34, p.88）



もとまちサブレ&シフォンケーキ

もとまちサブレは基町ショッピングセンターを上から見た形をモチーフにしています。2色のサブレ生地を用いて、断面が芝生、商店街、地下の3層を表しました。また、茶葉の入ったシフォンケーキも提供しました。

もとまちハーブ緑茶

ハーブと緑茶をブレンドしたハーブティーです。お年寄りの多い地域で受け入れられ、なおかつ若者にも人気の出る飲み物にしたいと考え開発しました。ハーブは基町で育てたレモンバームを使用しました。





映像作品制作過程展示

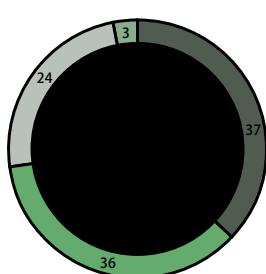
もとまちカフェのメンバーが、制作中の「基町をアピールする映像作品」について、パネル展示を行いました。



移動式テーブル

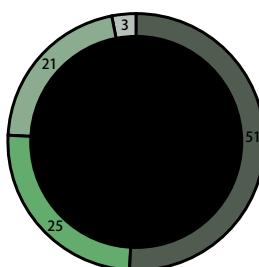
この車輪付移動式テーブルは折りたたみ式で、拠点から簡単に移動させることができます。一つの大きなテーブルを囲んで、来場者同士が会話を楽しめるようになることを狙いました。

1. 今回のイベントをどこで知りましたか



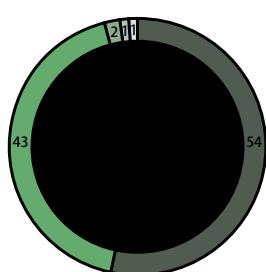
■ 広告
■ 知人から聞いた
■ その他
■ Facebook
(単位%)

2. もとまちカフェ vol.2 に行こうと思った理由を教えてください



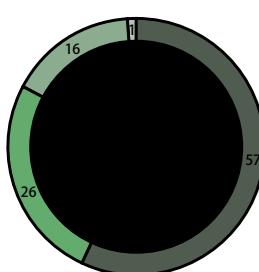
■ 楽しそうだった
■ 基町に興味があった
■ 飲食物に惹かれた
■ 無回答
(単位%)

3. またこのようなイベントがあれば、来たいと思いますか



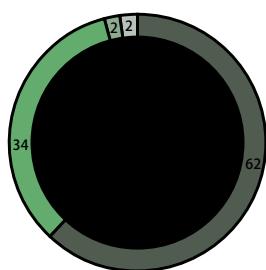
■ 是非来たい
■ 時間が合えば来たい
■ 考える
■ 来ないと思う
■ 無回答
(単位%)

4. もとまちカフェ vol.1 があったことを、知っていますか



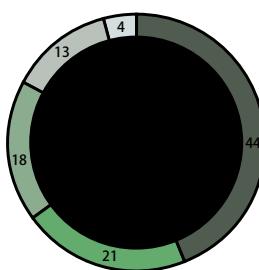
■ 知らない
■ 知ってるが行っていない
■ 知っているし行った
■ 無回答
(単位%)

5. 今日召し上がったメニューは何ですか



■ サブレ
■ シフォンケーキ
■ 両方
■ 無回答
(単位%)

6. 基町（ショッピングセンター）を訪れるのは何回目ですか



■ 初めて
■ 2～4回以上
■ 住んでいる
■ 5回以上
■ 覚えていない
(単位%)

7. 来場者のコメント

- サブレおいしかった。
- おいしかったです。ありがとうございます！
- シフォンケーキがおいしくてびっくりした。黒ごまソースうまい。
- 飲食物がとてもおいしかったです。知人がいつも大変そうに駆け回っていて、今日来てみたら色々な人がニコニコ集っていてとてもステキな空間になっていたので、報われてよかったです！
- 基町商店街（もとまちアパート）のまつりとした雰囲気によく合う、あたたかい飲み物とおいしいケーキで、とても癒されました。
- こんなにおいしくって無料なのはとても魅力的と思った！ ごまがおいしかったです。
- シフォンケーキのしっとり感がとても良かったです。
- シフォンケーキがほんのり甘くておいしかった。
- たのしい、いいこと。
- シフォンケーキおいしかったです。
- うまかった。
- おいし～！ またいきま～す！
- 若い人手作りの感じが気持ちをなごませてくれました。有難うございました。基町で頑張って下さい。
- おいしいね。にぎやかな基町をとりもどしてほしい。
- お茶がおいしい。
- 上手に焼けているシフォンケーキおいしかったです。木のテブルもステキでした。お茶も香りがよかったです。
- おいしかったです。vol.3 も行きたいです。
- とてもよかったです。無料なのはビックリしました。
- 黒ゴマのソースが絶品でした。
- ハーブティーもサブレも良い香りですごくおいしかったです。素敵なイベントありがとうございました！ おいしかったです！ ありがとうございました!! おいしかったです。ありがとうございました！
- サブレおいしかったです。また来たいです。
- 手作りで、すごくカワイくて、好感持てました。
- サブレの包装がちゃんとしておもしろかった。
- 大変な努力だと思います。
- 広場の日ざしに当たりながらお茶ができてしまわせでした。
- お菓子の説明を聞くことが基町の構造を知るきっかけになってよかったです。屋台がとても可愛い！
- サブレ美味しかったです！！！！ アパートは校舎から見えるけど、基町ショッピングセンターがこんなに広範囲に広がっ
- ているなんて知らなかったので驚きました。またイベント行ってみたいです！ 美味しいお茶とお菓子ありがとうございます！ もっと広く周知されるとよいですね！
- サブレとってもおいしかったです！ 基町に初めて来たのですが、こんな活動で人の繋がりが生まれるのはとても素敵だなと思いました。
- ハーブティーが美味しかったです。
- ハーブティーとシフォンケーキもすごくおいしかったです！ もとまちカフェおつかれ様です。
- 歌が最高によかったです。ケーキ、飲み物も豊かで静かな時間をすごすことができた。感謝です。
- とてもおいしかったです!! ごちそう様でした。前回とはまた違う食べ物、場所だったこともあり、雰囲気など、とても楽しめました。
- おいしかったです。
- おいしいケーキをありがとうございました。昔は(30年前?)基町アパートは治安が悪く、怖い場所でした。建築のデザイン的に今では興味深い地区になりましたね。若いを感じられてよかったです。
- シフォンケーキおいしかったです！
- 上手に作られておいしかったです。オシャレなチラシに引かれました。“ホッ”と一時有難う！ もとまちのアパートメントは古いけど、今造ろうとしてもつくれない社会背景と建築潮流の熱さがもたらした唯一無比のハウジングであることを、実見して感じました。
- 開いているお店が少ないので淋しいです。
- こんな事やってるんですね！ 手作り感にあふれてとてもイイと思います。
- サブレが基町ショッピングセンターを表現しているのがよかったです。
- 若い人が頑張っていて、良い雰囲気だと思います。サブレおいしいです。
- シフォンケーキにかった黒ごまの風味が良い。ハーブティーは初心者でも飲みやすかった。
- ハーブティーもシフォンケーキもおいしかったです。
- おいしかったし、女の子達が可愛かったです。
- おいしかったです！ また来ようと思います。
- 屋台とかの手作り感がかわいかったし、飲食物もおいしかった。基町についてほとんど知らない人でも、興味を持つきっかけになるかもと思った。
- サブレとお茶おいしかった。
- ヘアーサロン豊口に来たらイベントをやってるよ！ と教えて

いただき、フーリと来ました。天気がよくて、気持ちよくお茶をいただきました。いつもはただの通りが、カフェになっててステキでした。

- ハーブティーコクがあってうまいです。ありがとう。
- 楽しいとりくみにいつも感心しています。多くの人に知られ、継続したイベントになることを期待します。
- サブレを頂きました。とてもおいしかったです。
- おいしかったです。
- シフォンケーキふわふわでおいしかったです！ ソースととっても合ってました！ 黒板にイラスト描かせてもらいました。ありがとうございました！ 初めて基町ショッピングセンターに来てみて知らないことが知られてよかったです。テレビとかで見ることがなかったので、その町に行って魅力などを知られるのはいいと思いました。広島のことは、まだあまり知られていないし、知られているとしても有名なところしか知られていないので、知らないところでこのような企画などがあれば行きたいし、知りたいと思いました。またやってほしいと思いました。
- ケーキがおいしかったです。
- シフォンケーキがおいしかった。
- シフォンケーキとハーブ緑茶がとても美味しかったです。また機会があれば来ようとおもいます。
- 広島の中心地にこの様なアパート群を作ったのはすごいと思う。家賃なども安いと聞いて住みたい人がもっとたくさんいるのではないかと思う！
- 4時間だけながらもつたない完成度でした。お茶とおかし(サブレ)おいしかったです。
- めっちゃおいしいです。またあったら絶対きます。
- カフェが大好きなので来ましたが、おいしくて可愛くて大満足です！ お茶がとってもおいしかったです。3回目があつたらまた来たいです！ テーブルなど手作り感じがあり、素敵でした。次回も期待しています。
- 若い人が活動していて活気を感じるカップが持ちやすくて、おしゃれでした。とても、おいしかったです。
- ハーブティーとシフォンケーキどちらもおいしかったです。癒やされました。
- シフォンケーキおいしかったです。
- 美味しかったです！ 店もかわいくて素敵だったケーキおいしかったです。ありがとうございました。
- 皆さん元気で対応してくれて良かったです！ ハーブティーとお菓子がおいしかったです。
- シフォンケーキもお茶もとてもおいしかったです。雰囲気も良く

て基町の方々と気軽におしゃべりできたのが楽しかったです。

- ハーブティーすごく香りがよかったです！ ケーキもおいしかったし、カフェ全体の感じもよかったです。
- ハーブティーおいしかったです。
- とってもおいしかったです！ また来ます。
- 基町が若い人でにぎわい繁栄してほしい。サブレおいしいです！！ おいしい緑茶ありがとうございました。よろしく～～～!!
- 世界のどこにもない都市空間で、地域の人たちと交流しながら若い人たちの力で、楽しいまちにして下さい。
- シフォンケーキは誰もが食べやすいと思います。お味もちょうどよいかんじです。本当は陽だまりのテーブルに長く座って、皆様とのお話をしたかったです。この活動をこれからもよろしくお願いします。基町が20年前にくらべて、さみしさを感じているところでした。活気が戻ってくる予感です。もとまちカフェの小さな広告写真など素敵です。
- ハーブティーもサブレもおいしかったし、楽しそうにしている学生さんが印象的でした。ありがとうございました。
- サブレおいしかったです。
- サブレが非常においしかったです。
- コンセプトをもったサブレがとても良い！ と思いました。
- すっごくおいしかったです！
- 広島の活性化に大変貢献されていると思います。またぜひ参加させて下さい。
- 寒い中、ハーブティーで温まれて良かったです。ごちそうしました！ 雰囲気にとても惹かれました。ケーキもお茶もとてもおいしかったです。ありがとうございました。
- サブレおいしかったです。
- おいしかったです！
- 今どきなカフェに感動です。おいしかったです!! 学生さんが元気にいきいきとカフェをしていて、こちらもエネルギーもらいました。全て美味!!
- ありがとうございました。
- とてもおいしかったし、みんながえがおになれるイベントでした！ おつかれサマ!!
- 明るく楽しい雰囲気で、大変、良かった。
- シフォンケーキとってもおいしかったです。のれんや、トレイ、フォーク、全部手作りされていて、素敵です。
- ハーブケーキ、とってもおいしかったです。ごちそうさん。木のトレーフォークや、木の手づくり机、椅子も素敵でした。有難うございました。
- 100円くらいお金とってもバチ当たらないのに～と思いました。

- もとまちカフェ vol.1のときもたどりつくまでに時間がかかり、今回も少し迷ってしまいました（笑）。矢印や張り紙が少しあると良いかな……と思います？ 基町の案内マップ的なものが欲しい。
- もとまちハーブ緑茶はもとまちのお土産として売っても良いかもしませんね。
- 駐車場の案内がほしい。
- 毎週か少なくとも月に一度開かれてほしい。
- もう少し座席を増やして、スペースを広々と使うといいと思います。
- どうしてこのプロジェクトを始められたのか、初めて通った方々にもわかるようなストーリーがあればな、と思いました。
- 定期的に開いて、基町に定着させてほしい。





こくばんカフェ公開塗装

開催日：2016年5月21日（土）

開催場所：基町ショッピングセンター中央広場

参加者：地域住民（5名）、県立広島大学ボランティア部学生（9名）

スタッフ：広島市立大学学生（4名）、プロジェクトスタッフ（2名）



「もとまちカフェ」を定期的に開催し、地域との交流をより多く行うために制作した「こくばんカフェ」に、テーマカラーの黄緑とピンク、白を塗装するイベントを実施しました。ショッピングセンター通りかかつた方へ、もとまちカフェの活動や6月に行うイベン

トの宣伝を行なったり、こども達に早速黒板に絵を描いてもらったりして、地域住民と交流を深めました。県立広島大学ボランティア部の学生も立ち寄り、次のイベントに繋げることができました。



出張！こくばんカフェ～写真と共に思い出を振り返ろう！～

実施期間：2016年6月18日（土）

実施場所：広島市呉基町高層アパート4コア2階ピロティ

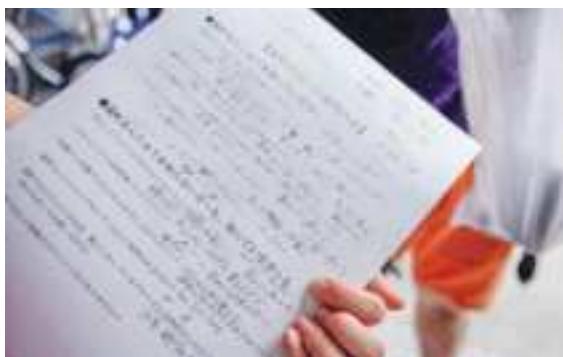
参加者：地域住民（10名）

スタッフ：広島市立大学学生（3名）、広島修道大学学生（2名）

県立広島大学ボランティア部学生（7名）、プロジェクトスタッフ（2名）

もとまちカフェと県立広島大学ボランティア部の学生との第一回目となる連携企画。基町高層アパート内の2階ピロティに「こくばんカフェ」を出張させ、基町の古い写真を見ながら昔を振り返ったり、普段の生活についての話を伺いました。このイベントをきっかけ

に「基町饅頭」という名物が基町にあったことを知った学生が、この名物饅頭を復活させたいという思いから、調査を開始することになりました。



基町ショッピングセンター取材

実施期間：2016年7月14日（木）

実施場所：基町ショッピングセンター各所

参加者：地域住民（16名）、県立広島大学ボランティ

ア部学生（10名）

スタッフ：広島市立大学学生（3名）、広島修道大学

学生（1名）

今後の活動の参考とするために、基町ショッピングセンターを歩き、基町饅頭の聞き取り調査や、ショッピングセンターが賑わっていた当時の話の取材を行いました。基町饅頭については、饅頭のレシピを公開出来ないと断られましたが、基町に住む人々のために、こ

だわってお菓子づくりをされていた姿勢に感動した学生は、そのものづくりへの思いを受け継ぎ、オリジナルのお菓子づくりを開始しました。



基町ショッピングセンターでの聞き込み調査
基町まんじゅうと昔の基町の暮らし

2016.7.14
住岡 早田 梅敷 新山 那木
松村 並川 草地 土屋

基町まんじゅうについて

- ・甘口、美味しかった
- ・基町饅頭には二種類あり、サツマイモの黄色の餡を茶色の革で包んだものと赤の餡を白い皮で包んだものがあった。
- ・お土産にしても恥ずかしくない商品だった

梅月堂に関するエピソード

- ・店舗は常にきれいで、コンクールの賞状が飾られていた。
- ・和菓子は街には出ずに、梅月堂で買う習慣があった。
- ・ショッピングセンターに店舗ができる前、バス通りに店舗があった？
- ・ショッピングセンターで唯一の和菓子屋。
- ・土曜は梅月堂！（授業終わりの小学生）
- ・有名でよく売り切れになる。
- ・子供から大人まで人気。
- ・鍋焼き（あつさり、鶏肉、かまぼこ）、かき氷（おもち）、うどん（肉うどん、甘口だし）、赤飯（祝い事）あべかわもち？、すいせん（あじさい？、中に白あん、透明なくず、きれいな色）
- ・梅月堂では季節に合わせた和菓子なども出していた。梅雨の時期には“あじさい”という水色や紫の寒天ゼリーを混ぜた和菓子や秋には“もみじ”というもみじの形をした和菓子などを出していた。他にも水羊羹やおはぎなどいろいろな種類の和菓子を売っていた。
- ・梅月堂は季節ごとの和菓子を売っていてそれがお気に入りだった。アイスクリームや鍋焼きうどんも売っていた
- ・Mさんは頑固なお父さんという感じだった。
- ・Mさんはまめな方！

昔のショッピングセンター

- ・昭和50年頃からショッピングセンターがあった
- ・100店舗（靴屋、服屋、金物屋、食事処（洋食少なかった）など）
- ・多くの若い人たちでぎわっていた
- ・20年ほど前は若い人や子供も多く、基町内で経済が回っており、外から人が来るわけではなかったが、とても賑やかだった。
- ・基町小学校全校生徒1,000人。たくさん人がいた。

基町の昔のイベント

- ・年末にやぐらを組んで、福引をしていた。ショッピングセンターでのお買い物500円につき、福引券1枚。×10枚で、福引1回というシステム。景品は、米、温泉旅行券など
- ・コア対抗でのソフトボール大会
- ・屋上でビアガーデンイベント

お菓子について

おまんじゅうは普段食べられますか？

- ・あまり食べない、仏様に供える時くらい。
- ・もみじ饅頭はよく食べる。
- 和菓子と洋菓子ならどっち？
- ・洋菓子（ケーキ、シュークリーム、エクレアなど）、スーパーで買う
- ・時と場合による。最近の洋菓子は色もおしゃれで美味しいし、お饅頭などはスーパーで行けば買えるが、求めている味はない。



基町プロジェクトなど、地域活性化に関する意見

・地域でイベントをやっても高齢の方は外に出たがらない。ちんどん屋も呼んでみたが皆観に来なかつた。

・基町プロジェクトで行っているイベント自体が若者のセンスで洒落ているが、お年寄りにとってはギャップを感じて近寄りがたい

・みんな無料のものに弱い

・基町高層アパートは原爆の後、家のない人々のために国有地にとりあえず建てられたアパート。とりあえずで作られたため、子供達が大人になってからのこと、都市部にこのアパートが本当に必要なのかということが考えられていない。もっときちんと都市計画をすべきだった。

現在、広島市は基町アパートに対し、当たり障りのない改修工事などをしているが、それはお金がないから建て直せないだけ。見通しがなく、そのつけが回ってきた。市営住宅であるため社会的弱者のみしか入れない。その縛りがなかったとしてもスペースが小さく、新規で入ろうとは思わないだろう。広島市の行政は遅れている。ここで活動するなら商店街のためや基町の人のためにするより、自分たちの勉強のためのサンプルとして使ってほしい。地域経済や空き家をどうするかを考えて欲しい。社会に出る前の練習として使ってほしい。(62歳男性)

カフェについて

・去年8月のカフェで、屋根がないからとても暑かった。
・屋上でやると階段を登らなくてはいけないので、お年寄りはしんどい。そもそも屋上には入りづらい雰囲気がある。

・商店街の広場でやればいいのでは？

もとまちタイムズについて

・お年寄りは新聞をよく読むので、縦書きが読みやすい。
・グレーの文字は読みづらい。はっきりした黒がいい。

ライトアートプロジェクト

お年寄りで、アートに興味がある人がそもそも少ない。外に出てまで見に行こうと思わない人が多い。
マンションから、見える作品とかの方が良いのでは？





県立広島大学の学生さんから

お菓子の商品開発について

- ・和菓子も洋菓子どちらが好きかは好みによる。
- ・水分が奪われないもの、のどに引っかかるないもの。
→焼き菓子、パイ、おもちなどはしんどい。
- ゼリー、プリンなどが良いのでは？
- ・甘さ、かたさの好みは個人差。
- ※糖分、塩分には気を付ける。
- ・食べやすい、小さめのものが良い。

ハーブについて

- ・植物が好きな方多いので、育ててもらえるかも？
- ・ハーブティーが飲めなくても、自分が育てたハーブがお茶になるのは嬉しいと思う。
- ・お抹茶会を開いている方がいる。
かつてたくさん集めていたお抹茶用の器などを再び使って、会をひらいている。
- 少しプライドがある…？
→ハーブティーを勧める時に配慮

point

お年寄りの好きな味より
食べやすさや
健康に配慮が必要



もとまちオリジナルお菓子試食会

実施日：2016年8月20日（土）

実施場所：M98

参加者：広島市立大学学生（5名）ほか

11月12日のもとまちカフェvol.2で提供するオリジナルのお菓子の試作品を試食しました。お菓子は、基町ショッピングセンターが地下駐車場、店舗スペース、屋上の3層になっている形状をモチーフにしており、さっくりとしたサブレを折りたたんで形作っています。砂糖はきび砂糖をつかって、甘すぎない優しい味にしました。

お菓子づくりと平行して、お菓子の名称を「もとまちサブレ」に決めたり、ラッピングなどのデザインを進めました。



ピクセルスティック実験

実施日：2016年9月17日（土）

実施場所：基町ショッピングセンター

参加者：広島市立大学学生(4名)、広島修道大学学生(1名)

11月12日のもとまちカフェvol.2に向けた準備として、ピクセルスティックを使った作品制作の実験を行いました。はじめは、夜の中央公園で様々な模様を投影して撮影の練習を行いました。その後に、基町ショッピングセンター内で撮影を行うと、照明の明るい建物の中だと少し勝手が違い、試行錯誤を繰り返しながら撮影を行いました。11月までには、映像が間に合わなかったので、写真とピクセルスティックの特徴を紹介するパネルを展示し、映像完成に向けて撮影を続けました。

(ピクセルスティック：棒状の機器が発するLEDの光を長時間露光で撮影することで、幻想的で迫力のある写真や動画を撮影できる装置。)

M トーク vol.14

M talk vol.14



「基町住宅地区活性化計画」の策定に携わったまちづくりの専門家山下和也氏をお招きし、これまでの活動や他地域での活動についてお話をいただきました。はじめに基町プロジェクトの活動を紹介した後、約 1 時間ほど山下氏から基町の戦前から戦後、現在にいたる歴史や、基町住宅地区活性化計画策定の背景や内容、これから基町のまちづくりのヒントとなるような他事業の取組紹介、基町への思いなどお話をいただきました。基町の歴史を振り返った後、基町住宅地区活性化計画策定時の話を詳しくご紹介いただきました。基町住宅地区の魅力や課題について、コミュニティと商店街の二つの部会内で検討し、課題解決と活性化のための狙いや今後の目標を考えた、ということでした。基町ショッピングセンターの人工地盤屋上の公園を活用

した庭園づくりの事例として、宇品線跡を利用した、花壇や菜園、パークゴルフスペースなどの具体例が示されました。最後の 30 分は大学生や一般の参加者との質疑応答も行いました。中央公園で子供を対象にした遊び場をつくっている方からは、地域の中でもっと繋がりを広げるためにどういった取組をするのが良いかといった質問が交わされ、基町で活動する様々な団体や大学との連携が提案され、積極的な意見交換ができました。

(基町住宅地区活性化計画：2013 年に広島市によって策定された。)



M トーク vol.14

日時：2016年6月25日（土）

会場：基町中央商店会

参加者：広島市立大学学生（6名）、一般市民（5名）ほか

講師：株式会社地域計画工房取締役 山下和也

広島市立基町小学校被爆樹模型づくり

Hiroshima City Motomachi Elementary School students make bombed treee model



広島市立基町小学校の二宮校長先生から、夏休みを利用して基町周辺の被爆樹をテーマにした立体模型づくりが依頼され、児童との模型製作を行いました。

事前準備として、模型のデザインや土台制作をプロジェクトスタッフで行った後、夏休みの 2 日間を使って、5 年生 5 名と、基町とその周囲にある被爆樹を紹介する模型を制作しました。2 日間ともに大学生がアシスタントとして参加し、被爆樹や周辺の建造物の細かい造形を指導しました。一日目には、模型の土台となる地図の着彩と、被爆樹の土台を制作しました。二日目には、メインとなる被爆樹を木の傾きや原爆による幹の傷などの特徴に留意しながら、つくり込んでいきました。市営基町高層アパートや広島城、原爆ドームなど、基町周辺の主要な建造物も紙粘土や発泡スチ

ロールなどを使って作り込むことで、模型の完成度を上げていきました。被爆樹と建造物などをそれぞれの位置に取り付け、被爆樹の特徴も一本いっぽんに加え、原爆ドームから基町アパートへ伸びる平和の軸線を赤い毛糸を使って表現しました。制作の様子は中国新聞に取材され、新聞で紹介されました。完成した模型は「第 55 回地図ならびに地理作品展」に出品され、広島市長賞を受賞し表彰されました。さらに、11 月 12 日に基町小学校体育館で開催されたシンポジウム「広島基町高層アパートと大高正人」では、児童らがステージにあがり、模型製作の難しさや楽しさ、制作を通して感じた平和への思いなどを来場者の前で発表しました。また、完成した模型はシンポジウム会場で展示され、多くの来場者に鑑賞していただきました。



実施期間：2016年8月4日（木）、8月5日（金）9:00～15:00

実施場所：M98

参加者：広島市立基町小学校5年生（5名）、教諭（1名）、広島市立大学学生（5名）ほか





県営基町住宅デジタルアーカイブの作成

Digital archive: Prefecture-based Momomachi residential



2015 年から開始した「基町、昔の写真展」をきっかけとし、2016 年より変わりゆく基町住宅地区の様子を記録するデジタルアーカイブ・プロジェクトを開始しました。2016 年 3 月 22 日、このプロジェクトの一環として、取り壊しが決定している県営基町住宅 12 号棟の外観と内観を、高画質デジタルカメラとドローンを用いて撮影しました。これらの記録資料は、住宅建築の歴史資料としてアーカイブされ、基町住宅地区の住宅建築や歴史を広く周知することを目的とし

て、一般市民や研究者の閲覧に供されました。なお、撮影した映像は大学生が映像編集を行い、約 12 分の映像にまとめられ、YouTube で一般公開しています。動画には、「人の気配がない。解体間近でしょうか?」、「私の住んでいた所の近くだ。懐かしい」といったコメントがあり、建築に関心がある方だけでなく、かつてこの地域に住んでいた方に懐かしい景色を共有する役割を果たしています。



実施日：2016年3月22日（火）～2017年9月19日（月）

実施場所：県営基町住宅 12号棟、M98

参加者：大成ナグバス株式会社担当者（3名）、広島県職員（1名）、広島市立大学学生（1名）、広島市立大学教職員（1名）、プロジェクトスタッフ（1名）

デジタルアーカイブレクチャー

Digital archive lecture



「基町、昔の写真展」で収集した写真データの長期的保存と、将来的には一般公開を目指す取組に向けて、大学生を対象にデジタルアーカイブに関するレクチャーと実作業を実施しました。

レクチャーでははじめに他地域でのアーカイブ事例として、東日本大震災後に総務省が始めた事例や、2010 年度から東京文化発信プロジェクト室（現アーツカウンシル東京）が始めた P+ARCHIVE というアートプロジェクトのアーカイブ事例などを紹介し、さらに日本以外の国で運用される、デジタルアーカイブのサイトを見ていきました。

レクチャー後には、実際にエクセルを使い表データへ写真の撮影時期、撮影場所、提供者情報などを打ち込んでいきました。

今回作成した表データがベースとなって、今後集まる写真についても継続してデジタルアーカイブに取り組み、インターネット上の公開を目指していきます。

実施期間：2016 年 9 月 22 日（木）

実施場所：M98

参加者：広島市立大学学生（4 名）ほか

講師：広島市立大学芸術学部非常勤助教 鹿田義彦



シンポジウム「広島基町高層アパートと大高正人」

Symposium "Hiroshima Motomachi High-rise Apartment and Otaka Masato"



建築から約 40 年が経過し、住民の少子高齢化や建物の老朽化などの諸課題を抱える基町アパートのこれからについて考える機会として、基町高層アパートの設計に携わられた大高正人氏の仕事を振り返りながら、基町アパートの未来について考えるためのシンポジウムを開催しました。登壇者には、大高氏と共に設計に

携わった藤本昌也氏や、広島復興史の第一人者である石丸紀興氏等をお招きし、基町アパート建築の背景や、基町の歴史についてお話しいただきました。また、合わせて来場者からの質疑応答を交えながらパネルディスカッションを行いました。

実施期間：2016年11月12日（土）14:00～17:00

実施場所：広島市立基町小学校

参加者：広島市立大学学生（113名）、一般市民（148名）

登壇者：石丸紀興（元広島大学教授、広島諸事・地域再生研究所代表）、藤本昌也（現代計画研究所取締役会長、広島建築士会連合会名誉会長）、小林礼幸（広島市都市整備局住宅部住宅整備課基町住宅担当課長）

司会：松隈洋（京都工芸繊維大学教授）

共催：文化庁

シンポジウム・ドキュメント：<http://mps1.strikingly.com>





司会 松隈 洋

藤本 吕也





基町アパート屋上見学会

実施日：2016年11月12日（土）

参加者数：一般（52名）ほか

講師：藤本昌也、高田由美（アーキウォーク広島・副代表）



見学会では、基町アパートの設計に携わった藤本昌也氏から、建設当のことなど貴重な話の後に、2班に分かれて、大高氏の思いや基町アパートの特徴などの話を交えながら、屋上などを約1時間見学しました。

短い時間ではありましたが、アンケートには「アパートが建てられた背景も含め、内容の充実した解説を聞きながら見学でき満足」、「またの機会があれば参加したい」といった感想がありました。



アンケート

- 天気がよくちょうど良い時間帯でした。ありがとうございました。(50歳女性)
- やっと参加することができました。楽しみにしていたイベントです。とても楽しかったです。ありがとうございました。(29歳女性)
- 設計、建築当時の貴重なお話が聞けて大変面白く、楽しい時間を過ごせました。ヒロシマ戦後の住宅に関わる大切な財産だと思うので、有料でもいろいろな場所を見学できるようになれば良いと思います。(39歳女性)
- 素晴らしい体験ができました。屋上からの眺めは改めて「広島を感じるものとなりました。藤本先生の話を聞けたことは幸いでした。ありがとうございます。(62歳女性)
- NHK 基町アパートという番組を見て見学会に参加したいと思っていました。(64歳女性)
- まだお話を聞きたかったです。不満を言えば時間が短かった。(45歳男性)
- アパートが建てられた背景も含め、内容の充実した解説を聞きながら見学でき満足しています。こういった形で普段は立ち入りがたいアパート内や敷地に入ることができ、感謝しております。(22歳男性)
- 初めて基町高層アパートの内部屋上などを見学して、3000所帯の人が住んでおいるのに驚きました。一つの街のよういろいろな施設がたくさんあるのが興味深かったです。屋上庭園をもっと花緑でいっぱいにして欲しい。(64歳男性)
- 貴重なお話ありがとうございました。基町アパートの歴史をかんじることができました。(27歳女性)
- カフェが開かれて地元の人と触れ合えてよかったです。お店を全部開いてお祭りをしたらいいと思います。
- 経験のある人の話が聞けてよかったです。みんながイヤホンで聞いてよかったです。カフェやいろんな若い人や地元の人と一緒に活動していくらいいと思います。(53歳女性)
- 藤本さんのお話を聞きながら、見学でき面白かったです。(28歳男性)
- 貴重な体験でした。本日の内容をよく振り返りましたの機会があれば参加したいです。(46歳女性)
- 楽しく藤本さんのお話を聞かせていただきました。(60歳男性)
- 理想としての屋上。屋上が賑やかであった時を勝手に想像しました。(53歳男性)
- 巨大迷宮で観光地化できそう。(51歳男性)
- 長年の念願の見学会ができて満足です。古い建物・集合住宅が夫婦揃って好きなので機会があればまたこういった見学会に参加したいです。(47歳男性)
- 大変魅力にあふれた建築物で、細かな解説もしていただきとても楽しく見学することができました!このような空間で生活できたらと憧れています。今回はありがとうございました。(45歳女性)
- 2年前から基町アパートの見学会申し込みが定員オーバーで参加できず今日やっと実現しました。ありがとうございました。(51歳男性)
- 一度来てみたいと思っていたので、とても楽しかったです。屋上に入れる機会がもっとあればビアガーデンとか実現できたらよかったのに。(45歳女性)
- お天気も良く見たことない景色がみられ感動しました。もう少し時間と場所を拡大して見学できる企画があれば是非参加したいと思いました。ありがとうございました。(49歳女性)
- なかなか入れない屋上に入らせていただき感激です。部屋内部も入ってみたかったなと思いました。ありがとうございました。(49歳女性)
- 今回は貴重な機会でした。もっと回数多くあれば良いと思います。(54歳女性)

ファニー・ハーラン「Aussicht- 望」写真展

Fanny Harlan “Aussicht–Nozomu”



ドイツ人留学生ファニー・ハーラン (Fanny Harlan) が、撮影した基町の写真展「Aussichtt 一望」を開催しました。ハーランは、2015 年 9 月に広島市立大学芸術学部に交換留学生として来日後、基町アパートに強い関心を抱き、何度も撮影のために基町へ訪れました。この写真展を通して、文化や習慣などといった枠の外側から日常を見つめる機会を提案しました。地域の方からは、普段見ている風景がハーランによって切り取られることで見慣れぬ景色になる驚きや写真の美しさに好意的な意見が多くありました。

会期：2016 年 5 月 15 日（日）～7 月 14 日（木）

会場：モトマチ・アートウィンドウ



ファニー・ハーラン Fanny Harlan
1993 年ドイツ・デュッセルドルフ生まれ。2012 年 ルドルフ・シュタイナー学校卒業。2013 年ハノーバー 専科大学写真報道学を専攻。2015 年広島市立大学に 交換留学。写真家・キュレーターとして活動の幅を広げている。



《Aussicht -望》

写真

2016

アーティストコメント

広島の真ん中に立つ華麗な基町アパートの全体像を捉えることは困難です。最初にこの建物の端正で都会的な廊下を歩いた時、私はまるで違う世界にいるように感じました。その経験は広島に対する全く新しい視点を与えてくれました。私にとって基町アパートはいろいろな点で他の場所よりも直接的で正直に思えます。ここで私は、多くの歴史や秘密、矛盾が塗込まれたざらざらとした外観に出会うことができました。私は何時間でもこのカプセル（基町アパート）の中で過ごすことができます。静寂な建築に惑わされ、地下や建物の入り組んだ廊下で迷うたび、私はいつも全く新しい場所を発見することができます。基町アパートの屋上から広島の街中が見えるにも関わらず、この場所はまるで隔離されているように感じます。だからこそ私は基町アパートが大好きです。この美しい不完全さこそ、私にとってより真実に近い存在です。高層アパートの中を歩き回ってから外に出ると、私の中で何かが変わったことに気付きます。それは基町以外の場所に対する私の視点も変わったことを意味しています。













創造・交流拠点づくり M98 <make>

Creation and Creating an exchange base M98 <make>



2016年4月から、基町プロジェクトの創造・交流拠点として、基町中央商店会内で空き店舗となっていた「ファッションルーム・アルル」を借り受け、基町プロジェクト内で行う「創作スペース」として整備を開始しました。これまでM98で制作なども行っていましたが、機材や備品で手狭になり、さらに会議や来客対応の頻度が多くなった為、制作を行うスペースを新たに確保する必要に迫られたこともあり、新しい拠点を設けることにしました。

はじめに残っていた大量の荷物やゴミを片付け、大学生らに手伝ってもらい室内やガラス面の清掃を行いました。内部は何年も使われていなかったため、埃や汚れがひどく、掃除には5人がかりで丸一日かかりました。また、床のカーペットを剥がし、塗料で

グレーに塗り直しました。壁面は学生らと白に塗装したことで見違えるように綺麗になりました。改修完了後には、基町の未来を考える「基町・中島町未来模型 ver.1」の制作を行いました。(2018年4月からは、M98<make>を別空店舗へ機能移転し、新しくM98<display>としての整備を開始。)

実施期間:2016年5月26日(木)～8月20日(土)
実施場所:旧ファッションルーム・アルル(基町中央商店会)



創造・交流拠点づくり M98 <eat>

Creation and Creating an exchange base M98 <eat>



2016年4月から、基町プロジェクトの創造・交流拠点として、基町中央商店会内で空き店舗となっていた「うどん屋・ささき」を借り受け、基町プロジェクト内で行う「食」イベントの交流拠点として整備を開始しました。

はじめに残っていた冷蔵庫や食器などの什器を廃棄し、使えそうな棚などは大学生に手伝ってもらい清掃して再利用しました。カウンター内はモルタルで床面

を整え、カウンターと看板も新しく設置しました。壁と床に設置してあったレンガは、黒く変色していたため、白くペンキで塗り直しました。

8月以降、月に一度「食」をテーマとしたワークショップ「グローカルキッチンプロジェクト」による活用を開始し、地域の方や大学生、一般の方と一緒に調理後の食事を通じたコミュニケーションを深めています。

実施期間:2016年5月26日(木)～8月30日(金)

実施場所:旧うどん屋・ささき(基町中央商店会)



平成 28 年度<創造の場>事業 No.04
Creative Program No.04

パノラマ・モトマチ vol.1

Panorama Motomachi vol.1

会期：2016 年 7 月 15 日（金）～9 月 30 日（金）

会場：モトマチ・アートウィンドウ



撮影：橋本健佑

広島市営基町高層アパート 4 コア屋上から市内をパノラマ撮影した写真展「パノラマ・モトマチ vol.1」を、モトマチ・アートウィンドウで開催しました。基町高層アパートの屋上は、市内を一望する隠れた名所であり、またここからの景色は、広島・基町の復興の歴史を伝える地域資源でもあります。パノラマ・モトマチの第一弾となる今回は、4 コアの屋上から望む太田川

から瀬戸内海、宮島へと続くランドスケープや、人々が憩う広島市中央公園などを、高解像度カメラで撮影したパノラマ写真を展示しました。この展示を通して、通常一般の方が立ち入ることのできないアパートの屋上からの景色を、誰もが体験できる機会を提供しました。





撮影：橋本健佑



平成 28 年度<創造の場>事業 No.05
Creative Program No.05

パノラマ・モトマチ vol.2

Panorama Motomachi vol.2

会期:2016年10月1日(土)~2017年2月15日(水)

会場:モトマチ・アートウィンドウ



撮影:橋本健佑

パノラマ・モトマチの第二弾として、広島市営基町高層アパートの14コア屋上から、広島市立基町高校や広島城など、基町の東方面を撮影した写真を展示しました。基町の東側は、官公庁などのビルが建ち並ぶ風景が続き、第一弾の宮島方面を写した写真とはまた

違った景色を楽しめます。モトマチ・アートウィンドウはバス通りに面しているため、ショーウィンドウ全面に広がるパノラマ写真は、基町住宅地区内を通過するバスの車窓からも見ていただけました。





撮影：橋本健佑



平成 28 年度<創造の場>事業 No.06
Creative Program No.06

パノラマ・モトマチ vol.3

Panorama Motomachi vol.3



撮影：橋本健佑

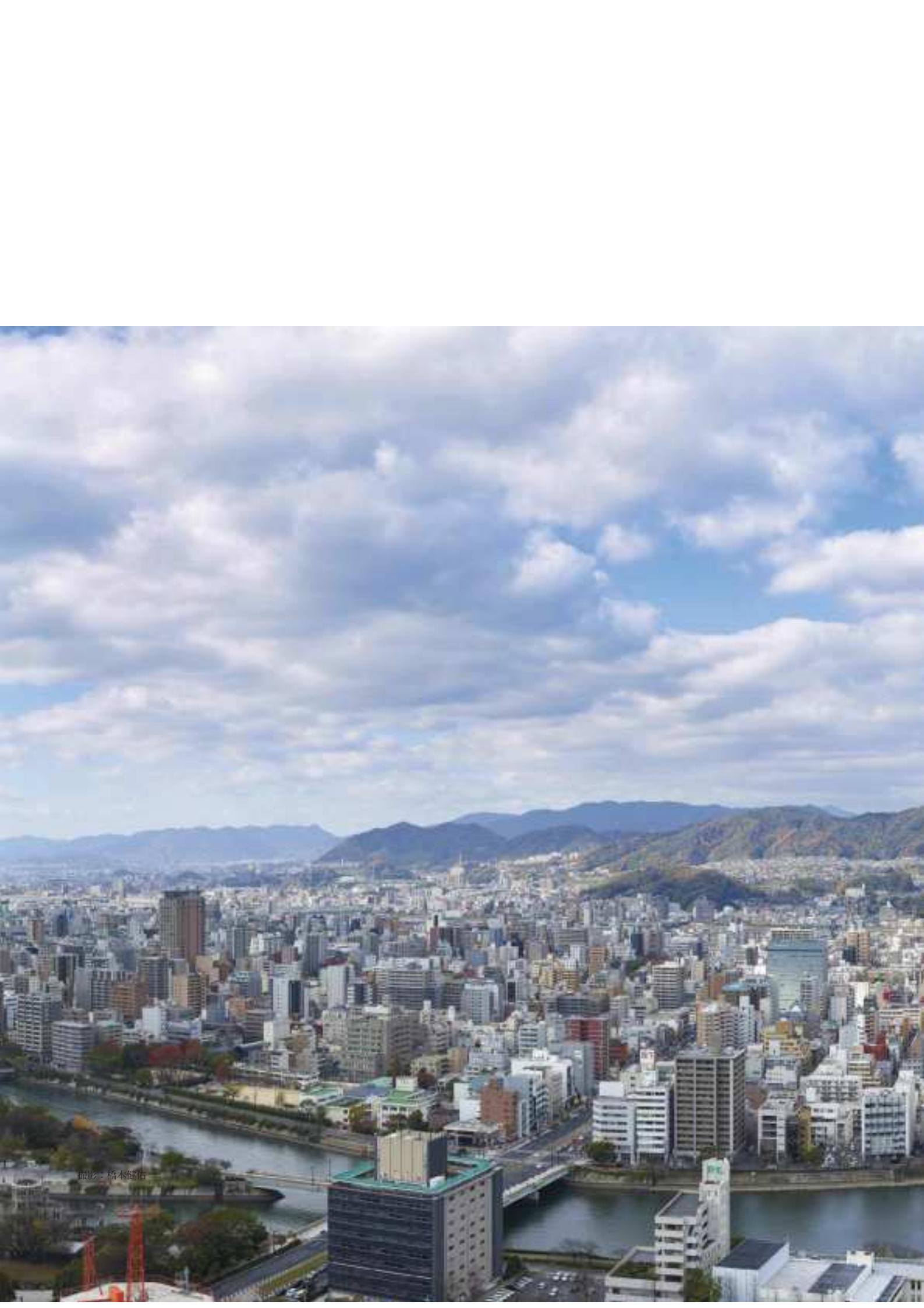
パノラマ・モトマチ第三弾。リーガロイヤルホテル広島の協力を得て、32階宴会場の室内から基町周辺を撮影したパノラマ写真を展示しました。旧広島市民球場跡地から広島県立総合体育館、広島市中央公園、基町住宅地区、広島城など、広島の「基」である基町の景色を撮影し、外から見た基町を展示しました。

会期：2017年3月11日（土）～6月3日（土）

会場：モトマチ・アートウィンドウ

協力：リーガロイヤルホテル広島



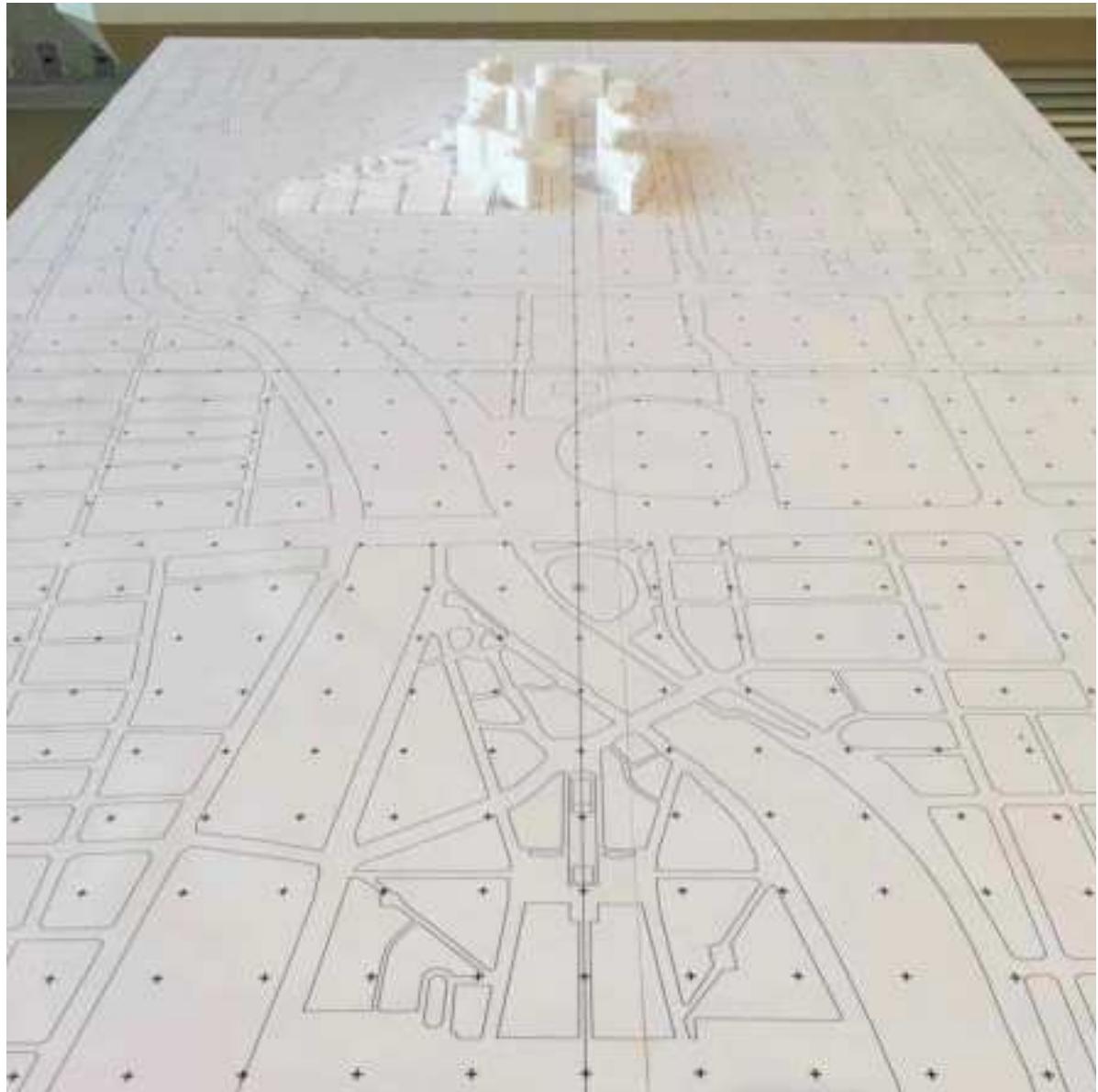


撮影：橋本健佑



基町・中島町未来模型 ver.1

Motomachi・Nakajimaco Future model ver.1



基町の未来を考えるための模型を、基町住宅地区から平和記念公園までの範囲を 1/1,000 スケールで制作しました。建物などを自由に動かしながら考えられるデザインで作成し、今後も手を加えてバージョンアップしていきます。

実施期間：2016 年 8 月 21 日（日）～2017 年 2 月

24 日（金）

実施場所：M98 <make>、M98



基町、昔の写真展Ⅱ

“Motomachi Old Photos Ⅱ ”



昨年に引き続き、第二回目となる写真展「基町、昔の写真展Ⅱ」を開催しました。地域の方を中心に一般の方から、昔の基町の様子が垣間見られる家族写真や学校行事などの記念写真、地域のお祭や何気ない日常風景の写真など約 150 枚の写真を提供いただき、その中から約 60 点を展示しました。展示構成は昨年に引き継ぎ、A3 サイズほどに拡大した写真と、3 つの年

代別の地図を会場に設置し、撮影場所が分かるものは、地図に旗を立て紹介しました。

今回展示のテーマカラーは一回目の緑からオレンジに変え、寺西佐恵佳さんにポスター やチラシ、サイン関係のデザインをしてもらいました。また、昨年に展示した写真を A2 サイズのパンフレットに編集して会場で展示しました。(第一回目は p.142)

会期：2016 年 8 月 1 日（月）～8 月 31 日（水）（8 月 14 日～16 日は休場日）

会場：基町中央商店会

ディレクター：鹿田義彦

デザイナー：寺西佐恵佳



ディレクターコメント

一年目に引き続き、「基町、昔の写真展Ⅱ」の企画を担当させていただきました。枠組みは大きく変えずに中身を一新することにし、改めてこれまでにお借りした写真と追加でお預かりした写真と向き合いました。好評いただいた前回から、「今年もやっとるね」という恒例の感をどうつくるべきか？ そんなこと

をスタッフや提供いただいた方々とお話ししながら、作業を進めていったことを思い出します。豊富な写真とアーカイヴのあり方、そしてその活用法、少し踏み込んだ問題意識を共有できたように思います。



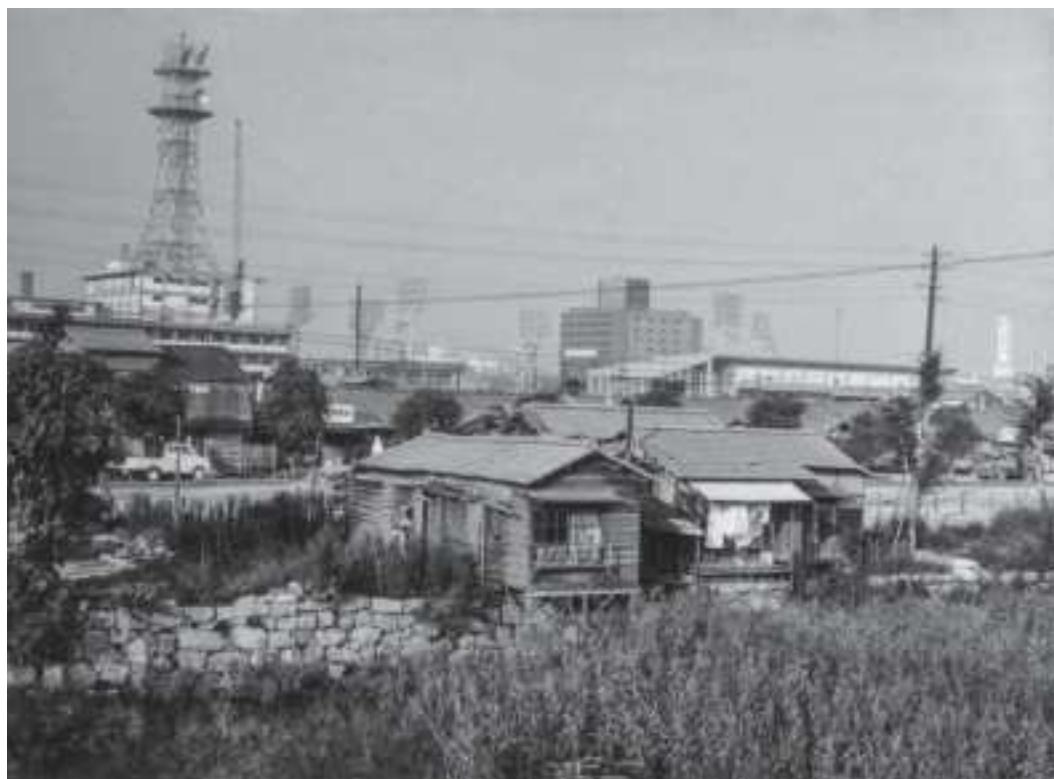
















「基町、昔の写真展」で使用する写真は、基町に在住またはかつて住んでいた方から提供いただいている。写真提供時には、写真が撮影された当時の様子や、撮影場所など思い出話を伺い、展示写真と一緒に紹介するエピソードや、撮影場所の説明に反映しています。

写真の収集枚数は一回目が一番多く、二回目の開催では、一回目の写真展を見て持って来てくださる方もいました。公民館や小学校の協力を得て、写真を持っていそうな方を紹介していただくこともありました。写真展では、戦後の基町住宅地区を撮影した写真を展示



会場風景

していますが、提供者の中には、戦前基町住宅地区の場所にあった陸軍病院の資料や写真を持っている方もおられ、貴重な資料を提供していただきました。



基町歴史トーク

実施日：2016年8月11日（木・祝）

実施場所：基町中央商店会

参加者数：一般市民（8名）、大学生（7名）ほか

写真提供者から、写真が撮影された当時の話や、年代別に制作された3種類の地図を見ながら、街の移り変わりについて話を伺いました。昨年に比べ地域住民より地域外からの参加者が多いイベントになりました。



撮影場所を巡るツアー

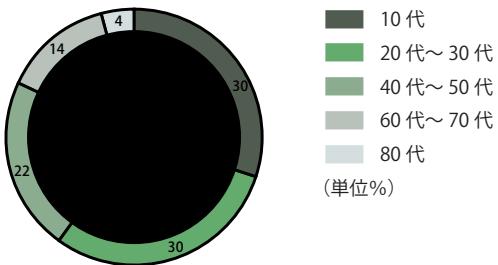
実施日：2016年8月11日（木・祝）

実施場所：基町中央商店会、基町各所

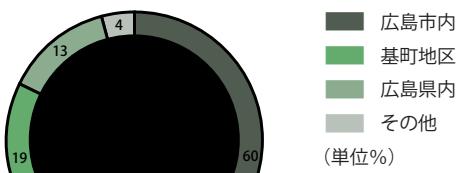
参加者数：一般市民（1名）、大学生（5名）ほか

展示写真の中から、撮影された場所がわかる写真を8点選び、その撮影場所を巡りました。参加者の多くは基町を初めて訪れた大学生で、プロジェクトスタッフから基町の歴史やアパートの特徴などの話を聞きながら、昔と現在を比べて歩きました。

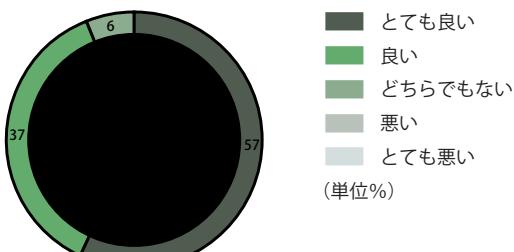
1. 年齢について



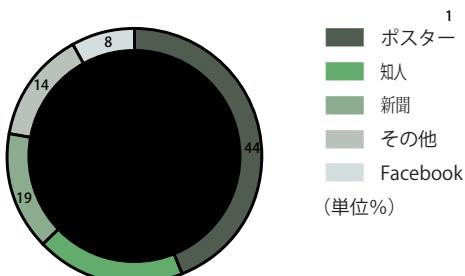
2. お住いの地域について教えてください



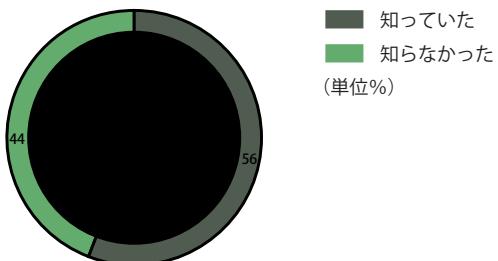
3. 今回の展示についてご感想を教えてください



4. 今回の展示をどこで知られたか教えてください



5. 「写真展」の開催前から、「基町プロジェクト」について知っていたか教えてください



6. 基町プロジェクトに今後期待することや、写真展への感想を教えて下さい。

- とても良いと思う。こういう企画をどんどん立てて基町を盛り上げて欲しいです。ありがとうございます!! (20～30代・基町地区内)
- 単発のイベントだけでなく、音楽作品展示販売など組み合わせて行えば、もっと盛り上がるのではないか。(60～70代・市内)
- とりあえず始まったということで寄りました。時間がないのでまた寄ります。ご苦労様でした。(60～70代・基町地区内)
- 本格的なまちづくりのプレゼンを公の場でアクションしてほしい。してみては? (20～30代・市内)
- これからも末永く取り組んでください。(40～50代・市内)
- 写真の思い出が短い文章でも添付されるとさらに良い。(60～70代・市内)
- 「14」の旗の近くにクスノキがありますが、昭和33～34年

頃半分に割れた木の中に寝転んで遊んでいました。私が小学2年頃だったと思いますが、当時から大きな木だなあという思い出があります。今では盛り上がって復活しています。(60～70代・市内)

僕がしかった約43年前の彼女が写っていました。1967年とありましたが間違いですね。1973年頃です。(40～50代・県内)

息の長い街と併走していくような活動、すばらしいです。がんばってください。暑さでパネルが落ちまくっていますね。両面熱に弱いですよね。メンテお疲れ様です。(20～30代・市内)

昔の基町で育ちました。今お店が少なくなって、さびれていこうに見えるのがとてもさみしいです。ぜひ昔の活気を取り戻して下さい!期待しています。(40～50代・県内)

町の活性化につなげるよう続けて欲しい。(40～50代・市内)

- 帰省してこの写真展を知りました。「基町、昔の写真展」東京でも購入できる写真集として販売して欲しいです。今後も皆様の活動が拡がることを祈ります。(60～70代・基町地区内)
- 若い人の頑張りに敬意を表します。これからも続けて欲しいです。街全体が高齢化し、商店街をはじめ廃れてしまいそうです。市全体の取組が必要だと思います。(80代以上・市内)
- 商店の中での展示で街の雰囲気を感じながら写真を見られて良いと思いました。(20～30代・市内)
- うちの両親も写真あった筈。次回あれば出展したいものです。(40～50代・その他)
- いろいろわかりやすくなっています。(10代・基町地区内)
- 昭和31～49年頃まで住んでいました。あまりに懐かしくて涙が出そうになりました。(60～70代・宝塚市)
- 大学の看護実習（地域看護学）で訪問看護同行でこちらの団地に来ていました。とてもなつかしいです。建物はだいぶ古いで、歴史のひとつとして残して欲しいです。(20～30代・福岡)
- 昔を見直すと今の力になると思う。大変かと思いますが。良かったです。(40～50代・市内)
- 今年も写真展があるというのを新聞で知り見にきました。今回展示された写真もよかったです。(40～50代・県内)
- 一回しか会議に参加していないので、イマイチ基町のことが分からなかったのですが、今回街を歩いたり写真を見たりして基町の現状が分かりました。これからもがんばってください。(10代・市内)
- 基町がもっと明るくなりそうです。(10代・基町地区内)
- 写真に出ている子ども達の今の姿をお知らせください。興味深々です。(40～50代・市内)
- いろいろ昔のことがのっていてわかりやすく勉強になりました。(10代・基町地区内)
- 基町の子ども達が元気に暮らしていたからよかったです。(10代・基町地区内)
- もう少し考え方をはっきりしたら、また意見も出できます。戦後史如実に語る基町の発展を心より願っています。(80代以上・基町地区内)
- 昔と比べて店等も少なくなり、寂しいですが活性化お願いします。(20～30代・東京都)
- もっと宣伝して沢山の人に見てもらいたいです。お疲れ様でした。思い出を沢山ありがとうございました。もっと声が届けばまだまだ思い出の写真を持っておられる人があるんじゃないでしょうか。(80代以上・市内)
- 変わりゆく町を残すのはとても大切で素晴らしい取組です。次回は同時代の他地域と比較してはどうですか？兵庫県は明舞団地再生取組あります。(40～50代・兵庫県神戸市)
- アパートの住民間の交流(20～30代・県内)
- 基町の歴史や活気のある時代の写真を見ることが出来てよかったです。(20～30代・県内)
- 興味深かったです。(20～30代・県内)
- 小学校の頃、親戚が基町高層アパート9コーナーの19階に住んでいて、日曜日によく行っていました。市内の一望がすごく新幹線が走るのが見えて興奮していました。(40～50代・安佐北区)
- がんばってください。たくさん写真が集まったらデジタルミュージアムのようにできたらいいですね。(20～30代・県内)
- 生まれて約10年、基町で暮らし思い出がたくさんあります。なつかしく思いました。町並み、生活する人達の元気さが伝わってきました。私の住んでいた場所が昭和28年地図にない！思い出ある空き地がない。おそらく広場の北口にあったのですが。これからもいっそ調査を深め広島の変化の記録を残してください。(60～70代・廿日市市)
- 基町に居住する人たちが集まれる企画を地道にすすめてください。日本人じゃない人とも話がしたいです。外部から若い人たちが関わるのもイイことだと思います。(60～70代・基町地区内)
- 県立大学の者です！今後もお世話になります(^^)今まで知らないかった基町の昔の姿を知れて嬉しかったです!!(10代県内)
- 今後の継続期待大です!!わたしも昭和20～30年居住していくとでもなつかしかった。(40～50代・市内)
- 今年も遅ればせながら写真展を見にきました。とても懐かしく見させていただきました。(40～50代・市内)
- 「3」の写真1965年とありますが、歩道前の方の△印は1970年代後半からです。県警に問い合わせてみてください。写真展Ⅲを楽しみにしています。(60～70代・市内)
- 広島城～体育馆三篠橋付近の地図が欲しい。(60～70代・基町地区内)
- 世代が変わっているので仕方ないですが、年代ごとにもう少し多くあるのかと思いました。懐かしかったです。(40～50代・市内)
- とても興味ある基町高層について少し知れてうれしいです。(20～30代・市内)
- 懐かしく拝見しました。(60～70代・市内)

グローカルキッチンプロジェクト Glocal KitchenProject



2016年4月より、基町中央商店会内で空き店舗となっていたうどん屋跡を、創造交流拠点 M98<eat>として整備を行いました。8月からは「食」の交流イベント「グローカルキッチン」を開始しました。「グローカル」とは、「グローバル（Global）」と「ローカル（Local）」を掛け合わせた造語で、地球規模の視点で考え地域視点で行動するという意味を持ちます。「食」を通じて地域内外の方々や学生とのコミュニケーションを深

め、世界の様々な食文化や地域の魅力を学び、ローカルとグローバルの視点で考察する場を提供しています。例えば、中山間地域の課題である猪や鹿などの獣害について猟師の方に学びつつ、食材として活用するジビエ料理体験や、安田女子大学管理栄養学科の教員、学生による高齢者のための減塩料理体験など、単に食事をするだけではない、学びや交流が生まれる「プロセス」を参加者と共有しながら取り組んでいます。

グローカルキッチン Facebook : <https://www.facebook.com/glocalkitchenjapan/>

グローカルキッチン Instagram : <https://www.instagram.com/glocalkitchen/>



三上 賢治
広島市立大学特任教員

ディレクターコメント

私が企画するグローカルキッチンプロジェクトは、広島市立大学のアートやデザイン分野の学生だけでなく、他学部や他大学、さらには地域内外の方々が参加しやすい「食」という身近なキーワードから創造的なコミュニティを考える、豊かな交流の場を目指しています。開始当初は参加者を集めることが大変でしたが、地域の方々や他大学、地域包括支援センター等のご協力もあり、現在は地域外からも人が集まるようになりました。また、地域交流だけでなく、広島に住む外国の方々との国際交流も始まりつつあり、今後は「地域+国際」交流として、より「グローカル」な視点での交流イベントを開催し、地域を盛り上げていきたいと考えています。



グローカルキッチンプロジェクト vol.1

「ジビエ料理と中山間地域のライフスタイル」

実施日：2016年8月27日（土）

実施場所：M98<eat>

参加者：広島市立大学学生（5名）、地域住民（1名）、一般市民（6名）ほか

講師：南澤克彦（猟師）

第一回目は、広島市立大学の卒業生であり、広島県安芸高田市で猟師をしている南澤克彦氏を講師に招きました。安芸高田市をはじめとする中山間地域の課題である猪や鹿等の獣害を解決するために、鹿肉などを食資源として活用していく取組についてお話をいただきました。実際に南澤さんが狩猟した鹿の肉を、「アロゼ」というフランスの調理方法を用いて参加者みんなで調理した後、安芸高田市で採れたお米や野菜と一緒にいただきました。



グローカルキッチン・プロジェクト vol.2

「リノベ飯」

実施日：2016年9月30日（金）

実施場所：M98<eat>、M98

参加者：広島市立大学学生（7名）ほか

講師：國本善平（広島市立大学特任教授）

M98<eat>の整備を完了するため、学生参加者7名と一緒に、カウンターのニス塗りなどを行いました。作業完了後には、基町中央商店会内の八百屋さんや肉屋さんのほか、基町ショッピングセンター内の商店で販売されている食材を用いて、國本善平特任教授による労働者のためのまかないご飯「リノベ飯」を体験しました。普段料理をしていない学生が多かったため、基礎的な調理方法のレクチャーを受けながら、國本さんが考えた7品の多国籍料理を参加者全員で作りました。基町で調達可能な食材で、イタリア風、フランス風、中華風などグローバルな料理が作れることを学びました。



グローカルキッチン・プロジェクト vol.3

「カカオ豆から作る本格チョコレートの作り方」

実施日：2016年10月22日（土）

実施場所：M98<eat>

参加者：広島市立大学学生（4名）、一般市民（3名）

ほか

講師：橋本健佑（広島市立大学写真映像教務員）

カカオ豆から作る本格チョコレートの作り方について、広島市立大学写真映像教務員の橋本健佑氏からレクチャーしていただき、本格的なチョコレートの作り方、味わい方に加えて、市販のチョコレートと比較する味比べ体験を行いました。チョコレートは、甘いお菓子という側面だけでなく、ポリフェノールなどの栄養を含み、抗酸化作用や疲労回復など様々な効能を持つ優れた食品として知られています。完成したチョコレートの味比べは、結果的に自分達が作るチョコレートよりも、デパート等で販売されている高級なチョコレートの方が美味しい、味のバランス、形の美しさがよく考えられていることがわかりました。



グローカルキッチン・プロジェクト vol.4

「米粉麺と中山間地域のライフスタイル」

実施日：2016年11月19日（土）

実施場所：M98<eat>、M98

参加者：広島市立大学学生（4名）、地域住民（1名）、
一般市民（20名）ほか

講師：南澤克彦（獣師）

第一回目グローカルキッチンプロジェクトの講師をしていただいた南澤克彦氏を再度お招きました。中山間地域の農業やお米の歴史を学び、これからの農作物の選び方・向き合い方を考える刺激的なイベントとなりました。また、中山間地域の「農」の背景を踏まえ、南澤氏が作っている米粉麺を参加者と一緒に調理し、地産地消の魅力を実感しました。米粉麺は弾力があり、腹持ちが良いので少量でもお腹がいっぱいになりました。里山に暮らす若い移住者のライフスタイルについてお話をいただき、学生達にはこれから生き方や未来について、真剣に考える機会を与えていただきました。



グローカルキッチン・プロジェクト vol.5

「美味しい減塩料理教室」

実施日：2016年12月17日（土）

実施場所：M98<eat>

参加者：安田女子大学学生（11名）、一般市民（23名）、

地域住民（6名）ほか

講師：渡邊喜弘（安田女子大学管理栄養学科）

安田女子大学管理栄養学科の渡邊先生と学生11名を講師にお招きし、基町地区に暮らす高齢者の方々を対象にしたグローカルキッチンプロジェクトを行いました。テーマが「減塩料理」であることから、はじめは「薄味の料理」というイメージがありましたが、学生が調理した牛丼や桜だいこん、牛乳の入ったなめこの味噌汁、絹豆腐のデザートなど計5品は、どれも味がしっかりと出ている美味しい料理でした。味がしっかりと出ながら健康的であるという考えられた料理と、専門的な技術を学ぶ安田女子大学の学生達の手際の良さや知識に魅了されながら、学生も交えて高齢者の方々と全員で食事をしました。



グローカルキッチン・プロジェクト vol.6

「広島の魚介を使ったパエリア料理」

実施日：2017年3月24日（金）

実施場所：M98<eat>

参加者：広島市立大学学生（1名）、地域住民（13名）、
一般市民（4名）ほか

講師：伊藤久也（アーティスト）

2016年度最後のグローカルキッチンプロジェクトでは、東京を活動拠点とするアーティスト伊藤久也氏による、広島の魚介を使ったスペイン料理、パエリア体験を開催しました。エビやタコ、牡蠣や魚などの広島で採れた魚介がふんだんに入り、見た目にもとても豪華なパエリアを、参加者と一緒に調理しました。基町の地域包括支援センターの職員の方々に地域への声掛けを手伝ったおかげで、多くの地域の方々に参加していただきました。普段なかなか作ることがないスペイン料理の調理方法に興味を持って来られる方もいました。パエリアはフライパンでご飯を炒めるので少し芯が残る料理であり、学生や若い方には好評でしたが、高齢の方には少しご飯が硬かった様子でした。

平成 28 年度<交流の場>事業 No.03
Exchange Program No.03

広島市立中央図書館・広島市立大学連携事業

企画展「基町プロジェクト～若者が挑む広島のまちの賑わいづくり～」

Hiroshima City Central Library · Hiroshima City University Cooperative Project
“Motomachi Project-Creating bustle of the city of Hiroshima where young people challenge”

実施日：2017年2月25日（土）～3月24日（金）

実施場所：広島市立中央図書館2階展示ホール

来場者数：約 1749 名（開館日数 24 日間）



基町プロジェクトのこれまでの取組を紹介する企画展を、広島市立中央図書館の2階展示ホールで開催しました。「基町、昔の写真展」や「もとまちカフェ」、「グローカルキッチンプロジェクト」などの取組を、写真や映像、成果物で紹介しました。

2階展示ホールは中庭に向かってガラス面のため開放感があり、天井もとても高いので、「パノラマ・モトマチ」で制作した2.4m×5mのバナーや、活動拠点の3枚の写真を天井から吊るして展示することができました。備え付けの大型の展示ケースには、これまでに基町プロジェクトで行なって来た活動を紹介する「コレマデ」と、今後2045年までの計画を紹介する「コレカラ」を約3m×6mにプリントして展示しました。2014年から制作している「もとまちタイムス」全8号も展示配布しました。「もとまちカフェ」で制作した移動屋台2台も2016年11月12日に実施した「もとまちカフェvol.2」の映像とともに展示し、基町を

紹介する実験アニメーション「こいさんぽ」とピクセルスティックを使って撮影した実験映像「kizuna」も上映しました。また、2016年11月12日に実施したシンポジウム「広島基町高層アパートと大高正人」の記録映像も上映しました。廊下には、基町プロジェクトの基本コンセプトと「基町、昔の写真展」の一部再構成展示を行い、図書館に訪れた多くの方が立ち止まってご覧になっていました。

多くの図書館利用者の基町プロジェクトを紹介する機会となり、会期中には関連企画として、レクチャー＆ワークショップを開催し、参加者と一緒に基町の賑わいをつくるアイデアと一緒に考えました。





会場風景（部分）



学生のデザインによるバナー

「春日アロソイブト」
コレマテ



2014-2016



これまでの活動紹介

コレカラ



2017-2020



2017



2018



2019



2020



2045



これからの活動計画



もとまちカフェの移動式屋台、スタッフウェアほか



もとまちカフェで制作した実験映像作品紹介



基町に関する図書展示

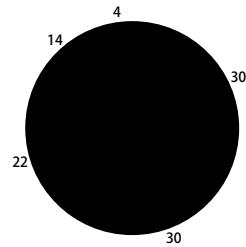


基町に関する図書展示

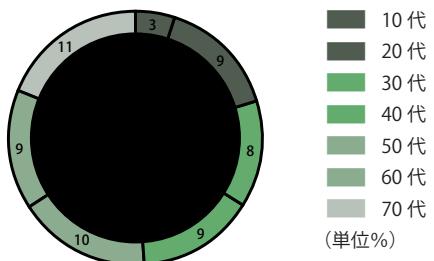


「基町、昔の写真展」紹介展示

アンケート

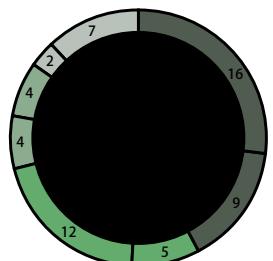


1. 年齢について教えてください



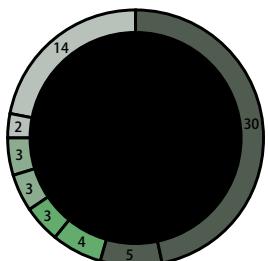
10代
20代
30代
40代
50代
60代
70代
(単位%)

1. お住いの地域を教えてください



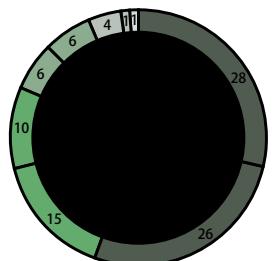
中区
西区
南区
安佐南区
東区
安佐北区
安芸区
佐伯区
(単位%)

1. この展示をどのようにしてお知りになったか 教えてください



チラシ(図書館)
図書館ウェブサイト
市民と市政
ポスター
知人から
チラシ(公民館)
チラシ(その他)
その他
(単位%)

1. どの取組に参加してみたいか教えてください (複数回答可、「基町プロジェクト」についての質問)



もとまちカフェ
基町、昔の写真展
基町ツアーグローカルキッチンプロジェクト
シンポジウム
Mトーク
模型製作
滞在制作
その他
(単位%)

5. どの展示が印象に残りましたか。

- 全て。
- 全体的に印象に残りました。
- 展示写真。
- グローカルキッチンプロジェクト（3件）。
- 光のアート。
- 活動の写真、他。
- もとまちカフェ（6件）。
- ワークショップで出されたアイデアの貼られた紙。模型がリアル。多様なアイデアが出て、人の集まることがの重要性を感じた。
- 歴史の写真展。
- 基町高層アパートと大高正人見学会。
- パノラマ写真。
- 基町全望の掛け軸。

- コレマデ・コレカラ（2件）。
- 基町の将来について。コレカラ。
- 2017～2045までの計画。
- コレマデとコレカラがわかりやすかつた。屋上からの風景写真是迫力があって行ってみたいと思った。
- 大きな写真パネル、どこかな？と思ったら今後の計画でした。
- コレカラ→2045赤い布。
- 今までとこれから（左右のサイド）と地図、写真。転勤で広島に来たので、知らない事ばかりでおもしろかったです！
- いずれも底が浅い印象です。
- 基町プロジェクトのアート。
- アトリエができたら。
- もとまちタイムズ。
- もとまちタイムズの展示が印象に残りました。これだけの質の

- タイムズが作られたことに力を感じました。
- もとまち TIMES に何故、中国語が併記されているのか？主催者はどういう素性の団体なのか？薄気味悪いものを感じる。
 - 基町○○模型。
 - 発泡スチロールでできた街並み。
 - ハッポースティロールで街並み再現。
 - 基町・白島の模型。基町で生まれ育ち、現在、白島町在住なので感慨深く思って見させていただいた
 - 模型、基町住宅から写した写真を大きくしたカーテン（？）風の作品。
 - 印象に残らなかった。展示としての見せ方が足らないのか、“魅力ある街”を考える方々の取組がこれでいいのか、疑問に思う内容だった。3年間も取り組まれている内容がとても薄いものに感じる。とても、もったいないと思う。
 - 昔の写真展。
 - 40年代の再開発。
 - 1950年代あたりの基町の写真。
 - 着手当時の写真。
 - 昔の写真展示が子供の頃を思い出しながらしかった。
 - 現状「基町、昔の写真展」の展示写真の内、広島城の空撮でキャプションに1963年（昭和38年）とありましたが、1963年に既に存在していた RCC の社屋が見えないので、それ以前のものと思われます。
 - 創生プロジェクト。
 - ディスプレイが大変きれいです。
- 6. 将来、基町がどんなまちになったらよいと思しますか。「基町プロジェクト」についての質問】**
- 平和な町。
 - 明るく開放的な町（今は暗い雰囲気のイメージ）。
 - 海外から来た人が多く住んでいることを生かし海外からの客をもてなす施設（ホテルや観光案内）→中韓の方が多く住んでいる but 中韓の観光客は広島には少ない→誘い込むチャンス？
 - もう少し明るい町に。
 - お年寄ばかりではなく、たくさんの若い人達に住んでもらいたい。
 - 若者から高齢者まで、幅広い年代の方が住みやすい街になって欲しいと願っています。
 - 外国の方（観光客など）も気軽に来てほしい。そして、そこも新たな観光スポットになればうれしい。
 - 世代間交流、異文化交流の場。
 - 若者の活躍の基となる町。
 - ファブラボのようなクリエーターが立ち寄って作成できる場。
 - とても良いこころみで夢があり素敵です。若者のエネルギーの発進する場所となりますように。
 - 高層アパートになったことで、昔より近所付き合いが減ったと聞いたことがあります。また、高齢化も心配なので、若者がイベントを企画し地元の高齢者がそこに集まることで、地域つながりを作り、やがて若者も定住するまちになればいいと思います。また中国人住民も多いそうなので、住民向けに中国の言語、文化講座を開くなどして、トラブルを防ぐことが大切だと思う。
 - 開かれた街。
 - 誰もがつながる多世代のまち。
 - 図書館など文化施設との連携による文化・芸術の中心。基町高校もありますよね。
 - 多様でクリエイティブ。スタジアムがそばにあるともっとよい（笑）。
 - のんびり散策できる町。中央公園も近いし。
 - 特になし。
 - プロジェクトが目指すまち。
 - 友好的で明るい場所。
 - 基町に住んでいない人も、ふらりと立ち寄れる場があるといいなあと思いました。
 - 高齢者と若い人が、仲良く住めるにぎやかなまちになったらよいですね。
 - 本来なら中心部からも近く、高級住宅街となつても良い場所であるのに、イメージが悪い。これからもっと若い人が活性化して、住んでみたい街となれば良いと思う。
 - 住人の仲良しと外からの人も受け入れる街。
 - 現在「不気味」と言われている様で、「歩くのが怖い所」と聞いています。なので「明るい場所」になると良いな。サンフレッチェ、来ても良いですか？
 - 住み良い、安心で、にぎわいのある街。
 - 子どもがあふれる、アートがあふれる。
 - 活気あり同世代交流の持てる場所になってほしい。
 - 空き家問題は都心◇？でも◇でこりつつあると思います。被災者や、その他、緊急避難場所として、空きスペースを確保しておく必要もあると思うので、その点も考慮して街づくりを進めたいと思います。（◇は判読不能）
 - 大型ショッピングモール、テニスコート、大広場、などがある街。
 - おしゃれが借りれる。
 - 情報を発信できる街。

- 若い人も住んでいて、月に1回何かのイベントで集まって楽し
く交流することで、何かの時に助けあえる町。
- もっと若い人が基町アパートに入って、若々しい町になればい
い。その為にはアパートの改装、外国人（中国人）の方と住棟
の区別。
- 活気あふれる街。
- 開かれた、滞在型スペース（宿泊＆一時滞在）となるといいと
思う。
- 将来を見据えると若者たちのプロジェクトはGoodと思います
が、現在の基町の高齢化の状況に対応した行政の立ち遅れ、も
のの言えぬ人々へ、行政はもっと眼とお金をかけるべきと思います。
PJにきて余りに金をかけ立派でびっくりポン！ 県営住
宅のあと地の活用。福祉の視点が忘れられ夢はいいんですが
……、毎日困っている方々に広島市は“眼を心”に向けて下さ
い。学生さんだけでなく住民が動く内容で！隣の町（白島）
に住む者として連携ありませんが。
- 老若男女、みんなが明るく暮らせる街。
- 平和。
- 折角、定着したのだから、リニューアルして存続するが良い。
- いろんな人が気軽に集まれて、楽しい気分で帰れる街。基町の
アパートの屋上はぜひ活用してほしい（自分が行ってみたいで
す）。
- 多くの若人が集へる所。
- 活気のある明るいイメージの町になって欲しい。イメージを悪
く言われるが、私には大切な故郷なので……。
- 住人だけでなく、外部の人も気軽に立ち寄れる場所になればい
いと思います（屋上にオイスターバーを作るなど）。
- 若い人達が作る、クリエイティブな街。起業家が集う街。
- 緑に囲まれた憩いの場（サッカー場は反対です）。
- 広島で現在やっているイベントの告知や関連イベント etc。
- トークショー、お話を聞く会。
- 「ゆるキャラ祭り」。いつのまにか、ゆるキャラが誕生していま
すが、広島を代表するゆるキャラって、一体どれなんですか??
- 今回の企画は、まるで内容のないものですが会を重ねる事が肝
要だと思います。ご努力に敬意を払います。
- SIESECともとまちプロジェクト共同の何か！
- クリエーター発掘事業。
- 市にお願いして、6（前項）を実行する事業。
- 実際にアートしている姿が見たい。
- 県内大学との連携企画。
- 若い人のプレゼンテーション。
- 浜井元市長関連の企画をやってほしい。
- 基町高層アパートを台紙とした写真展示で工夫がほしい。写真
を切断しているのはよくない。

7. 今後、図書館でどのような事業があると いいと思われますか。

- 定期的に基町の進行を知りたい。
- 難しいかもしれません、地域で活動している団体、グループ
の連携事業など（すでにあったら私の認識不足です、すみませ
ん）。
- 市内大学の地域貢献事業の紹介・「赤い鳥」創刊100周年記念
事業（2018年7月1日）。
- 図書館では、中国人住民に対する理解を促すべく、残留孤児の
歴史や現在の生活面の問題を紹介するとよいと思います。
- 地域のおもしろそうなイベント情報を知らせる。

レクチャー&ワークショップ

「地域デザイン×ビジネス～まちの賑わいづくりを考える～」

Lecture & Workshop

“Regional design×Business~Thinking about making bustle in the town~”



開催日時：2017 年 3 月 5 日（日）13:00 ~ 16:30

開催場所：広島市立中央図書館 3 階セミナー室

参加者：地域住民、一般市民、大学生ほか

講師：納島正弘（株式会社地域デザイン研究所）

参加人数：約 27 名

納島正弘

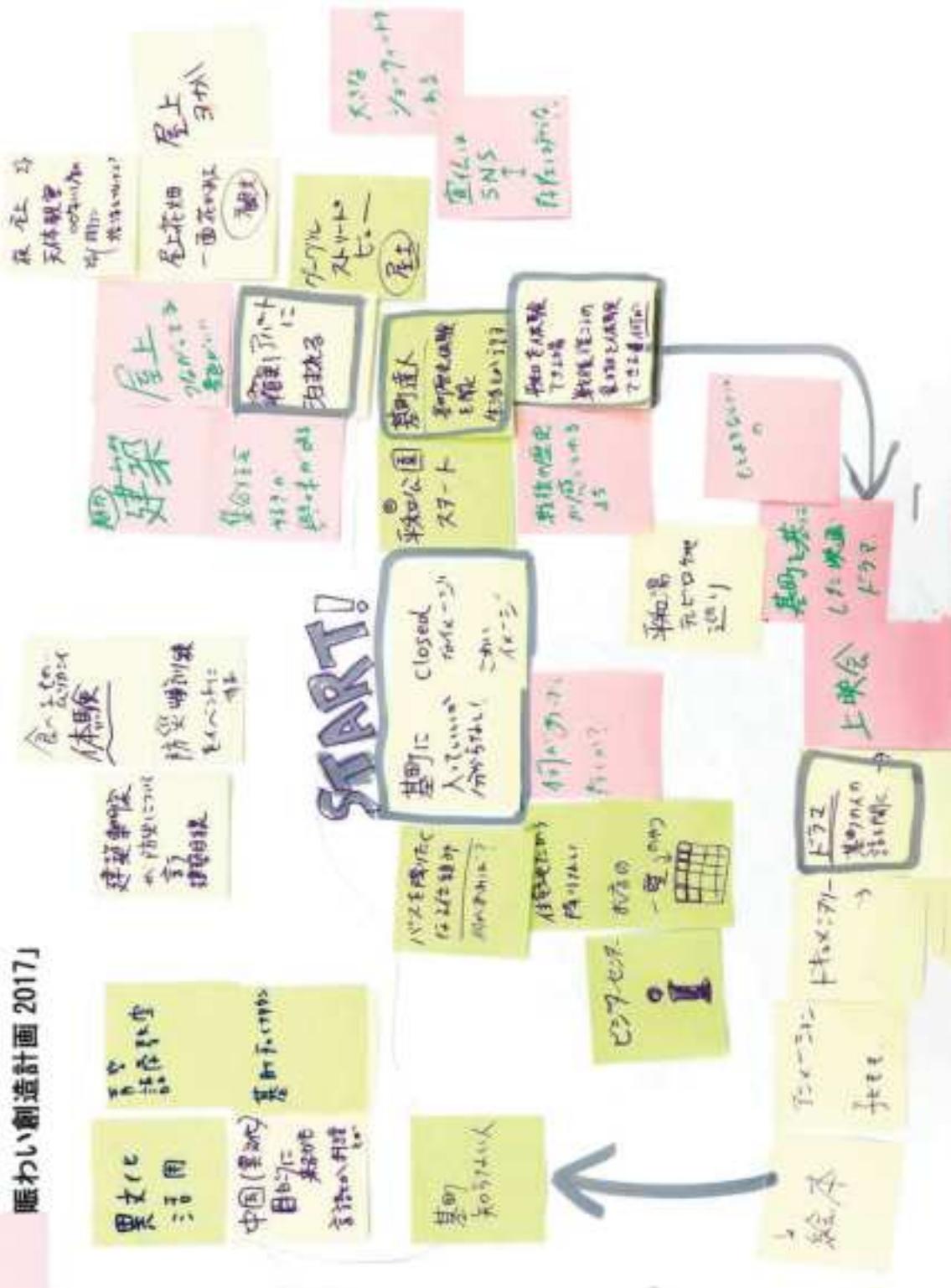
広島市在住。広島県を主に企業のプランディングデザイ
イン、広報企画デザイン、パッケージデザインなど、
地域活性のためのデザインを多く手掛ける。広島ア
トディレクターズクラブ（“H”ADC）を設立。



広島市立中央図書館との連携事業企画展「基町プロジェクト～若者が挑む広島のまちの賑わいづくり～」の関連企画として、レクチャーとワークショップを行いました。講師には広島を中心に企業のブランディングデザインや地域活性化のためのデザインを多く手掛ける納島正弘氏を招き、地域デザインをビジネスに繋げるための課題と手法について、具体的な事例を盛り込んだレクチャーを行っていただいた後、参加者全員で実際に「基町に賑わいをつくるためのアイデア」を考えるワークショップを行いました。

ワークショップでは、1チーム5～6人の7チームに別れて、約30分間で「基町賑わい創造計画」をテーマにアイデアを考え、各自4分間のプレゼンテーションを踏まえて、チームごとに、基町の情報やイメージなどをポストイットに書き出し、模造紙に貼っていました。その後、ポストイットを並べ替えたりアイデアを繋げたりしながら、チームごとに考えをまとめました。地域住民の参加者の方から「こういった会が基町で行われ、基町の地域住民にもっと沢山参加してほしい」といった感想がありました。

「振わい創造計画 2017」



Aチーム

基町で撮影されたロケ地巡りやドラマの上映会プラン、戦後の歴史を体験できるようなビジターセンター設置を提案しました。

(1) B ナニヤ ナニヤ	生活 相談	花見 BBQ +金	宿泊場所 (R&B ホステル)	教養 セミナー (アーティスト 講師)	朝市
		ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ
		ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ
		ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ
		ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ	ナニヤ ナニヤ

B チーム

「空き店舗の活用」、「案内所」、「掲示板」の三つを提案しました。



C チーム

川土手の活用として護岸の緑化プランを提案しました。



D チーム

今の基町の魅力を生かした「食」、「イベント」、「美術芸術」、「宿」という四つのカテゴリーで、ものづくり体験や基町の名物づくりなどの商品開発を提案しました。



Eチーム

基町ショッピングセンターが十字にクロスしている特徴から、「多様性の交差点」というタイトルで「新しいカルチャー」、「住民との交流」、「街のイベント」がショッピングセンターを介して混ざり合うことで活性

化する提案です。外部からの新しい流れだけではなく、基町に住む高齢者や外国人も、イベントを通じて交流を深め、相乗的に外部からの人の流動が増えるというアイデアです。



F チーム

川を生かして中山間部から農作物などを船で運んでき
て、基町護岸でマルシェをする提案です。



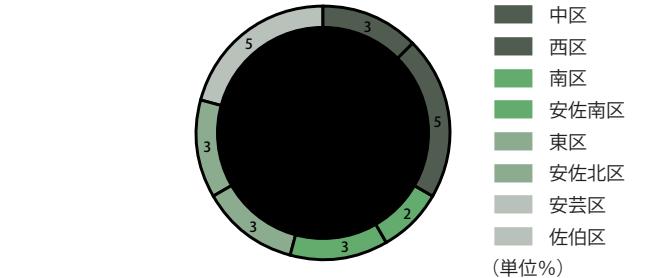
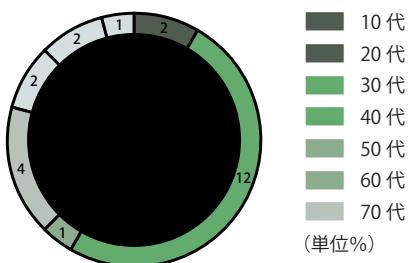
レクチャーセミナー＆ワークショップ 「地域デザイン×ビジネス～まちの盛りまいづくりを考える～」

G チーム

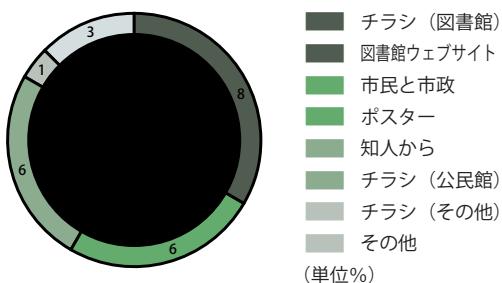
空き部屋を活用する宿や、基町住宅地区周辺にある広島城や中央公園を活用したランニングサークルやラジオ体操などを通じた交流促進を提案しました。



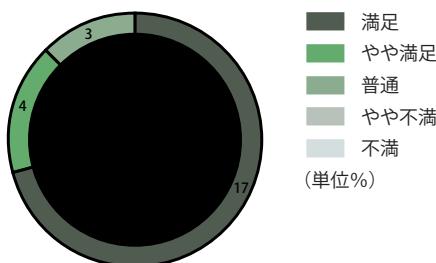
1. 年齢について教えてください



1. このレクチャー＆ワークショップをどのようにしてお知りになったか教えてください



1. 今回のレクチャー＆ワークショップの内容はいかがでしたか



質問4の理由：満足

- 地域のにぎわいを生むデザインがすてきだなと思いました。
- ふだんの基町内部での集まりに比べ他地域での例を始め柔軟な意見・夢の持てる意見が聞けた。
- 異なる年代の方の意見が聴け、大変有意義でした。
- 意見が沢山出た。
- 大学生だけでなく社会人とも交流ができた。
- 今まで地域づくりについて考えたこともあるものの漠然としていたため、多方面からの意見も聞けて良かったです。
- 今は住んでいないが元基町の住人として、若い人ははじめいろんな立場の人が基町を多角的に考えてくれるというのが嬉しい。
- いろんな人の話が聞けてとても楽しかったです。
- 居住者の方もあり経緯や、団地+商店街など難しい条件下で、ワークができるよかったです。

- プロの方の話や、視点の違う話がいろいろと聞けて、有意義でした。
- 普段関わらない方々と町の活性、地域貢献について考えられた。
- 頭を働かせながら実際どんなことが基町にできそうか考えるのがつかれただいい時間だと思った。
- いろんな専門家の方からそれぞれの視点から意見が聞けておもしろかった。基町のことを考えてもらえてうれしかった。
- 様々な年代の先輩方とお話することができ、大きな刺激を受けました。
- 地域デザインについて具体的にみなさんと意見を共有でき、有意義でした。

質問4の理由：やや満足

- 個人で行っていきたいことや目標があり、今回のレクチャー&

ワークショップに参加させていただきました。他の方達も沢山の事情や思いで参加されたと思いますが、熱く色々と語られて面白かったです。

- 他班の意見も聞けて良かった。

質問 4 の理由：普通

- 基町に関する事前知識の差が大きかったです。事前資料があればなお良かったのでは。
- いろいろな立場の意見を聞いておもしろかったです。住人の方の意見もあるとよりよいなと思いました。
- 別のイベントで、基町について考えることがあったが、別の視点を持った人の意見を知ることが出来、有意義でした。

5. 今後どのような内容のレクチャーやワークショップがあったら、また参加されたいと思われますか？

- もっと基町に住んでいる人を巻き込んで行えたら面白いなと思います。
- 興味が持て、楽しそうなイベントがあれば、何からの形で良い結果が残せると思うので、参加したいです。
- 今回のようなワークショップを定期的に行ってもらいたい。基町の住人（商店の人、自治会の人、中国の人、在日の人）にも参加を呼びかけたい。
- 参加したい。
- 地域の歴史を紹介するもの（総論的なものと合わせて特定の視点から掘り下げるようなもの）。軍都・城下町 etc.
- 住宅団地のリノベーション。
- 今回のような地域デザインの話を地元の人も含めてワークショップをしたい。
- 若者向けの働き方について考える講義があればいいなと思います。
- 具体的な地域をテーマに考えるキカイは新鮮でした。こういう切り口のワークショップおもしろいです。
- また、こんな感じのがやりたいです。
- 実際のビジネスにつなげられるようなもの（遊休不動産活用）。
- デザインで企画・事業に磨きをかけられるようなレクチャー。
- ぜひ参加したいです。
- デザイン、アイディア関連。
- はい！ それをもっと実践的な行動にうつしていきたい。アイデアでは終わらず、実現させていきたい、自分が思います。
- デザイン×△△のような様々な組合せのレクチャーやイベントがあるとすごく楽しみです。

6. 感想やお気づきの点をご記入ください。

- 実際に基町に住んでいる方が楽しそうにしていて、自分も楽しくなったし、基町の希望が見えたなと思います。
- 来て良い印象を受けたので、今日はこのイベントを開催していただきありがとうございました。また機会があれば宜しくお願いします。
- 本当にありがとうございました。企画・準備ご苦労様でした。
- 現地見学等の開催。
- また次回を楽しみにしています。
- 地元の方々の参加がもう少しあれば良いと思う。
- 基町住人の方が言われていましたが、該当地域に住んでいる方がもう少し（できればテーブルごとに1名くらい）いたらよかったです。
- ありがとうございました。
- 昔の写真展の展示が大好きでした。
- 基町だけで考えるのではなく、他地域とのかねあいを考えるのには有効だと思いました。利便性の良い場所でもありますので、休息地点として活用できたらと思います。

視察対応

Visit support



集合住宅研究会視察対応

実施期間：2016 年 10 月 21 日（金）

実施場所：中央集会所、M98、M98 <eat>、M98 <make>

参加者：集合住宅研究会会員（27 名）、広島市立大学教職員（1 名）ほか

東京から来られた集合住宅研究会の方々へ、基町プロジェクトの概要と活動拠点について説明を行いました。基町プロジェクトが行うソフト的な事業は、建築家が住宅を設計する上で参考になったとの評価をいたしました。

いわき市市議会議員視察対応

実施期間：2016 年 10 月 31 日（月）

実施場所：M98、M98<eat>、M98<make>

参加者：いわき市市議会議員（7 名）、中区役所職員（2 名）ほか

いわき市市議会議員の方々へ、基町プロジェクトの概要と活動拠点について説明を行いました。議員の方々は、「基町、昔の写真展」に関心を持たれ、写真展で作成した図版や戦前の基町の写真を興味深く見ていらっしゃいました。



いわき市市議会議員視察

広島建築士会視察対応

実施期間：2016年12月18日（金）

実施場所：M98、M98<eat>、M98<make>

参加者：広島建築士会会員（19名）、広島市立大学教

職員（1名）ほか

広島建築士会の方々へ、基町プロジェクトの概要と活動拠点について説明を行いました。午前は、広島市住宅整備課の案内で、基町高層アパートの改装前と改装後の室内を見学していただきました。約40年前に作られた風呂なしの室内と、改装が終わって二つの部屋が一つになった室内などを見比べることができました。午後からは、基町プロジェクトの取組紹介と活動拠点の案内を行い、建築の専門家から、鋭い指摘や今後の取組の参考になるような意見をいただきました。

地域行事への参加

Participation in local events



「ほのぼの花クラブ」花の植え付け講習会

開催日：2016 年 6 月 1 日（水）

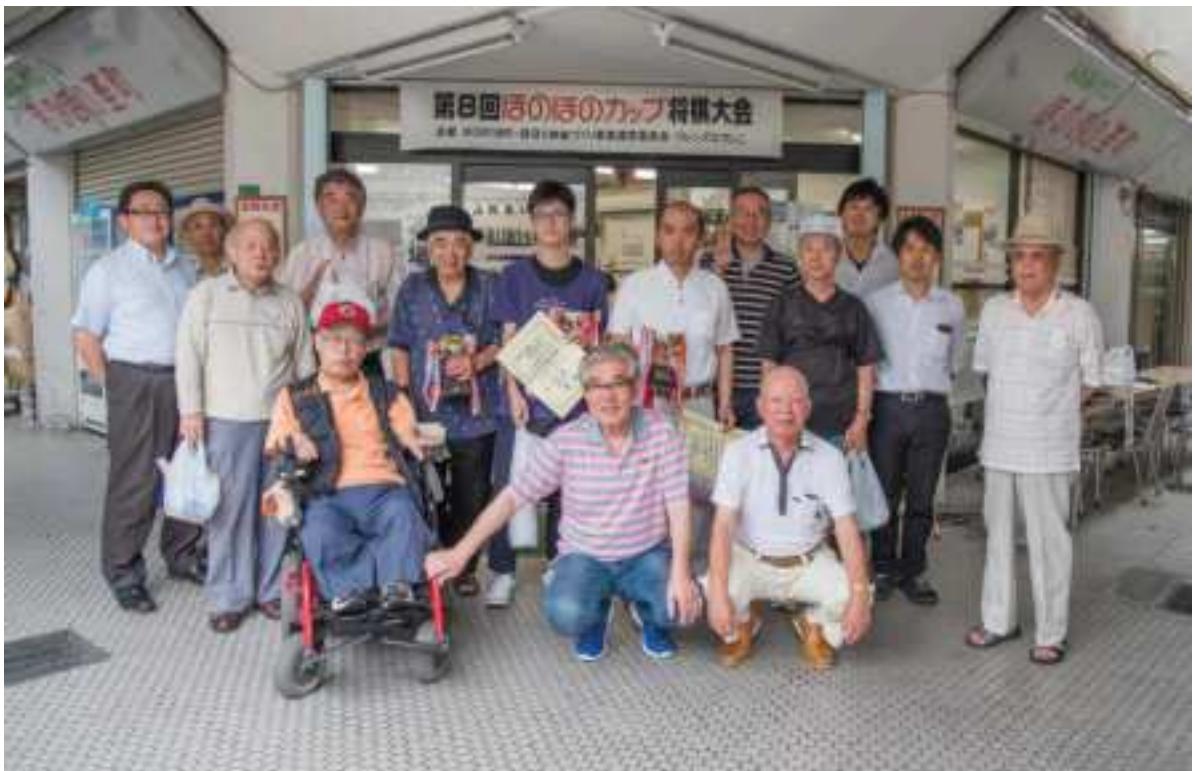
開催場所：基町ショッピングセンター中央広場、ほのぼの基町

役割：お手伝い、写真撮影、もとまちカフェ出動

基町地域包括支援センター主催の「ほのぼの花クラブ」に、もとまちカフェの学生とプロジェクトスタッフが参加しました。この日は、春の花を各自が持ち寄ったプランターに植え付けました。「もとまちカフェ」のこくばんカフェ屋台も出動し、イベント後にドリンクを配布しました。講習会終了後には、完成したプランターを、参加者それぞれの家のベランダまで運ぶお手伝いもしました。

プロジェクト初年度から、基町プロジェクトは基町住宅地区で行われる地域行事にも積極的に参加しています。年々参加する行事も増え、地域住民にも基町プロジェクトの周知と理解が広まっていると実感しています。地域イベントでは、主に一眼レフカメラでの記録撮影を行い、そのほかにも会場の片付けなどお手伝いしました。撮影した写真は後日 CD-R に焼き付け、基

町地区社会福祉協議会や広島市立基町小学校へお渡ししています。2016 年度は、基町地域包括支援センターが行なっている「ほのぼの花クラブ」に、学生と一緒に参加し関係を深めたことで、多くの地域の方々が、グローカルキッチンプロジェクトに参加することに繋がりました。



第八回ほのほの将棋大会

開催日：2016 年 7 月 2 日（土）

開催場所：ほのぼの基町・ほのぼの文庫

役割：写真撮影

毎年、基町地区社会福祉協議会主催で行われる将棋大会に撮影係として参加しました。小学生の部と大人の部に別れてトーナメント戦が行われ、優勝者にはトロフィーと賞品が授与されました。



「ほのぼの花クラブ」多肉植物寄せ植え

開催日：2016年7月13日（水）

開催場所：ほのぼの基町

役割：お手伝い、写真撮影

基町地域包括支援センター主催の「ほのぼの花クラブ」に、もとまちカフェの学生とプロジェクトスタッフが参加しました。今回は、多肉植物の寄せ植え講習会で、小さなブリキの鉢に、色々な種類の多肉植物を植え、可愛らしい寄せ植えが完成しました。



基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会

開催日：2016年8月7日（日）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

基町住宅地区三大行事の一つである基町地区原爆死没者慰靈祭・盆踊り大会が、基町小学校の運動場で催されました。プロジェクトスタッフは撮影係として参加しました。基町地区社会福祉協議会会长、基町地区連合自治会会长、広島市立基町小学校生徒からの平和のメッセージが届けられた後、参列者の献花が行われました。慰靈祭の後には盆踊り大会が行われ、浴衣姿の地域の方を先頭に、原爆で亡くなられた方への哀悼の意を表して地域住民による盆踊りが捧げられました。





基町地区敬老会

開催日：2016年9月19日（月・祝）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

基町住宅地区三大行事の一つである基町地区敬老会が基町小学校体育館で執り行われ、撮影係としてプロジェクトスタッフが参加しました。広島市立基町小学校児童による、よさこいとバイオリンの演奏に始まり、地域住民による華麗な演舞、マジックやダンスなど様々な出し物があり、来場者から笑顔が溢れています。



基町地区町民体育祭

開催日：2016年10月16日（日）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：写真撮影

基町住宅地区三大行事の一つである基町町民体育祭が、広島市立基町小学校運動場で開催されました。あいにくの雨だったため、プログラムは短縮され午前中で競技が終わりました。基町プロジェクトは今年で三回目の参加となり、年々顔見知りの方が増え、体育祭を通じて地域の方の新たな一面を発見できるのも楽しみの一つです。





広島市立基町小学校運動会

開催日：2016年10月29日（土）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：見学

少し肌寒い秋晴れの中、広島市立基町小学校の運動会が行われました。全校生徒113人が一生懸命競技に取り組み、「もとまちおんど」には、児童も保護者も地域の人も皆で参加して、運動会を盛り上げました。



ボランティア交流会

開催日：2016年12月10日（土）

開催場所：基町中央集会所

役割：写真撮影

基町地区社会福祉協議会主催のボランティア交流会が行われました。今年もプロジェクトスタッフは招待いただきましたので、撮影係として参加しました。この交流会は、普段「ほのぼの基町」や「ほのぼの文庫」の運営を行う地域のボランティアの方々への感謝と慰労を込めて行われており、マジックの披露や健康体操などが行われ、ご飯を食べながらの楽しい会となりました。



広島市立基町小学校卒業式

開催日：2017年3月17日（金）

開催場所：広島市立基町小学校

役割：招待参加

広島市立基町小学校にて卒業式が執り行われ、25名の生徒が卒業しました。卒業式では毎年卒業生と在校生との言葉の掛け合いがあり、毎回その完成度に感動させられます。基町小学校は生徒数こそ少ないですが、皆とても仲がよく、生徒同士の繋がりが深いことがよくわかります。



年末報告会・意見交換会

Year end meeting, Opinion exchange meeting



年末報告・意見交換会

開催日：2016年12月9日（金）

開催場所：M98

参加者：広島市立大学教職員、中区役所職員、広島市立大学学生、基町地区社会福祉協議会、中央公民館、広島市立基町小学校ほか

プロジェクトスタッフから地域の代表者へ、平成 28 年の取組内容を報告し、来年の取組に向けて意見交換をしました。地域住民を巻き込むためには、地域の年長者からの声掛けや、地域イベントでの告知が有力であるとアドバイスをいただきました。

年末報告会

開催日：2016年12月17日（土）

開催場所：M98

参加者：地域住民、一般市民、広島市立大学教職員、広島市立大学学生、中区役所職員ほか

参加人数：15名程度

基町地区内外の方々を対象に、平成 28 年に基町プロジェクトが行った取組を報告しました。はじめに「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を紹介した後、「もとまちカフェ」、「基町、昔の写真展Ⅱ」、「グローカルキッチンプロジェクト」などについて活動紹介をしました。



意見交換会・報告会のコメント

- 行政と地域、大学、小学校と一緒に取組んでいるのが、外から見て分かるようにした方がよい。
- 外から人がくる取組はできているが、地域の参加が悪いのは、小学校も同様の課題。地域に向けた情報発信として、敬老会などの地域の行事の場で活動紹介を行ってはどうか。
- 基町で暮らす人の生き様（生活や暮らし）を発信できないか。
- デジタルアーカイブの取組として、丹下軸や被爆樹を空撮してはどうか。
- 基町小学校は不登校ゼロ、外国人児童が6割を超える（全国一）。
- グローカルキッチンプロジェクトなどイベントの地域向け告知について、地元の年代層団体長から声をかけてもらうのが有効。イベントに通りかかっても、知っている人がいないと参加しにくい。
- イベント会場（中央商店会）が分かりにくい。地域包括支援センター（福祉ゾーン）やほのぼのなど、地域の人が集まっている場所に出向いて、まずは知ってもらう事が重要。ほのぼの基町に人が定着するまでに10年かかった。始め70人いたボランティアは現在40人になった。
- 地域の人を取り上げるのはどうか。
- 県立広島大学国際学部と基町小学校とのつながりができる。ほのぼの文庫で今年の夏、地域学習会を火曜の夕方中学生を対象に実施した。大学生が中学生の勉強を教えた。

○ M97 の活用は学習教室としての活用案もある。

○ 市大国際学部や情報科学学部とも連携をしてはどうか。

○ 基町アパートに最近住みだした学生は、小学校と一緒に何かやりたいと考えている。

○ 小学生に科学に興味のある子どもがいる。ペットボトルロケットなど子どもは参加したい。スタンプラリーなどのイベントを行ってはどうか。集まつたらかっこいい基町のバッヂがもらえるとか。

○ 「地域の達人」を探して達人に何かしてもらう取組を、社協と包括が共同で行っている。

○ 学校あっての地域である。小学校と地元（高齢者）の関わりをもたせるために、学校給食と一緒に食べる取組なども行っている。

もとまち TIMES

Motomachi Times

もとまち TIMES は、基町プロジェクトの取組や地域行事の様子などを紹介する広報紙で、年に 3 回の発行。基町住宅地区全戸に配布する他、広島市中区役所のウェブサイトなどで PDF 版を全号一般公開している。

基町プロジェクト <http://www.motomachiproject.net>

広島市中区役所「もとまちTIMES」
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1443588413171/index.html>

2014年8月号

2014年11月号

This image is a collage of various news articles and reports from the 'M98' community project. It includes sections for disaster preparedness, local events, and community projects like rainbow roads and model making. The collage features numerous small images, text snippets, and logos related to the project's activities.

2月
2015

基町のステキをお届け
もとまちTIMES 

発行：基町プロジェクト（広島市立大学、広島市中区役所） 発行日：2015年2月14日



基町项目意見交換会

**基町プロジェクト
意見交換会**

基町プロジェクトの今年度における活動のまとめと来年度の取り組み内容を話し合う「基町プロジェクト意見交換会」をM98にて開催しました。11、12月の間で全3回を行い、参加者は基町地区にお住まいの方を始め、広島市立大学芸術学部教員、中区役所職員の方々で各回10名程度でした。住民の方からは「基町プロジェクトの活動をもっと広報するべき」「他大学との連携が必要」などの意見がありました。これらの意見をもとに現在来年度以降の実施計画を作成しています。ご期待ください！

在M98召开的“基町项目意见交换会”中，对基町项目本年度的活动汇总和下年度的工作内容进行商议。11、12月中已举行3次，每回大约10名参加者。参加者是以基町地区居民为首，广岛市立大学艺术学部教员、区政府机关职员等。来自居民的意见“基町项目活动应该加大宣传力度”、“有必要与其他大学合作”等。这些宝贵的意见将作为现下年度后实施的计划。敬请期待！



11月14日～11月25日
未来の基町模型展示②（中区役所）

中央公民館の展示に引き続き、第2弾の模型展示を中区役所1階ロビーにて行いました。受付のそばに設置したこともあり、手続きを待つ方がご覧になっていました。また市役所職員の方にも基町プロジェクトの取り組みを知って頂くきっかけとなりました。実施したアンケート結果は、川辺の活用案やショッピングセンター屋上の活用案が人気でした。

10月18日～11月2日
未来の基町模型展示①（中央公民館）

9月に行いました未来の基町模型作り「もとまち2.0」で制作した模型を中央公民館3階ロビーにて展示しました。全部で17個の模型を展示したのでとても迫力があり、大勢の方に興味をもって見ていただけました。アンケートも実施し気に入った模型に投票してもらいました。川辺の活用案が人気でした。

M98 活動紹介

10・11・12・1月で行った
基町プロジェクトの活動報告です

12月14日～1月30日
未来の基町模型展示③（新地ギャラリー）

中央公民館、中区役所での展示に引き続き、第3弾の模型展示を流山にある新地ギャラリーにて行いました。新地ギャラリーはショーウィンドーを活用したギャラリーで、街行く人が気軽に覗くことが出来ます。ショーウィンドーが3箇所あるので、模型展示の他にM98の再現展示や、これまで行ったプロジェクトの写真なども展示しました。

1月31日
「京都芸術センター」訪問

京都市内にある「京都芸術センター」を訪問しました。この施設は廃校となった小学校を活用し、文化芸術活動を行うスペースです。当日行われたアーティスト・イン・レジデンスに関するレクチャーにも参加し、文化芸術による街づくりについて勉強してきました。

M98開所予定（2・3月）
(予告なく変更になる場合があります)

2月	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	

3月	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

●…9:00～18:00 ○…9:00～12:00

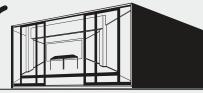
M98 マップ

広島市中区基町16番 17-2-103
(広島基町郵便局2階)

もとまち TIMES は、基町地区及び基町プロジェクトの情報発信を目的として基町プロジェクトにおける活動の一環として発行している情報誌です。
基町プロジェクトの情報は Facebook (<https://www.facebook.com/motomachiproject>) / Twitter (https://twitter.com/motomachi_pj) でも随時発信していますのでこちらもぜひご覧ください。
お問い合わせ（平日のみ）：広島市中区地域起こし推進課（担当：野地本/電話：082-504-2546） 広島市立大学社会連携センター（担当：渡邊/電話：082-830-1764）

7月
2015

基町のステキをお届け もとまちTIMES



発行：基町プロジェクト（広島市立大学、広島市中区役所） 発行日：2015年7月19日



写真上：広島修道大学 協創館にて

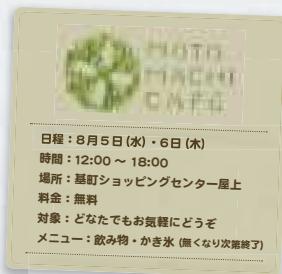


“基町咖啡厅”开业！

もとまちカフェ オープン！

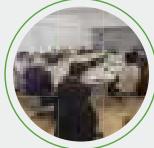
「もとまちカフェ」とは、基町に外から若者を呼び込み、基町に住む人々と交流する場を作ることを目的とした取り組みです。今年の8月5・6日に基町ショッピングセンター屋上で仮設のカフェとしてオープンします。短期間ですが、広島市立大学と広島修道大学が連携し、それぞれの学生が専門分野を活かしながら企画、運営します。3月より計画づくりを始動し、現在約15名の学生がミーティングや基町の視察を重ね、面白いアイディアを考えています。当日は無料で冷たい飲み物やかき氷などをお配りします（無くなり次第終了）。ぜひお越しください！

“基町咖啡厅”的设立目的，在于为居住在基町以外的年轻人和基町的本地居民提供一个交流的场所。今年8月5日、6日在基町购物中心屋顶平台作为临时的咖啡厅开业。值此项目实施之际，广岛市立大学与广岛修道大学携手合作，各校学生发挥着各自专业的一技之长，合理规划运营。从3月份活动开始至今，约有15名学生反复商讨，考察基町的具体情况，奇思妙想层出不穷。当日我们将免费提供冷饮和刨冰等（送完为止）。请您一定光临！



2月6日

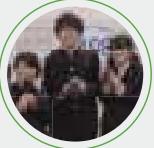
まちづくり懇談会（基町地区）



M98 にて基町について話し合う懇談会が行われました。参加者は市中区長・職員の方、地域代表の方、基町プロジェクトスタッフ等です。今後の基町地区の活性化に向けての取り組み方法や、基町プロジェクトの実施計画案について全員で意見交換を行いました。

2月12日

基町高校放送部 取材対応



基町高校放送部の皆さんに基町プロジェクトを取材するため、M98 に来てくださいました。プロジェクトの活動の紹介や、基町をどのような町にしていきたいなどを説明しました。今後基町高校の学生も一緒に活動出来る機会を作りたいと考えています！

3月6日

TSSテレビ新広島取材対応



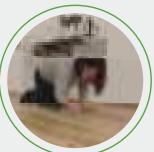
TSS テレビ新広島の取材を受けました。活動について基町プロジェクトスタッフのインタビューや住民の方が話している場面などが撮影され、3月 10 日の夕方のニュース内で放送されました。

M98 活動紹介

2・3月で行った
基町プロジェクトの活動報告です

3月29日

M98 年度末大掃除



M98 の大掃除と床のワックスがけを行いました。ワックスがけはハードワークで大変でしたが、やり終えるとしっかりとして深みが出ました。これでようやく新年度を迎える準備が出来ました！

「基マップ」が完成しました！



平成 26 年度より広島大学生と地域の方が中心となり取り組んでこられた、「基マップ」制作ですが、よいよ完成いたしました！基町プロジェクトスタッフも制作に関わ

らせていただいたのでとても嬉しいです。「基マップ」は単なる地図ではなく、基町の魅力や、様々な人の基町への思いがまとめられており、とても見応えがあります。

基町小学校卒業式が行われました！



3 月 20 日、基町小学校の卒業式が行われました。今年の卒業生は 17 名で、一人一人が中学生になってから

の目標などを一言ずつ発表するなど少人数ならではの愛情あふれる式でした。終了後には幼稚園の子供たちや地域の方も一緒に花道を作り卒業生を見送りました。中学生になんでも勉強や部活動、頑張って下さい！

今月の 基町プロジェクトノート

はじめまして。今月から新たに門野ひさみにかわほに。新規 望（しんざいねむ）です。
これまで私は、底本半井（そこひん）と名前でアシスタントとして働いていました。
これからは、基町で働くために、基町に面白い企画やアソシエーションを運営していく予定です。
今は基町学園祭の会場を担当し、基町の顔として来客に対して考え方や運営方針を
お話しして、学園祭を運営しています。皆さんは一緒に学園祭をやり上げたいのかなと思います。
ね？ よろしくお願いします。



M98 からのお知らせ

- ◆「基町、昔の写真展」（8/1～8/16）の開催にあたり、基町の古い写真を探しています。お持ちの方はぜひ M98 にご持参下さい。

M98 開所予定 (7・8月)

開所時間：9:00～18:00
(予告なく変更になる場合があります)

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1					
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

M98 マップ

広島市中区基町16番 17-2-103
(広島基町郵便局2つ隣)



もとまち TIMES は、基町地区及び基町プロジェクトの情報発信を目的として基町プロジェクトにおける活動の一環として発行している情報誌です。
基町プロジェクトの情報は Facebook (<https://www.facebook.com/motomachiproject>) / Twitter (https://twitter.com/motomachi_prj) でも随時発信していますのでこちらもぜひご覧ください。
お問い合わせ（平日のみ）：広島市中区地域起し推進課（電話：082-504-2546） 広島市立大学社会連携センター（電話：082-830-1764）

基町のステキをお届け
11月
2015 もとまちTIMES

制作: 基町プロジェクト（筑波大学立川、立高中学生会議） 発行日：2015年11月14日



制作針孔監視機！

ピンホールカメラ制作！

6月15日に東郷小学校で6年生の児童と一緒に「ピンホールカメラ」の製作実験を行いました。この実験は、実際に「一眼レフカメラ」の構造を理解してもらうため、児童は立川市立大学の学生のサポートやしながら、カッターブレードを使用して、開いたままの部分を手で行いました。今回のテーマは「自分の好きな実験」で、児童たちは、自分で何でもやってみたいとした興味深い実験でした。また、児童たちは、自分たちが撮った写真を見て、自分たちが撮った写真は、ショッピングセンター入り口の「ヨーク・センター」の2階通路裏棟に、たくさんの人々に見て貰きました。（撮影権限は持っていますのでご了承下さい）

6月15日 基町プロジェクト小学校と立川市立大学の6年生と一緒に「制作针孔監視機」の実験を行いました。この実験は、実際に「一眼レフカメラ」の構造を理解してもらうため、児童は立川市立大学の学生のサポートやしながら、カッターブレードを使用して、開いたままの部分を手で行いました。今回のテーマは「自分の好きな実験」で、児童たちは、自分で何でもやってみたいとした興味深い実験でした。また、児童たちは、自分が撮った写真を見て、「自分たちが撮った写真は、ショッピングセンター入り口の「ヨーク・センター」の2階通路裏棟に、たくさんの人々に見て貰きました」。（撮影権限は持っていますのでご了承下さい）

6月15日 基町プロジェクト小学校と立川市立大学の6年生と一緒に「制作针孔監視機」の実験を行いました。この実験は、実際に「一眼レフカメラ」の構造を理解してもらうため、児童は立川市立大学の学生のサポートやしながら、カッターブレードを使用して、開いたままの部分を手で行いました。今回のテーマは「自分の好きな実験」で、児童たちは、自分で何でもやってみたいとした興味深い実験でした。また、児童たちは、自分が撮った写真を見て、「自分たちが撮った写真は、ショッピングセンター入り口の「ヨーク・センター」の2階通路裏棟に、たくさんの人々に見て貰きました」。（撮影権限は持っていますのでご了承下さい）

1 2 3 4

図書室も使って
ピンホールカメラを作ります

平らな表面に
カムを書いて墨書きします

高いライティング
位置で墨書き用の墨をかかげられます

書き写した写真をおしゃれに作成です

Motomachi Old Photos

8月1日～14日 基町中央商店会 基町、昔の写真展

来場者アンケート結果 (有効回答者数 51人)

年齢層	内訳
20-39歳	26%
40-59歳	35%
60-79歳	27%
80歳以上	10%
その他の年齢層	2%

お住まいの地域

内訳	割合
基町地区内	14%
基町地区外	15%
広島市内	41%
広島県内	2%

写真展への感想 (複数選択)

- ・基町の昔の様子をよく見る機会を見えて、どちらかというと懐かしい気持ちになりました。
- ・高麗アパートがどういつの頃の街の様子をもっと知りたい、思ひながら見ていたから。

夏休み特集 M98 活動紹介

来場者アンケート結果 (有効回答者数 421人)

年齢層	内訳
20代	16%
30代	18%
40代	20%
50代	10%
60代	10%
70代	4%
80代	4%
90代	1%

7月
2016

MOTOMACHI TIMES

基町のステキをお届け

発行: 基町プロジェクト (広島市立大学、広島市中区の方々) 発行日: 2016年7月1日発行

もしもまちタイムス

もし 基町にアトリエができたら? 展



2016年3月1日から21日まで基町中央会飲食街前にて「もしもまちにアトリエができるなら?」展を開催しました。この展示会では、商店街のまち 店舗活性化の取組の一環として、期間限定の「飲食アトリエ」を提供し、実際 演習会をしました。アトリエ内には、それまで大学生が取り組んでいた「基 町住宅地区の公共デザインを考える」プロジェクトの成果展示や、空き店 館を活用して行った写真展やクリスマスデコレーションなどの活動写真を 展示しました。また、会場内には地域の方々と会話・店舗の活用方法について の意見交換会や、「基礎力マップ」と「もともち舞台力マップ」の公開制作や ワークショップイベントも行いました。

如果基町有了アトリエ？ 展

2016年3月1日から21日まで基町中央会飲食街前にて開催された「もしもまちにアトリエができるなら?」展。这个展示会展示了商店街店铺中的其中一个提案。在商店街内设置了一个“饮食工作室”，并实际进行。在工作室内，我们展示了迄今为止由各大学学生设计并实施的“关于基町住宅地区的公共环境设计”计划的成果，以及展示了如何利用商店街店铺和基町居民生活空间的功能。关于如何将商店街店铺和居民们与商店街的人们 在春节期间积极地交流了意见，并展开了“基町介绍会”与“基町咖啡博物馆”的公开制作活动以及研讨会。





左: ワークショップで手作り陶器のワザを学ぼう！ イベント開催

右: カフェミュージックセッションで音楽を楽しむ！ イベント開催

モトマチ・アートウインドウと通称名を新たにしました！

MOTOMACHI ART WINDOW

基町ショッピングセンターにあるショーウィンドウを、通称：モトマチ・アートウィンドウと名前を新たにし、月を通して展示を行うことで、基町の新しい創出を目指しています。2015年4月から29日まで、広島市で生まれ育った美術家 浅野聖一さんが基町の街を題材に撮影した、シノワズリーを発表しました。浅野さんによって再現された、近代的なアーバンと自然との一体感と、街の持つエコルゲーで街並が共存している様子が切り取られ、写真たちとともに、どれほど力強く、街の持つエコルゲーで街並が産みました。

5月15日から30日まではイタリア留学中のフニーハーベンさんの基町を撮影して貰いました。2015年9月の出来事もなく、基町アパートにて訪れたフニーハーべンさんに基町に惹かれて何度も来日する機会のために基町に惹かれました。彼は我慢した結果、むだドラマチックな場面を切り取った写真からは、驚きや新たな発見がありました。

2016年2月4日(木)~2月29日(月) 滝野・グランルードのまどり写真展

2016年5月15日(日)~6月30日(木) フニーハーベン「Ausicht~壁」写真展

ROKUBUN × CAFFE

もとまちカフェプロジェクト 活

モトマチ・アートウインドウ
パノラマ写真
～9月末

PICK UP

7月下旬から9月末まで、モトマチ・アートウインドウにて、基町の魅力を広く伝える目的で、高層アパートの屋上から広島市内を撮影したパノラマ写真を入れ替えますので、ぜひご覧ください。

モトマチ・アートウインドウ

7月下旬から9月末まで、モトマチ・アートウインドウにおいて、基町の魅力を広く伝える目的で、高層アパートの屋上から広島市内を撮影したパノラマ写真を入れ替えますので、ぜひご覧ください。

もとまちカフェプロジェクト

M98 活動紹介

山下和也さんを招いて エムトークを開催しました

M TALK

モトマチ・アートウインドウ
パノラマ写真
～9月末

中央商店会の元うどん屋の内部を片付け、カウンターでやきそばをそのまま使って作っていました。名前をM98<eat>として、毎日、食のイベントを開催していました。

第一回となる8月27日のイベントは、安芸高田市と連携して、南高田克彦さんをお招きし、南高田さんが説いた「ジビエ料理を楽しむ企画を行いました。参加者全員も一緒に調理を行い、ジビエ料理を体験し、皆でおいしくいただきました。

*ジビエとは、狩猟で獲れた天然の野生鹿肉の食事を意味する言葉(フランス語)で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。

同じ中央商店会の元店舗であった店舗を、今から6ヶ月から片付け始め、壁や床をペイントで壁を替えました。

名称をM98<make>として、基町プロジェクト内に行なう「もとまちスクース」として活用を開始しました。まず、基町住民地区から平和記念公園までの範囲を、1/10000縮尺の「全长メートル超」模型を作成しています。

MAP

どうなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

**基町のステキをお届け
もとまちタイムス**

2月 2017

MOTOMACHI TIMES

発行・基町プロジェクト（広島市立大学、基町地区住民） 発刊日：2017年2月6日発行

基町プロジェクト・ポスター16
広島基町高層アパートと大高正人
（関連企画）基町高層アパート見学会を開催！
研讨会「广島基町高層公寓与大高正人」开展基町高層公寓参观活动！

基町地区高層アパートと大高正人による見学会を開催しました。研讨会では、基町高層アパートの特徴や魅力について、大高正人による講演があり、その後、実際に高層アパートを見学する見学会を行いました。

基町地区高層アパートへ参拝
基町地区体育祭へ参加
ボランティア交流会へ参拝
企画展「基町プロジェクト～若者が挑む広島のまちの課題といづくり～」
スタッフコメント
M98マップ

2015.11

基町プロジェクト・シンボジウム2016
広島基町高層アパートと大高正人

大高正人

2015年11月12日に基町小学校体育館で、シンボジウム「広島基町高層アパートと大高正人」の開催を行いました。基町高層アパートの特徴や魅力を紹介する見学会を開催しました。基町高層アパートは、設計や構造が非常に複雑で、建設時に多くの問題が発生しました。しかし、建築家の大高正人は、この問題を克服して、建築物を完成させました。この成功は、建築界に大きな影響を与えたのです。

河本真一（昭和、建築系の震災復興研究会代表）：「広島の震後の復興として重要な建築家だと思ったので、いろいろな場所を見て学んでみると、うなづかしいと思う。」などの意見があり大盛況でした。

9月16
基町地区敬老会へ参拝
平成27年度基町地区運動会（3月4日㈯）
内閣府（3月6日㈬）
広島市立大学中高生対外活動（3月11日㈭）
基町地区中高生対外活動（3月12日㈮）

10/16
基町地区体育祭へ参加
平成27年度基町地区運動会（3月4日㈯）
内閣府（3月6日㈬）
広島市立大学中高生対外活動（3月11日㈭）
基町地区中高生対外活動（3月12日㈮）

12/16
ボランティア交流会へ参拝
平成27年度基町地区運動会（3月4日㈯）
内閣府（3月6日㈬）
広島市立大学中高生対外活動（3月11日㈭）
基町地区中高生対外活動（3月12日㈮）

2月
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

3月
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

●—10/30～11/7
●—11/1～11/2
●—11/3～11/4
●—11/5～11/6
●—11/7～11/8
●—11/9～11/10
●—11/11～11/12
●—11/13～11/14
●—11/15～11/16
●—11/17～11/18
●—11/19～11/20
●—11/21～11/22
●—11/23～11/24
●—11/25～11/26
●—11/27～11/28
●—11/29～11/30
●—11/30～12/1
●—12/1～12/2
●—12/2～12/3
●—12/3～12/4
●—12/4～12/5
●—12/5～12/6
●—12/6～12/7
●—12/7～12/8
●—12/8～12/9
●—12/9～12/10
●—12/10～12/11
●—12/11～12/12
●—12/12～12/13
●—12/13～12/14
●—12/14～12/15
●—12/15～12/16
●—12/16～12/17
●—12/17～12/18
●—12/18～12/19
●—12/19～12/20
●—12/20～12/21
●—12/21～12/22
●—12/22～12/23
●—12/23～12/24
●—12/24～12/25
●—12/25～12/26
●—12/26～12/27
●—12/27～12/28
●—12/28～12/29
●—12/29～12/30
●—12/30～12/31
●—12/31～1/1
●—1/1～1/2
●—1/2～1/3
●—1/3～1/4
●—1/4～1/5
●—1/5～1/6
●—1/6～1/7
●—1/7～1/8
●—1/8～1/9
●—1/9～1/10
●—1/10～1/11
●—1/11～1/12
●—1/12～1/13
●—1/13～1/14
●—1/14～1/15
●—1/15～1/16
●—1/16～1/17
●—1/17～1/18
●—1/18～1/19
●—1/19～1/20
●—1/20～1/21
●—1/21～1/22
●—1/22～1/23
●—1/23～1/24
●—1/24～1/25
●—1/25～1/26
●—1/26～1/27
●—1/27～1/28
●—1/28～1/29
●—1/29～1/30
●—1/30～1/31
●—1/31～1/32
●—1/32～1/33
●—1/33～1/34
●—1/34～1/35
●—1/35～1/36
●—1/36～1/37
●—1/37～1/38
●—1/38～1/39
●—1/39～1/40
●—1/40～1/41
●—1/41～1/42
●—1/42～1/43
●—1/43～1/44
●—1/44～1/45
●—1/45～1/46
●—1/46～1/47
●—1/47～1/48
●—1/48～1/49
●—1/49～1/50
●—1/50～1/51
●—1/51～1/52
●—1/52～1/53
●—1/53～1/54
●—1/54～1/55
●—1/55～1/56
●—1/56～1/57
●—1/57～1/58
●—1/58～1/59
●—1/59～1/60
●—1/60～1/61
●—1/61～1/62
●—1/62～1/63
●—1/63～1/64
●—1/64～1/65
●—1/65～1/66
●—1/66～1/67
●—1/67～1/68
●—1/68～1/69
●—1/69～1/70
●—1/70～1/71
●—1/71～1/72
●—1/72～1/73
●—1/73～1/74
●—1/74～1/75
●—1/75～1/76
●—1/76～1/77
●—1/77～1/78
●—1/78～1/79
●—1/79～1/80
●—1/80～1/81
●—1/81～1/82
●—1/82～1/83
●—1/83～1/84
●—1/84～1/85
●—1/85～1/86
●—1/86～1/87
●—1/87～1/88
●—1/88～1/89
●—1/89～1/90
●—1/90～1/91
●—1/91～1/92
●—1/92～1/93
●—1/93～1/94
●—1/94～1/95
●—1/95～1/96
●—1/96～1/97
●—1/97～1/98
●—1/98～1/99
●—1/99～1/100
●—1/100～1/101
●—1/101～1/102
●—1/102～1/103
●—1/103～1/104
●—1/104～1/105
●—1/105～1/106
●—1/106～1/107
●—1/107～1/108
●—1/108～1/109
●—1/109～1/110
●—1/110～1/111
●—1/111～1/112
●—1/112～1/113
●—1/113～1/114
●—1/114～1/115
●—1/115～1/116
●—1/116～1/117
●—1/117～1/118
●—1/118～1/119
●—1/119～1/120
●—1/120～1/121
●—1/121～1/122
●—1/122～1/123
●—1/123～1/124
●—1/124～1/125
●—1/125～1/126
●—1/126～1/127
●—1/127～1/128
●—1/128～1/129
●—1/129～1/130
●—1/130～1/131
●—1/131～1/132
●—1/132～1/133
●—1/133～1/134
●—1/134～1/135
●—1/135～1/136
●—1/136～1/137
●—1/137～1/138
●—1/138～1/139
●—1/139～1/140
●—1/140～1/141
●—1/141～1/142
●—1/142～1/143
●—1/143～1/144
●—1/144～1/145
●—1/145～1/146
●—1/146～1/147
●—1/147～1/148
●—1/148～1/149
●—1/149～1/150
●—1/150～1/151
●—1/151～1/152
●—1/152～1/153
●—1/153～1/154
●—1/154～1/155
●—1/155～1/156
●—1/156～1/157
●—1/157～1/158
●—1/158～1/159
●—1/159～1/160
●—1/160～1/161
●—1/161～1/162
●—1/162～1/163
●—1/163～1/164
●—1/164～1/165
●—1/165～1/166
●—1/166～1/167
●—1/167～1/168
●—1/168～1/169
●—1/169～1/170
●—1/170～1/171
●—1/171～1/172
●—1/172～1/173
●—1/173～1/174
●—1/174～1/175
●—1/175～1/176
●—1/176～1/177
●—1/177～1/178
●—1/178～1/179
●—1/179～1/180
●—1/180～1/181
●—1/181～1/182
●—1/182～1/183
●—1/183～1/184
●—1/184～1/185
●—1/185～1/186
●—1/186～1/187
●—1/187～1/188
●—1/188～1/189
●—1/189～1/190
●—1/190～1/191
●—1/191～1/192
●—1/192～1/193
●—1/193～1/194
●—1/194～1/195
●—1/195～1/196
●—1/196～1/197
●—1/197～1/198
●—1/198～1/199
●—1/199～1/200
●—1/200～1/201
●—1/201～1/202
●—1/202～1/203
●—1/203～1/204
●—1/204～1/205
●—1/205～1/206
●—1/206～1/207
●—1/207～1/208
●—1/208～1/209
●—1/209～1/210
●—1/210～1/211
●—1/211～1/212
●—1/212～1/213
●—1/213～1/214
●—1/214～1/215
●—1/215～1/216
●—1/216～1/217
●—1/217～1/218
●—1/218～1/219
●—1/219～1/220
●—1/220～1/221
●—1/221～1/222
●—1/222～1/223
●—1/223～1/224
●—1/224～1/225
●—1/225～1/226
●—1/226～1/227
●—1/227～1/228
●—1/228～1/229
●—1/229～1/230
●—1/230～1/231
●—1/231～1/232
●—1/232～1/233
●—1/233～1/234
●—1/234～1/235
●—1/235～1/236
●—1/236～1/237
●—1/237～1/238
●—1/238～1/239
●—1/239～1/240
●—1/240～1/241
●—1/241～1/242
●—1/242～1/243
●—1/243～1/244
●—1/244～1/245
●—1/245～1/246
●—1/246～1/247
●—1/247～1/248
●—1/248～1/249
●—1/249～1/250
●—1/250～1/251
●—1/251～1/252
●—1/252～1/253
●—1/253～1/254
●—1/254～1/255
●—1/255～1/256
●—1/256～1/257
●—1/257～1/258
●—1/258～1/259
●—1/259～1/260
●—1/260～1/261
●—1/261～1/262
●—1/262～1/263
●—1/263～1/264
●—1/264～1/265
●—1/265～1/266
●—1/266～1/267
●—1/267～1/268
●—1/268～1/269
●—1/269～1/270
●—1/270～1/271
●—1/271～1/272
●—1/272～1/273
●—1/273～1/274
●—1/274～1/275
●—1/275～1/276
●—1/276～1/277
●—1/277～1/278
●—1/278～1/279
●—1/279～1/280
●—1/280～1/281
●—1/281～1/282
●—1/282～1/283
●—1/283～1/284
●—1/284～1/285
●—1/285～1/286
●—1/286～1/287
●—1/287～1/288
●—1/288～1/289
●—1/289～1/290
●—1/290～1/291
●—1/291～1/292
●—1/292～1/293
●—1/293～1/294
●—1/294～1/295
●—1/295～1/296
●—1/296～1/297
●—1/297～1/298
●—1/298～1/299
●—1/299～1/300
●—1/300～1/301
●—1/301～1/302
●—1/302～1/303
●—1/303～1/304
●—1/304～1/305
●—1/305～1/306
●—1/306～1/307
●—1/307～1/308
●—1/308～1/309
●—1/309～1/310
●—1/310～1/311
●—1/311～1/312
●—1/312～1/313
●—1/313～1/314
●—1/314～1/315
●—1/315～1/316
●—1/316～1/317
●—1/317～1/318
●—1/318～1/319
●—1/319～1/320
●—1/320～1/321
●—1/321～1/322
●—1/322～1/323
●—1/323～1/324
●—1/324～1/325
●—1/325～1/326
●—1/326～1/327
●—1/327～1/328
●—1/328～1/329
●—1/329～1/330
●—1/330～1/331
●—1/331～1/332
●—1/332～1/333
●—1/333～1/334
●—1/334～1/335
●—1/335～1/336
●—1/336～1/337
●—1/337～1/338
●—1/338～1/339
●—1/339～1/340
●—1/340～1/341
●—1/341～1/342
●—1/342～1/343
●—1/343～1/344
●—1/344～1/345
●—1/345～1/346
●—1/346～1/347
●—1/347～1/348
●—1/348～1/349
●—1/349～1/350
●—1/350～1/351
●—1/351～1/352
●—1/352～1/353
●—1/353～1/354
●—1/354～1/355
●—1/355～1/356
●—1/356～1/357
●—1/357～1/358
●—1/358～1/359
●—1/359～1/360
●—1/360～1/361
●—1/361～1/362
●—1/362～1/363
●—1/363～1/364
●—1/364～1/365
●—1/365～1/366
●—1/366～1/367
●—1/367～1/368
●—1/368～1/369
●—1/369～1/370
●—1/370～1/371
●—1/371～1/372
●—1/372～1/373
●—1/373～1/374
●—1/374～1/375
●—1/375～1/376
●—1/376～1/377
●—1/377～1/378
●—1/378～1/379
●—1/379～1/380
●—1/380～1/381
●—1/381～1/382
●—1/382～1/383
●—1/383～1/384
●—1/384～1/385
●—1/385～1/386
●—1/386～1/387
●—1/387～1/388
●—1/388～1/389
●—1/389～1/390
●—1/390～1/391
●—1/391～1/392
●—1/392～1/393
●—1/393～1/394
●—1/394～1/395
●—1/395～1/396
●—1/396～1/397
●—1/397～1/398
●—1/398～1/399
●—1/399～1/400
●—1/400～1/401
●—1/401～1/402
●—1/402～1/403
●—1/403～1/404
●—1/404～1/405
●—1/405～1/406
●—1/406～1/407
●—1/407～1/408
●—1/408～1/409
●—1/409～1/410
●—1/410～1/411
●—1/411～1/412
●—1/412～1/413
●—1/413～1/414
●—1/414～1/415
●—1/415～1/416
●—1/416～1/417
●—1/417～1/418
●—1/418～1/419
●—1/419～1/420
●—1/420～1/421
●—1/421～1/422
●—1/422～1/423
●—1/423～1/424
●—1/424～1/425
●—1/425～1/426
●—1/426～1/427
●—1/427～1/428
●—1/428～1/429
●—1/429～1/430
●—1/430～1/431
●—1/431～1/432
●—1/432～1/433
●—1/433～1/434
●—1/434～1/435
●—1/435～1/436
●—1/436～1/437
●—1/437～1/438
●—1/438～1/439
●—1/439～1/440
●—1/440～1/441
●—1/441～1/442
●—1/442～1/443
●—1/443～1/444
●—1/444～1/445
●—1/445～1/446
●—1/446～1/447
●—1/447～1/448
●—1/448～1/449
●—1/449～1/450
●—1/450～1/451
●—1/451～1/452
●—1/452～1/453
●—1/453～1/454
●—1/454～1/455
●—1/455～1/456
●—1/456～1/457
●—1/457～1/458
●—1/458～1/459
●—1/459～1/460
●—1/460～1/461
●—1/461～1/462
●—1/462～1/463
●—1/463～1/464
●—1/464～1/465
●—1/465～1/466
●—1/466～1/467
●—1/467～1/468
●—1/468～1/469
●—1/469～1/470
●—1/470～1/471
●—1/471～1/472
●—1/472～1/473
●—1/473～1/474
●—1/474～1/475
●—1/475～1/476
●—1/476～1/477
●—1/477～1/478
●—1/478～1/479
●—1/479～1/480
●—1/480～1/481
●—1/481～1/482
●—1/482～1/483
●—1/483～1/484
●—1/484～1/485
●—1/485～1/486
●—1/486～1/487
●—1/487～1/488
●—1/488～1/489
●—1/489～1/490
●—1/490～1/491
●—1/491～1/492
●—1/492～1/493
●—1/493～1/494
●—1/494～1/495
●—1/495～1/496
●—1/496～1/497
●—1/497～1/498
●—1/498～1/499
●—1/499～1/500
●—1/500～1/501
●—1/501～1/502
●—1/502～1/503
●—1/503～1/504
●—1/504～1/505
●—1/505～1/506
●—1/506～1/507
●—1/507～1/508
●—1/508～1/509
●—1/509～1/510
●—1/510～1/511
●—1/511～1/512
●—1/512～1/513
●—1/513～1/514
●—1/514～1/515
●—1/515～1/516
●—1/516～1/517
●—1/517～1/518
●—1/518～1/519
●—1/519～1/520
●—1/520～1/521
●—1/521～1/522
●—1/522～1/523
●—1/523～1/524
●—1/524～1/525
●—1/525～1/526
●—1/526～1/527
●—1/527～1/528
●—1/528～1/529
●—1/529～1/530
●—1/530～1/531
●—1/531～1/532
●—1/532～1/533
●—1/533～1/534
●—1/534～1/535
●—1/535～1/536
●—1/536～1/537
●—1/537～1/538
●—1/538～1/539
●—1/539～1/540
●—1/540～1/541
●—1/541～1/542
●—1/542～1/543
●—1/543～1/544
●—1/544～1/545
●—1/545～1/546
●—1/546～1/547
●—1/547～1/548
●—1/548～1/549
●—1/549～1/550
●—1/550～1/551
●—1/551～1/552
●—1/552～1/553
●—1/553～1/554
●—1/554～1/555
●—1/555～1/556
●—1/556～1/557
●—1/557～1/558
●—1/558～1/559
●—1/559～1/560
●—1/560～1/561
●—1/561～1/562
●—1/562～1/563
●—1/563～1/564
●—1/564～1/565
●—1/565～1/566
●—1/566～1/567
●—1/567～1/568
●—1/568～1/569
●—1/569～1/570
●—1/570～1/571
●—1/571～1/572
●—1/572～1/573
●—1/573～1/574
●—1/574～1/575
●—1/575～1/576
●—1/576～1/577
●—1/577～1/578
●—1/578～1/579
●—1/579～1/580
●—1/580～1/581
●—1/581～1/582
●—1/582～1/583
●—1/583～1/584
●—1/584～1/585
●—1/585～1/586
●—1/586～1/587
●—1/587～1/588
●—1/588～1/589
●—1/589～1/590
●—1/590～1/591
●—1/591～1/592
●—1/592～1/593
●—1/593～1/594
●—1/594～1/595
●—1/595～1/596
●—1/596～1/597
●—1/597～1/598
●—1/598～1/599
●—1/599～1/600
●—1/600～1/601
●—1/601～1/602
●—1/602～1/603
●—1/603～1/604
●—1/604～1/605
●—1/605～1/606
●—1/606～1/607
●—1/607～1/608
●—1/608～1/609
●—1/609～1/610
●—1/610～1/611
●—1/611～1/612
●—1/612～1/613
●—1/613～1/614
●—1/614～1/615
●—1/615～1/616
●—1/616～1/617
●—1/617～1/618
●—1/618～1/619
●—1/619～1/620
●—1/620～1/621
●—1/621～1/622
●—1/622～1/623
●—1/623～1/624
●—1/624～1/625
●—1/625～1/626
●—1/626～1/627
●—1/627～1/628
●—1/628～1/629
●—1/629～1/630
●—1/630～1/631
●—1/631～1/632
●—1/632～1/633
●—1/633～1/634
●—1/634～1/63

ウェブサイト、Facebook

The screenshot shows the Motomachi Project website on the left and its corresponding Facebook page on the right.

Website (Left):

- Header:** 基町プロジェクト (Motomachi Project)
- Text:** 基町プロジェクトさんが基町の基町をアップしました。
2013年7月2日
- Text:** 基町プロジェクトさんが基町の基町をアップしました。
2013年7月2日
- Image:** A group of people gathered around a table covered with numerous small photographs or documents, with several large screens in the background displaying video feeds.
- Caption:** 基町プロジェクト - オープンセーティングvol.7が終了しました！
- Footer:** 基町プロジェクト (Motomachi Project) | ホーム | ページ情報 | イベント | 写真 | 教育 | 楽隊 | コミュニティ | レビュー | ページを共有

Facebook Page (Right):

- Header:** 基町・人文系サイト
- Text:** コミュニティ タイプ: 人文学系
評: 548人が「いいね!」しました
1,383人がフォローしています
- Section:** 基本データ
URL: www.motomachiproject.net
名前: 基町・人文系サイト
性別: 男女兼用
- Section:** フォーマー
いいね!: 548件
- Section:** これもおすすめ
- Post:** 基町劇場 フードボックスリレー
- Post:** FGm プートギャラリーとやうす
ポートギャラリー
- Post:** シナモン食堂 dining cafe and bar...
シナモン食堂



ウェブサイト <http://www.motomachiproject.net>

フェイスブック <https://www.facebook.com/motomachiproject>

中元商会

100-900

4 活動拠点・スペース

Base



M98

基町プロジェクト旗艦拠点

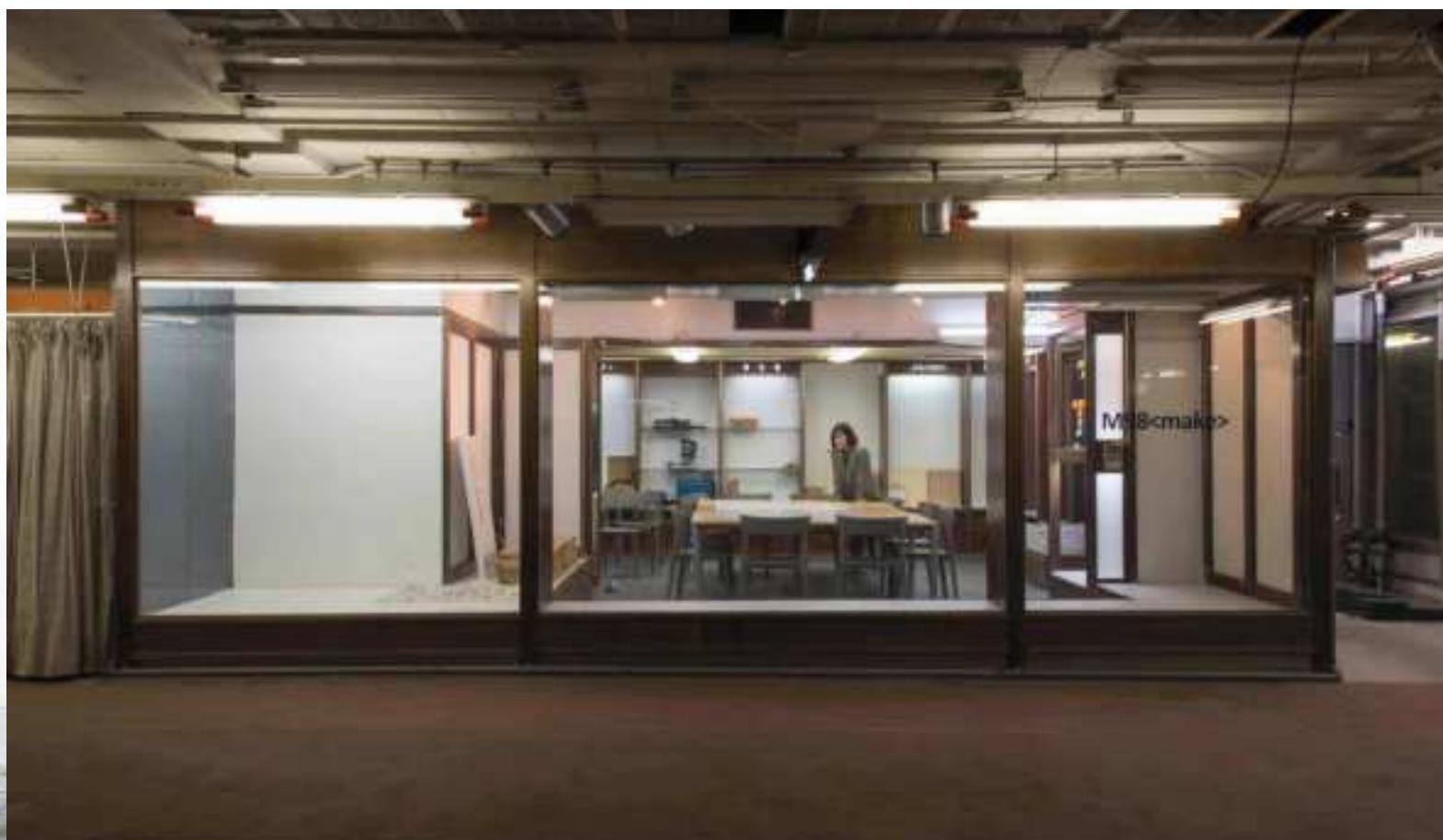


2014年5月、基町住宅地区内にある商店街の空き店舗を改修し、基町プロジェクトの旗艦活動拠点として「M98」を開設しました。壁の塗装や床のワックスがけは、大学生にも手伝ってもらいながらプロジェクトスタッフが行いました。外から内部の様子が良く分かるように、出入口にガラス製のスライドドアを採用し、地域の方が気軽にに入って来られる雰囲気を作っています。「M98」には週3日程度、2名のプロジェクトスタッフが出勤しており、地域交流や実務を行っています。

す。2015年に導入された大判プリンタやカッティングプロッターによって、モトマチ・アートウィンドウで展示する大きな展示物も印刷することが可能になりました。活動拠点を設けることで、地域住民から地域の一員として認められ、地域の抱える問題や要望を理解し、把握することが可能となりました。名称の由来は店舗番号が98号店舗であり、基町の頭文字からMをとって「M98(えむきゅうじゅうはち)」としました。

M98<make>

制作や加工作業のための拠点



2016年4月から、基町中央商店会内で空き店舗となっていた「ファッションルーム・アルル」を借り受け、基町プロジェクトの創造・交流拠点として活用を開始しました。はじめに店内に残されたショーケースや衣装掛けなど大量のものの片付けや掃除から着手しました。室内は長い間閉め切られていたため、埃やカビの匂いがひどく、また、空間が箱状に仕切られてあるため空気が循環せず、匂いが取れるまでに数ヶ月かかりました。改修作業は大学生に手伝ってもらい、床のカーペット剥がしや、壁面と床の塗装を約3ヶ月か

けて行いました。通りに面した壁がガラス張りであつたことを活かして、外から内部の作業の様子が見えたり、一部展示が出来るように整備しました。この場所を、M98では行えない汚れを伴うものづくりのスペースとして活用することを決め、名称を「M98<make>」としました。

(2018年4月より、M98<make>はM98隣に移転し、このスペースは新たにM98<display>としての整備を開始しました。)

M98<eat>

「食」をテーマとする拠点



2016年4月から、基町中央商店会内で空き店舗となっていたうどん屋「ささき」を、基町プロジェクトの創造・交流拠点として活用開始しました。営業終了後何年もそのままの状態だったため、埃や油汚れひどく掃除も大変な作業となりました。はじめに残っていた冷蔵庫や調理器具などを片付けました。清掃や壁面の塗装などは大学生に手伝ってもらい、傷んでいたカウンターは新しくつくり直し、床面には新たにモルタルを敷いて綺麗に整備しました。壁面のレンガなども白く

塗装し清潔感のある空間となりました。状態の良い一部のカウンター や椅子などはそのまま使うことで、かつての賑わいを感じさせる工夫もしました。最後に新しくデザインした「グローカルキッチンプロジェクト」のロゴタイプを看板に設置しました。改修後、8月から月に一度「食」をテーマとしたワークショップ「グローカルキッチンプロジェクト」を実施し、地域の方々や大学生、一般の人の交流の場を作っています。

M98<join>

展示や交流のための拠点

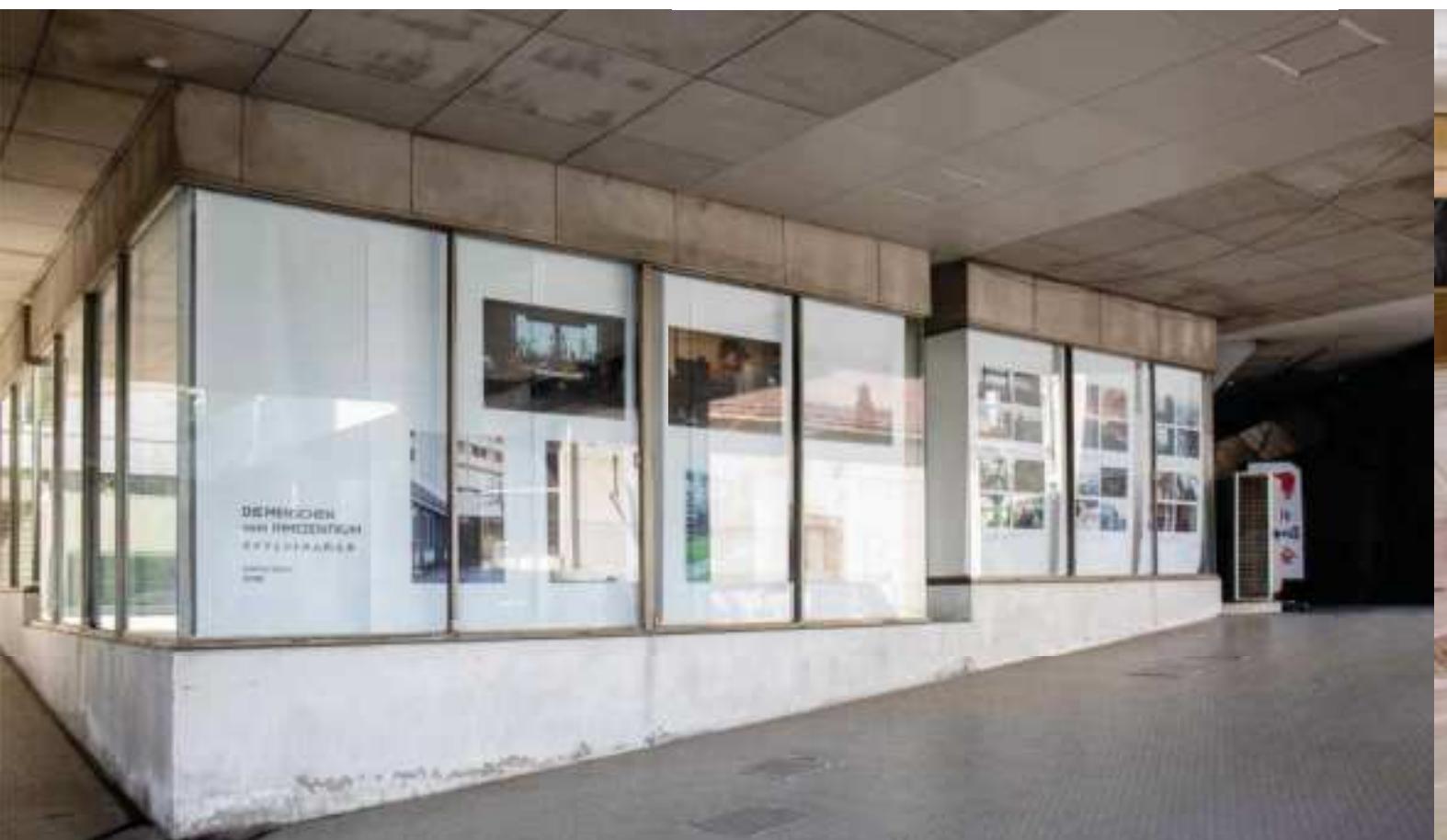


2017年4月から、分散店舗208号の活用を開始しました。この空き店舗は、かつてダンス教室として使われていましたが、閉店後10年以上空き店舗となっていました。4月から改修作業を開始し、入口の扉が閉鎖しづらかったため、新しいドアに取り替えました。壁や柱なども展示スペースとして活用できるように一部壁を貼り替え、不要な棚は取り除き、カウンターも新たに設置しました。運用を始める前段階には、オープンミーティングで、この場所をどう活用するか一般的な参加者の方々とアイデアを出し合い、話し合いました。その結果、展示スペースとして活用することが決

まり、名称も「M98<join>」となりました。「join」には「加わる、つなぐ」という意味があり、基町プロジェクトの活動による成果物などを展示することで、基町住宅地区の活性化に向けた取組が地域に広がり、繋がっていって欲しいという思いが込められています。改修作業では、ガラス面の掃除や壁面の塗装など大学生に手伝ってもらいました。9月末から運用を開始し、ドイツハ・ノーファーに留学中の大学院生の活動紹介や、広島市立大学芸術学部学生によるリレー形式の個展などを実施しました。

モトマチ・アートウィンドウ

年間を通じて様々な作品展示を企画実施



2015年から、基町ショッピングセンター南側にある高さ約2メートル、幅一辺約8メートルの大型のショーウィンドウの活用を開始しました。

元々はショッピングセンターのお店を広告するための場所でしたが、近年では長らく使われていませんでした。ショーウィンドウはバス通りに面しておりバスからも良く見え、地域の方も良く通る場所にあるため、多くの人に見てもらうことができます。

名称を「モトマチ・アートウィンドウ」とし、基町に関連のある作品の展示や、基町プロジェクトの成果物の展示などを行うことで、空きスペースを創造・交流

拠点として運用しています。

2016年には、基町アパートの屋上から広島市内を撮影した写真を大きく引き延ばして展示する「パノラマモトマチ」をシリーズで実施しました。普段、基町高層アパートの屋上に一般の人は入ることができませんが、その眺望は貴重な地域資源であり、その眺望をパノラマ写真という形でご覧いただきました。活用開始から現在まで、空の状態がないように、継続して展示を行っています。地域の方からは「明るくなつて良い」という声をいただいています。

中央商店会イベントスペース

フレキシブルなイベントスペースとして活用



基町中央商店会内の店舗番号 74・77・78・82 を、「基町、昔の写真展」や「M トーク」、「グローカルキッチンプロジェクト」などの展示やイベントのスペースに活用しています。商店会内の区画スペース内にはかつて沢山のお店が入っていましたが、現在は 4 店舗を残すのみで空間の殆どが空きスペースになっています。分散店舗や路面店とは違い、広い空間をお店ごとに仕切って使う店舗の特徴を生かし、毎年 8 月に約 70 枚の写真を展示する「基町、昔の写真展」の会場

として活用したり、M98<eat> の前のスペースにテーブルと椅子を並べて「グローカルキッチンプロジェクト」のイベントで活用しています。建物内には、歌謡曲が流れ昭和的な雰囲気が残っており、外部から訪れる人には懐かしさを感じてもらいます。2017 年には、写真展で使えるように仮設壁も設置しました。展示終了後にも大きくプリントした写真を再展示し、常設展示を行なっています。



5 活動評価

Appraisal of programs



基町住宅地区活性化計画に照らした 基町プロジェクトの取組状況、及び、自己評価

基町住宅地区活性化計画の概要説明

2013年（平成25年）7月、広島市は、基町住宅地区活性化計画（以下、活性化計画）を発表した。その策定目的は、以下の通りである。

「基町住宅地区では、建物の老朽化のみならず、少子高齢化に伴う地域コミュニティの活力低下や空き店舗の増加に伴う商店街の衰退など多くの問題が顕在化している。また、地元においても活性化への機運が高まっている。これらの問題に起因する種々の課題に対応し、当該住宅地区の活性化が図れるよう、早急に取り組む必要がある。このため、当該住宅地区の現況調査等を実施し、その結果等の分析を行ったうえで、活性化の方向性と活性化に向けた具体策（中略）等について（中略）検討を行い、その結果を活性化計画として取りまとめ、これを基に地区住民等と協働して地区の活性化に取り組むものである。」（活性化計画 p.1）

また、活性化計画の目標として、以下の3点が挙げられている。

1. 安心と笑顔の基町：みんなが安心して、いきいきと笑顔で暮らせるまちを目指す。
2. 出会いと交流の基町：住民相互が交流し支え合い、地区外の人とも出会いのあるまちを目指す。
3. にぎわいの基町：商店街や地域の資源を生かし、人が集い、にぎわうまちを目指す。

活性化計画における基町プロジェクトの位置付け

生活環境の改善のみならず、商業施設や教育施設などを有する基町住宅地区の特徴に沿った、幅広い視点で計画されている活性化計画であるが、この活性化計画におけるプロジェクトの位置付けは、「にぎわいの基町」特に、その中でも「にぎわい再生（商店街等）」の「基町アートロード、アートによる魅力づくり」に

取り組むプロジェクトとして、2014年度（平成26年度）より開始した（その準備は2013年から着手した）。なお、当初は「基町フェニックスアートプロジェクト」という名称だった。

2013年のプロジェクト準備段階においては、活性化計画に書かれているような、基町ショッピングセンターなどのシャッターに絵を描くことなどが、このプロジェクトに期待されていた。しかし、大学関係者の検討を重ねた結果、地域のにぎわい再生を目指すには、現地活動拠点の形成と活動に取り組むスタッフの確保によって、継続的な活動体制を構えることが必要であることを提案し、行政側にもこのアイデアが受け入れられた。

こうして開始した基町プロジェクトは、主には芸術学部の教員や学生がその実施に携わることから、「創造的な文化芸術活動で基町住宅地区の魅力づくり・活性化を目指す」ことで、前述の活性化計画に掲げる「にぎわい再生」、「基町アートロード、アートによる魅力づくり」に取り組むこととなった。そして、2015年3月には「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を策定・発表した。

拡大する活動範囲

年々、「にぎわいの基町」に掲げるメニューを中心に、プロジェクトの取組は増えており、当初予定されていた範囲を超えている面もある。一方で、基町プロジェクトの基本コンセプトで掲げたメニューの中でも未着手のものもある。右ページ以降に、活性化計画とプロジェクトの取組状況を比較し、自己評価を示した。プロジェクトの取組については、今後外部からも評価を得ることにより、プロジェクトの基本コンセプトの改訂につなげていきたい。

もとまち歴史文化のまちめぐり

活性化計画 p.25

活性化計画における目的…………… 地区住民が基町の歴史文化を楽しみながら体験的に学び、知ることにより、地域の再発見と愛着の醸成を図るとともに、広く参加を呼びかけたり、情報発信したりすることにより、基町への関心と理解を高めることを目指す。

プロジェクトでの取組状況…………… 基町プロジェクトの3つのテーマのうち、「まなび」や「交流」に関する取組の中で、基町の歴史や文化に触れるまちめぐりのメニューを実施した。「基町・昔の写真展」関連イベントとして実施した昔の写真が撮影された場所を巡るツアーは、基町の歴史文化を学ぶ機会に繋がっている。一方で、基町住宅地区の整備背景や、陸軍関係の歴史、広島城築城の歴史などについては、プロジェクトスタッフ自身が学習・調査中であり、これらに関するメニューは未実施。資料などは徐々に収集しているところであり、今後地域の歴史文化の発信についても、プロジェクトで取り組む予定である。

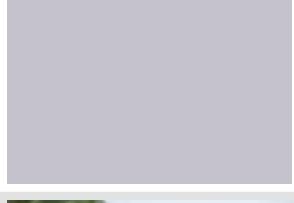
基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載	基町小学校生徒対象ワークシヨップで、地区内に現存する被爆樹をマッピングしたジオラマ模型を制作した。他にも、古い写真の収集を通じて、地域の歴史的資源の記録を行なっている。	
資源の再発見（地域の宝さがし フィールドワークなど）	×	○	
幾つかのテーマ・コースでのまち めぐりの機会の確保	×	○	
探訪マップ（防災・安全や健康づ くりとの一体化も検討）	×	○	
説明板・誘導標識の設置	×	×	

建築や眺望などの活用、名所づくり

活性化計画 p.26

活性化計画における目的…………… 建築や都市計画、眺望点など基町の地域資源を生かし、地区住民だけでなく外部からの人も受け入れ
地域の活性化と特色・魅力の公開を図る。(活性化計画 p.26)

プロジェクトでの取組状況…………… 活性化計画の中では、公共機能を内包する基町住宅地区の先進的計画やその背景、建築的に価値の高い建物や、その屋上からの眺望を地域資源として活用することが掲げられている。また、そうしたメニューの実施は、建築や都市計画の専門的知見を有する専門家との協働が想定されていたと思われる。一方、基町プロジェクトの主体は芸術学部であり、建築・都市計画は専門外である。しかし、屋上見学会や、トークイベント、シンポジウムなどの企画を通じて、活性化計画の一部のメニューを実施してきた。アパート部分については、居住者のいるプライベートな空間であるが、建築や眺望が重要な地域資源であることについて住民の周知が広まれば、地域への愛着の醸成にも貢献できると思われる。

基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載		
建築探訪の支援・協力、ルールづくり	×	○	 <p>建物見学会を行う場合には、社会福祉協議会や連合自治会で事前に趣旨説明をする他、見学者には注意事項などの伝達を徹底している。また音声ガイドは、ワイヤレスマイクとイヤフォンを利用し、騒音とならないようしている。</p>
大学・学生による基町ツアー、建築・都市計画ツアーなど（地域として協力・支援）	×	○	 <p>毎年開催する「基町、昔の写真展」関連イベントとして、周辺ツアーを実施する他、広島県「たてものがたりフェスタ」に連携して屋上を含む基町高層アパートの見学会を実施した。写真是、建築シンポジウムの開催に際し、実施した見学会の様子。</p>
基町ショッピングセンター等での食事・買い物（それに対応した店舗づくり）	×	○	 <p>学生の企画立案により、基町ショッピングセンターの紹介パンフレットを作成・配布した。一軒ごとに訪問・取材し、それぞれのお店の特徴を写真を交えて編集した。</p>
季節、時間なども意識した名所づくり（都市景観と瀬戸の島々、季節ごとの…、月見、初日の出など）	×	×	 <p>未検討事項。</p>
街の観光・回遊の名所づくり	×	△	 <p>歴史的な見所や、建築的見所の豊富な地区であるものの、それらを紹介する場所がないことが課題である。地域の魅力や特徴を紹介するビジターセンター（または基町資料室）の設置を検討している（平成30年度より着手）。</p>
基町ガイドの育成	×	×	 <p>プロジェクトの基本コンセプトでは、地域人材の育成をメニューの1つとして掲げているものの、現在は未着手である。</p>

基町ものしり講座（仮称）の開催の検討

活性化計画 p.27

活性化計画における目的…………… 基町の歴史文化、都市計画・建築の特色などを、リレー形式で学ぶ機会を確保し、地区住民をはじめ広く参加を呼びかけ、基町に関する知識と関心を高める。

プロジェクトでの取組状況…………… トークイベント（「M トーク」後に「オープンミーティング」に発展）の継続的な開催を通じて、活性化計画に掲げた目的を達成するメニューを実施した。基町の歴史や建築などをテーマにした回では、特に地区外からの参加者が多く、時には遠方からの参加者もあったことから、市民の関心度は高いと感じられた。一方で、シンポジウムなど大きなイベントを開催した時にも、地域住民の参加者は少なく、歴史や建築というテーマが決して一般的ではないことを痛感せられる結果となった。今後、同様のメニューを企画していく場合は、このテーマに関心を寄せている地区内外の方々に、いかに情報発信するかが課題となる。

基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 コンセプトへの記載	取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況
リレー形式で基町に関わる講座・ 学習、体験機会を確保する・歴史 文化：築城～被爆、被爆・復興・ 都市・建築：都市計画、再開発事業、 建築（復興ともリンク）	X	○

基町の歴史、復興、建築、再開発事業に関するトークイベントやシンポジウムを開催した。また、基町の活性化を考えるレクチャー＆ワークショップなどを広島市中央図書館と連携して実施した。



定期的な“市”『基町バザール（マルシェ）』の開催

活性化計画 p.28

活性化計画における目的…………… 基町ショッピングセンターの中央広場などを利用し、定期的な“市”を開催することによって、地域内外の多様な交流・ふれあいや新たな楽しみを生み出すとともに、商店街の活性化に資する。

プロジェクトでの取組状況…………… 活性化計画の中では、生鮮食品を中心とした商品の売買を行う、いわゆるマルシェがメニューとして掲げられている。基町プロジェクトは、中区役所の受託研究費と大学の研究費を財源としたプロジェクトであるため、商品の売買はできないものとされている。よって、こうした“市”（マルシェ）の実施主体となること自体に課題がある。しかし、無償での料理体験（料理提供を含む）など、規模は小さいものの内容としては活性化計画のメニューを一部実現するような取組を、基町プロジェクトでは行なっている。また、プロジェクトでは、商店街の活性化には、若者が経済活動の主体となることが必要であると考えていることから、今後「商品の売買やサービスの有料提供」にも、その方法の開発から取り組みたい。

基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載	
中山間地域や島しょ部、日本海沿岸部などと連携した朝市などの開催（イベント化）	X	○
	グローカルキッチンプロジェクトで、中山間地域との協働により、鹿肉の試食などを体験した。プロジェクトでは物品の販売ができないこともあり、朝市・マルシェ・フリーマーケットなどの企画・実施ははない。	
様々な食の場の提供。多様な文化を体感できる食や商品の提供（販売）。帰国者や中国の人との連携・参加促進（水餃子など）	X	○
	グローカルキッチンプロジェクトで、外国の料理を体験するイベントを実施した。また、「もとまちカフェ」では、かつて基町の名物であった基町饅頭の創作者に取材を行ない、その体験を元に、オリジナルの基町サブレを開発・イベントで配布した。	
フリーマーケット等もセットで行う。	X	X
	基町プロジェクトは、現在実施体制の問題から、物品の販売ができない。写真は、2017年10月の砂持加勢まつりで、「もとまちカフェ」のメンバーが、別途任意団体を設立し、自作のアクセサリーなどを販売した事例。	

基町アートロード、アートによる魅力づくり

活性化計画 p. 29

活性化計画における目的…………… 様々な参加のもとに、歩いて楽しい個性ある通りをつくるとともに、基町ショッピングセンターなどの魅力づくりと内外からの人の誘導を図る。

プロジェクトでの取組状況…………… 当初、シャッターアート、屋外彫刻設置などの打診があったが、それだけでは活性化に繋がらないという話をして、現地活動拠点とスタッフを設置し、継続的なアートとデザインの取組をすることに、内容を切り替えていき、基町プロジェクトの基本コンセプトが完成した。当初計画よりも多くの取組実績がある一方で、未着手のメニューもある。

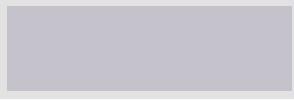
基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 コンセプトへの記載	取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況
デザイン化したサインの整備		
シャッター等のデザイン化（絵）など	○	
彫刻・オブジェなどの設置	○ △	
定期的な芸術作品の入れ替え・展示（スペースの確保）	○	
市立大学、比治山大学、基町高校などとの連携	○	

特色と魅力ある商店街づくり

活性化計画 p.30

活性化計画における目的……………住民ニーズや商業環境の変化、白島新駅の整備（予定）などを考慮するとともに、市営店舗利用者と広島市が連携し、外部の専門家等の支援も得ながら、特色と魅力ある基町ショッピングセンターや各商店会等とする。

プロジェクトでの取組状況……………活性化計画に掲げられたメニューの多くは、経済活動の活性化を中心としたものである。プロジェクトは、直接的な経済活動はできないため、そのほとんどのメニューに関与することができない。

基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載	
一定のスペースでエスニック、多様な文化・国際色豊かな飲食店をつくる。	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	 グローカルキッチンプロジェクトでは、外国の食文化に触れる機会を設けているものの、イベントで実施しているため、常設という形態は取れていない。
好み村的特色づくり	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	 プロジェクトでは取り組んでいない。
基町SCをわかりやすく（開かれたイメージ）	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	 案内板や基町SC探訪マップを作成した。暗く利用しづらいトイレのあり方についても検討中。
わかりやすい案内板の設置	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	 「基町 Re: デザイン」では、学生が中心となって基町ショッピングセンターを調査し、地区外から来た訪問者にもわかりやすい案内地図をデザイン、ショッピングセンター内に設置した。
バス通り側のシースルー化	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	 プロジェクトでは取り組んでいない。
アートロードづくりやアートによる魅力づくり	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	 基町プロジェクトの取組は、このメニューの実現を基本としている。
空き店舗の調整	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	 複数の空き店舗を、交流スペース、展示スペース、創作スペースなどとして活用している。

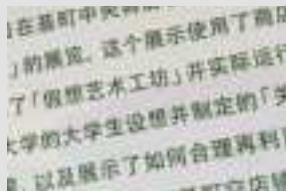
基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載	
アンケート調査の実施	×	×
		「特色と魅力のある商店街づくり」のための直接的なアンケート調査は実施していない。
大学・基町高校との連携	○	○
		
商店会の意向を反映した出店	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
入店基準の見直し（緩和）	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
チャレンジショップの支援	△	×
		これまでの実績はないが、長期的には創業支援は地域活性化に必要なものと位置付けている。
飲食系の店主（高齢化）がやる気を出す工夫	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
引越費用の負担（助成）	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
食事が大事（飲食系の充実）	△	○
		
白島駅を生かした取組（人を引き込む工夫、魅力づくり）	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
組織的な運営（共同経営、指定管理者制度の導入など）	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
NPO の設置	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。
地下駐車場の再整備と運営管理体制の再構築（民間活力の導入など）	×	×
		プロジェクトでは取り組んでいない。

人材活用・育成とボランティア体制の構築

活性化計画 p.31

活性化計画における目的…………… 基町住民の知識や技術・技能、基町のまちづくりへの心を大切にし、生かすことを基本に、地区内外の人々や団体等の協力を得ながら、人材の発掘・把握を行うとともに、まちづくり等に関わる人材の育成に取り組み、多様な人材の活用とボランティア体制の構築を図る。

プロジェクトでの取組状況…………… プロジェクトの基本コンセプトでは、地域の人材育成をメニューの1つとして掲げているが、着手できていない。大きな理由は、地域住民とプロジェクトの接点がイベントへの参加という形が多かったため、個々の住民の知識や技術・技能を知る機会が少なかったことにある。また、イベントメニューも高齢者を対象にしたもののが少なかった。一方で、基町の古い写真を提供していただいた方や、地元で長年清掃に携わりながら作家活動を続けられている方を講師として招いたレクチャーを行なうなどの実績もある。現在のプロジェクトの人員体制では、地域の人材活用・育成やボランティア体制の構築などのマネジメントはハードルが高い。

基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載	
知識や技術・技能を持つ人、役に立ちたいと思っている人の登録・活用	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	 古い写真の提供や、地域の歴史をインタビューし、それらを写真展に展開した。しかし、人材の登録や活用といった仕組みづくりまでには至っていない。
中国語（通訳）のできる人の登録・活用	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>	 プロジェクト広報紙では、地域在住の中国語話者に向けて、一部の記事を中国語に翻訳して掲載している。この翻訳は、市立大学の中国人留学生に依頼している。今後、地域在住の外国人との交流・協働を検討する。
生活サービス：コミュニティビジネス、有料ボランティア（地域通貨なども検討） ・電気・設備関係の修理、取付・通訳・買い物支援	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	 プロジェクトでは取り組んでいない。

基町研究室・資料室の設置の検討

活性化計画 p.32

活性化計画における目的…………… 大学等による多様な観点からも基町研究を、地域とのつながりと交流、現場重視の中で進めるとともに、研究の成果などの情報提供と発信、まちづくりでの具体化を図ることが、基町住宅地区の活性化にも資する。

プロジェクトでの取組状況…………… 活性化計画では、人づくり・組織づくりが大きなテーマとなっていることから、基町の研究や資料を通じて、人的交流から組織づくりに展開することが期待され、またここでの取組や研究が、実際にまちづくりのメニューとして具体化されることが期待されている。プロジェクトでは、M98 をはじめとする活動拠点で基町研究や資料収集を行なっており、

基町住宅地区活性化計画 掲載メニュー	プロジェクト基本 取組実績の有無及び基町プロジェクトでの取組状況 コンセプトへの記載	都市・建築関係の大学生との交流は近年増加傾向にあるものの、大学間連携での地域研究には展開していない。
複数の大学等の連携：都市・建築、福祉、介護、子育て、異文化交流・相互理解など	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	
大学等と地域の交流	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	
基町研究（都市・建築、歴史、生活文化、異文化交流、高齢社会…）と情報提供の拠点→研究成果の活用・実践	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>	
空き店舗の活用：研究・学習・作業、ギャラリー・展示、交流・サロン、収納などのスペース及び設備・備品	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>	
建築や都市計画の歴史（推移）と現在を見ることのできる画像・映像、模型づくり（展示）	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>	
その他の分野を含めたパネルや公開資料づくり	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	特に行なっていない。
見学者の受け入れ	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>	視察団体の受け入れや、個人で見学に訪れた一般市民・専門家の対応行なった。 また、展示に連携して基町住宅地区内のツアーを実施するなどプロジェクトが主体的に実施する取組も行なった。

長野佳嗣



私は基町プロジェクトが開始した平成 26 年度から 2 年間プロジェクトスタッフとして携わりました。発足時、私は広島市立大学の芸術学部デザイン工芸学科を卒業したのち、同学部で非常勤助教として勤務していました。専門はグラフィックデザインですが、学生として在学中より障害者の方の自立を支援する活動をデザイン面からサポートする活動や、街で実際に使用するマンホールのデザインプロジェクトなどに参加したりしていました。大学に入学した頃は広告デザインに対する憧れが強くありましたが、そうした経験を積むうちに、自分の中でデザインに対するイメージも変わり始め、社会的な問題をデザインによって解決していくことの重要性を感じていた時期でした。そういう中で、平成 25 年の秋ごろに基町住宅地区をアートやデザインなどを軸に活性化を図る取り組みが始まるということを耳にし、参加を申し出たことが、このプロジェクトに関わることになったきっかけです。

当時私は基町住宅地区から数百メートルしか離れていない場所に住んでいたのですが、高層アパート群があることは知っていたものの、中に入ったことはありませんでした。広島市内でも一際目立つ高層アパートには威圧感があったからです。そのため初めて訪れた時はワクワク感よりも怖さのほうが強かったように思います。実際に中から街を見てみると、レトロ感のある商店街、人工地盤部分の公園、気さくな人々など、広島市内の中心部にありながらどこか懐かしさを感じました。この場所が一つの街のように語られている理由がよくわかったと同時に、そのことがこの場所の閉鎖的なイメージをつくってしまっている原因だとも思いました。

私の 2 年間の活動は、このとき感じた閉鎖的なイメージを転換し、広島市民にとって基町住宅地区が身近な存在になるきっかけを作り出すことを、大きなテーマに据えてきました。その実現のために様々な取組を行いましたが、特に印象深いのは、もとまちカフェです。広島市立大学と広島修道大学の大学生たちと共に作り上げてきた企画ですが、参加した大学生によって基町住宅地区や基町プロジェクトのことが両校で広く知られることとなりました。その成果として平成 27 年に開催したもとまちカフェでは、多数の大学生らが来場し大盛況のイベントとなりました。この出来事は、初めて基町住宅地区を訪れた時からイメージしてきた、基町住宅地区が広島市民の身近な存在になり始めた姿と重なり、大変嬉しかったです。同時にこの光景が一過性のものではなく、日常となるにはどうしていくべきかという今後の取り組みの方向性を考えいくきっかけにもなりました。

現在、基町プロジェクトは 2020 年の東京オリンピックの年に向けて、実施計画書でいうところの「中期」に当たる時期に入っています。国際平和文化都市を掲げる広島市にとって基町住宅地区は今後ますます重要な意味をもつ場所になっていくでしょう。2020 年以降、基町住宅地区が戦後の復興という過去の視点で捉えらるのではなく、復興の延長線上にある創造力あるれる広島のこれからを国内外に発信する場になることを願っています。

当初は、「基町フェニックスアートプロジェクト」という名称で始まり、後に「基町プロジェクト」に変更した。

河本真一



まちの文化を魅せる

基町高層アパートに代表される基町は、戦後の広島という歴史的復興の象徴から、その復興の先の新しい姿を生み出そうとしている数少ない貴重な場ではないだろうか、そしてそれを伝えたい、そう考えプロジェクトに参加させていただきました。

実際に基町で活動するようになると、商店街の空き店舗改装、ショーウィンドウの展示、シンポジウム、アパート見学会、地域の行事などを通じて、ある2つの視点から基町の魅力を感じることができました。

一つ目の視点は、「人」です。基町高層アパートや市営住宅の住民の方々、商店街、学校、公民館など公共施設で働く人々との触れ合いの中で、古くから日本に残る“助け合い”的精神を感じることができました。

また、活動拠点のM98では住民の人々が立ち寄ってくださり、これから基町の未来を議論し合い自分たちでこのまちを守っていく、つくっていく、そんな姿勢を見ることができました。

商店街の入り口にあるショーウィンドウでの基町のパノラマ写真展示作業中では、「展示で入り口が明るくなつて嬉しい」と声をかけてくださるお店の方や、写真を通じて基町の昔の話をしてくださる住民の方、夜遅くまで作業が延びるほどに住民の方々からねぎらいの声をかけてくださったりと多くの元気をいただきました。

また、町内会の行事に参加した際も住民の方々のエネルギー溢れるレクリエーションをはじめその運営など「住民の繋がりを維持する」懸命さに感動しました。

そして、それらの関わり一瞬一瞬が今の日本人の暮らしに忘れてはならない「生活の距離感」であり、「私たちのまちは私たちで守り、つくる。」そんな姿勢が、基町にしかない「生活文化」が存在する証拠だと実感

しました。

そして二つ目の視点は、「環境」です。基町にしかない「生活文化」をつくりあげたものは、基町高層アパートやその商店街、中央公園（戦後は応急住宅地）、太田川といった環境であり、特に基町高層アパートとその商店街は立体的な街であり、全盛期は内と外が曖昧となり人々の生活が溢れる街であったのではないかでしょうか。

これまで、商店街の屋外広場である福祉ゾーンやその上の広場で、高齢者向けのイベントや本プロジェクト学生主体である“もとまちカフェ”など、ただの屋内ではなく、街の特徴を受け継いだ“街レベルで見る屋内”で活動することで、街全体をひとつに巻き込む活動が行われてきました。

そういった「生活文化」は、基町高層アパートをはじめとする「建築文化」があるからであり、特に基町高層アパート屋上からは広島のまちを一望でき、復興を象徴する建築から見るその景色は、感慨深く、基町高層アパートは復興遺産と言っても過言ではないと思いました。

このように基町には、ここにしかない「生活文化」と「建築文化」という魅力を持ち、それは今を生きる世代のスタイルと共に活かす中で、復興の先の新しい姿を創造するための貴重なヒントとなっています。そして「私たちのまちは私たちで守り、つくる。」という私が実感したこの住民の方々の姿勢は、今後の若い世代に引き継がなければいけない「情熱」であり、今後の日本を担う私たちに必要な「情熱」なのではないでしょうか。

新澤望



基町プロジェクトの現地スタッフとして2015年4月から2018年3月まで3年間務めました。大学院ではアートマネージメントを学び、卒業後1年間は尾道市百島にあるアートセンターでスタッフを務め、それからすぐに基町プロジェクトに参加することになりました。

私は着任してすぐ、地域の方から提供いただいた写真を使って写真展を行う企画の担当となりました。ディレクションには、広島市立大学大学院芸術学研究科を修了した鹿田義彦さんが指名され、私はその補佐として写真の収集や情報整理、ワークショップの企画などを行いました。

8月の写真展の前には、ピンホールカメラのワークショップを基町小学校と行うこととなり、写真収集と平行して準備に取りかかりました。

不慣れな題材ということや、授業時間も限られることもあり、準備にはかなりの時間をかけました。当日は大学生にも手伝ってもらい、ピンホールカメラの制作から撮影、現像まで一貫して行い成功をおさめることができました。振り返るとこの取組が一番記憶に残っています。

写真展は2015年に始めてから毎年写真の内容を変えて実施しています。回を重ねるごとに来場者も増えており、夏の一番暑い時期でクーラーもない会場にもかかわらず、アンケートには「継続して欲しい」、「写真をまとめた冊子が欲しい」といった意見をいただきやりがいを感じる仕事でした。今後も基町プロジェクトの代表的な取組の一つとして、継続して欲しいと思います。

二年目くらいから徐々に基町住宅地区という地域の色が感じとれるようになってきました。「あんたらのやつとることは大学生のサークルの延長だよ」、「やってる活動で地域活性化ができるのか」といった言葉を直接聞くこともありました。初めのうちは私自身プロジェクトの目的とは、今やっている活動がどんな成果につながっていくのか、具体的にイメージできないでいました。その度にプロジェクトの舵取りを担う広島市立大学芸術学部の中村圭講師に疑問を投げかけ、プロジェクトの方向性を確認しながら取組を進めていきました。

基町プロジェクトが始まって4年、スタッフの数は変わりませんが、仕事量は年々増えているように感じます。できる範囲で行っているため外から見ると進みの遅いプロジェクトに見えるかもしれません。しかし息の長いプロジェクトとして、着実に成果を残していると思います。派手な取組はありませんが、まちづくりや地域おこしと呼ばれる仕事には、継続こそ重要なことだと思います。

プロジェクトは2018年4月から五年目の中期に突入しますが、継続プログラムだけでなく新規の取組にも挑戦して欲しいと思います。特にイベント系のプログラムだけではなく、シンポジウムのドキュメント冊子のような、形に残るものに時間をかけて取組むことが今後必要になっていくと思います。

増田純



広島の中心市街地である基町クレド方面から基町住宅地区にたどり着くためには、まず地下道を通らなければならない。しかし地下道というものは地上の通路よりも暗くじめじめとして、さらにあみだくじのような多数の分岐が、歩行者の方向感覚を少しづつ狂わせる。その身体的圧迫感がどうにも苦手で、地区内に入る方法がわからないものもあり、興味があったものの、これまで近づいたことはなかった。知人や訪れた方々からも同様の意見を伺うことがある。高齢化や商業の衰退は多くの場所で問題視されているため、居住区を活性化するのはわかる、しかしアートイベントのようにお祭りをするだけでは解決にはならないのでは?と、スタッフとして関わる以前は懐疑的であった。

広島市の活性化計画や基町プロジェクト基本コンセプトを通して、基町プロジェクトがお祭りづくりの取組ではないことがわかり、地区への好奇心が一層わきスタッフとして加入した。しかし何をもって賑わいづくりが成功したと言えるのか理解しきれておらず、ただ外から観光客がやってくるというだけでは根本的な解決にならないと感じていた。

いざ基町住宅地区に足を踏み入れると、地域活動へ積極的に参加されるご高齢の方々の姿があった。ゼロから広島を再建した戦後復興の立役者達である。お一人お一人に元気が漲っており、町内会の結束も強く、プロジェクトを運営していくにあたってこのような方々と一緒に活動していくことは非常に心強い。だが圧倒的に未来の担い手が少ない。活性化とは、基町の歴史や文化をよく知り、この場所に住んで未来をつくる人々が増えることだとようやく理解した。

この地区の活性化に自分がどうやって貢献できるのだ

ろうと悩み続けて年が明けたころ、M98での定期イベントの最中に転機が訪れた。その日初めて基町住宅地区に訪れたイベント参加者へ「ちょっとわかりにくかったと思うのですが、迷わず来ましたか?」と聞くと「いえ、迷いました。どうやって入ったらよいのか、わかりませんでした」という答えが想像通り返ってきたところに住人の方が居合わせ、「確かにそうだね、でも迷路みたいで、冒険できて楽しいところでしょう」と、このような内容をお話しされた。外来者にとっての不安を一瞬で魅力に変え、場を和ませてくださった。冒頭に自身の印象を述べたように、一定の方が足を踏み入れるのに少し勇気のいる地区であるが、住人の方がこのように言ってくださったことで、この参加者は受け入れられたように感じたのではないだろうか。この地区にあるであろう不便さなどの課題を「基町の魅力」として価値転換して伝えていくことが大切なのだと感じ、悩みも吹き飛んだ。

一方で、入居している方全員が基町の魅力を知り尽くしている訳ではない。地区外から訪れた方々（中には定住される方もいるかもしれない）だけでなく、住人の方とこそ一緒に基町の潜在的な価値を発見する機会を作るべきである。様々な文化背景をもった住人の方一人一人が感じることができる魅力は、外来者にとつても、ここに住みたいと思えるような魅力になっていくはずである。

「基町賑」

計画 201

主な会員

基町商店街
会員登録

外國移住者
登録

主な会員
登録

賃貸

主な会員
登録

主な会員
登録

主な会員
登録



6 資料編

Appendix



創造的な文化芸術活動で
基町住宅地区の魅力づくり・活性化を目指す

基町プロジェクト

～施策展開を図っていくための
方向性と基本コンセプト～

平成 27 年 3 月

基町プロジェクト（広島市立大学・広島市中区役所）



目次

1.はじめに

(1) 基町プロジェクトについて	01
(2) 基町住宅地区活性化計画と基本データ	02

2.基町プロジェクト

(1) 基町住宅地区の魅力を引き出す3つの場	03
(2) 短期、中期、長期計画の目標	04
(3) 計画一覧表	05
(4) 『学びの場』について	06
(5) 『創造の場』について	09
(6) 『交流の場』について	11
(7) 情報発信について	13
情報・発行	14

本書は、公営住宅にかかる規制に関して、広島市が国など関係機関と折衝して条件が整うことを持つ必要があるものや、財源が確保できないと実施できないものなどを含め、創造的な文化芸術活動や地域交流を通じた基町住宅地区の活性化を図っていくための方向性や基本コンセプトを取りまとめたものである。

1.はじめに

(1) 基町プロジェクトについて

基町プロジェクトの目的

「基町プロジェクト」は、平成25年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている、「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取組である。若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通して、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とする。

実施にあたり広島市立大学と中区役所が連携し、平成26年度から試験的な活動を開始し、「基町プロジェクト～施策開発図～くための方向性と基本コンセプト～」(以下、「本書」という。)を策定した。平成27年度より本書に基づいて長期的な目標を見据えたプロジェクト活動に取り組む。また、本プロジェクトは、広島市が平成27年に被爆70周年を迎えるにあたり、被爆100周年を見据えて実施する「まちづくり先導事業」の1つに選定されている。

基町住宅地区について

基町プロジェクトの主な対象地域である基町住宅地区は、広島市の中心部に位置し、公営住宅が立ち並ぶエリアである。ジャバラ型のユニークな高層アパートを中心約3000世帯(平成27年3月現在)が暮らしており、地区内にはショッピングセンター等が併設されている。また地区周辺には中央公園、広島城、原爆ドーム、平和記念公園、旧市民球場跡地など人々で賑わう場所が多く点在している。

基町プロジェクト活動拠点「M98」

基町プロジェクトの活動拠点として、基町住宅地区内にある商店街の空き店舗をリノベーションし平成26年5月に「M98」を開設した。「M98」には週3日程度、2名のプロジェクトスタッフが出勤してお



上：基町住宅地区全体写真 下：M98外観

01

(2) 基町住宅地区活性化計画と基本データ

基町住宅地区活性化計画 概要

基町住宅地区では、施設の老朽化のみならず、少子高齢化などに伴う地域コミュニティの活力低下や、空き店舗の増加に伴う商店街の賃貸など多くの問題が顕在化している。これらを背景に、地域活性化を求める機運が高まつており、これらの問題に起因する種々の課題に対応し、この地区的活性化が図れるよう、早急に取組む必要がある。このため、当該住宅地区の現況調査等を実施し、その結果等の分析を行ったうえで、地区住民、学識経験者、行政職員などで構成する基町住宅地区活性化検討会、コミュニケーションティ及び商店街活性化検討部会において、住宅のミニラウンドテーブルなど幅広い観点から検討を行った。その結果を平成25年7月に、広島市が活性化計画として取りまとめ、これを基に地区住民等と協働して地区的活性化に取組むものである。

活性化計画における基町プロジェクトの位置づけ

基町住宅地区活性化計画では、「幹」というテーマのもとで基町住宅地区の将来像として「安心と笑顔の基町」「出会いと交流の基町」「にぎわいの基町」の3つが掲げられている。そのうち基町プロジェクトは、「にぎわいの基町」の項目内にある「7にぎわい再生（商店街等）」に位置づけられる。そのため本書では商店街の活性化を軸にしながらも、より多角的な面からにぎわいの創出につながる取組を計画した。

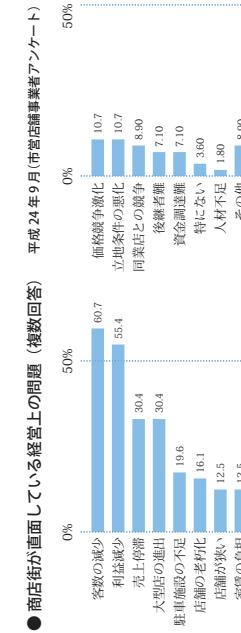
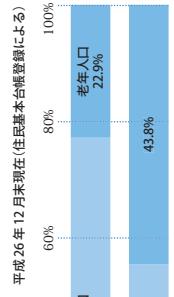
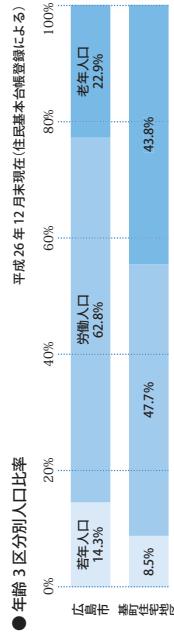
基町住宅地区活性化計画（抜粋）



基町住宅地区基本データ

学 区	世帯数	総人口	● 人口・高齢化率・外国人比率		
			若年人口 (0~14歳)	労働人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
広島 市	543,410	1,188,398	169,998 (14.3%)	746,375 (62.8%)	272,025 (22.9%)
基町住宅地区 (県営住宅)	2,810	4,502	381 (8.5%)	2,148 (47.7%)	1,973 (43.8%)

*外国人は総人口の数



2. 基町プロジェクト

(1) 基町住宅地区の魅力を引き出す3つの場

策定にあたって

本書を策定するにあたり、平成26年度の一年間をかけて地域の方との意見交換、地域行事への参加、基町プロジェクト主催のイベントの開催などを行った。その中で気付いた基町住宅地区の持つ可能性や魅力と、広島市立大学の学部の特色（芸術学部、国際学部、情報科学部）を考慮し、本書を策定した。

本書で目指すのは、基町住宅地区が單なる住宅地ではなく、広島市掲げる「国際平和文化都市」の一役を担う場に生まれ変わることである。そうすることで外部から人々の流入が促進され、本プロジェクトの目標である、基町住宅地区のにぎわい再生につながると考える。そのため、「遊びの場」「創造の場」「交流の場」の3つの場づくりに取組む。



●創造の場

若いクリエイターの創造的な活動を支援する環境を提供し、その成果を地域に還元する。商店街の空き店舗を活用し、創作や、展示などが行えるスペースを設置する。それらを活用し国内、海外から若いクリエイターを呼び、短期滞在制作の機会を提供する。

また、老朽化した建物のリノベーション

デザインの請負などを通して、若

いクリエイターの雇用の機会の創

出を目指す。

●交流の場

基町住宅地区住民と地区外から訪れる人々の交流の機会を作り出す。基町住宅地区は戦後復興を考える上で極めて重要な場である。また、同地区には多くの外国人の方が暮らしており、多様な文化が交差する地区でもある。これらの背景を活用し、特色的ある交流の場を創出する。

●遊びの場

基町住宅地区内には幼稚園、小学校が併設されており、すぐそばには基町高等学校がある。これらの学校と広島市立大学をはじめとする広島の各大学が活動で若者の遊びの機会を作る。また、基町プロジェクトの活動を通して地域住民が主体的にまちづくりに参画できる機会の提供や、専門家を招いてのレクチャーなどを開催し、地域の人材育成にも取組む。

(2) 短期、中期、長期計画の目標

2045 年までを短期、中期、長期に分ける

基町住宅街区の活性化を文化芸術祭や地域交流を通じて実現するためには、長い時間が必要となる。本書では広島市が被爆 100 年周年を迎える 2045 年までに基町住宅地区が抱える諸々の問題が解決に向かい、新たな基町住宅地区像が完成するよう計画した。計画にあたり 2045 年までの期間を短期、中期、長期の 3 つに分けて目標を定めた。

短 期

2015 年～ 2017 年

2020 年まで

2045 年まで

広島市被爆 70 周年（2015 年）

東京オリンピック開催（2020 年）

広島市被爆 100 周年（2045 年）

各時期の重要な出来事との連動性

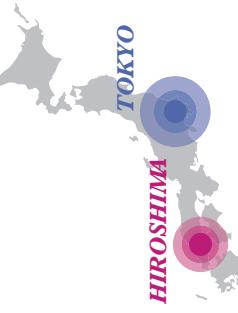
向こう 30 年間を、3 つの時期に分けるにあたり、広島市や日本において人の動きが活潑になると予想される重要な出来事を念頭に置いている。各時期の重要な出来事に合わせる形で基町プロジェクトの取組を行うことで、より大きな波及効果を狙う。右の表には波及効果を引き出す上でポイントとなる本プロジェクトの活動目標をまとめた。これらを踏まえた上で、次項以降の細かな計画を設定した。

* 地域再生計画

地域再生のための自立的・自立的な取組を総合的かつ効果的に実施するため、地方公共団体が作成し、その認定を申請する地域再生計画について内閣総理大臣が認定。計画に基づく事業に対する特別措置（若年家族、子育て世帯等の入居促進など、住宅における目的外使用の彈力化）による再生を図る。

中 期

広島市被爆 70 周年（2015 年）



長 期



- ・広島市の掲げる「国際平和文化都市」を感じられる場として基町住宅地区を位置つけ
- ・復興の歴史を継承し続ける仕組みや施設の整備
- ・かつて基町プロジェクトに関わった子どもや、若手クリエイターが国内外で活躍
- ・東京オリンピックの開催に伴い、国内外に新しい基町住宅地区をアピールするテーマでイベントや活動を行うことが重要

- ・基町住宅地区が歴後復興を考える重要な地域であることをイベントや広報活動を通してアピール
- ・地域の学校、各大学、地域の人との繋がりの構築や、活動場所の整備など、今後の活動を見据えた素地づくり
- ・基町プロジェクトの仕掛けを軸に、地域住民の人材育成

- ・修学旅行生や、クリエイターの滞在制作などでへの出入りを活性化
- ・商店街を中心とした事業として創造的な活動を行い、収益を得ることの出来る場づくり
- ・基町プロジェクトの仕掛けを軸に、地域住民が主役となる事業展開へ

(3) 計画一覧表

短期（2015年～2017年） 広島市被爆70周年（2015年）		中期（2020年まで） 東京オリンピック開催	長期（2045年まで） 広島市被爆100周年
《学びの場》 若者の連携・交流 地域の人才培养	大学・学校間の連携・交流（授業実習での実施体制の整備） ・仮説がフェーズをつくる（市役所×修道大学×他校）：空間から手作りする。 ・ワークショップ等制作（広島市×基町小・中・他校）：アートやデザインに触れる機会創出。 ・基町マップ等制作（広島市×地域×市役所）：地域資源・懸望の魅力を紹介。 ・県立高等学校との連携のあり方を検討。	大学・学校間の連携・交流（授業実習での実施体制の整備） ◆若者が集い、学ぶ基町 ・広島の各大学が連携し、様々な実践的学びの拠点を形成する。恒常的に若者が出入りすることで、いきわが城が構成される。 ・広島の歴史の講義題面に取組むことを通じて、地域交流を通じて、其の課題面に取組むこと。 ・基町住宅街区の講義題面に取組むことを通じて、学生などが開かれた成果を表さう。 ・修道院生の呼び込み（例）後醍醐天皇歴史伝承の基町の紹介とセットとして成立するプログラミング実験。	大学・学校間の連携・交流（授業実習での実施体制の整備） ◆若者が集い、学ぶ基町 ・広島の各大学が連携し、様々な実践的学びの拠点を形成する。恒常的に若者が出入りすることで、いきわが城が構成される。 ・広島の歴史の講義題面に取組むことを通じて、地域交流を通じて、其の課題面に取組むこと。 ・基町住宅街区の講義題面に取組むことを通じて、学生などが開かれた成果を表さう。 ・修道院生の呼び込み（例）後醍醐天皇歴史伝承の基町の紹介とセットとして成立するプログラミング実験。
《創造の場》 若いクリエイターの 創造的な活動を支援 する環境を構築	地域の人材育成（プロジェクトに参加しただけの方を増やす） ・Mトーカー（地域住民や専門家などを使ったトークイベント）の実施。 ・意見交換会（地元住民とプロジェクトスタッフによる意見交換会）の実施。 ・地域のイベントへの参加を通じた交流（スタッフや学生）。	地域の人材育成（プロジェクトに参加しただけの方を増やす=展開） ◆若者が創造し、働く基町 ・Mトーカー（地域住民や専門家などを招いたトークイベント）の実施。 ・意見交換会（地元住民とプロジェクトスタッフによる意見交換会）の実施。 ・地域のイベントへの参加を通じた交流（スタッフや学生）。	アーティスト・イン・レジデンス（クリエーターの滞在制作）の整備 ◆若者が創造し、働く基町 ・アーティスト・イン・レジデンスの実施：最後に作品展示やクリエーター等が、基町住宅地区に滞在し作品制作を行う。 ・基町住宅地区に滞在し作品展示を行う。 などによる、ワークショップなど地域活性化セミナーを行なう。 ・公衆トイレの整備プロジェクト（来訪者特に女性）が基町住宅地区に出入りするため必要。
《交流の場》 地域資源の再発見と 活用により人の交流 を促進	商店街の公共デザイン整備（まちを美しくするためのデザイン） ・ショッピングセンター屋上緑地の整備。 ・ショッピングセンター床下カーペットのデザイン。 ・公衆トイレの整備プロジェクト（来訪者特に女性）が基町住宅地区に出入りするため必要。	商店街に創造交流拠点の設置（若者が活動する空間） ◆若者が居住・滞在する基町 ・基町プロジェクトの展示会場として利用。 ・Mトーカーや意見交換会の会場として利用。 ・基町アパート入居者（地元再生活動による学生・若年世帯入居が開始された場合）による、作品制作・展示。	来訪者の呼び込み（学びの場／創造の場から得られる成果を発信） ◆若者が居住・滞在する基町 ・復興の歴史を伝える基町の紹介。 ・若者を中心とする創造的文化芸術活動の発信。 ・ホテルの運営：コレビュージエのユーティ・ダビタシオン（マルセイユ）の事例でアパートのホテル活動がある。
《交流の場》 地域資源の再発見と 活用により人の交流 を促進	作品展示（基町について幅広い人に知らせる／興味を持つもらう） ・都市写真展（基町歴史トーカー、ワークショップ）。 ・基町をテーマにしたシンボルックな作品制作。	周辺環境の整備 ◆若者が居住・滞在する基町 ・外来駐車場の整備。 ・Googleストリートビューによって、アパート屋上から見える景色を写真で公開。	05

(4) 《学びの場》について

短期（2015年～2017年）：広島市被爆70周年（2015年）

仮設カフェをつくる（市大×修道大学×地域）



平成26年度より始まった、広島修道大学などによる「学びの場」であり実施するもので、互いの取り扱いを活かしながら、地域、属性の高さなどを実践の機会を創出する。
基町が本プロジェクトとして、「基町プロジェクト」として、ワークショップを開催する。
平成26年10月より取組を開始している。
（＊写真：イメージ）

自負に働く

ワークショップ（市大×基町小×地域）



基町が学校法人や地域住民がアートやデザインに創造性を育てる。また地域住民が基町プロジェクトの取組に貢献する。また、取組に貢献する第一線となる。
（＊写真左右：平成26年度夏のワークショップの様子。小学生、地域住民、約120名が参加）

Mトークの実施



基町プロジェクト意見交換会の実施



地域のイベントへの参加を通じた交流



大学・学校間の連携、交流



《学びの場》

地域の人材育成



「Mトーク」とは地域住民や専門家などと交え、基町について話すイベントの名称。1ヶ月に一回程度実施される。地域住民が自身の住む基町についての知識を深め、まちづくりに主体的に関わる人材を育成する。（＊写真：平成26年度のMトークの様子）

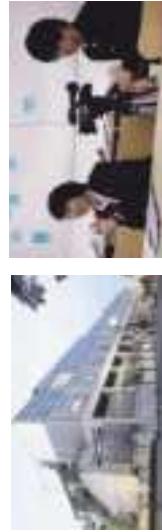
「基町プロジェクト意見交換会」はプロジェクトスタッフ等と地域住民が本プロジェクトについて話し合う会。2ヶ月に一回程度実施予定。地域住民が本プロジェクトに対して意見や要望を伝え、適切に開かれる場を設ける。（＊写真：平成26年度の意見交換会の様子）

基町住宅地区で行われる地域のイベントへプロジェクトスタッフ等が参加することを通して地域住民との親睦を深め、スタッフの意識や本プロジェクトの意識を広める。

(4) 『学びの場』について

短期（2015年～2017年）：広島市被爆70周年（2015年）

基町マップ制作（広島大×地域×市大）



基町高校との連携のあり方を検討

平成26年度、広島大学建築学科の学生と地元住民が連携し、特に建築や都市的な見地から地元地区の魅力や面白さを紹介するマップを作成した。プロジェクトスタッフも制作に関わるなかで交流が生まれた。今後もこのトータルのミーティング風景、右：マップ制作時の様子

基町住宅地区の側にある基町高等学校には普通科の中に美術教育を行う部活動コースがある。広島市立大学芸術学院には創設表現コース出身の学生も多數在籍している。今後は、広島市立大学と基町高等

大学・学校間の連携、交流

『学びの場』

(4) 《学びの場》について

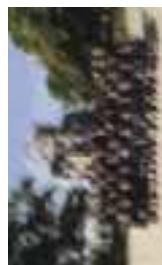
中期（2020年まで）：東京オリンピック開催

国内外都市の大学との交流連携



庄島町立大学はドイツやアメリカ、中国、韓国を中心に10校以上の海外の大学と提携を結んでおり、交換留学などが行われている。留学生が庄島の歴史や復興を学び、学生同士の交流が生まれる場として基町住宅地区を活用する。（＊写真：イメージ）

修学旅行生の呼び込み



庄島には全ての学校から修学旅行生が訪れる。主にドームや資料館の見学がその目的だが、戦後復興の歴史を学ぶ場として基町住宅地区に修学旅行生が訪れる。戦後復興期や現在の庄島を地元住民に語ってもらうなどのプログラムも実施する。（＊写真：イメージ）

長期（2045年まで）：被爆100周年

Mトーカーの実施



大学・学校間の連携、交流

意見交換会の実施



地域の人材育成

地域のイベントへの参加を通じた交流



《学びの場》

本書P6で述べた内容を更に発展させ、より専門性の高いトーカイイベントの割合を増やし実施する。（＊写真：平成26年度のMトーカーの様子）

本書P6で述べた内容と同様に、プロジェクトスタッフが地域のイベントにも参加し、地域住民との情報交換をする。（＊写真：平成26年度の地区内の意見交換会の様子）

- ・広島の各大学が連携し、様々な実践的学びの拠点を形成する。恒常的に若者が出入りすることで、にぎわいが醸成される。
- ・広島の戦後復興以降の苦難を、体験的に伝える拠点整備。
- ・基町住宅地区の諸課題に取組むことを通じ、学生を主な対象とする教育学習を行い、多様な若者が多く集まり交流する拠点を形成。

(5) 《創造の場》について

短 期（2015年～2017年）：広島市被爆70周年（2015年）

商店街の公共デザイン整備

基町プロジェクトの展示会場として利用

ショッピングセンター屋上緑地の整備

Mトーカや意見交換会の会場として利用

公衆トイレの整備プロジェクト



ショッピングセンター屋上の緑地をイベントなどに活用できるよう整備する。現在この場所は利用されておらず、草が生い茂っている。市立の学生や地域住民で整備のデザインを考え、マルシェやカフェなどが実施できる場所を作る。（＊写真：ショッピングセンター屋上緑地）

『創造の場』

商店街に創造交流拠点の設置



基町アパート入居者による、作品制作・展示



ショッピングセンター床タイルのデザイン

地区内にある公衆トイレは、一部男女共用であったり、洋式が目立つなどの問題がある。今後若者が集まる住宅地区を訪れることがあると公衆トイレの整備は必要である。市立の学生と地域住民で新しいトイレのデザインを考え整備する。（＊写真：地元の公衆トイレ）

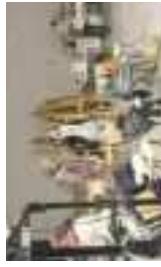
商店街の空き店舗を、基町プロジェクトの活動を紹介する展示会場として利用する。本プロジェクトの活動で生まれた成果物の実物などを公開する。加えてプロジェクトスタッフと来場者の交流の場としても機能する。（＊写真：中央公民館での本プロジェクト展示の様子）

平成27年度より開始される、地元再生計画による学生・若年世帯入居者に適応した創作スペースを商店街内に設ける。またその成果物を商店街の空き店舗やその周辺を使い展示を行う。基町住宅地区が《創造の場》となるための重要な一步。（＊写真：イメージ）

(5) 《創造の場》について

▶中期（2020年まで）：東京オリンピック開催

アーティスト・イン・レジデンスの整備



国内外の文化芸術活動を行うクリエイターや地元住民が地区内に一定期間滞在し作品制作を行う（通称アーティスト・イン・レジデンス）。基町や江之島の文化や歴史を学び、その成果を作品制作と展示で公開する。また潜在中地町住民との交流イベントも実施する。（＊写真：イメージ）

作品展の開催



商店街の空き店舗等を利用して、賃の高い作品展示会場の整備を行なう。重量に耐えられるフロットな壁、照明レール、空調などを設置する。アーティスト・イン・レジデンスの作品展や、広島市立大学芸術学部の学生作品などの展示を行なう。（＊写真：イメージ）

交流イベントの開催



国内外のクリエイター、広島市立大学生、地域住民などが創意的な活動を通して交流できる各種イベントを実施。気軽に参加できるワークショップ形式のものから、クリエイターを目指す向けの専門性の高いレクチャーなどを企画。（＊写真：イメージ）

若者が創造し、働く基町

- ・都心部における、新しく創造的な文化発信拠点を形成し、広島市内外の各施設等と連携する。
- ・創造的な文化芸術活動を支援する環境を整え、若者が活動しやすい環境を整備する。

▶長期（2045年まで）：被爆100周年



アーティスト・イン・レジデンスの実施

作品展の開催



商店街に創造交流拠点の設置・活用

『創造の場』

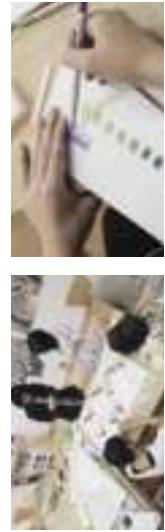
(6) 《交流の場》について

短期（2015年～2017年）：広島市被爆70周年（2015年）

作品展示



基町写真展（基町歴史トーク、ワークショップ）



基町をテーマにしたシンボリックな作品制作

平成27年度夏に被爆70年に間に開催するイベントとして基町住民による基町住宅地区の歴史に関するトークや市立大学生によるワークショップなどを開催する。（*写真左：現在の基町住宅地区の写真組み合わせた写真と、現在の基町住宅地区の写真を組み合わせた写真）

基町住宅地区のシンボルとなる作品を制作し、多くの人が記念撮影をするような作品を目指す。創作にあたつては、広島市立大学の芸術系の学生を中心には、隣町住民から提供頂く基町住宅地区の人々も参加できる、高齢者や、基町小学生、地元住民なども関わることで完成出来る作品とする。（*写真：イメージ）

『交流の場』

ネット上で基町紹介

Googleストリートビューによって、アパート屋上から見える景色を写真で公開



Googleが提供する「ストリートビュー」は、実際にこの場所を歩いているかのように画面上面からまちを撮影すると同時に、広島の町並みが360度楽しめる。このGoogle「ストリートビュー」で基町高層アパートの屋上を公開できる。（*写真左：基町高層アパート屋上から見える広島城、右：基町高層アパートの屋上を公開できる）

(6) 《交流の場》について

中期（2020年まで）：東京オリンピック開催



復興の歴史を伝える基町の紹介



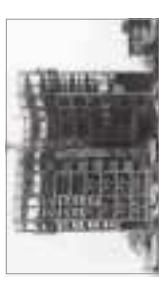
若者を中心とする創造的文化芸術活動の発信



『交流の場』

長期（2045年まで）：被爆100周年

来訪者の呼び込み



基町住宅地区は、広島の戦後復興の歴史を伝えるのにふさわしい場所である。国内外の来訪者が地域住民との交流を通して、広島の復興について知ることの出来る取組を実施。（＊写真：昭和40年代の基町高層アパート建物時の様子）

外来駐車場の整備



周辺環境の整備

・学生・若年世帯にも魅力のあるアパートの運営。地域行事や基町プロジェクトへの参加を通して地域住民として基町住宅地区の活性化に関わる社組みづくり。

・ホテルの運営：コルビュジエのユニテ・ダビタシオン（マルセイユ）の事例でアパートのホテル活用がある。

(7) 情報発信について

情報発言の重要性
平成 26 年度、モデル事業を行うことを通じて、情報発信の重要性を実感した。今後本格的に事業を開始するにあたり、地域住民の方はもちろんのこと、他大学や他施設などの協力体制が必要不可欠となる。良い協力関係を築くためには日頃から基町プロジェクトの活動を積極的に発信し認知度を高めていくことが重要である。

情報発信方法の選択

基町住宅地区は高齢化率が 40% を超えるため、インターネットなどを用いた情報発信は効果が強い。そのため、平成 26 年 8 月より定期的に「もとまち TIMES」という新聞を発行し、全世帯へ配布する取組を行った。これは非常に高い効果を発揮し、配布後 M98 を訪れる地域住民が多くいた。その一方で基町住宅地区外や国内外に向けてはインターネットを積極的に活用する必要がある。特に若い人において情報を発信するためには、「Facebook」「twitter」などが有效である。

このように「地元の方向け」と「基町住宅地区外・国内外向け」の両報は異なる方法で行う必要がある。

基町住宅地区 向け

もとまちTIMES



基町住宅地区外・国内外 向け

もとまちTIMES

地元の方向けに発行している新聞であるが、配布対象を市内各所や、他県の文化芸術活動を行っている施設等へも徐々に広げていく。

Facebook・twitter



連合自治会会議での報告

基町住宅地区は自治会への加入率がほぼ 100% に達しており、自治会長を中心情報が伝達する仕組みが整っている。そのため、基町プロジェクトの進捗状況や、イベント参加者の募集など重要な案件に関しては、自治会議で報告することが重要である。

各種メディア・広報物の活用

基町プロジェクトの活動を紹介する展示を定期的に行う。上の写真是平成 26 年夏に行なった活動報告を中区役所ロビーで展示了した様子である。活動の成果物を実際に見てもらうことで、深い活動内容の理解と関心の促進を目指す。

13

基町住宅地区 向け

もとまちTIMES



基町プロジェクトの活動展示

基町プロジェクトの活動を紹介する展示を定期的に行う。上の写真是平成 26 年夏に行なった活動報告を中区役所ロビーで展示了した様子である。活動の成果物を実際に見てもらうこと、深い活動内容の理解と関心の促進を目指す。

13

各種メディア・広報物の活用

イベントなどの際には、新聞、テレビなどのマスコミへ情報提供を行う。
行政執行の市内の観光マップや広報誌などへ基町住宅地区に関する情報の掲載依頼する。
その他、取材依頼は原則引き受け基町プロジェクトの取組の公範囲への周知を目指す。

13

情報

発行

基町プロジェクト
Facebook : <https://www.facebook.com/motomachi-project>
twitter : https://twitter.com/motomachi_pj

基町住宅地区活性化計画
[http://www.city.hiroshima.lg.jp/toshiseibi/
jyutaku/motomachi.pdf](http://www.city.hiroshima.lg.jp/toshiseibi/jyutaku/motomachi.pdf)

M98（基町プロジェクト活動拠点）
〒730-0011
広島市中区基町16番17-2-103(広島基町郵便局2つ隣)
TEL : 082-830-1764
広島市中区役所市民部地域起こし推進課
TEL : 082-504-2546

被爆70周年記念まちづくり先導事業
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/kikaku/kikaku/70th.pdf>
(基町プロジェクトはP39に掲載)

広島市立大学
HP : <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>
〒731-3194
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL : 082-830-1764 (社会連携センター)

基町プロジェクトに関するお問い合わせ
広島市立大学 社会連携センター
TEL : 082-830-1764
広島市中区役所市民部地域起こし推進課
TEL : 082-504-2546

広島市中区役所
HP : <http://www.city.hiroshima.lg.jp/naka/>
〒730-8587
広島市中区国泰寺町一丁目4番21号
TEL : 082-504-2546 (市民部地域起こし推進課)

発行日：平成27年3月
制作：基町プロジェクト（広島市立大学・広島市中区役所）
問い合わせ：広島市立大学 社会連携センター
TEL : 082-830-1764
広島市中区役所市民部地域起こし推進課
TEL : 082-504-2546

無断転載の禁じ
本書(本文、図表、イラストなど)を基町プロジェクト及び著作権者の承諾なしに
無断で転載(翻訳、複写、データベースへの入力、インターネットでの掲載など)
することを禁じます。

基町住宅地区活性化計画



平成25年7月

広島市

目次

I	はじめに	1
1	計画策定の目的	1
2	計画対象区域	1
3	計画作成の手順	2
II	地区的現状と活性化のねらい	3
1	地区的現状（特色と問題点）	4
2	基町住宅地区における活性化とは～課題と活性化のねらい（地元の思い・願い）～	4
3	活性化の必要性	6
III	活性化の目標（どんな基町にするか：キーワードと基本理念、将来像）	6
IV	活性化策	7
1	活性化の方針	8
2	時期別活性化の考え方と取組の設定	8
3	短期的な取組など（短期で具体化を目指す取組など）	9
4	活性化策の全体メニュー	10
5	短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（として）新たな取組～	14
V	推進方策	17
1	推進体制	33
2	活性化策の推進に向けた体制の充実・強化と運営	34

I はじめに

1 計画策定の目的

基町住宅地区では、建物の老朽化のみならず、少子高齢化に伴う地域コミュニティの活力低下や空き店舗の増加に伴う商店街の衰退など多くの問題が顕在化している。また、地元においても活性化への機運が高まっていることから、これらの問題に起因する種々の課題に対応し、当該住宅地区の活性化が図られるよう、早急に取り組む必要がある。

このため、当該住宅地区の現状調査等を実施し、その結果等の分析を行ったうえで、活性化の方向性と活性化に向けた具体策（以下「活性化策」という。）等について、地区住民、学識研究者、行政職員などで構成する基町住宅地区活性化検討会（以下「検討会」という。）、コミュニケーションティ及び商店街活性化検討部会（以下「検討部会」という。）において、住宅のみならず商業や福祉など幅広い観点から検討を行い、その結果を活性化計画として取りまとめ、これを基に地区住民等と協働して地区の活性化に取り組むものである。



2 計画対象区域

本計画の対象区域は、基町住宅地区（広島市中区基町16番、18番、19番及び20番の一部）及び周辺地区とする。



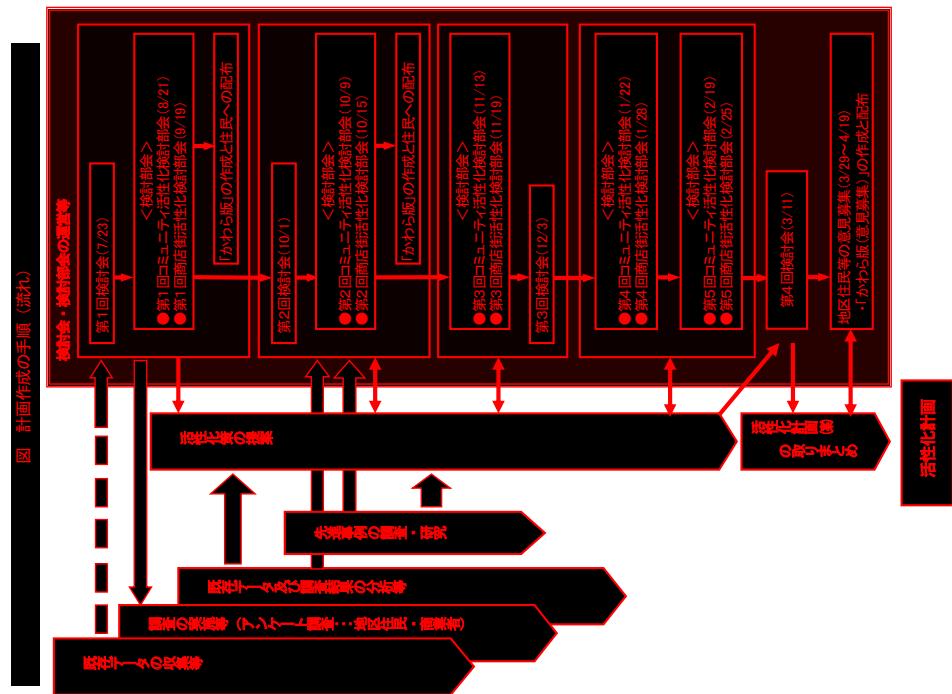
図 活性化計画の対象区域（主な調査・検討の区域）

3 言語作成の手順

本講話の作成において、基町住宅地区活性化に貢献する既存データの収集やアンケート調査、先進事例検討会・懇親会などを実施しながら、そこで得た意見を反映しながら、活性化策について検討し、振り下げる。活性化計画案としてまとめて、「基町住宅地区活性化計画案」を作成して提出する意見募集を行った。



四 計画作成の手順（流れ）



II 地区の現状と活性化のねらい

1 地区の現状（特色と問題点）

（1）地区の位置づけ・特色

■「平和の輪郭」が遺るまち

- 原爆被災地～原爆ドーム～ハーバー庭園～グリーンアーチアーナなどから伸びる輪郭が聖町川学校などを通っている。



■聖町川が走るまち

- 基本用賀施設事業等でつくられた別の住宅地で、全体が公共空間となつている。
- 「く」の字型の住棟配置や屋上庭園、高層高密度再開発など、先駆的な取組がなされた建築及び都市計画であり、歴史的な意義をもつている。
- 都心にありながらも、緑と自然が豊かなまちである。
- 東には広島城跡、南には中央公園、西には太田川が位置し、緑や自然の豊かさを感じる都心の空間である。

■聖町川の歴史を有するまち

- 当地区は、「日暮野内」にあり、また、すぐそば（東側）には広島城跡が位置し、築城以来の歴史文化を体感できる場所にある。

■多様な公共施設が立地・近接

- 地区内には、保育園、幼稚園、小学校、児童館などの公共施設が骨子面的・一体的に配置されている。
- 周辺には、県立体育館や中央図書館、ファミリーピール、こども文化科学館、青少年センター、ひろしま美術館などの複数な公益施設が立地している。

■地域コミュニティ

- 自治会加入率の高さ、見守りや支え合いの活動などの特徴がある。

■公営住宅等の居住者による基町地区及びコミュニティの形成

- コミュニティの基本単位となる基町地区（中区基町）は、当地区以外には複数人口はほとんどなく、公営住宅等の居住者だけで、基町地区や地域コミュニティが構成されているという特徴的な地区である。

平和の輪郭　は聖町小学校などを通り、基町高齢アパートは「平和の輪郭」の両側に接している

※平和の輪郭
平和記念資料館本館、広島市平和都市記念館原爆被災者慰靈碑及び原爆ドームは、平和記念公園の中心軸として南北に配置されている。これは、昭和21年に実施された改修工事によって、1号館に隣接した丹下健三・ブルースの構想に基づいており、平和記念公園の中心コンセプトです。

II 地区の現状と活性化のねらい

(2) 地区の主要な問題点・留意点

■高齢化

- 広島市において突出した高齢化率（平成22年：40.6%）となっている。
- 自治会の担い手の高齢化等に伴い、地域コミュニティの活動の低さ、参加者の減少が懸念されている。
- 高齢者の孤立感の増加の恐れが、より顕在化している状況である。
- 災害時要援護者が増加するごとに、避難支援者等の確保が難しくなっている（高齢者が高齢者を支える状況）。

■要介護者等の増加

- 多くの要支援・要介護認定者が居住している（平成24年度：約600人）。
- 地区内における通所サービス施設は未設置であり、地区外の様々な施設に通つて通所サービスを受けている。

■少子化

- 高齢化と合わせて、少子化が進んでいる。連町小学校各年度5月1日の児童数 平成18年度：1,77人→平成22年度：1,21人
 - 子ども会活動などが停滞している。
 - 地域コミュニティの活力にも影響している。
- ※ 多民族世界に対応した生毛排糞を進めている（2戸11比等住戸改善を実施中）。

■外国人等との交流・共生の実現

- 外国人等の居住者が割引しておらず、日本語の習得が十分でなく、日本の習慣に馴染めない外国人等との交流の難しさ・制約が指摘されている。（平成22年外国人比率：17.5%）

■商業の盛衰

- 市商店街における営業の不振、事業主の高齢化等による経営の困難化、空き店舗及びシャッターカーを閉めた店舗の増加（空家率：25.4% 平成24年4月1日）など、地区的商業が停滞した状況にある。

- 施設や設備の老朽化、顧客の減少、イメージ低下などが指摘される。

■面地有空跡等の活用の余地

- あまり利用されていない広場や緑地等が存在する。
- 行き交う歩行者ネットワークの分かりにくさ、段差などの障壁の存在（歩行者動線のバリアフリー化の必要）が指摘されている。

図 年齢3区分別人口比率（国勢調査）

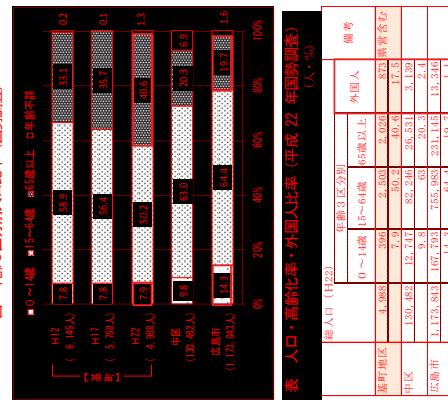
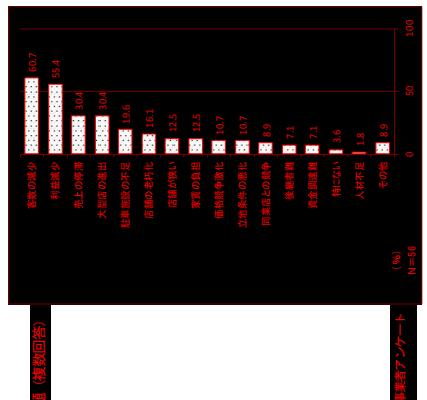
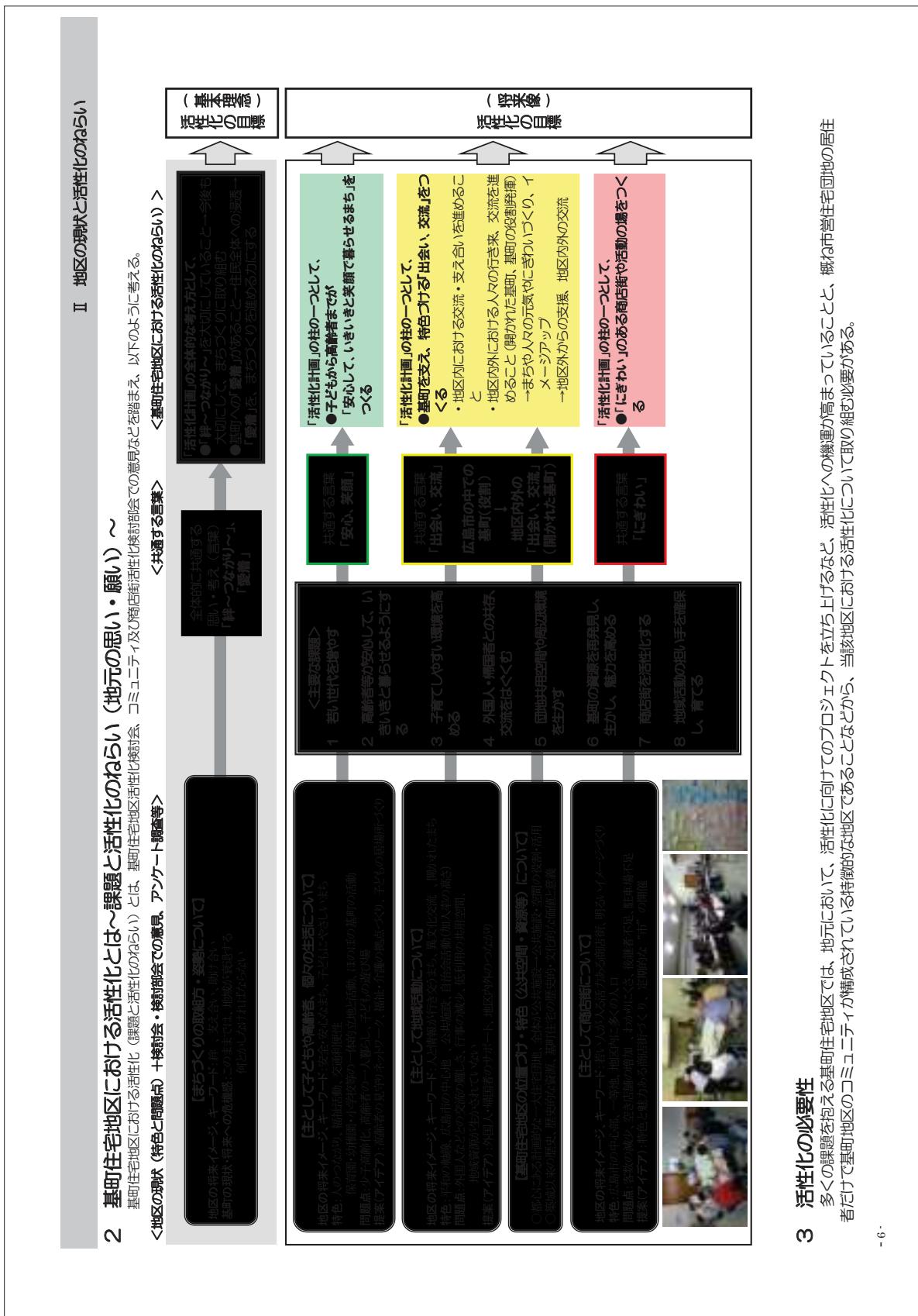


表 人口・高齢化率・外国人比率（平成22年国勢調査）(人・%)

総人口(4,861人)	年齢3区分別			備考
	0～49歳	50～69歳	70歳以上	
高野地区	1,488人	396	2,503	2,026
中区	1,301人	12,747	82,246	26,531
広島市	1,173,813人	167,793人	755,985人	231,143人
	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%
	64.1%	64.1%	64.1%	64.1%
	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%

図 直面している課題（複数回答）

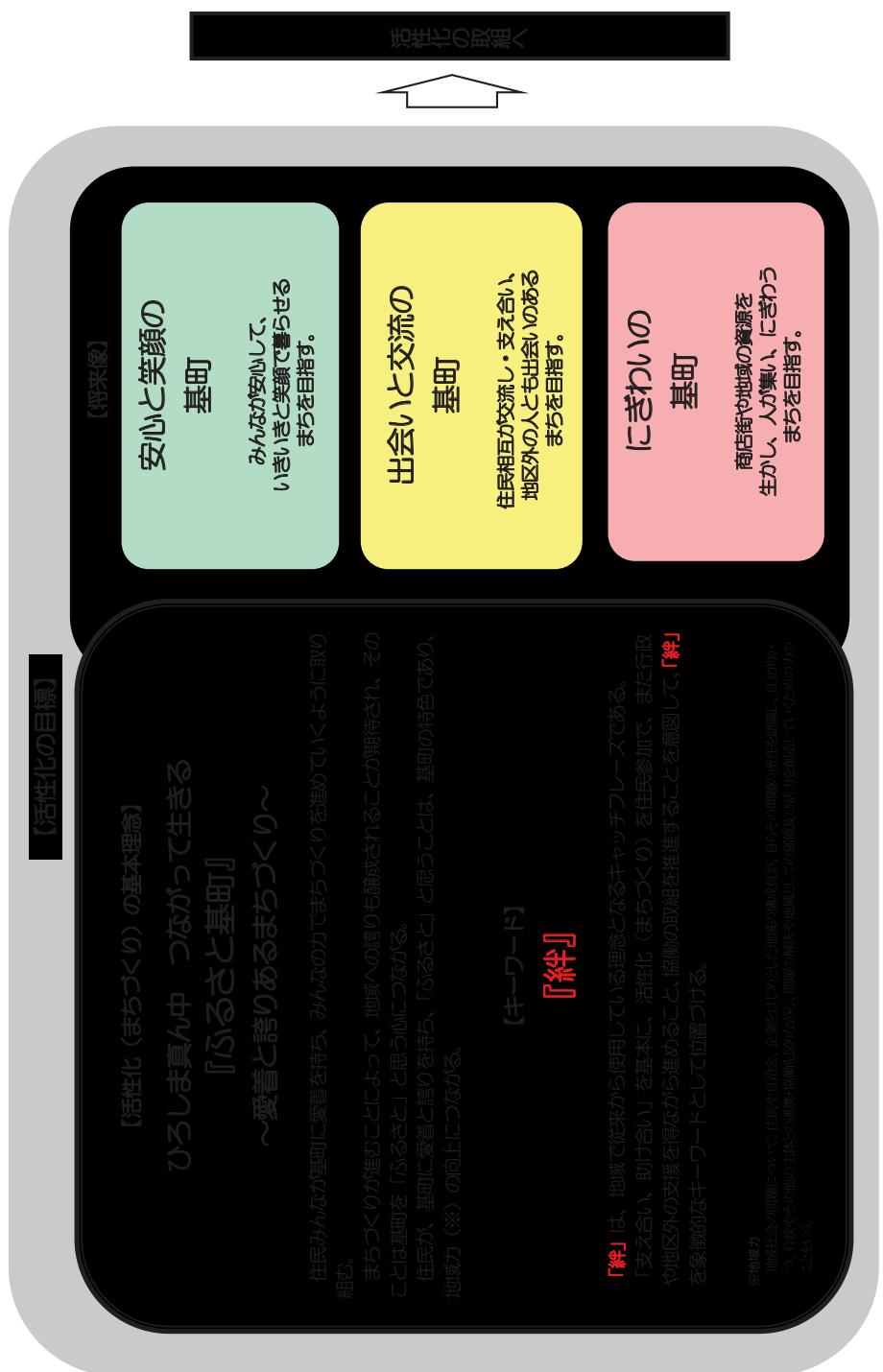




3 活性化の必要性

多くの課題を抱える基町住宅地区では、地区において、活性化に向けてのプロジェクトを立ち上げるなど、活性化への機運が高まっていることと、概ね市営住宅団地の居住者だけで基町地区的コミュニティが構成されている特徴的な地区であることなどから、当該地区における活性化について取り組む必要がある。

III 活性化の目標（どんな基町にするか：キーワードと基本理念、将来像）



-7-

IV 活性化策

1 活性化の方針 <将来像>

安心と笑顔の基町

<活性化の方針（部門別テーマ）>

1 多世代・多様な世帯の居住の促進

若年家族、子育て世帯等の入居を促進し、多様な住み世帯が、それぞれ一定割合を占めるコミュニケーションが形成できるように努める。

その際、地域再生計画による住者の目的外使用について検討する。

2 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり

広島市内の中核を大きく超えて越後高崎社会などになっている当地区において、見守りネットワークの充実や介護・福祉の拠点づくりなどに努め、高齢者をはじめどれもが安心・快適に暮らせるまちづくりに取り組む。

3 子育てしやすいまちづくり

都心に位置する住宅地であり、「保育園・幼稚園・小学校・保健所等が機能的に整備され、周辺には中央公園など豊かな緑地を利用する住民が多く、子どもたちが元気よく、楽しく暮らしていくまちづくりに取り組む。

4 多様な文化が交流できるまちづくり

多様な文化を交換しながら、趣味で書く人やアーチスト、趣味ならではの能力や才能を守るとともに、新たな文化や人々との交流によって、趣味ならではの能力や才能を発揮することができるまちづくりに取り組む。

5 団地共用空間の再編・活用

基町生田地区における広場や隣地、道路や通路、集会所などの共用空間を再編・再構成しながら、より有効に活用し、ここで暮らし楽しさや快適さ、利便性、安全・安心などを高めるとともに、地区の魅力をよりよろこぶような再編・活用に取り組む。

6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり

基町生田地区の歴史を読み、一年限り歴史文化祭、自然観察などの地域資源を活用するとともに、基町駅周辺アーバートが、歴史的・文化的に懸念を持つことを住民・市民に周知するなど、資源を生かしたまちづくりに取り組む。

7 にぎわい再生（商店街等）

基町駅周辺地区に立地する商店街等において、シャッターのデザインなどを含め入れつてがたくなる商店街や店舗づくりを進めるとともに、駐車場の利用など、にぎわい再生の活性化、定期的な「市」等のイベントの開催、経営改善担当の会議、地域資源の活用などに取り組む。

8 人・組織づくり

コミュニティ及び商店街等の組織づくりと相互連携により、基町活性化を支える活性団体を構築するとともに、地区外の協力者・支援者を含め、具体的な課題に対応する問い合わせ手の確保と体制・組織づくり、ボランティアの育成や連携組織づくりなどで取り組む。

2 時期別活性化の考え方と取組の設定

IV 活性化策



3 短期的な取組など（短期で具体化を目指す取組など）

※短期：今後5年まで

1 多世代・多様な世帯の居住の促進

【新たな取組など】
■若年家族、子育て世帯等の入居促進（地域再生計画（目的外使用）を検討）

※地域再生計画（地域再生）
地域が行う地域再生のための自主的・自立的な取組を総合的かつ効果的に支援するため、地方公共団体を作成し、その認定を申請する地図再生計画（住宅における目的外使用の弹性化）により再生を図る。
計画に基づく事業に対する特別措置（住宅における目的外使用の弾性化）により再生を図る。

安心と笑顔の基町

2 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり

【新たなる取組など】

■高齢者の生きがい活動・就労（健診の内容も）

- ・高齢者等の技術・技能の活用
- ・屋上農園・畠町農園つくり…収穫警察、基町ハローワイン
- ・昔の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動
- ・高齢者による出前講座（保育園、幼稚園、小学校など）
- ・子ども見守り（健診、扶助）

■福祉・介護の拠点づくり（デイサービスセンター等の設置）

- ・高齢者等の健康のための施設…地区内での通所介護サービス等の確保
- ・食事、園芸、サロン、機器訓練、趣味・創作・レクリエーション
- ・空き店舗等の活用



デイサービスのイメージ

3 子育てしやすいまちづくり

【新たなる取組など】

■子どもたちの活動の場・居場所づくり

- ・基町ジョイナシングルタワー屋上の広場の有効活用
- ・中央公園における遊び場（ホール遊びなど）の確保（曜日・時間帯など）
- ・小学生の居場所づくり（宿題・勉強、読書、遊びなど）
- ・中央公園での「冒險の森」（青竹園）の具体化と合わせた都心における「森の学校」の活動（中央公園一帯での「森の学校」：自然観察、体験学習、「森」を生かした遊び・工作、交流など）

■若年家族、子育て世帯等の入居促進（両親）



保育園、幼稚園、小学校等が一帯的に配置

4 多様な文化が交流できるまちづくり

【新たな取組など】

- 外国人・帰国者のサポート、交流の仕組みづくり
…「人材活用とボランティア体制の整備」（8人・組織づくりの中でスタート）

・中国語話題者の確保

・外国向け日本語教室

・入居者ルームドマナー教室

・奪め表現

・外国人・帰国者との交流

※行政の支援

- 必要な案内表示の設置
○広島市等の事業・制度の情報提供、利用促進：外国人市民の生活相談コーナー、通訳やパンティアの登録制度、ボランティア通訳者研修会、日本語教室、
外国人市民のための生活ガイドブック（中国語など6言語）、
ゴミの出し方などの情報提供（多言語）

【継続・拡充の取組】

●ほのまの文庫基町の運営・活用

●異文化理解の取組（基町川学校）

●公民館活動等の発表会の年中行事化

（発表の場づくり）



基町川学校 国際理解デー

5 地域共用空間の再編・活用

【新たな取組など】

- 屋上庭園の活用、花いっぱいの基町づくり

・安全対策

・花火大会のときなどの開放

・基町園芸（実園）講座の実施（基町ショッピングセンターなどでの「基町農園」や「花いっぱい」）

・基町園芸（実園）と一体で取組（組合）

・基町農園（イモ、カボチャ等）、花づくり、基町ミツバチ

・収穫物を生かしてイベント（収穫祭、基町ワールドワインなど）…基町ショッピングセンター屋上の取組と連携

- 基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用、花いっぱいの基町づくり

・花づくり：基町ショッピングセンター屋上、東側入口付近の段状花壇

・基町農園づくり：基町園芸の取組と連携

・煙・花壇としての区画づくりの他、タテ50cm・ヨコ50cm～1m程度（できれば高さも50cm程度あればしゃがみ込まなくとも大丈夫）木製プランター（鉢）の製作

・一人または少人数の間で管理。小さい場合は移動可能なのでそのまま基町ワールド等へ新鮮野菜や花を出品。ベランダでの栽培も可能

※行政の支援：区の魅力づくり事業への位置づけ（花の苗、用土、肥料等の提供）

基町園芸（菜園）講座の実施など



春のグリーンフェア

（中央公園自由広場）



基町SC屋上

屋上庭園

出会いと交流の基町

6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり

【新たな取組など】

■地域のマップづくり

- ・資源の再発見（地域の宝さがしフィールドワークなど）
- ・安全・安心・健康づくりや暮らしの情報の検討など
- ・周辺を含めた街の観光・回遊の名所づくり、コースづくり
- ・もとまち歴史文化のまちめぐり
- ・案内版、説明板等の設置
- ・中央公園、広島城跡など含めたコースづくりなど
- ※行政の支援：マップづくり、資料・情報提供、案内版・説明板等の設置など

【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■基町ものしき講座（仮称）の開催の検討

- ・基町ツアー（地域として協力：屋上庭園の一時的開放など）
- ・周辺を含めた街の観光・回遊の名所づくり、コースづくり
- ・基町を知ることによって愛着や誇りを醸成（主として地区内外）

左から

・屋上庭園からの眺望

・陸軍病院跡（門柱）

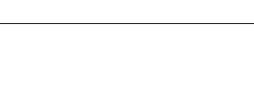
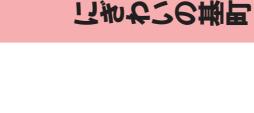
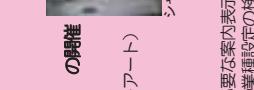
・被爆クスノキ

かごま ふるさと屋台村

【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■組織的運営による魅力ある店舗づくりの検討

■駐車場の再整備と有効活用の検討



【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■新たな取組などによる魅力ある店舗づくりの検討

■定期的な“市”『基町ハザール（マルシェ）』の開催

■基町アートロード、アートによる魅力づくり

■まずは、シャッターのデザイン化（シャッターフェア）

■基町SCの入り口付近への壁画製作

■シャッターの閉まった基町SC

■壁画（広島市均箇所）

■特色と魅力ある商店街づくり

■登録アドバイザーの活用

■登録アドバイザーによる施設・設備の維持管理と更新、必要な案内表示の設置、広島市及び区の制度（補助金）、登録アドバイザーによる支援

■行政の支援：施設・設備の維持管理と更新、必要な案内表示の設置、広島市及び区の制度（補助金）、登録アドバイザーによる支援

入店条件の見直し・エリアごとの業種設定の検討

7 にぎわい再生（商店街等）

【新たなる取組など】

■定期的な“市”『基町ハザール（マルシェ）』の開催

■商店街等における組織の再構築

■人材活用・育成ヒボランティア体制の構築

■知識や技術・技能を持つ人、役に立ちたいと思っている人の把握と登録・活用

■高齢者の児守りを支える人の登録・活用・学生ボランティアなど

■中国語（通訳）のできる人の登録・活用・学生ボランティアの支援など

■行政の支援：学生ボランティアの支援

■基町応援団づくり（学生ルームシェア（地域再生計画（目的外使用）を検討））

【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■事業組織の活性化の検討

■地域貢献を軸とした事業の視点（コミュニケーションビジネス）

■創造・醸造・販売・展示・イベントなどの実施及び開発

■高齢者（生きがい活動・就労）及び学生などの人材の確保

■多様な形での出資

■基町研究室・資料室の設置の検討

■空き店舗の利用：研究・学習・作業、ギャラリー・展示、交流・サロン、収納などのスペース

■画像、映像、パネル、模型などの展示及び開発

■大学等の協力・参加、学生ボランティア

■基礎研究：都市・建築・福祉・介護、子育て、異文化交流など

■行政の支援：空き店舗の利用（検討）

にぎわいの基町



4 活性化策の全体メニュー

日本表に掲げる取組は、短期、中期の取組と合わせて、これらの中長期の取組等を踏まえ、適切な時期に検討を行う取組を示しており、見据点では困難なもの、検討会等構成員からの意見で内閣府系や関係機関より協議・調整が必要なものも含む。

<p>チーズ</p> <p>多世代・多様な世帯の居住の促進</p>	<p>(主として)地域・民間が取り組むもの</p>	<p>地域・民間等と行政が協働で取り組むもの</p>	<p>(主として)島市が取り組むもの</p>
<p>高齢者等</p> <p>高齢者が安心・快適に暮らすまちづくり</p>	<p>多様な文化やカロンの運営と連携（施設・施設・新規）</p>	<p>地元団体との連携（施設・施設・新規）</p>	<p>（主として）島市が取り組むもの</p>
<p>子育て支援</p> <p>子育てまちづくり</p>	<p>■多様な文化やカロンの運営と連携（施設・施設・新規）</p> <p>○主の若い世代の運営・活用（施設・施設・新規）</p> <p>→「4. 多様な文化が交流できるまちづくり」（アーチ・アン・アーチ）の場所で機会を確保するなど問題</p> <p>○施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>○皆の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動</p>	<p>■音楽者育成チャネル「ワープの運び」（施設・施設） と「モード・高齢者」…中期</p> <p>○既存施設の有効活用</p> <p>○地域社会における場づくり（手芸、将棋、カラオケ、グラン・ミルなど）</p> <p>→「4. 多様な文化が交流できるまちづくり」（アーチ・アン・アーチ）の場所で機会を確保するなど問題</p> <p>○施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>○皆の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動</p>	<p>■音楽者育成チャネル「ワープの運び」（施設・施設） と「モード・高齢者」…中期</p> <p>○既存施設の有効活用</p> <p>○地域社会における場づくり（手芸、将棋、カラオケ、グラン・ミルなど）</p> <p>→「4. 多様な文化が交流できるまちづくり」（アーチ・アン・アーチ）の場所で機会を確保するなど問題</p> <p>○施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>○皆の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動</p>
<p>保健</p> <p>・保健室の運営</p> <p>・児童相談所の運営</p> <p>・児童発達支援</p> <p>・児童扶養手帳</p>	<p>■多様な文化やカロンの運営と連携（施設・施設・新規）</p> <p>○主の若い世代の運営・活用（施設・施設・新規）</p> <p>→「4. 多様な文化が交流できるまちづくり」（アーチ・アン・アーチ）の場所で機会を確保するなど問題</p> <p>○施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>○皆の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動</p>	<p>■多様な文化やカロンの運営と連携（施設・施設・新規）</p> <p>○主の若い世代の運営・活用（施設・施設・新規）</p> <p>→「4. 多様な文化が交流できるまちづくり」（アーチ・アン・アーチ）の場所で機会を確保するなど問題</p> <p>○施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>○皆の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動</p>	<p>■多様な文化やカロンの運営と連携（施設・施設・新規）</p> <p>○主の若い世代の運営・活用（施設・施設・新規）</p> <p>→「4. 多様な文化が交流できるまちづくり」（アーチ・アン・アーチ）の場所で機会を確保するなど問題</p> <p>○施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>※施設・技術の活用（施設等の支援）</p> <p>○皆の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動</p>

14

IV 活性化策

- 15 -

IV 活性化策

テーマ (取組の方針)	(主として) 地域・民間が取り組むもの	(主として) 市町が取り組むもの
6 地域資源 ■「山や水辺の活用」 ○資源を見と 活用、魅力 づく	<p>■地域のマップづくり…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源の再活見(地域の資源見(イベント)) ○その他の、川や河川環境整備等を生じたイベントの検討、参加(関係団体等と連携) ○中央公園の場の活用(堀川の生物ががし等) ○安全な水質 <p>■基础プラットフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎の資源(資源の場)の活動 ※基礎ドッグマッチが見地にはすれば、そのハッシュミンを活用 ○PR・売り込み戦略の検討 	<p>■地域のマップづくり…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源の再活見(地域の資源見(イベント))の情報収集・検討など ○安全・安心、健康新しい暮らしの情報収集など ○もとまち風文化のまちめぐり…★短期 ○資源マップ(上記)地域の資源見(イベント)と連携 ○基礎ツリー、建築探訪の地域としての能力、ルールづくり ○時間などでの食事・買い物(そないに姓はした店舗づくり) ○商店街などの商店街で名所づくり都市振興と商店街の島々、季節ごとの、月見、初日の出など) ○商店街が街の魅力と回遊の活性化(コスメづくり) ○基町ガードの育成 ○リーフレットで説明会を開催する ○歴史文化に触れる講習、授業・学習、体験機会を開設する ○商店、宿泊施設、学校、施設、個人、地元住民など ○商店、宿泊施設、学校、施設、個人、地元住民など ○アートロード、アートによる魅力づくり…★短期 ○アートによる魅力づくり…★長期
7 にぎわい再生 (商店街等)	<p>■組織的(共同)運営による魅力ある店舗づくり(特徴として魅力ある商店街づくり)(定期)で一部握手を検討) …★短期で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○店舗の共同経営 ○常設のフリーマーケット(店舗等で不要になったものなど) ○手作り、手仕事の品の展示・販売 <p>■生活支援・ミニユーニティビジネスの展開(居住者ニーズに対応) ○地域・事業の店舗づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等のニーズへの対応(買物支援、宅配体制づくりなど) ○その他の生活支援(介護、理容浴など) ※生活支援の実績(13人、理容室づくり)も検討 <p>■定期的な「市」【定期】マーケット(マジエ)の開催…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的な「市」(イベント)の開催 ○中高齢者(高齢者)の販売(飲食店)、海や干海、日本海沿岸地域(魚介類)との連携・販売を既存の店舗の販売(飲食)などを検討 ○帰郷者の人などの全国・国際交流マッチング ○既存店舗も参加、商店街等によるマッチング 	<p>■市営店舗の利用実績・意向の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市営店舗の使用条件・申込み資格の再検討(再検討) ○施設整備施設・設備の再整備の検討 <p>※行政の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備の維持管理と更新 ○必要な施設内装の設置 ○市町市街及び園の財政(助成金)の活用を検討 ○移設アドバイザーによる支援 ○店舗条件の見直し・エワガことの実績確定の検討 <p>■市営店舗の定期巡回…★短期で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一定のスケースでエスニック、多様な文化を体感できる飲食店、お好み料亭の特色づけ ○團結色豊かな食堂(店)づくり ○個々の個性と魅力(商品、サービス、もとでない) ○店舗のコンセプト(サイン)の整備 ○シナリオ・ストーリー化(絵巻など)の進歩 ○市街地の活性化を目的とした出店 ○舗の名称、ロゴマーク等のデザイン化(アート) ○自ら開拓の実績を有する店舗(店舗づくり) ○若くないながら元気、起業・開拓できる条件づくりや支援 ○チラシ・パンフレット等の出店及び経営・運営支援 ○安否・セキュリティの体制づくり <p>■駐車場の活用…★短期で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地下駐車場の運営権を有効活用(自動車部の監視)、考慮した検討) ○運営管理の一体制化検討(民営委託・指定管理者など)
8 人・組織づく ※全本に関係	<p>■「基町住宅地区活性化検討会、ユニコニティ活性化検討会」商店街活性化検討会が母体となる(組織づくり)</p> <p>■コミュニティを中心としたまちづくり組織の組織化…★中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基町住宅地区(全木)の能率組織づくり(もとで)、商店街等の組織調整、連携、事業推進 	<p>■人材活用・育成プログラム…★中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基町の資源(資源)…★中期 ○地域活性化支援(資源)…★中期 <p>■商店街の発展…★中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大企業の方、参加 ○地場産食を軸とした資源(ユニティビジネス) ○地場産食を軸とした資源(ユニティビジネス) ○飲食の店等の連携、都五、建築・福祉・介護、子育て、異文化交流・相互理解など ○大企業と地域の交流 ○基町研究(都市・建築、歴史、文化、異文化交流・相互理解、高齢社会...)と情報提携 ○協賛企業の活用

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たに取り組み～

高齢者の生きがい活動・就労

テーマ	② 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり（一部③ 子育てしやすいまちづくり）に觸発
取組名称 目的	高齢者の知識・知恵を生かしながら、いきいきと活躍できるまちをつくる。 1 屋上庭園・空きスペースの整備(ヒヤ、花壇、花) ・高齢者を中心としたチームづくり(他の取組も) ・広島市等の協力による事業、園芸指導、収穫祭(子どもなども参加) 2 高齢者による出前講座 ・保健室、幼稚園、小学校での出前講座など 3 子どもの元気り（競争・挑戦） ・PTAなどと連携した取組 4 出前修理・点検 ・ミニナーナビジネスまたは高齢者支援の観点からの修理・修繕への対応 5 ものづくり・創作の場での活躍・実践 ・空き部屋を活用した創作ものづくりの場（アーツ・アンド・クラフト）と連動した取組 6 事業組織への高齢者の参加 ・地域貢献を軸とした事業の視点（ミニナーナビジネス） ・配達・食事・教材・日用品・新聞、灯油、学配便など）及びそれと合わせた見守り ・災害時の支援
内容（概要） ※ 中・長期の 内容を含む	※「豊田シヨビングセンター」屋上の緑地の活用や「屋上庭園の活用」と運動 〇短期間に着手すること：上記の1、2 ・定期的に花壇等を利用して早期に着手（栽培・拡充） 〇中期的に着手すること：上記の4、5、6 ・定期的に巡回内容や手の確保などを検討、中期での具体化を目指す。
手順 着手時期	〇元気な高齢者 〇修理・点検などは、技術・技術等を有する高齢者 〇自治会・老人会を中心としたグループづくり 〇広島市農林水産部振興センター 〇子ども会など 〇連合自治会などで情報の提供・共有化
担い手・体制 支援者・連携	〇公的・民間団体による活動支援基金（Sむらふむむ）などの活用 〇自治会・老人会の予算 〇不足分を寄付や上記の基金の活用などで対応
手法・支援策	〇道具・道具、 〇屋上庭園 〇直町ショビングセンター屋上
資金	〇元気な高齢者の割引と人材活用 〇ふれあい、世代間交流 〇安全・安心の確保 〇問い合わせ・参加者の確保 〇具体的な課題 〇材料、資金の確保 〇南区庁舎品総務部一車庫地区（団地）…千葉新村市・長寿社会のまちづくり—事例紹介 参考（事例等）

事例：旧字品総務部の活用（農園、パークゴルフ場などとして活用）

事例：UR都市開発・千葉地域支社HPより
① 以前の旧品総（字品政）
② ワークショップの様子
③ 取扱祭（収穫したイモを入れた餅干）
④ 収穫

事例：UR都市開発・豊四季台地区（団地）



② ミニナーナビジネス（街並み活性化会議）

③ 収穫



・17・

福祉・介護の拠点づくり（デイサービスセンター等の設置）

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～ IV 活性化策

テーマ	2 高齢者が安心・快適に暮らせるまちづくり
取組名称	福祉・介護の拠点づくりデイサービスセンター等の設置
目的	基町住宅団区内に通所介護施設を確保し、高齢者の安心とふれあい・交流の環境を高める。
内容(概要)	<p>○直町ショッピングセンター等に介護保険の通所施設（デイサービス、ティアカ、小規模多機能）を現地実情包括支援センター等とセットで整備（機能については今後検討）</p> <p>○場所としては、基町由比ヶ崎町等の空き店舗の活用、あるいは他の町内街等の空き店舗の活用</p> <p>○食事、風呂、サロマ、機器訓練、趣味、レクリエーション等の場を確保する。</p> <p>○健常高齢者も集まる会場や施設を用意する。</p> <p>○福祉の窓口一式化</p> <p>○社会・民生・児童委員・地域包括支援センターの連携体制の確立</p> <p>○高齢の中国語話者は日本語がわからないため失業生活へ抜け出せない者、帰国者もいる。</p> <p>一方、日本語が分からぬために失業生活へ抜け出せない者、帰国者もいる。</p> <p>・それをサポートする中国語が分かる看板や説明板が必要</p> <p>・浴槽・洗面所がトイレの隣に設けられる</p> <p>・浴槽・洗面所がトイレの隣に設けられる</p>
手順	<p>○広島市との協議、場所の選定、開所の挨拶・調整、建築基準法・消防法などの調整、構造的な確認、事業登録の実施などを行ってから3年程度での開設を目指す。</p> <p>○平成25年度から可能な限り実施する。</p>
着手時期	担当・体制
支援者・連携	○地区社会福祉協議会、民選委員・児童委員、地域包括支援センターとの連携体制を構築する。
手法・支援策	○中層店舗の目的外使用
資金	<p>○内装設備・備品等に多額の費用がかかる。</p> <p>○事業者による資金の確保。</p> <p>○空き店舗等の活用（広島市：使用条件・申込み資格の審査）</p>
場所、道具、設備機器	<p>○多数の要介護・要支援認定者がいることから、それらの人利用性・快適性が高まるとともに、移動の負担も軽減される。</p> <p>○地区住民同士の交流が生まれ、支え合いのまち（綿）が深まり、コミュニティの活性化にもつながることが期待される。</p> <p>○地区外の多数の施設を分散的に利用している場所と比べ、介護サービスの効率化やエネルギー消費量の削減が図られる。</p> <p>○市営店舗利用の基準との調整、目的外使用の検討。建築基準法・消防法などの調整。</p> <p>○県町において実施する理由、必要性などの整理化。</p> <p>○中心をもうかる福祉事業所の存在</p> <p>○直町ショッピングセンターの空き店舗のスペース集約</p> <p>○社協・民選委員の巡回方策</p> <p>○健常高齢者の巡回方策</p>
期待する効果	<p>○神戸市：空き住戸等を活用した高齢者自立支援拠点（あんしんすこやかルーム）の設置</p> <p>○地域包括支援センターの出生となる高齢者自立支援拠点を設置</p> <p>○見守り推進員（社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー等の有資格者）が週3日滞在</p>
具体化の課題	参考（事例等）



デイサービスのイメージ

【デイサービスの1日のプログラムの例】						
8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
入浴・体操・個別ルーティン その他の運動・クリエーション、 ※センター引落後、健康チェック、 お茶	休憩 ※ベッドルーム・個室あり 人浴	運動個別ルーティン 人浴、各自 レクリエーション (映画鑑賞、演芸、趣味、工作、散歩等) 人浴				

（自家から）
（浴槽）

選択介護（デイサービス）とは

デイサービスセンターに通い、さまざまなレクリエーションのほか、食事や入浴といった生活援助サービスを合わせて受けたことができるサービスです。同じこりがちな要介護者が外出して、家族の方との交流する機会としても有効です。

屋上庭園の活用

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～(主として)新たな取組～ IV 活性化策

大學生會總幹事會會議記錄



1 有志で声を上げよう、仲間を集めよう（実行委員会などをつくる）>

2 企画（行動）をつくる
○目的・ねらい
○開放する日時、場所
○呼びかけ
○ルール、安全対策
○美しい准し
○準備・役割分担、作業スケジュール
○その他

3 収集自会など関係団体、広島市と相談・調整・同意

4 当日：事前点検、事後点検

5 翌日などに青書

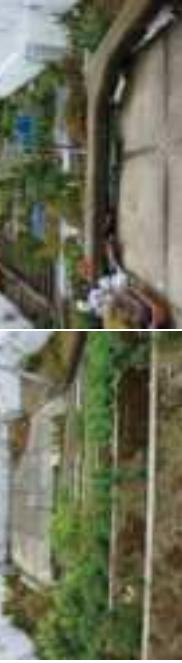
※ショッピングセンターの屋上で「基町龍園」がでければ、そこも連携、一體的な運営管理を検討

加えて、屋上庭園で基町龍園を！！・「基町ミツバチ」も実現できれば！

観客の活動減少広げて
○中止マイモノの作付面積を拡大　○かわ子やなども来てほしい
○子どもたちの参加→例には収穫祭（=基町ハローライブ）の開催も
※収穫祭は屋上で花壇園を開けた場合には、運営して収穫祭、基町ハロ
カーンなどの開催を検討

■屋上園芸などでミニハチ展演も、蜂蜜がついています
○開拓のヨミソナチセー（=基町のみつじで蜂蜜品販売）！

企画書（計画書）
A4判・1～2枚程度



屋上園庭
ル・コルビュジエ(20世紀の大建築家)
が考案した近代建築の5原則の一つで
彼の設計したフランスのマルセイユの
集合住宅が有名で、今でも最も注目される
が公社活用されています。

卷之三

屋上園庭
ル・コルビュジエ(20世紀の大建築家)
が考案した近代建築の5原則の一つで
彼の設計したフランスのマルセイユの
集合住宅が有名で、今でも最も注目される
が公社活用されています。

基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用遊び場、花いっぱいの基町づくり、基町農園・その1 5 節・中郷ニニコラス化をを目指す新たな取組～IV 活性化策

テーマ	5 地域共用空間の雨樋・活用
取組名称	基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用(+ともとまちフローガーデン)
目的	基町ショッピングセンター屋上の緑地を、美しい景観と出会い、交流、ふれあいが生まれる場として、地区的シンボル的な空間に再登場し、活用していく。
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・花壇の区画づくり、プランター(木製など)の製作・設置の検討 ○周辺園芸(菜園)講座(広島市の支援: 財團) ○安全対策、報知、報告・管理の説明を行い、交換、問い合わせの場 ○高砂川河口づくり(交番、駅いの風) ○昔はつしま櫻があつた(再生の食戟) ○水道の確保(修理)…水道での水やりが自動でできるようになります ○遊具・花を生かしたイベントなどの開催など ○広島市との協議、問い合わせの確保・ルーフづくり、資金の確保など ○おむすび2~3年後の一部実現を目指す。段階的に広げていく。 ○ワークショップ等(活潑の場) ○老人会がメイン(活潑の場) ○PTA、子ども会なども参加 ○福岡者・中国の人の参加も促進(団体で対応)
手順	着工時期
担い手・体制	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市農林水産振興センター(栽培技術などの指導) ○住民どり小学校が共同で作業する ○中山間地域の団体など(土の提供など)
支援者・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○安全対策などの基本的な施設・設備の整備は広島市 ○助成金などの活用 ○連合自治会で情報の提出・共有化
手法・支援策	<ul style="list-style-type: none"> ○管理費(草刈り)の予算の活用 ○公益財託広島市まちづくり活動支援基金(ふむふむ)などの活用 ○その他の民間の助成金の活用
資金	<ul style="list-style-type: none"> ○基町ショッピングセンター屋上の緑地 ○道具を入れる倉庫の設置 ○憩いの場(青空サロン)とするためベンチ等の設置
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ○重ね住宅密集地区の中央に、魅力ある空間、人々が交流できる場が確保されることによって、子どもから高齢者までが、ふれあい、つながり合い、支え合う環境がつくられる。 ○高齢者をはじめ、住民の楽しみ、生きがいにつながる。 ○販下の基町ショッピングセンターへの人の流れが多くなることから、商業の活性化にも資することが期待できる。 ○他の再整備(安全対策) ○安全上の理由つくり ○野良猫対策 ○空き教室外機との調整 ○店舗の雨漏り対策など ○JR都市機構: 豊四季台地区(団地)…千葉県柏市 ・屋上農園 ○南区西霞「霞フローガーデン」…事例紹介
参考(事例等)	

事例：事業用地の暫定利用による花づくり（広島市南区：霞フローガーデン）



ルールは一つ「日曜の午後に葱(だぶ)ん(だぶん)な人作業する」

この区域は「こどももフラワーガーデン」になります。

これが出来ました。それを聞いて花づいた

基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用遊び場、花いっぱいの基町・その2 5 短・中期具体化を目指す主な実施内容～住として新たな挑戦～Ⅳ 活性化策

基町ショッピングセンター屋上の活用イメージ

担当者: 老人会、PTA、連合自治会、商店会等の地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力・支援



子どもと高齢者のソーン
・遊び、見守り、休憩、くつろぎ、交流
・広場、遊具、休憩施設、緑

他のソーン(赤)

- 歩行者道に沿って花いっぱい
- カーナンの花も
- アーケードへの転落防止など安全対策

他のソーン(青)

花の壁
・花壇の活用
・壁面のデザイン化も検討(相乗効果の発揮)

遊び場の確保・魅力づくり

担当者: 子ども会、PTA、連合自治会、商店会等の地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力・支援



カナンをデザインした
基町小学校のマコロ
・キャラクター



区の魅力づくり事業: プランティア花壇づくり制度



区の魅力づくり事業: プランティア花壇づくり制度

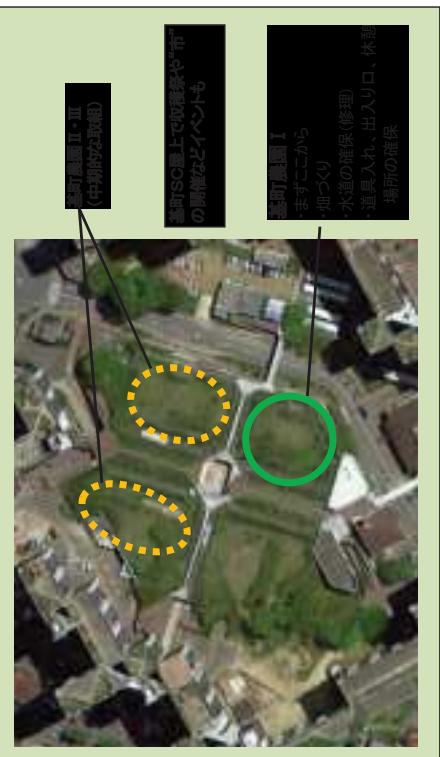
担当者: 子ども会、PTA、連合自治会、商店会等の地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力・支援



基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用(遊び場、花いっぱいの基町づくり)・その3 5 短 中期に具体的な内容を踏まえ、生としての新しさを確保～Ⅳ 活性化策

担い手: 老人会、PTA、連合自治会、商店会等の地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力団体や支援団(間伐材、土の提供など)

基町ショッピングセンター屋上の活用イメージ

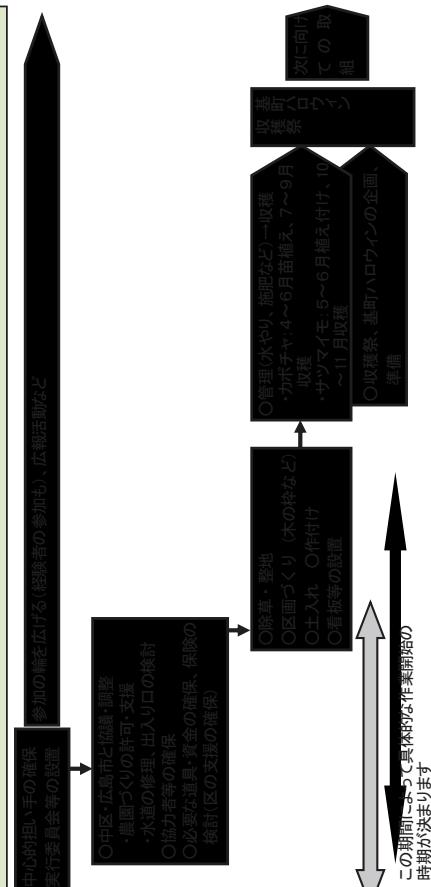


事例: 子品縫跡地 (市販)



収穫終了後、収穫したイモを入市販賣

基町農園づくりのスケジュール(イメージ)



・23・

地域のマップづくり

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～(主として) 新たな取組～ IV 活性化策

テーマ	6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり
取組名称	地域のマップづくり ※「健づくり・レクリエーションの場・コースの作成など活動展開、もとまち歴史文化のまちめぐりにおけるマップを含む
目的	子どもから高齢者まで地区住民等が参加するフィールドワーク「まち探検」を通じて、地域資源の再発見と地図を図り、それを生かしながら、地区住民はもとより、広く市民が利用したくなる「基町再発見・まちめぐりマップ」(仮称)を作成する。 さらに、次の段階として、防災や安全マップ、健づくりや暮らしの便利マップ(手帳)などの作成を目指す。
内容(概要)	○資源の再発見(地域の宝さがしフィールドワークなど) ○安心面などの暮らしの情報(安全・安心マップ)の検討 ○外国人にも配慮した暮らしに通じた「基町再発見・まちめぐりマップ」(仮称)づくり ○「基町再発見・まちめぐりマップ」(仮称)は平成25年度の作成 ○「基町再発見・まちめぐりマップ」(仮称)は今後3年を目途に具体化を図る。 ○連合自治会、地区社会福利団体会、PTAなど ○アーケードワークやワークショップ、マップづくりに関する学習講習者や専門家など ○安心・安全マップを含めた「基町・もののしき便利マップ(手帳)」(仮称)へ
手順 着手時期	手順 着手時期 ○安心・安全マップを含めた「基町・もののしき便利マップ(手帳)」(仮称)は今後3年を目途に具体化を図る。
担い手・体制	○連合自治会、地区社会福利団体会、PTAなど ○アーケードワークやワークショップ、マップづくりに関する学習講習者や専門家など ○広島市の支援
手法・支援策	○公益財団広島市まちづくり活動支援基金(ふるむふす)などの活用
資金	○同上
場所・道具、設備機器	○基町及びその周辺 ○フィールドワークやワークショップの備品等
期待する効果	○地区住民等が基町の魅力や特色を知ることにより、地区への愛着やまちづくりの関心の醸成につながる。 ○外国人を含め、地区における暮らしの安全・安心や利便性の向上につながる。
具体的な課題	○資金の確保 ○問い合わせ(手帳)の確保 ○安佐南区(健探マップ)など一事例紹介
参考(事例等)	

みんなでつくるマップの作業イメージ(タキ台) できれば3回ぐらい距離

基町再発見・まち探検ヒマップづくり ～見つけ直そう、基町のひこうとこ、生かしたい資源～

平成30年●月●日(○) 9:00~12:00
会場：基町中央集会所(集合場所及びワーキングオブ会場)
主催：基町住民連携区活性化検討会

基町住宅地区やその周辺の地域の“宝”を、実際に現地を見てさがし、「お宝マップ」などとしてここで作成したマップを眺めながら、「基町再発見・まちめぐりマップ」(仮称)を作成します。

プログラム



みんなへ

はじめに(会場)

お宝マップ

会場

お宝マップ

もどまち歴史文化のまちめぐり

6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり	
テーマ	もどまち歴史文化のまちめぐり
取組名称	※「健康づくり・（公）江戸・ヨーロッパンの里・コーフスの旅など活動展開」を含めて実施
目的	地区住民が里山の歴史文化を楽しみながら体験的で学び、知ることにより、地元の再発見と愛着の醸成を図るとともに、多くの里山への関心と理解を高めることを目指す。
内容（概要）	○資源の再発見（地域の生きがい）、○コース（安全や健康）の確保 ○幾つかのテーマ（防災・コースを設定し、組織化） ○説明版、説明標識の設置 ○広島市と相談し、まちめぐりの具体的な方向づけ ○資源などを地図に記入し、幾つかのコースを設定 ○地区住民等に呼びかけ、まちめぐりを幾つかのコースで実施→テーマを設定し、組織化 ○説明版等の整備 ○問い合わせのための体制 ○広島市・広島市教育委員会 ○関係する団体 ○学識経験者、郷土史家 ○健康づくりの専門家 ○地元と広島市（広島市教育委員会）による協働事業 ○説明版等の整備：広島市による事業化 ○マップは助成団体の助成金などを実施 ○説明版等は広島市による事業化
手順	○問い合わせのための体制
着手時期	○説明版、説明標識の設置
担い手・体制	○広島市・広島市教育委員会 ○関係する団体 ○学識経験者、郷土史家 ○健康づくりの専門家 ○地元と広島市（広島市教育委員会）による協働事業 ○説明版等の整備：広島市による事業化 ○マップは助成団体の助成金などを実施 ○説明版等は広島市による事業化
支援者・連携	○歴史文化に取り組む団体 ○地区住民等における地元の再発見と愛着の醸成 ○広く里山のアピール ○広島市としての事業化
手法・支援策	○地区住民等における地元の再発見と愛着の醸成 ○広く里山のアピール ○広島市としての事業化
資金	○車両（事例等） ○南区「二葉の里歴史の歩き道」→事例紹介
場所、道具、設備機器	○歴史文化に取り組む団体 ○地区住民等における地元の再発見と愛着の醸成 ○広く里山のアピール ○広島市としての事業化
期待する効果	○広く里山のアピール ○広島市としての事業化
具体化の課題	○車両（事例等） ○南区「二葉の里歴史の歩き道」→事例紹介
参考（事例等）	

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～ IV 活性化策



- 25 -



事例：東区「二葉の里歴史の歩き道」
DVDとマップ、説明版

建築や創意などの活用、名所づくり

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～(主として) 新たな取組～ IV 活性化策

テーマ 取組名称	6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり
目的	建築や開拓などの活用、名所づくり。 建築や都市計画、眺望など真田の地域資源を生かし、地区住民だけでなく外部の人も受け入れ、地域の活性化と特色・魅力の公開を図る。
内容(概要)	○建築架設の支援・協力、リーフlets ○大学・学生による題町ツアーや、建築・都市計画ツアーナなど(地図として協力・支援) ○真田シヨウビンクワカタ等での食事・買い物(それに応じた特産づくり) ○街の見学・回遊の名所づくり ○基町ガイトの造成 ○地元の受け入れ態勢づくり ○関係団体(「アーキワーカー広島」など)との連携 着手時期 ○大学・学生との連携(建築・都市計画ツアーナなど) ○地区住民への周知 ○基礎ガイトの造成 扱い手・体制 ○地元(受け入れ体制) ○関係団体(「アーキワーカー広島」など) ○大学・学生 支援者・連携 ○地元 受け入れ体制)と関係団体の連携 手法・支援策 ○資金 ○基町ガイト(ボランティアガイド) 體験等に附づる支援制度の検討 場所・道具、 記録機器 ○見学コース ○基町への開拓の高まり、外部からの人の訪問へ一基町に対する説明の醸成 期待する効果 ○交流活動によるコミュニケーションの活性化 ○商店街の活性化(食事、購買) ○基町を訪れる需要の喚起 具体的な課題 ○受け入れ体制づくり 参考(事例等) ○尾道市近代化進捗めぐらー元宇宙ー事例紹介

出典：広島市南区作成資料

事例：アース・ミュージアム 元宇宙の活動



植物の自然観察会

生き物の自然観察会

地質の自然観察会

長江淨水場

旧生友銀行尾道支店
御調町の歴史的建造物

豊町ものしき講座（仮称）の開催の検討

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～ IV 活活性化策

6 地域資源の活用県民と活性化、魅力づくり	
基町ものいの講座「伝統の開催の検討」	基町の歴史文化、新規性、発展の特色などを、リレー形式で学ぶ懇親会を催す。地区住民をはじめ多くの参加を呼びかけ、基町に貢献する組織や団体への輪郭を高める。
内容(概要)	〇リレー形式で毎回テーマや講師、会場、体験会を推進する ・歴史文化、祭事、被服、振舞、傳説、傳承事業 ・部会、団体、町会議員、専門事業者による実演 〇実行委員会等の立ち上げ、企画・準備・運営、監修など 〇実行委員会等の立ち上げ、地区住民の代表、有志、広島市(中区)、広島市教育委員会など 〇実行委員会等による具體的な実施手続 〇参考団体の取扱い 〇参考団体による予算の策定の検討 〇中央公民館、基町中央集会所、広島市中央図書館など 〇子どもたちを含む基町の歴史文化の特色などを学ぶことで、地域への愛着や誇りにつながるこ とが期待される。 〇広島市文化アートセンター(発信)するとともに、参加を促進することで、基町、そして広島の歴史文化、 都市文化をアピールすることができる。 〇広島市議会の立役者だけでなく、推進・運営体制づくり 〇東区二事の里歴史の紹介 〇東区参考事例等
支授策	〇施設設備機器 期待する効果 具体的な課題

基町は今島の都市の歴史→歴史や都市計画、建築などの面からも題材に事欠かない



5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～ IV 活活性化策

定期的な“市”『星町バザール（マルシェ）』の開催

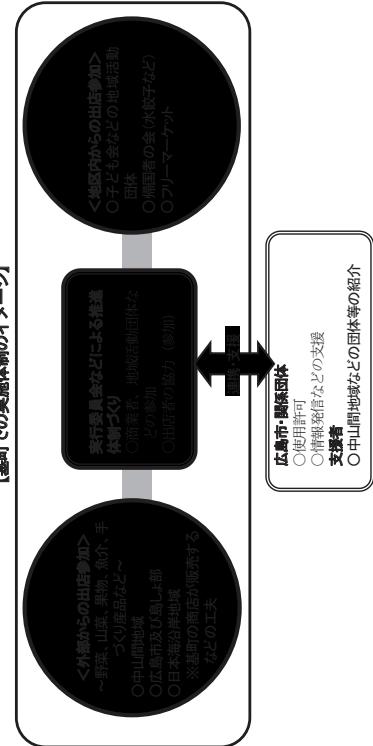
5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～ IV 活性化策

テーマ	7 にぎわい再生（商店街等）
取組名称	定期的な“市”『星町バザール（マルシェ）』の開催
目的	星町ショッピングセンターの中埠頭などを使い、定期的に“市”を開催することによって、地域内外の多様な交流・ふれあいや新たな楽しみを生み出すこととともに、商店街の活性化に資する。
内容(概要)	○山陽地東や島しま部、日本海沿岸部などと連携した朝市などの開催（イベント） ○様々な食の郷の開催。多様な文化を体感できる食べや商品の提供（販売）。周囲者や中国の人との連携・参加促進（飲食店など） ○ブリック・カット等もセントを行なう。 ○恒い手作業・農産・美容・温泉・温泉の確保など ○おおせ川2～3年後の実現を目指す。
手順	○運営の組織づくり（実行委員会など） ○商店会など入店者が中心となって主催したいベントがハターネー
着手時期	○地域の各種団体などとの連携
担当・体制	○自治会や商店会などの連携 ○継続的に話し合いつづけられ ○星町ショッピングセンターや、生協、中央が中心になつて話し合う ○企画団・支援団・支援団をつくる、見つける ○会場や物販、商品等の販売による確保
手法・支援策	○助成制度の検討→活用に向ひた取組
資金	○会費や物販、商品等の販売による確保
場所・道具、設備機器	○星町ショッピングセンターの中央広場などの活用
期待する効果	○地域内外の多様な交流・訪れる人や街たな営みを生み出すとともに、商店街の活性化に資する。 ○中国の商店者等とその他の住民の相互理解と交流促進につながる。
具体的な課題	○運営の組織づくり、全体会員商店会の再構築 ○人・経営とのネットワーク・協力体制づくり ○商店会との連携 ○金確保 ○参考(事例等) ○高麗市：大元朝市・高麗市川町商店会内「朝市の館」で毎週日曜日に開催（写真）
参考(事例等)	事例：ひろしま朝市 出典：広島市農業振興センターHPより

「ひろしま朝市」開催情報

- 1 開催場所
平和通り南側緑地帯(中区富士見町)
- 2 開催日時
毎週日曜日 8時15分から10時頃まで（開店から1時間程度で売り切れる場合があります）
- 3 開催内容
広島市内の農林漁業者が生産した新鮮な野菜や果物、花や水産物のほか、漬物、餅などの加工品等を販売します。
- 4 オ願い
遠方よりお越しの方は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
ひろしま朝市の駐車場はありません。路上駐車厳禁です。
臨時駐車場ひろしま朝市自動音声案内: 504-2247、土・日・祝日のみ)
台風の接近や、積雪、雷などの天候等により、中止する場合もあります。

ひろしま朝市



基町アートロード、アートによる魅力づくり

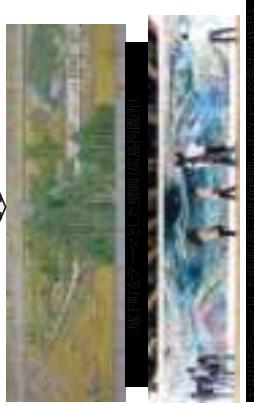
5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～(まとめ) 新たな取組～Ⅳ 活性化策

7 にぎわい再生（商店街）	7 にぎわい再生（商店街）	(「5 地域社会空間開拓・再編・活用」「6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり」)にも関係)
基町アートロード・アートによる魅力づくり	※「持参参加のものである」として、一部購入料を免除する	基町ショッピングセンター
目的	ーなどの魅力づくり以外からの人の説教を図る。	基町ショッピングセンター
内容(概要)	Oシャッター等のデザイン(絵)など	Oシャッター等のデザイン(絵)など
手順(着手時期)	O市立大学、比山台大学、基町高文などとの連携 O地元における体制づくり、大学等を含めた連携体制づくり O企画、計画の作成 O広島市との協議、調整、支援の確保 O段階的な取組展開、全体会場のひとことにテーマを設定し、まずは可能な部分からスタート→次へ O地元における体制(実行委員会など) O広島市との連携、協議の体制 O市立大学、比山台大学、基町高文など O広島市及び対象となる市営店舗利用者の同意、支援 O大学等の参画	O各団体の助成金 O寄付、協賛金 Oその他(広島市が事業化した場合など)
担当者・体制	O支授者・連携	O基町ショッピングセンターへのアプローチルート(馬込の道路(歩道)を含む)
支授者・連携	O市立大学の強み、他の大学との連携	O基町ショッピングセンターへの外歩道における人流量が増える。 O地元、大学・高等学校等の連携が深まり、アートボード以外の取組などへの発展が期待される。
具体化の課題	O大学等の参画 O広島市の支援	O基町ショッピングセンター:ほのまのまの重・基町ショッパード(オーナー会議会議室)
参考事例等	O基町ショッピングセンター:ほのまのまの重・基町ショッパード(オーナー会議室)	O本部



○鳥取県境港市「水木しげる口」

第三章
政治



- 29 -

特色と魅力ある商店街づくり

大阪市「導きの小路」

○道幅 3m程度の小路を「道具」の専門店で構成



算例・高知市「ひるめ市場」

○工生指導者-「その医療の跡」(通称、「ひるが医療部」)を活用。○1階力合舎、2・3階が駐車場。
○活動室は厨房の奥から階段、入り口の廊下へと続く。○食事や休憩室、個室のアパートルーム。



事例：かごしまふるさと里合村へわっぜえうまかもん市場～
ナスリム・ナ

○平成24年4月オープン
○九州新幹線のJR福岡(博多)駅に近接して、新設された新幹線専用駅。



【地下注湯場】
主な目的の公開・運営
特徴と強みのある問題点
くりの運営
<民間活力を取り入れた施設管理制度のイメージ>
ダラスは、高齢者もやっている
【一体的な運営管理
(由田村管理者制度)】

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～(主として)
IV 新たな取組～活性化策

事例：大阪市「道頓堀市場」
○通路3m程度の小路を「道具」の専門店で構成

事例：高知市「ひろめ市場」
○土佐漆器家の屋敷跡地（通称「ひろめ屋敷」）を活用。O1階が店舗、2・3階が駐車場
○店舗が周囲の店から料理を頼み、内側のテラスなどで飲食するスタイル。
○店舗が味わい、人気の駄菓子ボックス、食料品、料理が味わえ、

事例：かごしまふるさと市場～わっせえうまかもん市場～
○平成24年4月オープン
○九州新幹線の開通を契機とした開設で、鹿児島中央駅に近接

事例：高松市「まちなか商店街」
○JR高松駅正面・高松市役所入口（旧JR高松駅跡地）
○JR高松駅正面・高松市役所入り口（旧JR高松駅跡地）

事例：豊橋市「豊橋駅前商店街」
○JR豊橋駅前

事例：豊橋市「豊橋駅前商店街」
○JR豊橋駅前

基町研究室・資料室の設置の検討

5. 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～(主として) 新たな取組～ IV 活性化策

事例：名古屋大学緑二丁目まちの金会・サテライト研究室

※大学院環境研究科都市環境学地域貢献実習

錦二丁目まちの会所・サテライト研究室

出典：錦二丁目まちの会所・サテライト研究室HPより

2008年度～2010年度、名古屋大学・都市環境学地域貢献実習（大学院後期）として、錦二丁目まちの会所における建築・都市設計活動に取り組みました。これは、錦二丁目まちの会所「愛知県名古屋市中区錦二丁目まちの会所」における建築・都市設計活動で、名古屋市中区の「錦二丁目まちの会所」（愛知県名古屋市中区錦二丁目9-13長者町）をモデルにサテライト研究室を設置し、そこを活動拠点として、錦二丁目の古跡再開発する建築・都市設計活動を行うものでした。

2009年度～2010年度は、財團法人地域子育て支援団の研究助成（第3分野（建築・都市工学・研究奨励「大都市イノベーション」）の再生に向けた建築・都市空間の計画・デザイン・手法：名古屋市中区錦二丁目のケース・スタディを通じて）を頂き、多世代居住機能の導入に向けた建築・都市空間の計画・デザイン（会所・路地）の計画・デザイン、（2）街区全体の容積率調整、（3）街角の計画・デザイン、（4）建て替え・再開発条件への備別対応という4つの具体的な課題に対する建築・都市空間の計画・デザインを実施・検討しました。

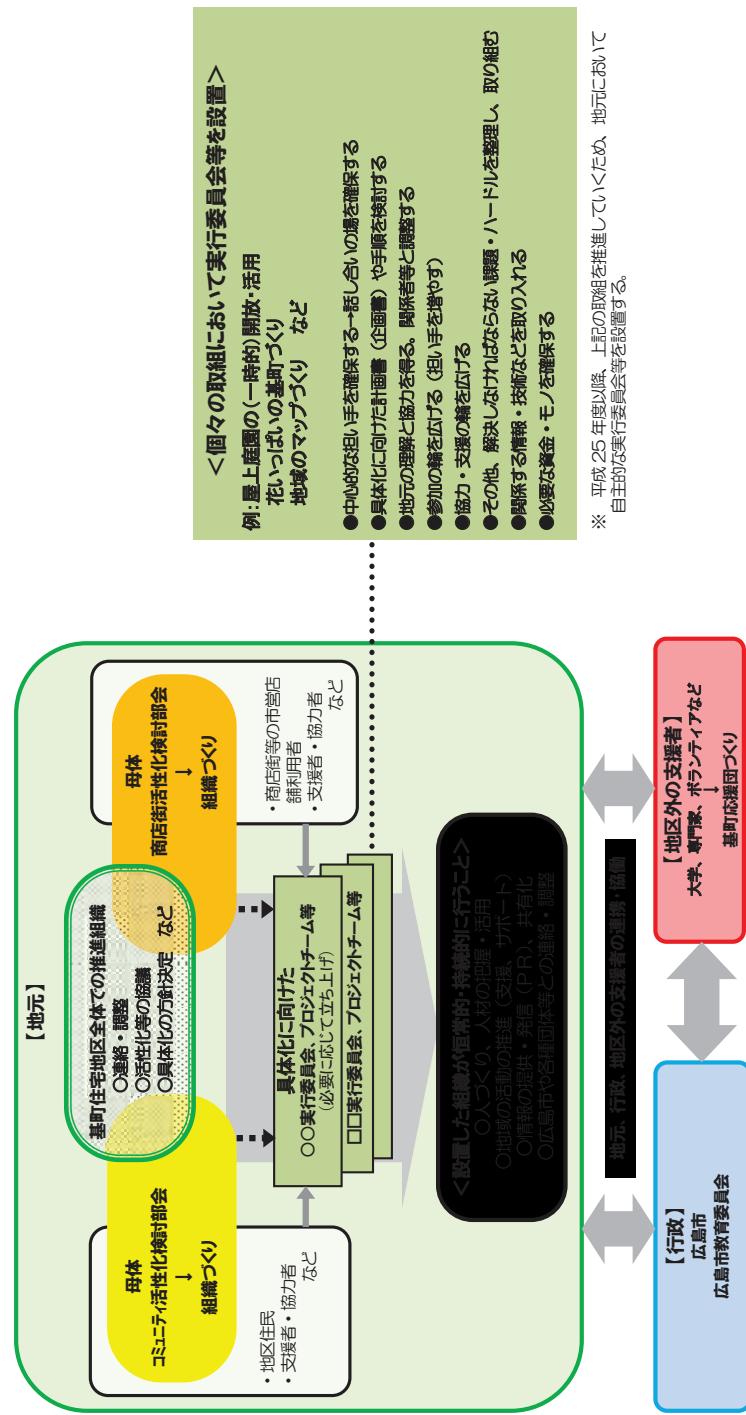
以上より、組み合った結果は、「これからも錦二丁目長者町まちづくり懇親会において採用されました。



テーマ	8人・組織づくり 〔「4 多様な文化交流ができるまちづくり」にも関係〕
取組名称	基町研究室・資料室の設置の検討
目的	大学等による多様な研究からも基町研究室を、地域とのつながりで交流、まちづくりでの具体性を図ること、基町住吉地区の活性化にも資する。
内容(概要)	○多様な地域の交流 ○研究の成果などの情報提供と発信、まちづくりでの具体性を図ること、地域活性化・異文化交流・相互理解など ○複数の大学等の連携：都市、建築、歴史、生活文化、異文化交流、高齢社会など →研究成果の活用：研究・学習・作業、キャラリー・展示、交流・サロン、収納などのスペース及び設備 ○空き店舗の活用：研究・学習・作業、キャラリー・展示、建築や都市計画の歴史（複数）と現在を見ることができる画像・映像、模型づくり（展示） ○その他の分野へ向けた建築・都市空間の計画・デザイン、手法：名古屋市中区錦二丁目のケース・スタディを通じて ○見学者の受け入れ ○広島市との協議・調整 ○複数の大学等のサテライト研究室設置の検討 ○広島市との協議による場所の確保（原則、連携） ○広島市との協議による場所の確保（原則、連携）
手順	手順
着手時期	着手時期
担い手・体制	○関係する大学等の連携、体制
支援者	○広島市
手法	○基町研究室の活動・研究
資金	○大学と広島市、地元の連携など
場所・道具、設備機器	○大学等と地元の交流、学生等と地区住民・子どもたちの交流
期待する効果	○基町研究室の准拠 ○基町研究室の成果の活用、まちづくりでの具体化 ○にぎわいづくりへの貢献
具体化の課題	○大学等の体制づくり ○場所の確保
参考(事例等)	○名古屋大学緑二丁目まちの会所・サテライト研究室－事例紹介

V 推進方策

- 1 推進体制
活性化等を進めるためには、地元（地区住民、地域活動団体等）において推進体制を構築及び強化することともに、地元、行政、地区外の支援者（大学、専門家、ボランティアなど）が連携・協働することを基本とします。



2 活性化策の推進に向けた体制の充実・強化と運営

V 推進方策

【地元（住民・地域）として】

① 全体及び2つの組織の定期的な会合と連絡調整

- 基町住宅地区全体で活性化を推進する組織において、定期的な会合を持ち、コミュニケーション度や活性化策の具体化に向けた連絡のため、全般的な取組の方針決定などを行う。
- 活性化策の具体化に関しては、全体及び2つの組織において、より開催密度を高めて会合を開くこととする。

- ⑥ 「できるること」の実現と効果及び波及効果の確保
 - 実現性と効果が期待できる活性化策を抽出し、実行委員会等を立ち上げるなどして、具体化に向けて取り組む。
 - その経験や成果などを生かしながら、次の活性化策へと進んでいく。

⑦ 事業組織の貢献

- 地域貢献活動とした事業の視点（コミュニケーションビジネス）で、配達（食事・食材・日用品・新聞・灯油、宅配便など）及びそれに合わせた見守り、災害時の支援などを行う事業組織づくりが考えられる。
- こうした事業組織については、地区住民や商店街会員利用者、地区外の賛同者などからの出資が考えられる。
- 担い手としては、高齢者（生きかれ活動・就労）をはじめとした地区住民及び学生などが想定でき、内容によって無償及び有償ボランティアを検討する。

⑧ 情報の提供（発信）と共有化

- 活性化策などに関する情報をわかりやすく掲出し、その共有化を図る。
- その方策としては、連合自治会等の会合での情報提供、かわら版などを作成し掲示・配布すること、口コミでの情報の広がりを図ること、マスコミの活用、ホームページでの情報の受発信などがあり、一步一步、具体化に向け取り組む。

連携・協働

【広島市として】

① 地域再生計画の監修取得

- 高齢者や学生向けホームページなど住民の使用目的に異なる使い方をするため、国の目的外使用の彈力的な取扱いを受けることができる地域再生計画の平成25年度中の認定を目指す。

② 組織横断的で基町活性化に向けた取組（行政としてのパッケージ・プラン）

- 地域再生計画の認定の有無にかわらず、関係する部署の連携のもとに、パッケージ・プランの視点を持ちながら、基町活性化に向けた取組を組織横断的かつ総合的に進める。
- 地域再生計画が認定された場合は、地域再生計画に基づく取組の具体化を図る。

③ 住民・地域との連携と活性化支援

- 地区住民や関係団体等との連携を図ることで活動の取組等の具体化に努める。
- 地区住民・地域活動団体等との連携を図ることで活動の取組等の具体化に努める。

基町住宅地区活性化検討会構成員名簿

会長	地区住民代表	徳弘親利	基町地区社会福祉協議会 会長 基町地区青少年健全育成連絡協議会 会長
副会長	地区住民代表	瀬戸口寿一	基町連合自治会 会長 基町学区連合自主防災会 会長
	地区商業者代表	下奥裕司	基町ショッピングセンター代表
	地区商業者代表	淀川豊	基町生協センター代表
	学識経験者	間野博	県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 教授
	学識経験者	平野吉信	広島大学大学院工学研究科 建築計画学講座 教授
	学識経験者	藤山浩	島根県中山間地域研究センター研究企画監、 島根県立大学連携大学院教授
	学識経験者	田中聰子	県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 准教授
	学識経験者	山田知子	北洋山大学現代文化研究科・現代文化学部 子ども発達教育学科 准教授
	実践者	吉村徳則	株式会社成研 代表取締役
	市職員	佐名田敬莊	玄島市都市整備局住宅部長
	市職員	松本良徳	広島市中区役所市民部長
事務局	委託者	広島市都市整備局住宅部整備課	
	受託者	株式会社地域開拓工房	

基町プロジェクト・ドキュメント：2014.4—2017.3

Motomachi Project Document: April 2014—March 2017

編集

中村圭、新澤望、増田純

翻訳

専門英語サービス

デザイン

中村圭、住岡梓

写真

記載ページにおいて特に表記のないものはプロジェクトスタッフが撮影

「基町、昔の写真展（及び同Ⅱ、同Ⅲ）」の写真についてはご提供いただいた皆様

発行

2018年12月31日 初版

広島市立大学

731-3194 広島県広島市安佐南区大塚東3丁目4-1

お問い合わせ

広島市立大学社会連携センター

731-3194 広島県広島市安佐南区大塚東3丁目4-1

電話：082-830-1764

基町プロジェクト <http://motomachiproject.net>

平成29年度特定研究費研究成果公表経費

「文化芸術創造活動拠点を通じた広島都心部（基町地区）の活性化に関する研究」